

藤沢市

子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査

放課後児童クラブに関する利用希望把握調査

結果報告書

2019年（令和元年）9月

藤沢市

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法・調査期間と回収状況	3
4. 調査項目	4
5. 調査結果を見る上での注意事項	5
6. 調査間の設問比較表	6
7. 調査結果の総括	8
第 2 章 調査結果	13
子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査	15
1. お住まいの地域について	15
2. 子どもと家族の状況について	16
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	21
4. 保護者の就労状況について	32
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	46
6. 地域子育て支援事業の利用状況について	82
7. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	85
8. 病気の際の対応について	90
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	96
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	103
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	110
12. その他の意見について	124
放課後児童クラブに関する利用希望把握調査	130
1. 子どもと家族の状況について	130
2. 保護者の就労状況について	138
3. 放課後の過ごし方について	154
4. その他の意見について	169
第 3 章 調査票	175

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく子ども・子育て支援新制度の下で、幼児教育・保育、地域の子育て支援の充実を図るため、令和2年度から令和6年度までの5年間を一期とする「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定する。

このため、幼児教育・保育、放課後児童クラブ、ファミリー・サポート・センター事業などの「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することを目的に、利用希望把握調査を実施した。

2. 調査対象

調査名	調査対象
①藤沢市子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査	市内在住の小学校就学前児童（0～4歳）のいる世帯（6,000世帯を無作為に抽出）
②藤沢市放課後児童クラブに関する利用希望把握調査	市内在住の5歳児及び小学1～5年までの児童のいる世帯（6,000世帯を無作為に抽出）

3. 調査方法・調査期間と回収状況

<調査方法>

郵送による配布・回収

<調査期間>

令和元年5月8日（水）～令和元年5月27日（月）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
①藤沢市子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査	6,000件	3,171件	52.9%
②藤沢市放課後児童クラブに関する利用希望把握調査	6,000件	2,920件	48.7%
合計	12,000件	6,091件	50.8%

4. 調査項目

調査名	調査項目
① 藤沢市子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもと家族の状況 2. 子どもの育ちをめぐる環境 3. 保護者の就労状況 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 5. 地域の子育て支援事業の利用状況 6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望 7. 病気の際の対応 8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方 10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度 11. その他の意見
② 藤沢市放課後児童クラブに関する利用希望把握調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもと家族の状況 2. 保護者の就労状況 3. 放課後の過ごし方 4. その他の意見

※太字は調査間で共通する調査項目（詳細は6～7頁を参照）

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・本文、表、グラフでの調査名について、藤沢市子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査は「就学前児童保護者調査」、藤沢市放課後児童クラブに関する利用希望把握調査は「小学生児童保護者調査」と掲載している。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・割合の表現については、次の表記を基本とする。

表記	数値
5割近く	48.0～48.9%
5割弱	49.0～49.9%
5割	50.0～50.9%
5割強	51.0～52.9%
5割台半ば弱	53.0～54.9%
5割台半ば	55.0～55.9%
5割台半ば強	56.0～57.9%

6. 調査問の設問比較表

①就学前児童保護者調査

設問	付問	調査項目	設問種類	備考
子どもと家族の状況				
1		お住まいの地区	単一	必須
2		子どもの生年	実数	必須
		子どもの生月	実数	必須
3		きょうだいの数	単一	任意
		末子の生年	実数	独自
		末子の生月	実数	独自
4		回答者の続柄	単一	必須
5		配偶者の有無	単一	必須
6		子育てを主にしている人	単一	必須
子どもの育ちをめぐる環境				
7		子育てに日常的にかかわっている方や施設	複数	独自
8		日頃みてもらえる親族・知人の状況	複数	任意
9		子育て・発達に関して気軽に相談できる人や場所の有無	単一	任意
10		相談先	複数	任意
11		妊娠中や出産後に困ったこと、不安になったことの有無	単一	独自
12		妊娠中に必要なサポート	複数	独自
		出産後に必要なサポート	複数	独自
13		子ども・子育てに関する情報の入手先	複数	独自
保護者の就労状況				
14	(1)	母親の就労状況	単一	必須
		就労日数、就労時間	実数	任意
		家を出る時刻、帰宅時刻	実数	任意
	(2)	フルタイムへの変更希望	単一	必須
	(3)	就労希望	単一	必須
		希望する形態	単一	必須
		希望する就労日数、就労時間	実数	独自
15	(1)	父親の就労状況	単一	必須
		就労日数、就労時間	実数	任意
		家を出る時刻、帰宅時刻	単一	任意
	(2)	フルタイムへの変更希望	単一	必須
	(3)	就労希望	単一	必須
		希望する形態	単一	必須
		希望する就労日数、就労時間	実数	独自
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況				
16		幼稚園や保育所などの平日・定期的な利用の有無	単一	必須
17		利用している教育・保育事業	複数	必須
		現在の利用量1(週当たり、1日当たり)	実数	必須
		現在の利用量2(週当たり、1日当たり)	実数	必須
		現在の利用量3(週当たり、1日当たり)	実数	必須
18		利用している教育・保育事業の実施場所	単一	任意
19		平日・定期的に利用している理由	複数	任意
20		利用していない理由	複数	任意
21		平日の教育・保育の事業として、幼稚園及び幼稚園の預かり保育を利用している理由	複数	独自
22		平日・定期的に利用したい事業	複数	必須
23		最も平日・定期的に利用したい事業	複数	独自
		希望する日数、時間	実数	独自
24		回答した事業の利用を希望する理由	複数	独自
25		利用したい場所	単一	任意
26		幼稚園の利用への強い希望の有無	単一	任意
地域子育て支援事業の利用状況				
27		子育て支援センター・つどいの広場等の利用状況	複数	必須
		利用状況の内訳	複数	必須
		それぞれの利用回数	実数	必須
		利用していない理由	複数	必須
28		子育て支援センター・つどいの広場等の今後の利用意向	単一	必須
		新規利用回数または増加回数	実数	必須
土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望				
29	(1)	土曜日の定期的な利用希望	単一	必須
		利用したい時間帯	実数	必須
	(2)	日曜・祝日の定期的な利用希望	単一	必須
		利用したい時間帯	実数	必須
30		毎週ではなく、月に1~2回利用したい理由	複数	独自
31		幼稚園を利用している人の長期の休暇期間中の利用希望	単一	必須
		利用したい時間帯	実数	必須
32		たまたま教育・保育事業を利用したい理由	複数	独自

(次頁に続く)

②小学生児童保護者調査

設問	付問	調査項目	設問種類	備考
子どもと家族の状況				
1		通学、通学予定の小学校	単一	必須
2		学年	単一	必須
3		就学前の教育・保育事業	複数	独自
4		子どもの性別	単一	独自
5		回答者の続柄	単一	必須
6		配偶者の有無	単一	必須
7		子育てを主にしている人	単一	必須
8		介助の必要の有無	単一	独自
9		介助を必要とする行動	複数	独自
10		現在、利用している放課後の福祉サービス等	複数	独自
11		現在、利用している補装具	複数	独自
12		放課後児童クラブへの入所希望	単一	独自

保護者の就労状況				
13	(1)	母親の就労状況	単一	必須
		就労日数、就労時間	実数	任意
		家を出る時刻、帰宅時刻	実数	任意
	(2)	フルタイムへの変更希望	単一	必須
	(3)	就労希望	単一	必須
		希望する形態	単一	必須
		希望する就労日数、就労時間	実数	独自
	(4)	就労希望がありながら、現在働いていない一番の理由	単一	独自
14	(1)	父親の就労状況	単一	必須
		就労日数、就労時間	実数	任意
		家を出る時刻、帰宅時刻	単一	任意
	(2)	フルタイムへの変更希望	単一	必須
	(3)	就労希望	単一	必須
		希望する形態	単一	必須
		希望する就労日数、就労時間	実数	独自
	(4)	就労希望がありながら、現在働いていない一番の理由	単一	独自

備考の説明

必須	量の見込みの推計上必要な事項(国)
任意	量の見込みの推計上必要な事項以外の設問(国)
独自	市独自項目

①就学前児童保護者調査

設問	付問	調査項目	設問種類	備考
病気の際の対応				
33		年間に病気やケガで通常の事業を利用できなかった経験	単一	必須
		対処方法	単一	必須
		それぞれの日数	実数	必須
34		病児・病後児のための事業等の利用意向	単一	必須
		年の希望日数	実数	必須
35		子どもを預ける場合望ましいと思う病児・病後児等保育施設等の事業形態	複数	独自
36		上記事業を利用したいと思わない理由	複数	任意
37		子どもの病気の際、父母のいずれかによる休業、看護の希望	単一	独自
		仕事を休んで見たかった日数	実数	独自
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用				
38		私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の有無	単一	必須
		私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業内容	複数	必須
		年間の利用日数	実数	必須
39		現在利用していない理由	複数	独自
40		私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の利用希望	単一	必須
		希望する内容	複数	必須
		それぞれの希望日数	実数	必須
41		子どもを預ける場合に望ましい事業形態	複数	独自
42		泊まりがけで家族以外にみてもらった経験の有無	単一	必須
		対処方法	複数	必須
		それぞれの年間の日数	実数	必須
43		親族・知人にもてもらった場合の困難度	単一	独自
小学校就学後の放課後の過ごし方				
44		放課後に過ごさせたい場所	複数	必須
		上記の日数	実数	必須
45	(1)	土曜日の放課後児童クラブの利用希望	単一	任意
		上記の利用したい学年・時間帯	実数	任意
	(2)	日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	単一	任意
		上記の利用したい学年・時間帯	実数	任意
	(3)	長期の休暇中の放課後児童クラブの利用希望	単一	任意
		上記の利用したい学年・時間帯	実数	任意
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度				
46		母親 育児休業制度の取得状況	単一	任意
		取得していない場合の理由	複数	任意
		父親 育児休業制度の取得状況	単一	任意
		取得していない場合の理由	複数	任意
47		母親 育児休業取得後の職場復帰の状況	単一	任意
		父親 育児休業取得後の職場復帰の状況	単一	任意
48		母親 職場復帰のタイミング	単一	任意
		父親 職場復帰のタイミング	単一	任意
49		母親 短時間勤務制度の利用状況	単一	任意
		父親 短時間勤務制度の利用状況	単一	任意
50		母親 短時間勤務制度を利用しなかった理由	複数	任意
		父親 短時間勤務制度を利用しなかった理由	複数	任意
51		母親 職場復帰時の子どもの年齢	実数	任意
		上記で希望したい職場復帰時の子どもの年齢	実数	任意
		父親 職場復帰時の子どもの年齢	実数	任意
		上記で希望したい職場復帰時の子どもの年齢	実数	任意
	(1)	母親 希望より早く復帰した理由	複数	任意
		父親 希望より早く復帰した理由	複数	任意
(2)	母親 希望より遅く復帰した理由	複数	任意	
	父親 希望より遅く復帰した理由	複数	任意	
52		母親 1歳になるまでの育児休業の取得希望	単一	任意
		父親 1歳になるまでの育児休業の取得希望	単一	任意
その他の意見				
53		お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度	単一	独自
54		子育てに関して、悩んでいることや気になること	複数	独自
55		自由回答		独自

②小学生児童保護者調査

設問	付問	調査項目	設問種類	備考
放課後の過ごし方				
15		放課後に過ごしている場所	複数	任意
		上記の日数	実数	任意
16		来年、放課後に過ごさせたい場所	複数	必須
		上記の日数	実数	必須
17	(1)	土曜日の放課後児童クラブの利用希望	単一	任意
		上記の利用したい学年・時間帯	実数	任意
	(2)	日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	単一	任意
		上記の利用したい学年・時間帯	実数	任意
	(3)	長期の休暇中の放課後児童クラブの利用希望	単一	任意
		上記の利用したい学年・時間帯	実数	任意
18		今後、放課後児童クラブを利用したいと考えている一番の理由	単一	独自
19		放課後児童クラブを利用しない一番の理由	単一	独自
その他の意見				
20		子育てに関して、悩んでいることや気になること	複数	独自
21		自由回答		独自

7. 調査結果の総括

1. 就学前児童保護者調査

(1) 子どもと家族の状況

- ・あて名のお子さんを含めた子どもの人数については、「1人」と「2人」がともに4割強で最も多くなっている。
- ・調査票の回答者と回答者の配偶関係からみた家庭の状況は、「両親家庭（配偶者（パートナー）あり）」が9割台半ばを超えている。
- ・子どもの人数は2人以下が8割台半ばである。
- ・「母子家庭」は2.0%、「父子家庭」は0.1%であり、合計で1割未満である。

(2) 子どもの育ちをめぐる環境

- ・子育て（教育を含む）を主に行っている人は、父母ともに4割台半ばを超え、主に母親が5割強となっている。
- ・日常的に祖父母等に子どもをみてもらえる家庭は約2割、緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる家庭は6割台半ばとなっている。日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる家庭は3.1%、緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる家庭は2割弱である。子どもをみてもらえる親族も友人・知人もいない家庭は14.6%となっている。
- ・子育ては父母ともに行っている家庭が4割台半ばを超え、主に母親が行うという家庭が5割強と、母が担う割合が多い。
- ・日常的に子どもをみてもらえる家庭は2割程度にとどまり、子どもをみてもらえない家庭は1割を超えている。

(3) 保護者の就労状況

- ・母親の就労状況は、フルタイム（産休・育休・介護休業中を含む）が3割台半ば、パート・アルバイト等が2割近く、以前は就労していたが、現在は就労していないが4割強となっている。非就業者のうち7割台が就労意向を持っており、就労形態については9割弱がパート・アルバイト等を希望している。就労時期の希望は、1年以内が2割強、子どもが成長した後という希望の中では、一番下の子どもが6歳以上になったら4割台となっている。
- ・非就業の母親の就労ニーズは高いが、就労希望時期や就業形態などのニーズは多様である。

(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

- ・平日の教育・保育事業の利用状況では、認可保育所、幼稚園、幼稚園の預かり保育、一時預かり事業（非定型）の順となっている。今後の利用希望は、幼稚園の預かり保育の39.9%が現状の7.4%と比較すると特に高くなっている。また、認定こども園や一時預かり事業（非定型）、ファミリー・サポート・センター事業なども現状と比較すると高くなっている。
- ・平日の教育・保育事業については、幼稚園の預かり保育、認定こども園や一時預かり事業（非定型）、ファミリー・サポート・センター事業など多様なニーズがみられる。

(5) 地域子育て支援事業の利用状況

- ・地域子育て支援事業の利用状況は利用しているが2割強であり、8割近くが利用していないと回答している。今後の利用希望は2割台半ば強である。
- ・地域子育て支援事業については、保護者の就労状況や子どもの年齢により、利用者は限られている。

(6) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

- ・土曜日や日曜・祝日の利用希望については、月に1～2回が土曜日では2割台、日曜・祝日では1割台半ばとなっている。その理由は、月に数回仕事が入るため、リフレッシュのため、平日に済ませられない用事をまとめて済ませるためが多い。幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、5割台半ば強がたまに利用したい、1割台半ば近くがほぼ毎日利用したいとしている。

(7) 病気の際の対応

- ・この1年間に子どもの病気やケガで平日の定期的教育・保育事業を利用できないことがあった家庭は7割近くとなっている。その際の対処方法は、母親が休んだが7割台半ば弱、父親が休んだが3割台半ば強、親族・知人に子どもをみてもらったが3割台半ば強、父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみたが2割台半ば弱となっている。父親や母親が休んで対処した人の病児・病後児等保育施設等の利用希望は、4割である。
- ・病児・病後児保育の事業形態は、小児科や医療機関に併設した施設、他の施設に併設した施設へのニーズが高くなっている。一方で、利用を希望しない理由は、親が仕事を休んで対応する、病児・病後児を他人に看てもらうのは不安という意見が多い。

(8) 不定期の保育事業や一時預かり（宿泊を伴うものを含む）等の利用

- ・不定期の教育・保育事業の利用状況では、利用している人の4割が幼稚園の預かり保育を利用している。利用希望は5割台弱となっている。利用希望者の主な目的としては、私用やリフレッシュ目的が8割強、不定期の就労が2割台半ば強である。子どもを預ける場合に望ましい事業形態では、大規模施設で子どもを保育する事業が8割弱と特に高く、次に小規模施設で子どもを保育する事業が5割強と続いている。ファミリー・サポート・センター事業等のような、地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業は2割近くとなっている。
- ・子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験は1割台半ばがあったとしている。8割台半ば強が親族・知人にみてもらっているが、困難を感じたとの感想は4割強となっている。

(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・小学校就学後に過ごさせたい場所については、自宅、習い事、放課後児童クラブ（学童保育）などの利用意向が5割台半ば弱である。
- ・過ごさせたい場所のうち、放課後児童クラブの利用希望については、土曜日の利用希望は5割、日曜・祝日の利用希望は1割代半ば強、長期休暇の利用希望が8割台半ば強となっている。

(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

- 育児休業の取得状況は、母親で42.7%、父親で6.1%となっている。母親の4割台半ば強は働いていなかったと回答している。取得していない理由は、母親では子育てや家事に専念するために退職が4割近く、職場に育児休業の制度がなかったが2割強などとなっている。父親では、仕事が忙しかった、職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった、収入減となり経済的に苦しくなる、などが上位に上がっており、制度を利用する必要がなかったも3割強となっている。
- 育児休業からの復帰のタイミングは、年度初めの入所に合わせたタイミングが母親で7割強、父親ではそれ以外が9割台半ば弱となっている。母親の復帰時期については実際では1歳0か月以上～1歳6か月未満が3割台半ば強、8か月以上～1歳0か月未満が2割台半ば強となっている。希望する復帰時期も1歳0か月以上～1歳6か月未満が3割台半ば弱と最も多いが、1歳6か月以上～2歳0か月未満が2割強、2歳0か月以上～2歳6か月未満が1割台半ば強となっている。復帰時期が希望と異なった理由は、母親では希望する保育所に入るための多くなっている。
- 仕事と子育て等の両立実現に向け、男女ともに育児休業の取得が促進されているが、母親でも4割強、父親ではごくわずかである。
- 育児休業からの職場復帰については、現状では希望の時期よりも早く復帰している親が多い。

2. 小学生児童保護者調査

(1) 子どもと家族の状況

- ・子育て（教育を含む）を主に行っている人は、父母ともに4割台半ば弱、主に母親が5割台半ば弱となっている。

(2) 保護者の就労状況

- ・母親の就労状況は、フルタイム（産休・育休・介護休業中を含む）が3割近く、パート・アルバイト等が3割台半ば弱、以前は就労していたが、現在は就労していないが3割強となっている。
- ・非就業者のうち7割近くが就労意向を持っており、就労形態については8割台半ば強がパート・アルバイト等を希望している。就労時期の希望は、1年以内が3割弱、子どもが成長した後という希望の中では、一番下の子どもが6歳～9歳になったらが3割強となっている。
- ・非就業の母親の就労ニーズは高いが、就労希望時期や就業形態などのニーズは多様である。

(3) 放課後の過ごし方

- ・小学1年生～小学5年生が放課後に過ごしている場所については、自宅が7割台半ば強、習い事が7割弱、放課後児童クラブが2割半ばである。
- ・来年放課後に過ごさせたい場所については習い事が7割近く、自宅が6割台半ば強、放課後児童クラブが4割台半ば強である。
- ・過ごさせたい場所のうち、放課後児童クラブの利用希望については、土曜日の利用希望は3割台半ば、日曜・祝日の利用希望は1割強、長期休暇の利用希望が7割台半ば強となっている。
- ・放課後の過ごし方の希望は、実際の過ごし方と比べて放課後児童クラブへのニーズが高い。

第2章 調査結果

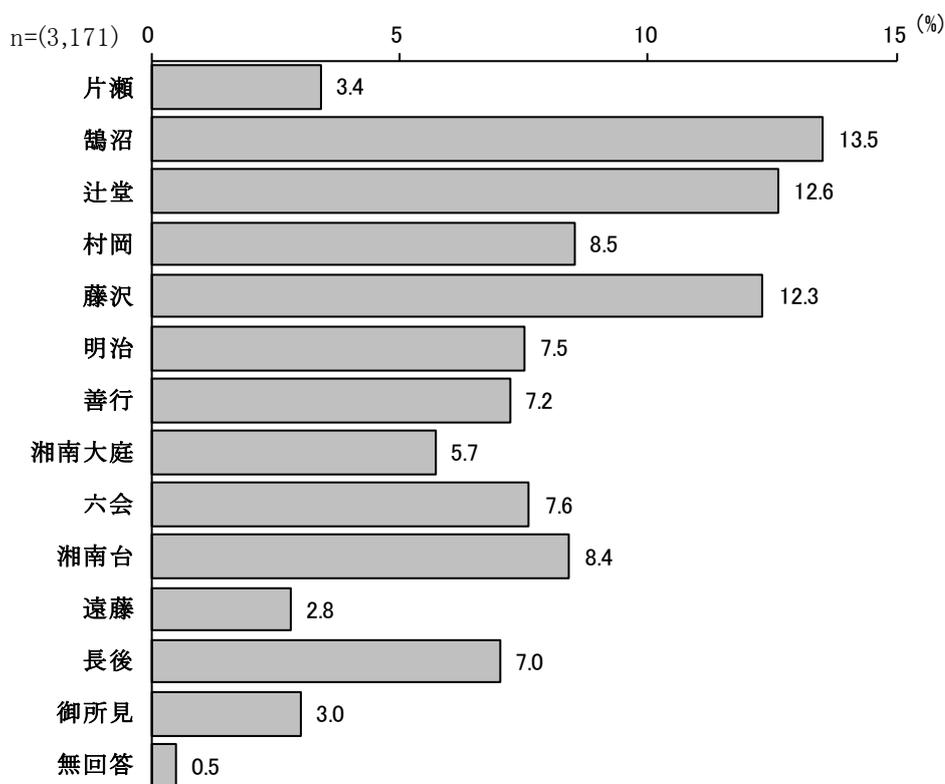
子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査

1. お住まいの地域について

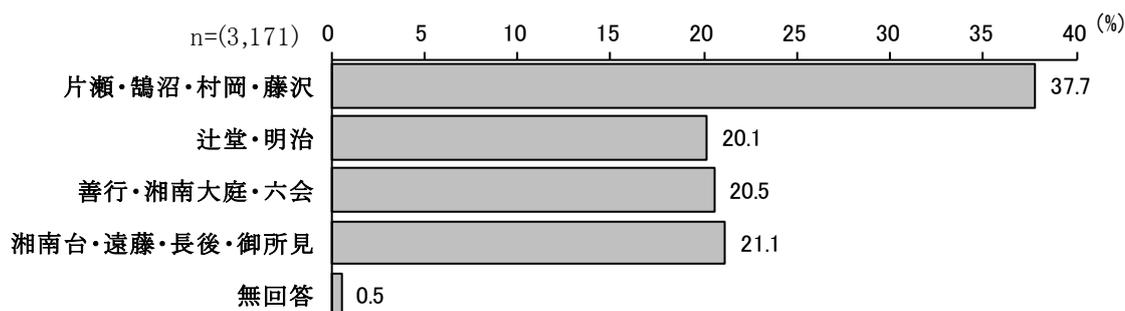
問1 お住まいの地区についておたずねします。調査票が入っていた封筒の宛名ラベルの右肩に印字されている名称と同じ名称の番号1つに○をつけてください。

回答者の居住地区は、「鶴沼」の13.5%が最も多く、次いで「辻堂」（12.6%）、「藤沢」（12.3%）となっています。居住地区を4区分してみると「片瀬・鶴沼・村岡・藤沢」の4地区が合計で37.7%と特に多くなっています。

図表1 居住地区



図表2 居住地区4区分

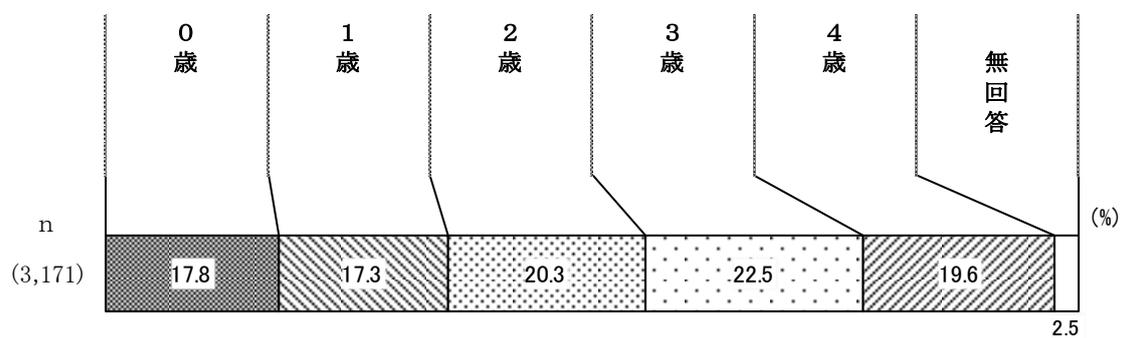


2. 子どもと家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

生年月から年齢を計算した結果、「3歳」が22.5%で最も多く、次いで「2歳」が20.3%、「4歳」が19.6%、「0歳」が17.8%となっています。

図表3 子どもの年齢

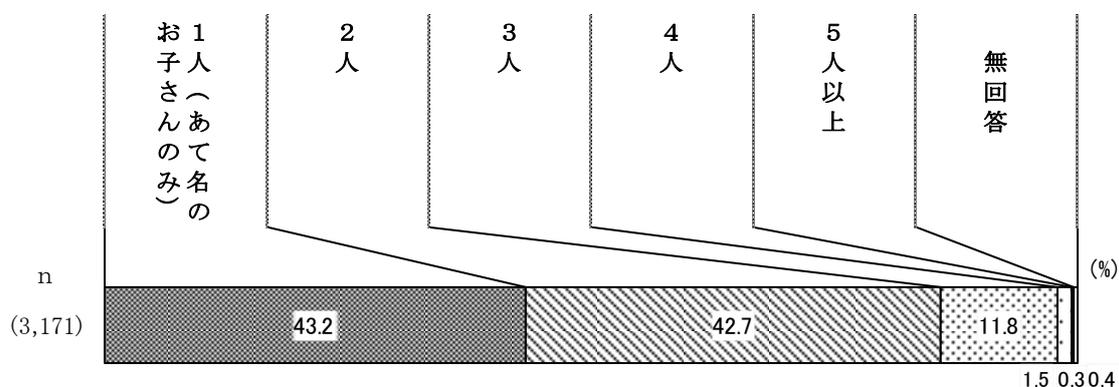


問3 あて名のお子さんを含めて何人きょうだいですか。なお、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を数字でご記入ください。

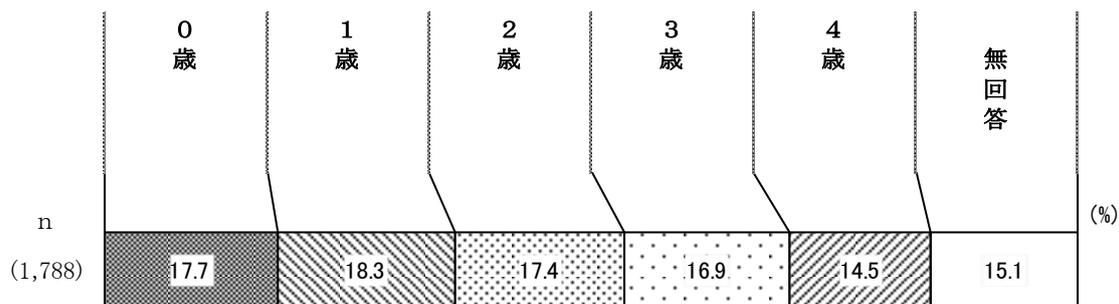
子どもの人数については、「1人」が43.2%で最も多く、次いで「2人」が42.7%、「3人」が11.8%となっています。

また、子どもが2人以上いると回答した方に、末子の年齢をたずねたところ、「1歳」が18.3%で最も多く、次いで「0歳」が17.7%、「2歳」が17.4%、「3歳」が16.9%となっています。

図表4 きょうだいの人数



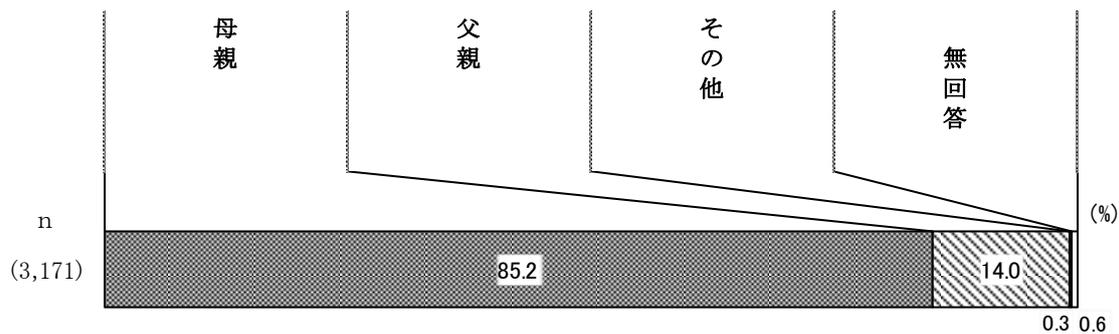
図表5 末子の年齢



問4 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票の回答者は、「母親」が85.2%、「父親」が14.0%となっています。

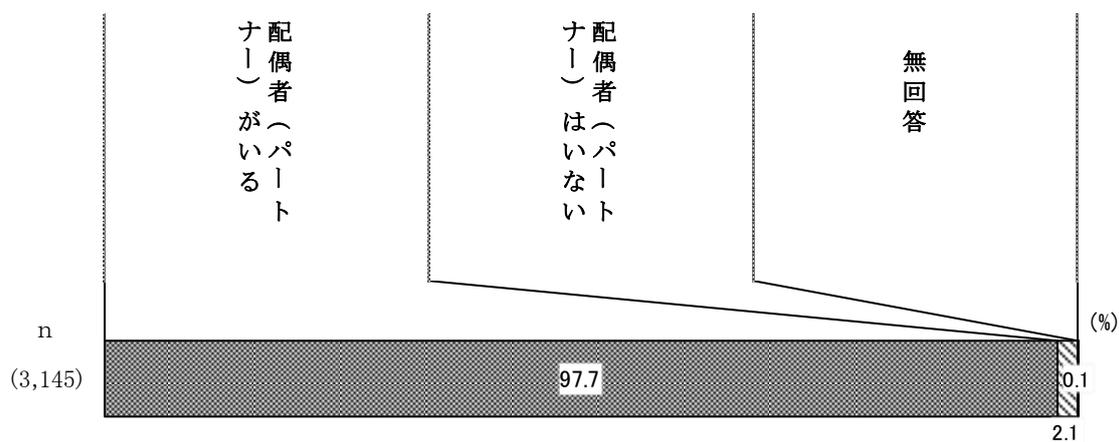
図表6 調査票回答者



問5 ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

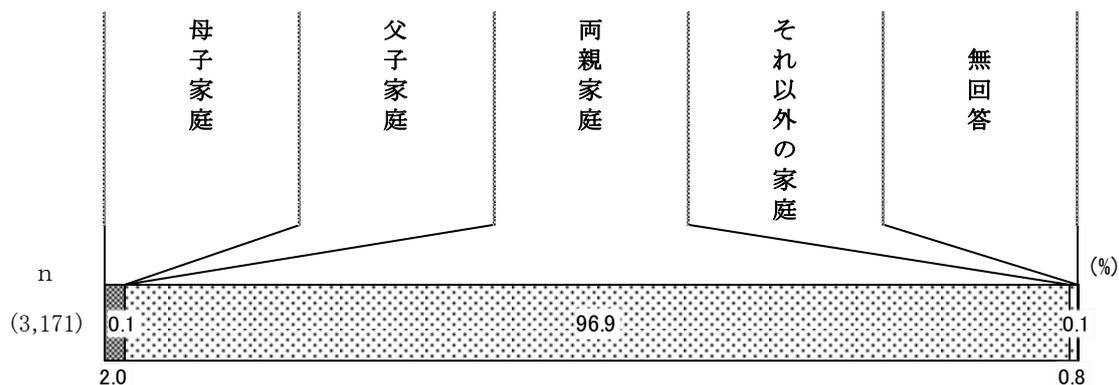
調査票回答者の配偶関係は、「配偶者（パートナー）がいる」が97.7%、「配偶者（パートナー）がない」が2.1%となっています。

図表7 回答者の配偶関係



調査票の回答者と回答者の配偶関係から家庭の状況をみると「母子家庭」（母親が回答者かつ配偶者（パートナー）なし）が2.0%、「父子家庭」（父親が回答者かつ配偶者（パートナー）なし）が0.1%となっています。また、「両親家庭（配偶者（パートナー）あり）」は96.9%、「それ以外の家庭（調査票の回答者が「母親」「父親」以外）」は0.8%となっています。

図表8 家庭の状況

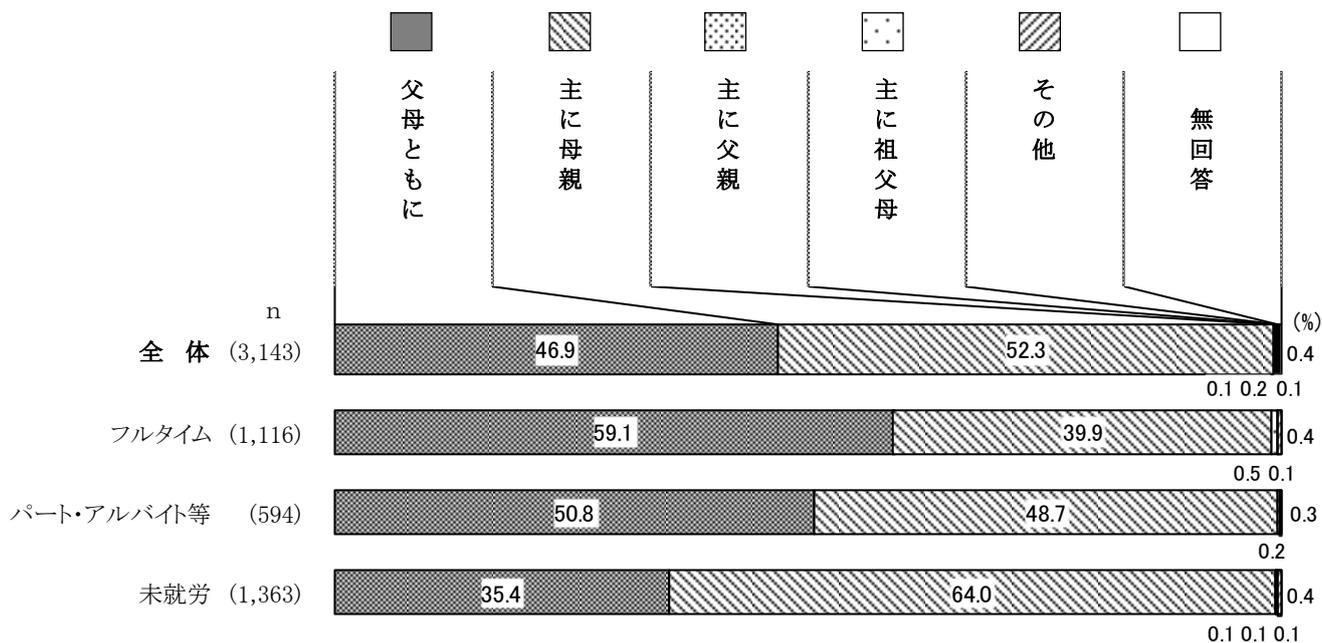


問6 あて名のお子さんの子育て（身の回りの世話や教育などを含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人については、「主に母親」が52.3%と過半数を占めています。以下、「父母ともに」が46.9%、「主に祖父母」が0.2%となっています。

母親の就労状況別にみると、母親が「フルタイム」で働いていると、「父母ともに」が59.1%と多く、「主に母親」は39.9%と少なくなっています。

図表9 子育てを主に行っている人:母親の就労状況別

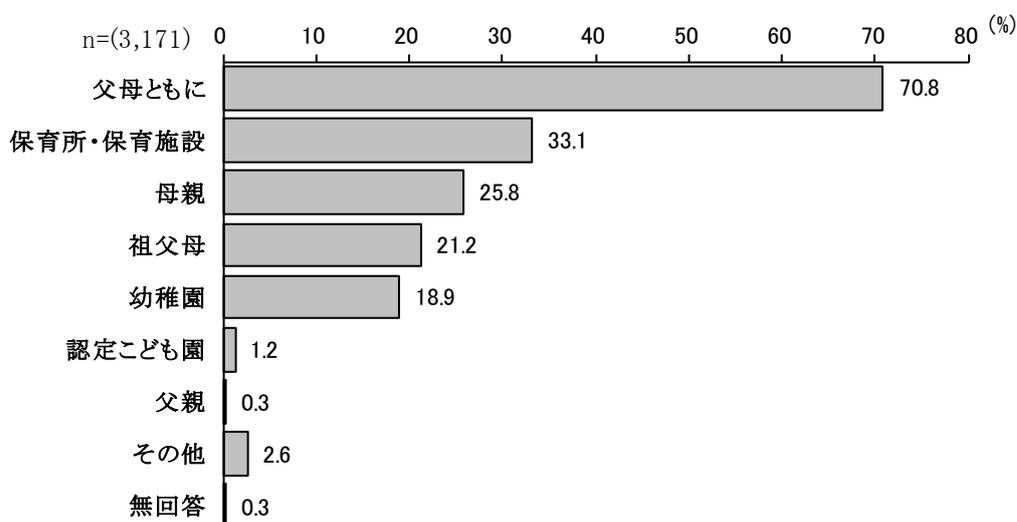


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て（身の回りの世話や教育などを含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、あて名の子どもの子育てに日常的に関わっている方（施設）については、「父母ともに」が70.8%と最も多く、次いで「保育所・保育施設」が33.1%、「母親」が25.8%となっています。一方、「父親」は0.3%となっています。

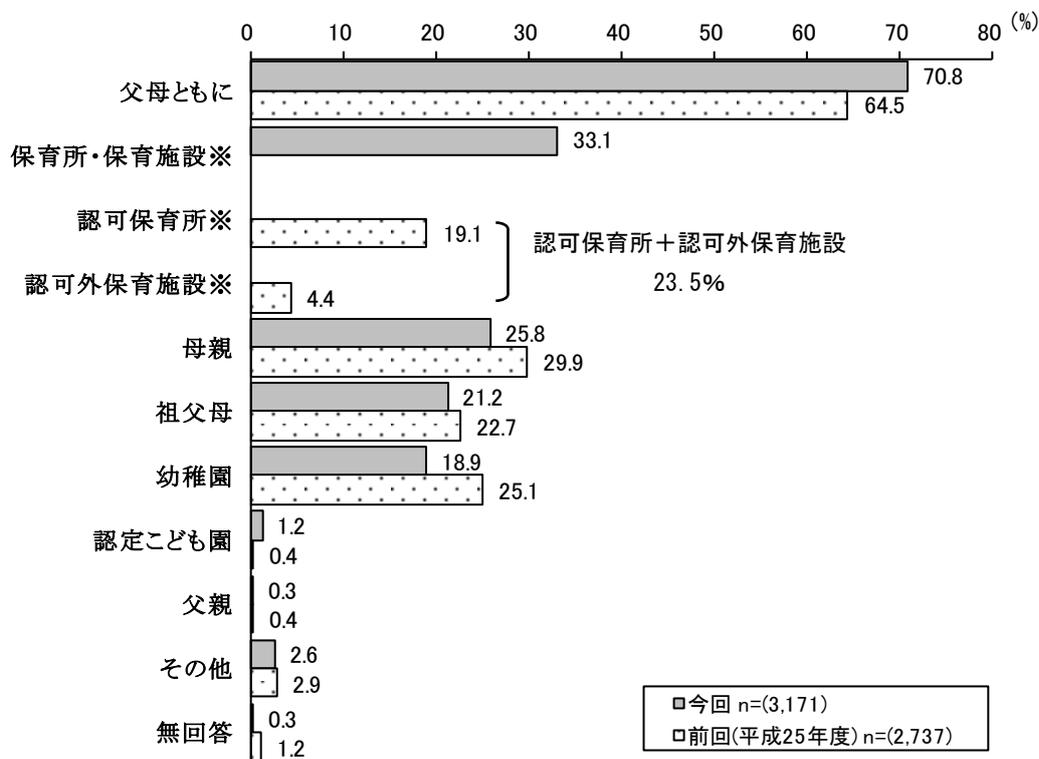
図表10 日頃、あて名の子どもの子育て(身の回りの世話や教育などを含む)に日常的に関わっている方(施設)（複数回答）



第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

前回調査と比べると、「幼稚園」の割合が少なくなり、「父母ともに」「保育所・保育施設」（前回は「認可保育所」・「認可外保育施設」）の割合が多くなっています。

図表11 日頃、あて名の子どもの子育て(身の回りの世話や教育などを含む)に日常的に関わっている方(施設) (複数回答):前回 平成25年度調査との比較



※ 今回調査の「保育所・保育施設」は前回では「認可保育所」「認可外保育施設」

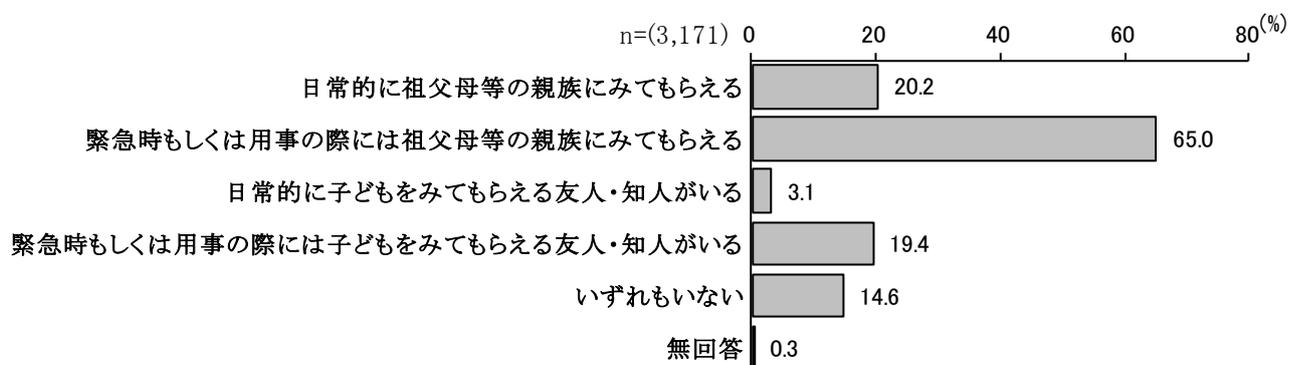
問8 あて名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもを預かってもらえる親族の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が65.0%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が20.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が19.4%となっています。

一方、「いずれもない」が14.6%となっています。

また、祖父母等の親族、友人・知人ともに日常的に見てもらえる割合と比べて、緊急時もしくは用事の際にみてもらえる割合が多くなっています。

図表12 日頃、あて名の子どものみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）



第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が少なくなっています。一方で「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合は年齢が上がるにつれて多くなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している母親は「パート・アルバイト等」「未就労」と比べて「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が少なくなっています。

図表13 日頃、あて名の子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）：子どもの年齢、母親の就労状況別

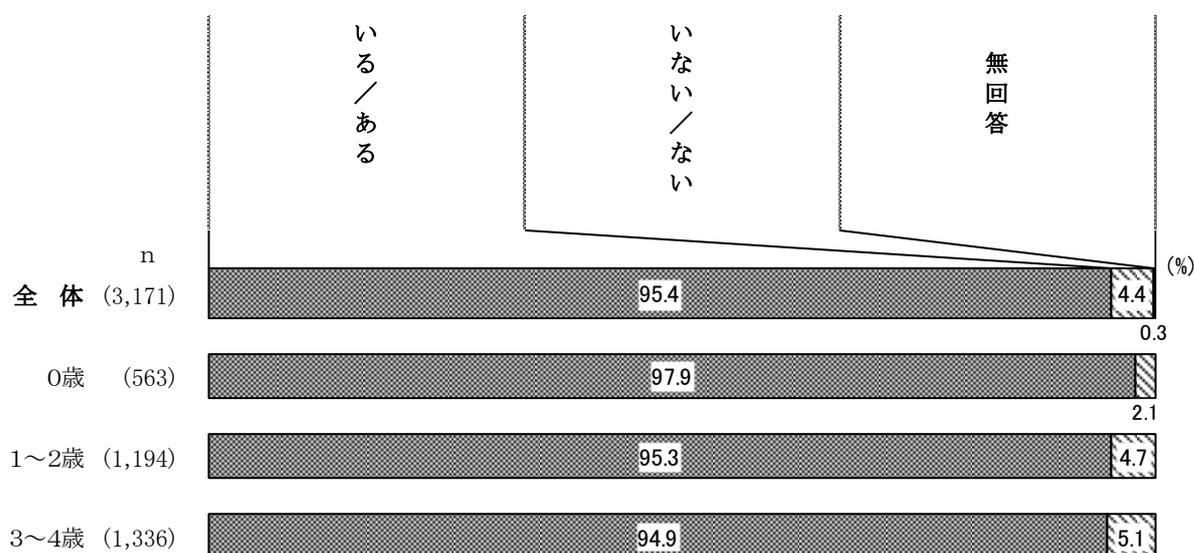
(単位 上段:件 下段:%)		調査数	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全体		3,171 100.0	640 20.2	2,060 65.0	99 3.1	615 19.4	462 14.6	10 0.3	
子どもの年齢	0歳	563 100.0	147 26.1	350 62.2	20 3.6	75 13.3	90 16.0	1 0.2	
	1～2歳	1,194 100.0	230 19.3	816 68.3	32 2.7	205 17.2	176 14.7	-	
	3歳以上	1,336 100.0	247 18.5	852 63.8	42 3.1	317 23.7	189 14.1	1 0.1	
母親の就労状況	フルタイム	1,116 100.0	214 19.2	765 68.5	9 0.8	155 13.9	157 14.1	-	
	パート・アルバイト等	594 100.0	121 20.4	381 64.1	26 4.4	132 22.2	91 15.3	-	
	未就労	1,363 100.0	279 20.5	860 63.1	55 4.0	310 22.7	203 14.9	1 0.1	

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てや発達に関して気軽に相談できる人や場所の有無については、「いる／ある」が95.4%となっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢にかかわらず「いる／ある」が9割台、「いない／ない」は1割未満になっています。

図表14 子どもの子育て、発達に関することで、気軽に相談できる人や場所の有無：子どもの年齢別



問10 問9で「いる／ある」と回答した方におたずねします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

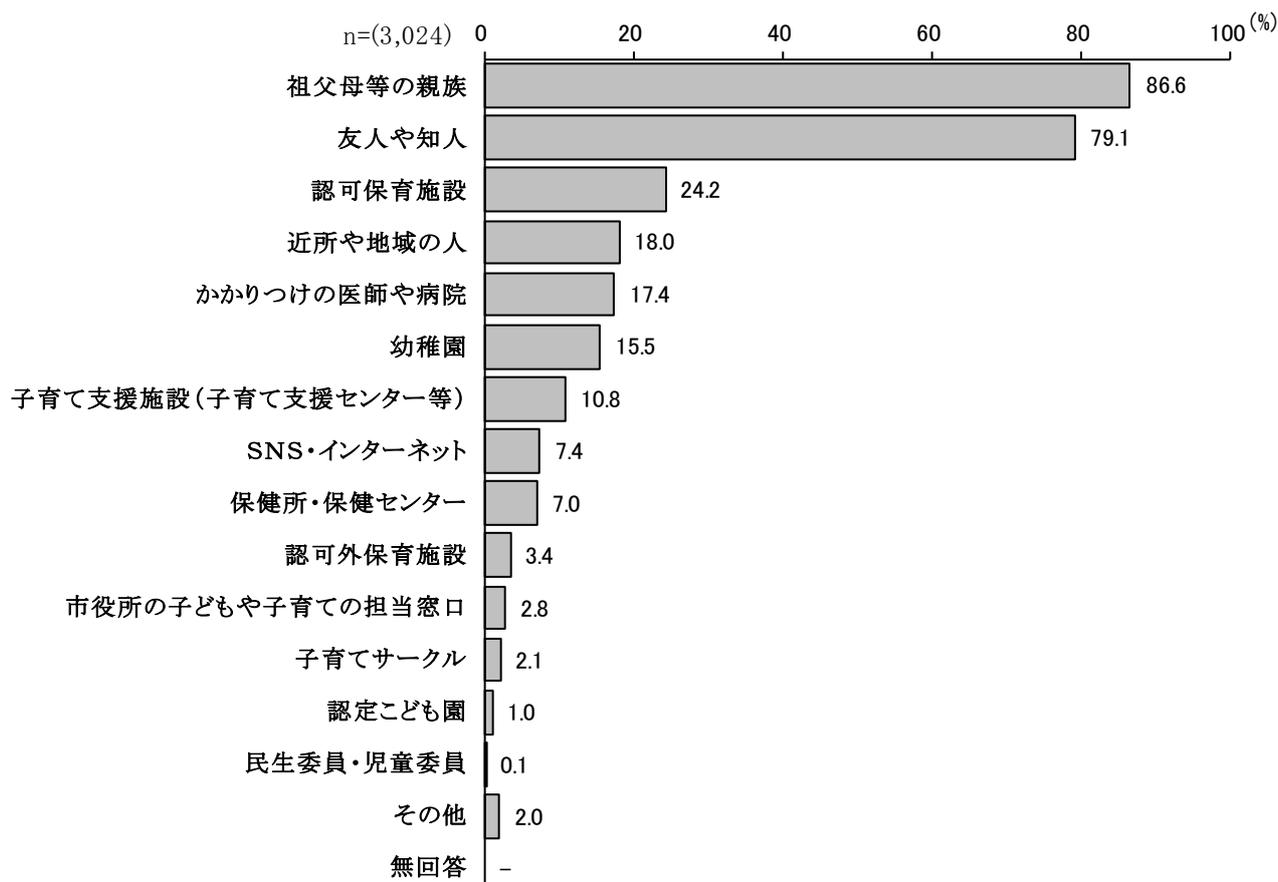
相談先について、「祖父母等の親族」の86.6%と「友人や知人」の79.1%がともに7割を超えて多く、次いで「認可保育施設」「近所や地域の人」「かかりつけの医師や病院」の順となっています。

前回の調査に比べて、上位2つの順位に変動はありませんが、認可保育施設（前回調査では認可保育所）と回答した割合が14.6%から24.2%と9.6ポイント増加しています。

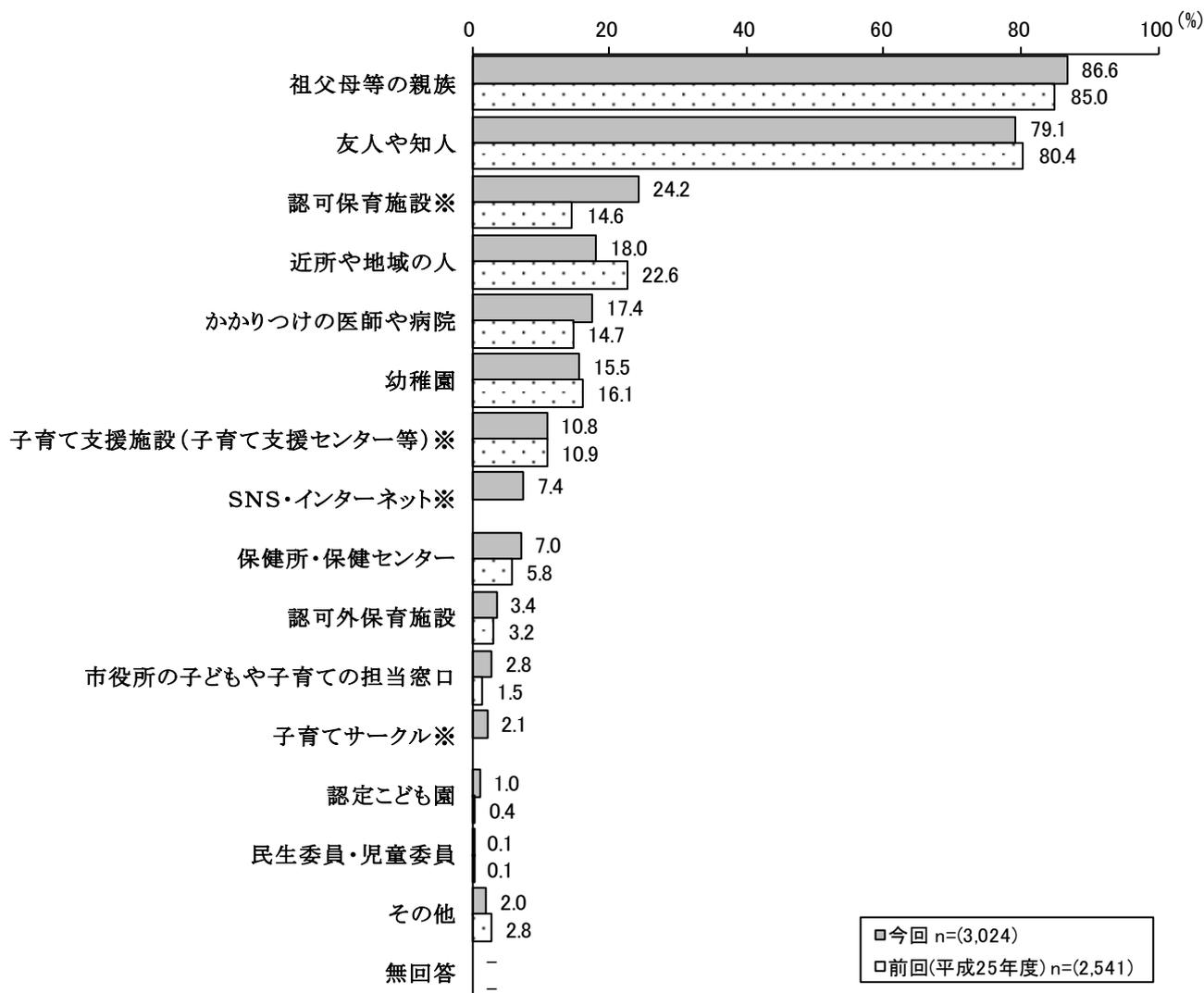
子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「子育て支援施設（子育て支援センター等）」の割合が少なくなり、「幼稚園」「認定こども園」の割合が多くなっています。また、0歳児は「SNS・インターネット」の割合が高くなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「近所や地域の人」「幼稚園」の割合が少ない一方で「認可保育施設」の割合が多くなっています。未就労では「幼稚園」の割合が多くなっています。

図表15 子どもの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる相手、場所（複数回答）



図表16 子どもの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる相手、場所（複数回答）
:前回 平成25年度調査との比較



※ 「子育て支援施設（子育て支援センター等）」「子育てサークル」は前回調査では「子育て支援施設（子育て支援センター、つどいの広場等）・子育てサークル」として1つの選択肢（グラフ上では「子育て支援施設（子育て支援センター等）」）

「認可保育施設」は前回調査では「認可保育所」

「SNS・インターネット」は今回調査のみの選択肢

図表17 子どもの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる相手、場所（複数回答）
：子どもの年齢、母親の就労状況別

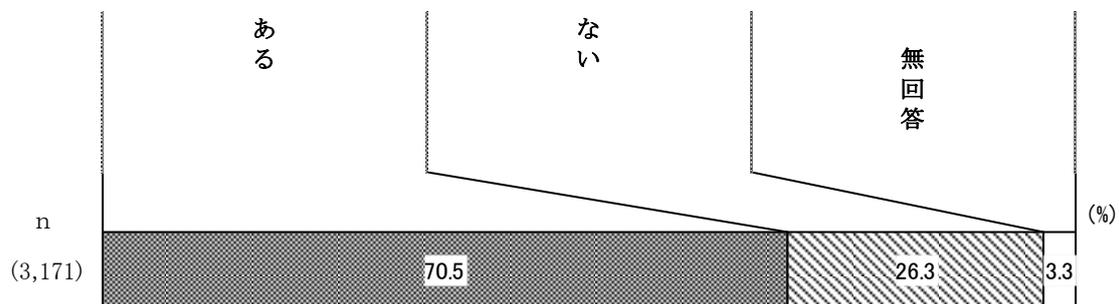
		調査数	祖父母等の親族	友人や知人	近所や地域の人	子育て支援施設(子育て支援センター等)	保健所・保健センター	幼稚園	認定こども園	認可保育施設
(単位 上段:件 下段:%)										
全体		3,024 100.0	2,620 86.6	2,393 79.1	543 18.0	327 10.8	212 7.0	470 15.5	30 1.0	731 24.2
子どもの年齢	0歳	551 100.0	494 89.7	439 79.7	82 14.9	102 18.5	56 10.2	10 1.8	2 0.4	73 13.2
	1～2歳	1,138 100.0	997 87.6	895 78.6	203 17.8	159 14.0	81 7.1	40 3.5	6 0.5	318 27.9
	3歳以上	1,268 100.0	1,079 85.1	1,006 79.3	241 19.0	63 5.0	72 5.7	403 31.8	22 1.7	320 25.2
母親の就労状況	フルタイム	1,065 100.0	927 87.0	820 77.0	138 13.0	94 8.8	69 6.5	29 2.7	9 0.8	507 47.6
	パート・アルバイト等	570 100.0	481 84.4	470 82.5	112 19.6	43 7.5	39 6.8	107 18.8	6 1.1	188 33.0
	未就労	1,304 100.0	1,137 87.2	1,032 79.1	273 20.9	184 14.1	98 7.5	318 24.4	15 1.2	20 1.5

		認可外保育施設	院 かかりつけの医師や病	子育てサークル	民生委員・児童委員	市役所の子どもや子育ての担当窓口	SNS・インターネット	その他	無回答
全体		103 3.4	527 17.4	62 2.1	4 0.1	84 2.8	224 7.4	59 2.0	1 0.0
子どもの年齢	0歳	9 1.6	131 23.8	5 0.9	1 0.2	17 3.1	80 14.5	5 0.9	-
	1～2歳	54 4.7	212 18.6	40 3.5	1 0.1	38 3.3	73 6.4	23 2.0	1 0.1
	3歳以上	38 3.0	174 13.7	17 1.3	1 0.1	28 2.2	67 5.3	24 1.9	-
母親の就労状況	フルタイム	38 3.6	210 19.7	5 0.5	-	22 2.1	72 6.8	23 2.2	-
	パート・アルバイト等	33 5.8	111 19.5	13 2.3	1 0.2	15 2.6	49 8.6	11 1.9	-
	未就労	30 2.3	187 14.3	42 3.2	3 0.2	45 3.5	95 7.3	23 1.8	1 0.1

問11 あて名のお子さんに限らず、妊娠中あるいは出産後（生後4か月程度まで）、子育てをしていて困ったこと、不安になったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

70.5%が妊娠中や出産後に困ったこと、不安になったことが「ある」と回答しています。

図表18 妊娠中や出産後に困ったこと、不安になったことの有無

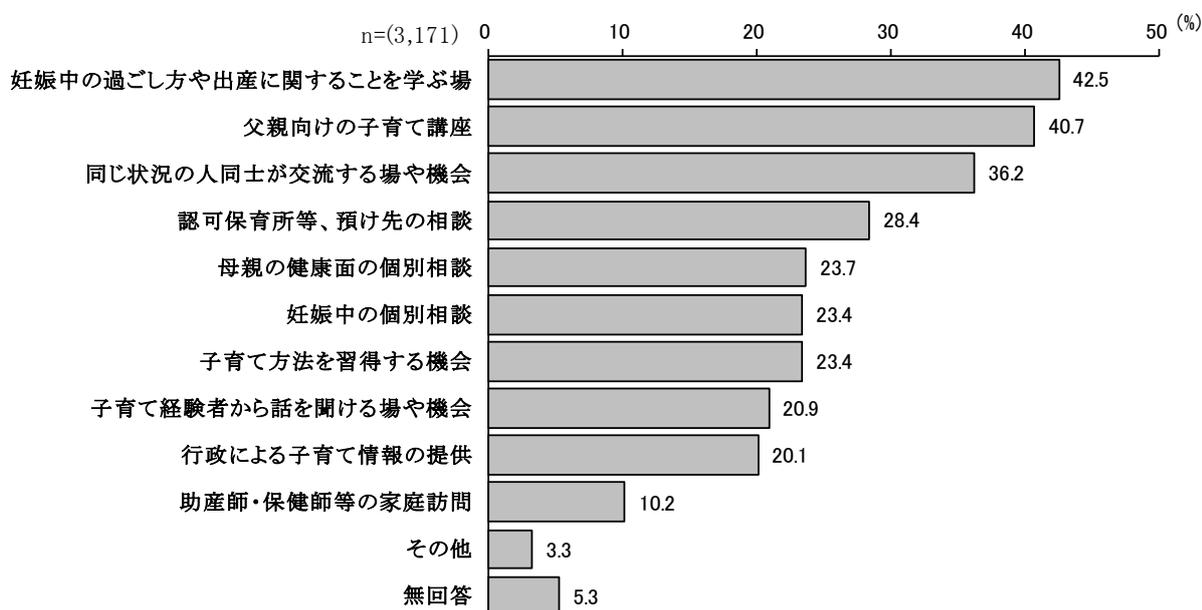


問12 妊娠中や出産後（生後4か月程度まで）に必要なサポートとはどのようなものだと思いますか。それぞれ、主なものとして当てはまる番号3つに○をつけてください。

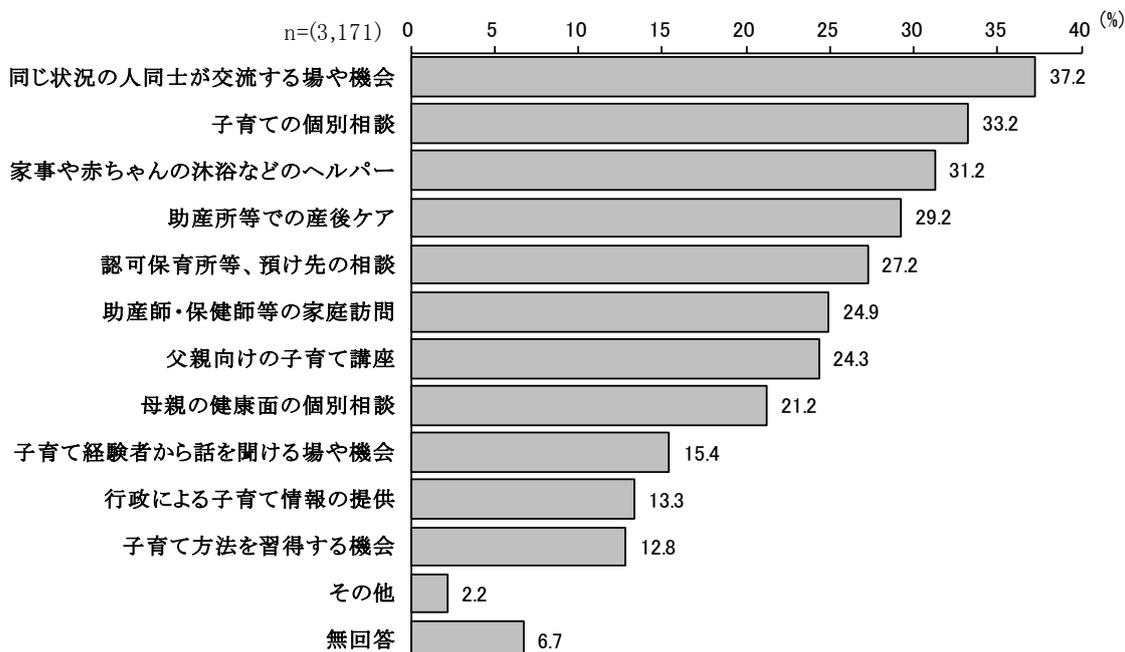
妊娠中に必要なサポートについて、「妊娠中の過ごし方や出産に関することを学ぶ場」が42.5%と最も多く、次いで「父親向けの子育て講座」（40.7%）、「同じ状況の人同士が交流する場や機会」（36.2%）の順となっています。

出産後に必要なサポートについて、「同じ状況の人同士が交流する場や機会」が37.2%と最も多く、次いで「子育ての個別相談」（33.2%）、「家事や赤ちゃんの沐浴などのヘルパー」（31.2%）の順となっています。

図表19 妊娠中に必要なサポート(複数回答)



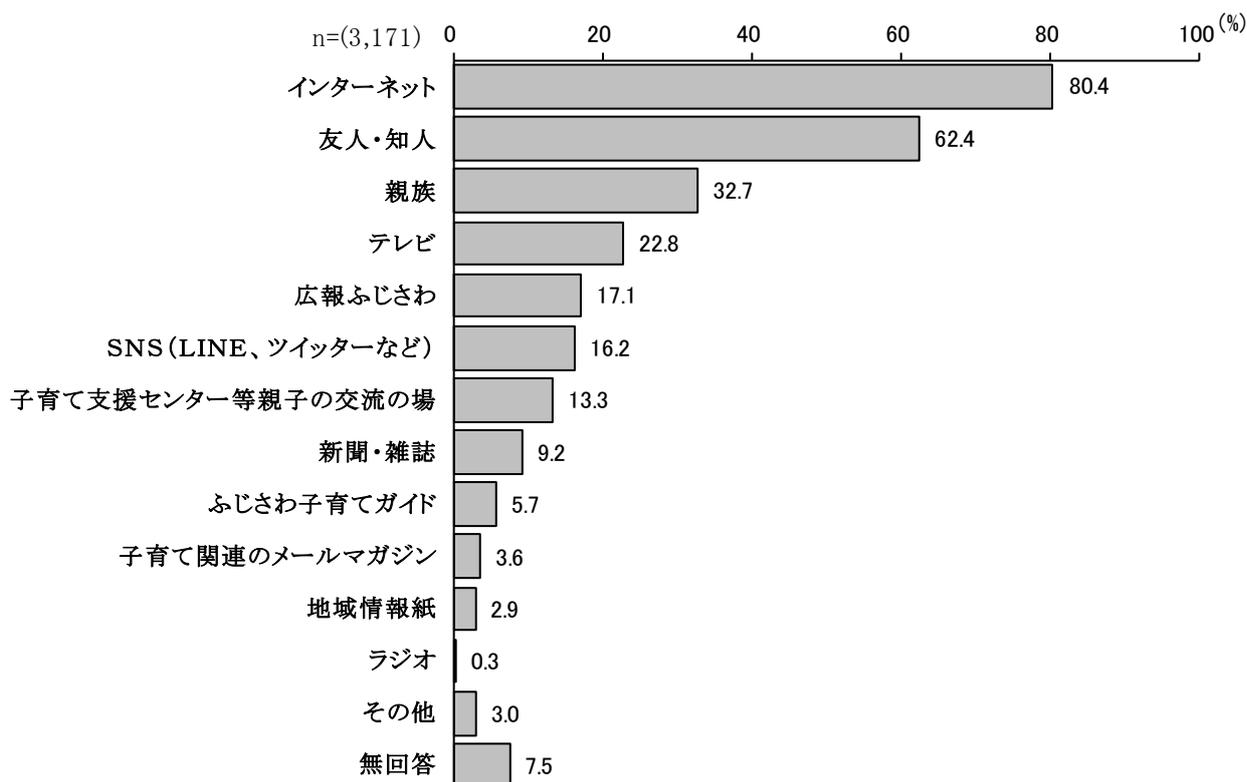
図表20 出産後に必要なサポート(複数回答)



問13 子ども・子育てに関する情報の入手先についてお答えください。主なものとして当てはまる番号3つに○をつけてください。

子ども・子育てに関する情報の入手先について、「インターネット」が80.4%と最も多く、次いで「友人・知人」(62.4%)、「親族」(32.7%)の順となっています。

図表21 子ども・子育てに関する情報の入手先(複数回答)



4. 保護者の就労状況について

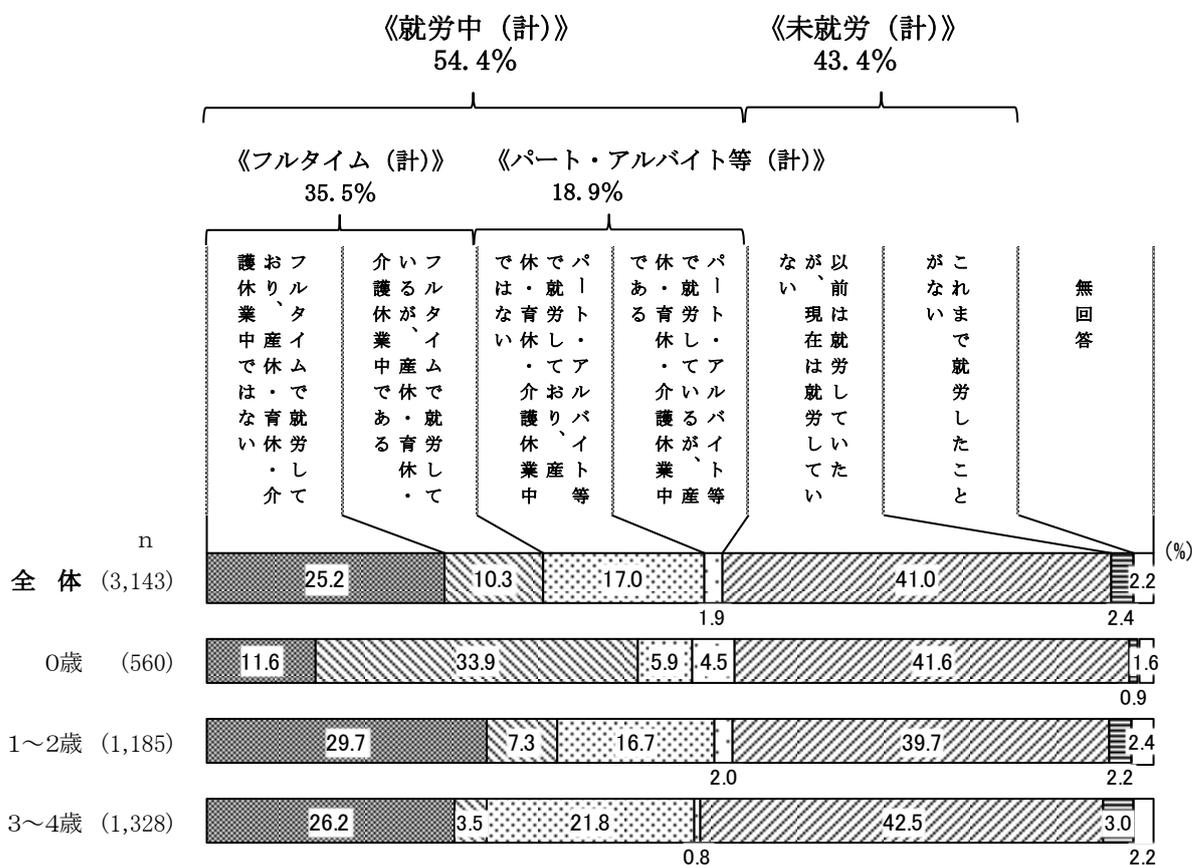
問14【母親の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）をおたずねします】
 問14-① 就労状況と就労時間をお答えください。

就労中（産休・育休・介護休業中を含む）の母親は、54.4%となっています。

子どもの年齢別にみると、子どもが0歳では、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が33.9%と多いですが、子どもの年齢が上がるにつれて少なくなります。

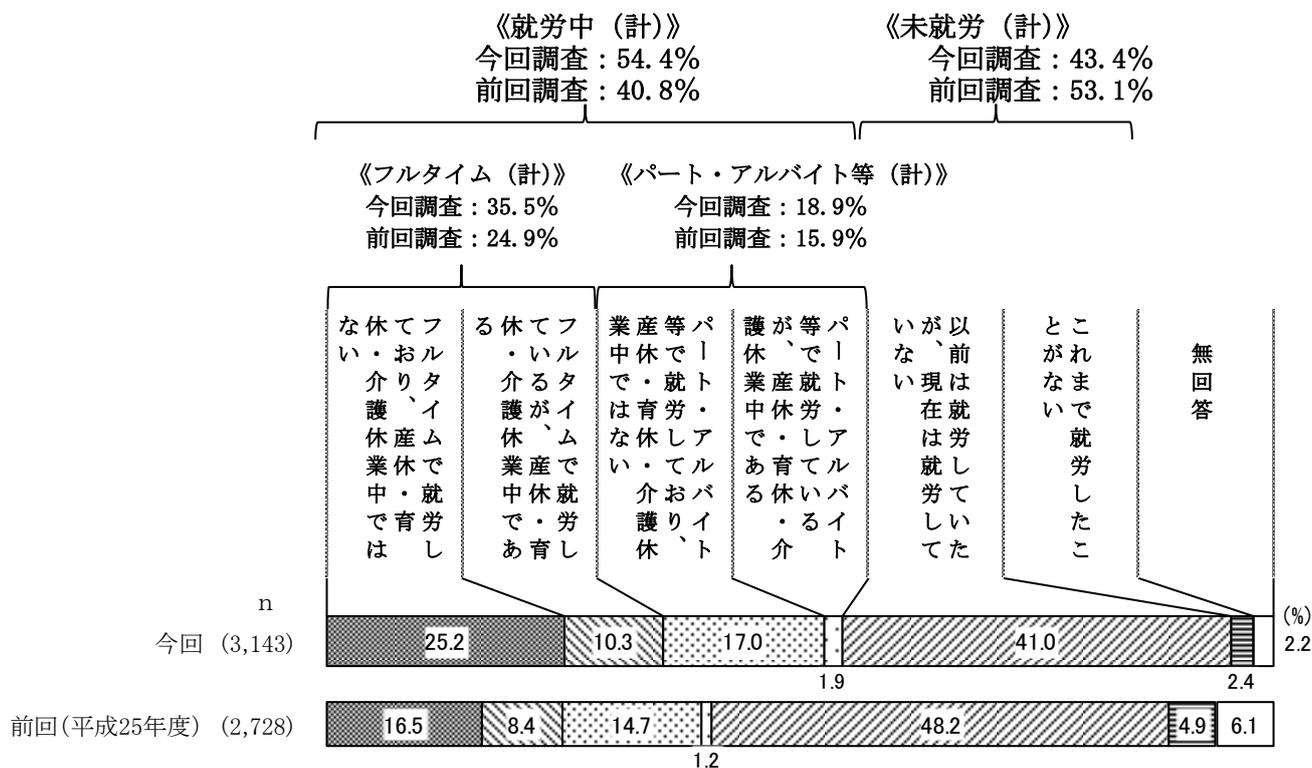
また、フルタイム就労の合計は35.5%、パート・アルバイト等で就労の合計は18.9%ですが、子どもの年齢が上がるにつれてフルタイム就労の割合が少なくなり、パート・アルバイト等で就労の割合が増えています。

図表22 母親の就労状況：子どもの年齢別



前回調査と比べると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が少なくなり、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が多くなっています。その結果《就労中（計）》が13.6ポイント多くなり、《未就労（計）》が9.7ポイント少なくなりました。

図表23 母親の就労状況:前回 平成25年度調査との比較

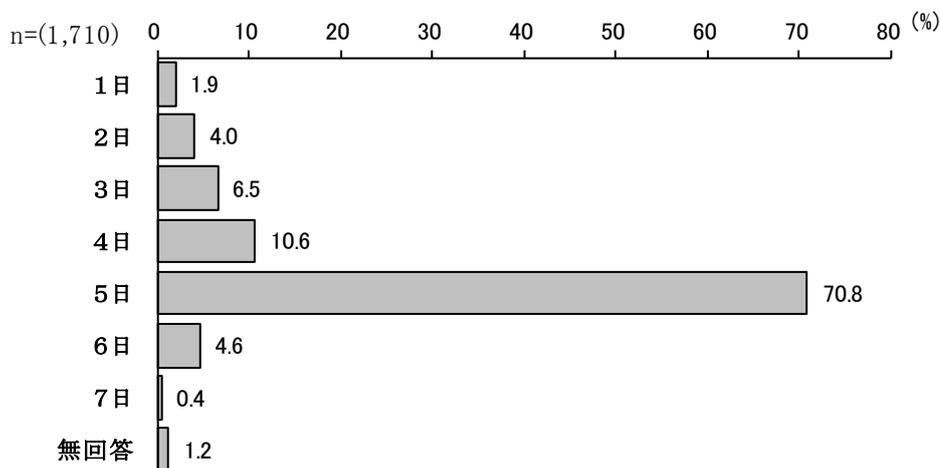


第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

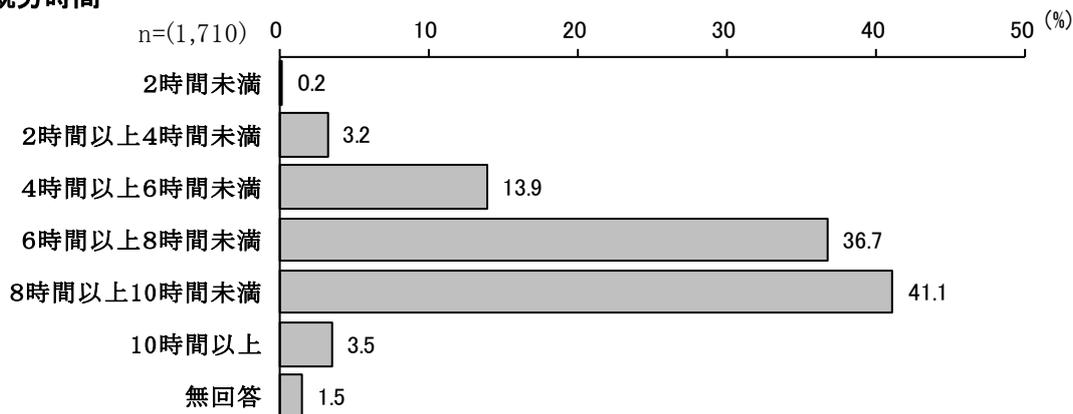
就労していると回答した母親の1週当たりの就労日数については、「5日」が70.8%と最も多くなっています。

また、1日当たりの就労時間については、「8時間以上10時間未満」の41.1%と「6時間以上8時間未満」の36.7%が特に多くなっています。

図表24 母親の就労日数



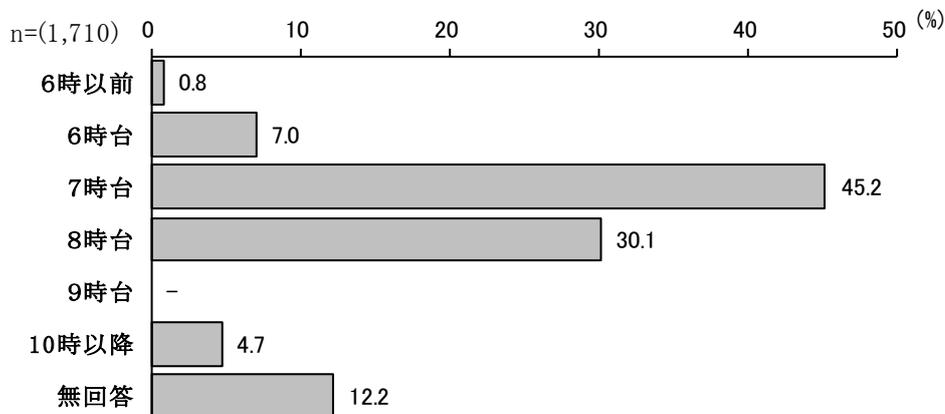
図表25 母親の就労時間



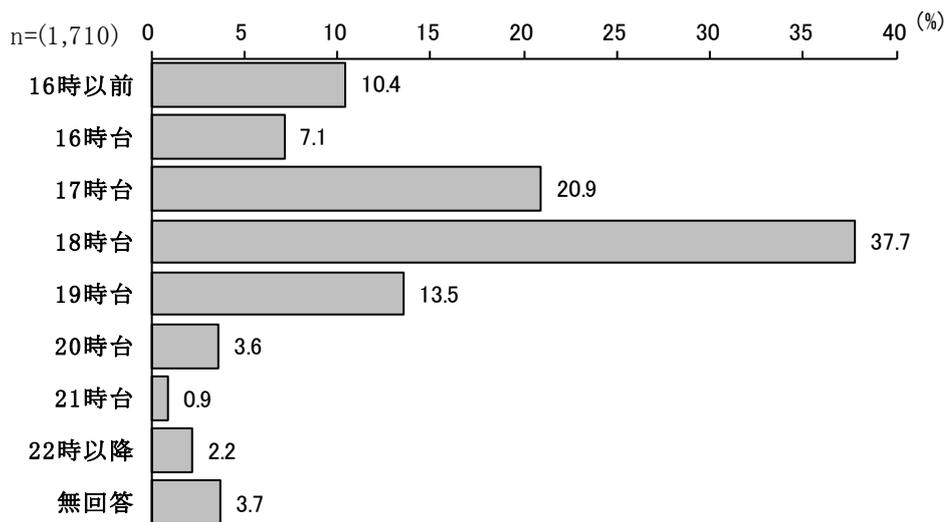
就労していると回答した母親の家を出る時刻については、「7時台」の45.2%が特に多くなっています。

また、帰宅時刻については、「18時台」（37.7%）が特に多くなっています。

図表26 母親の出勤時間



図表27 母親の帰宅時間

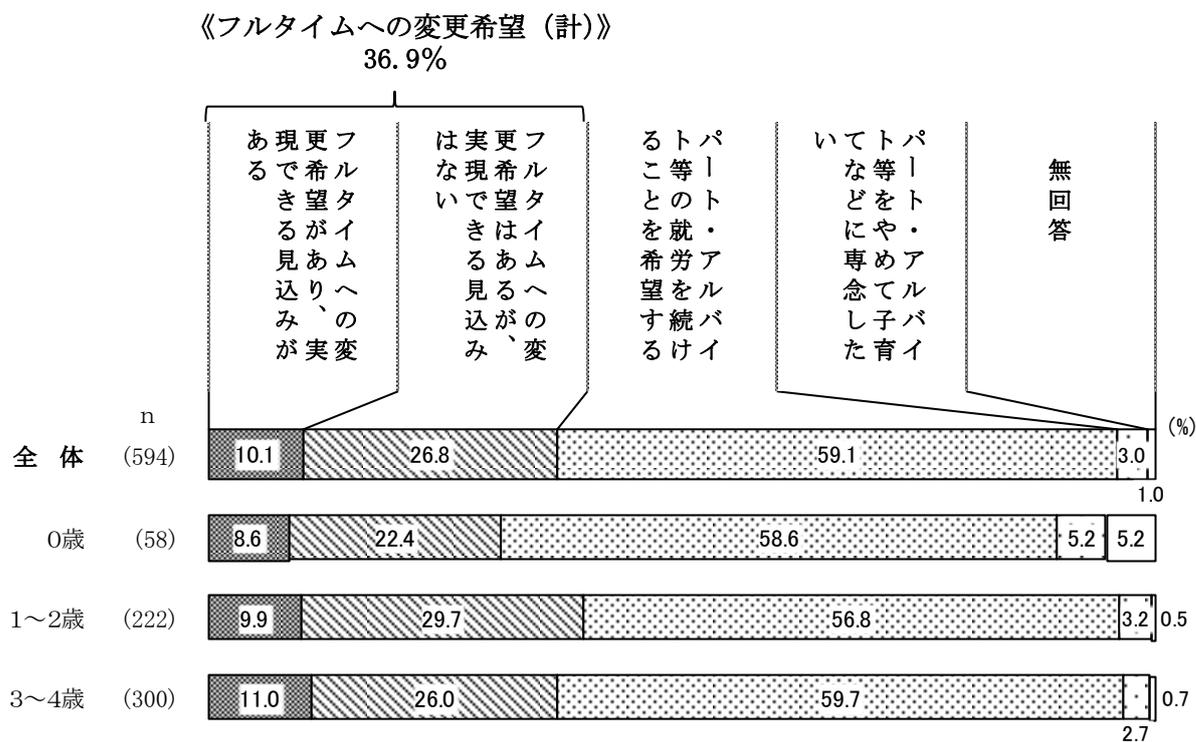


問14-② 問14-①で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した母親におたずねします。フルタイムへの変更希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの変更希望（「フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない」含む）は36.9%となっています。

子どもの年齢による回答の差はみられません。

図表28 母親のフルタイムへの変更希望：子どもの年齢別

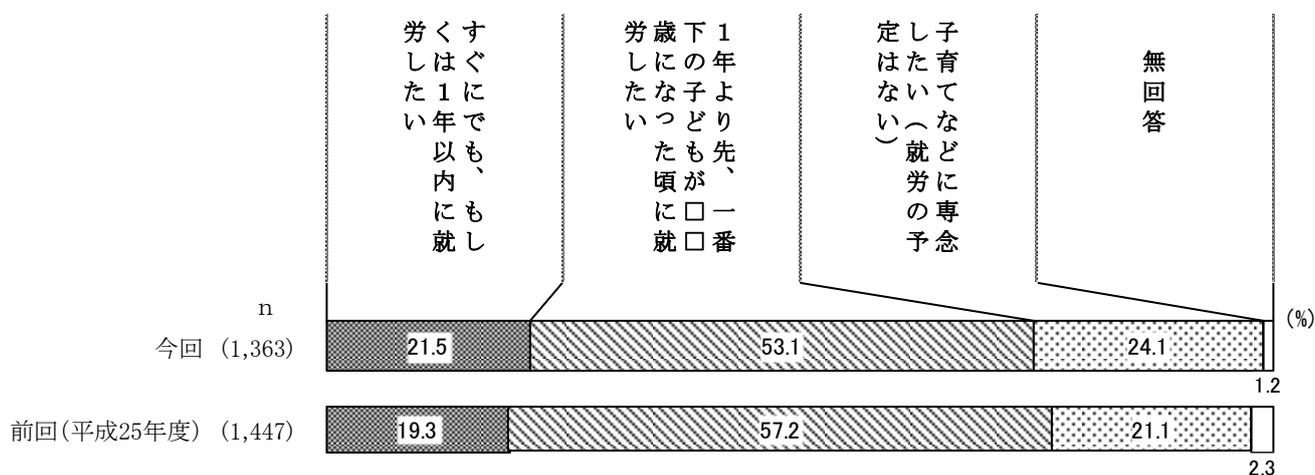


問 14-③ 問 14-①で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した母親におたずねします。
 「就労の希望」と就労を希望する場合の「希望の就労形態」をお答えください。

現在就労していない母親の就労希望について、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」が53.1%で最も多くなっています。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は24.1%となっています。

前回調査と比べると「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「子育てなどに専念したい（就労の予定はない）」が微増し、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」は微減していますが、大きな差は生じていません。

図表29 母親の就労希望:前回 平成25年度調査との比較

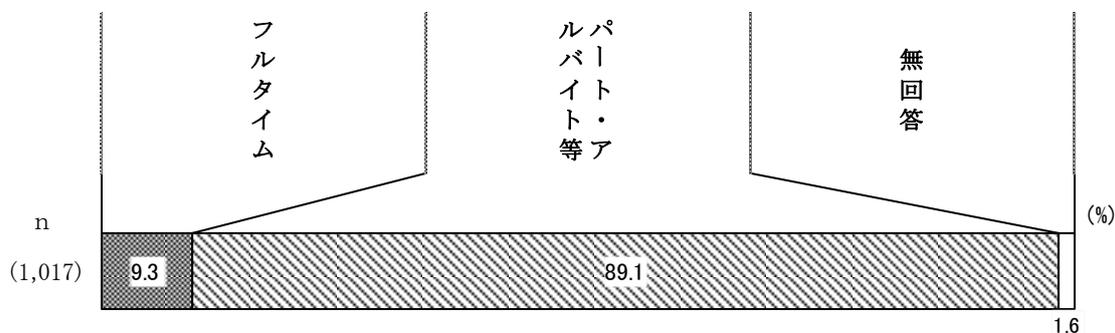


「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」を選んだ方の希望の就労形態等

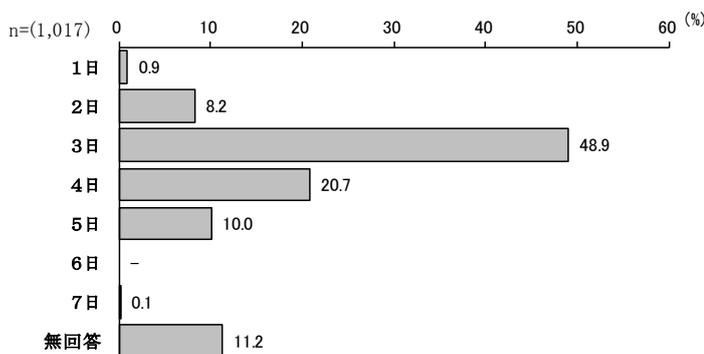
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」または、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」と回答した母親の希望する就労形態では、「フルタイム」が9.3%、「パート・アルバイト等」が89.1%となっています。

パート・アルバイト等での1週間の就労希望日数は、「3日」が48.9%で最も多くなっています。また、1日当たりの就労時間の希望では、「4時間以上6時間未満」が62.3%で最も多くなっています。

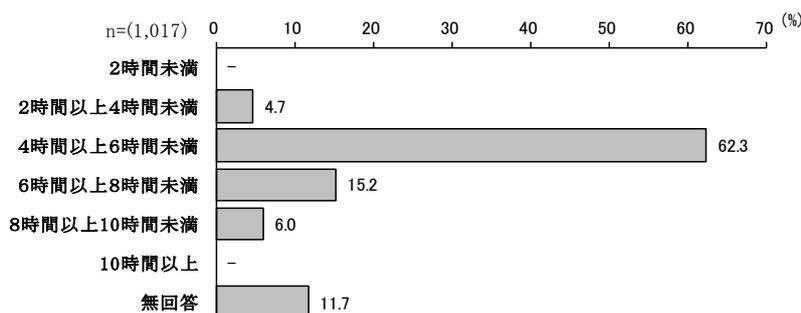
図表30 すぐに就労を希望している母親の希望する就労形態



図表31 母親の希望する1週当たりの就労日数



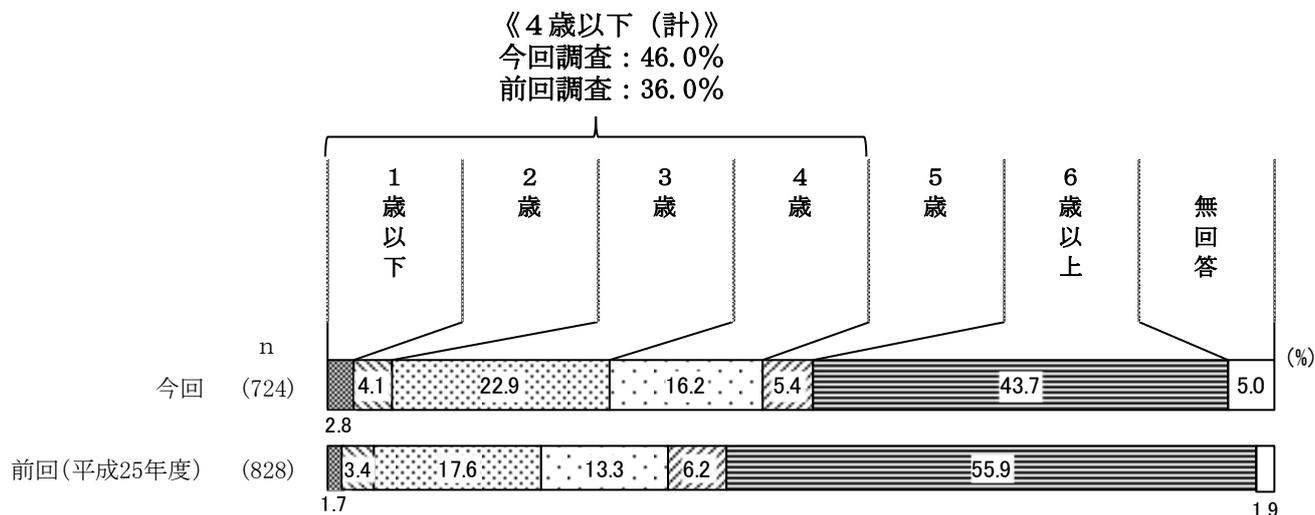
図表32 母親の希望する1日当たりの就労時間



「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」と回答した方の就労を希望する子どもの年齢については6歳以上（43.7%）と3歳（22.9%）の割合が多くなっています。

前回調査と比べると6歳以上の割合が12.2ポイント少なくなり、4歳以下の割合が10.0ポイント多くなっています。特に3歳は5.3ポイント多くなっています。

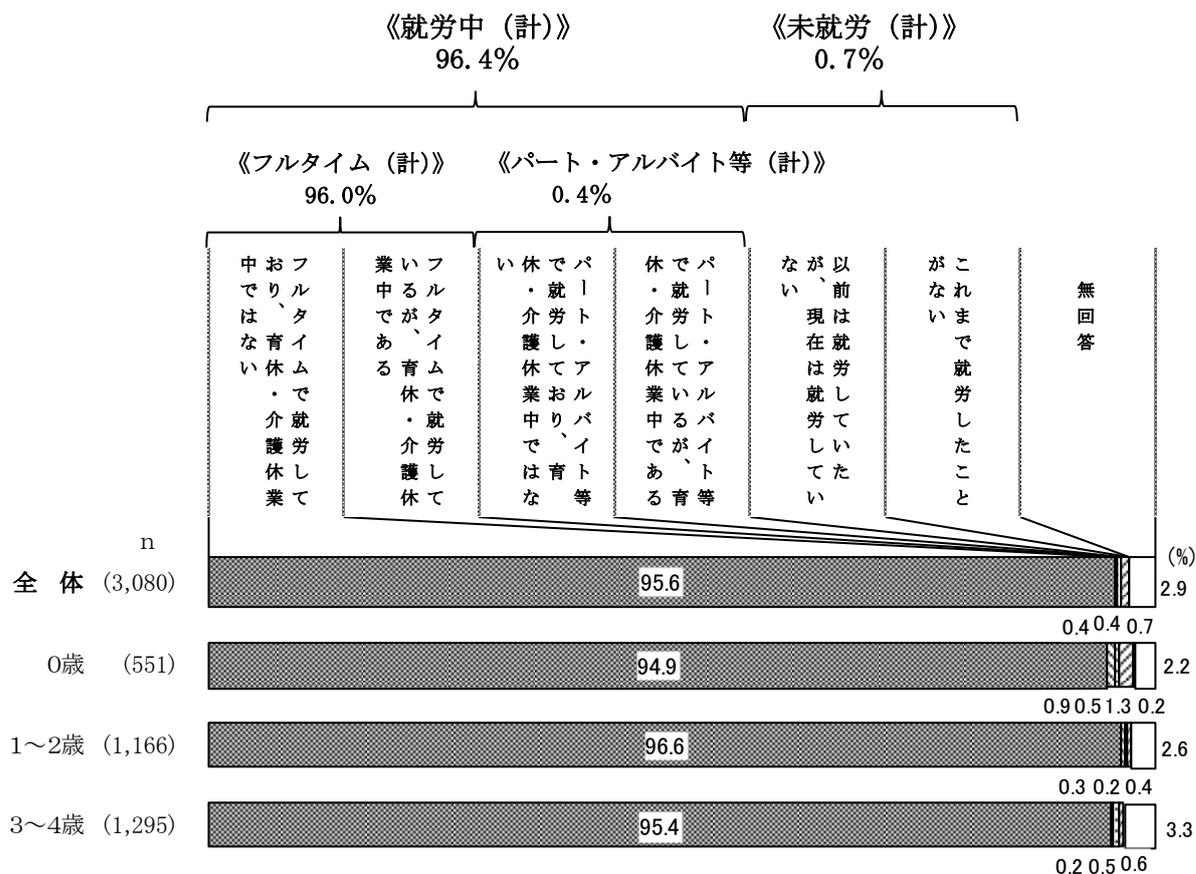
図表33 就労を希望する子どもの年齢：前回 平成25年度調査との比較



問15【父親の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）をおたずねします】
 問15-① 就労状況と就労時間をお答えください

就労中（産休・育休・介護休業中を含む）の父親は、96.4%となっています。
 子どもの年齢にかかわらず9割台が就労中（産休・育休・介護休業中を含む）となっています。

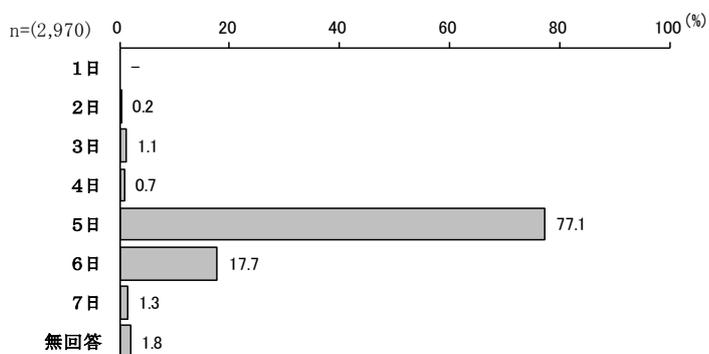
図表34 父親の就労状況:子どもの年齢別



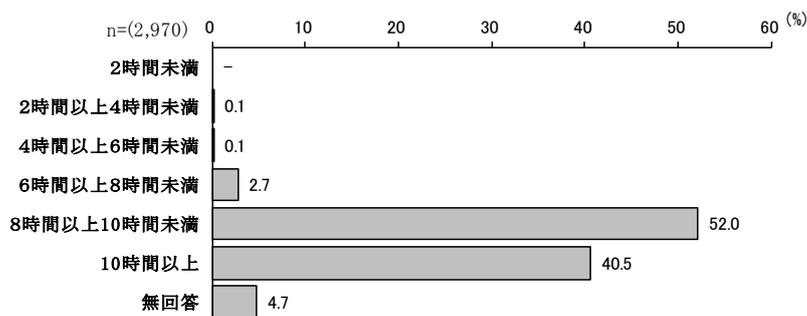
就労していると回答した父親の1週当たりの就労日数については、「5日」が77.1%と最も多くなっています。

また、1日当たりの就労時間については、「8時間以上10時間未満」（52.0%）と「10時間以上」（40.5%）が特に多くなっています。

図表35 父親の就労日数



図表36 父親の就労時間

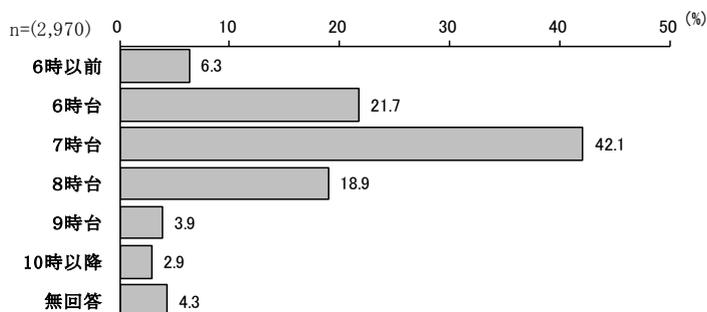


第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

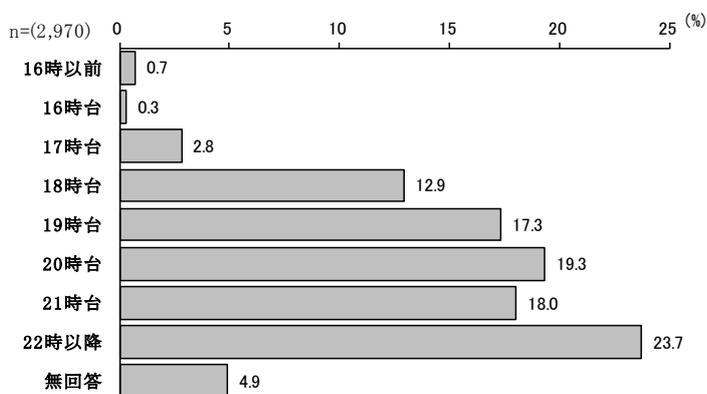
就労していると回答した父親の家を出る時刻については、「7時台」（42.1%）、「6時台」（21.7%）、「8時台」（18.9%）が特に多くなっています。

また、帰宅時刻については、「22時以降」（23.7%）が特に多くなっています。

図表37 父親の出勤時間



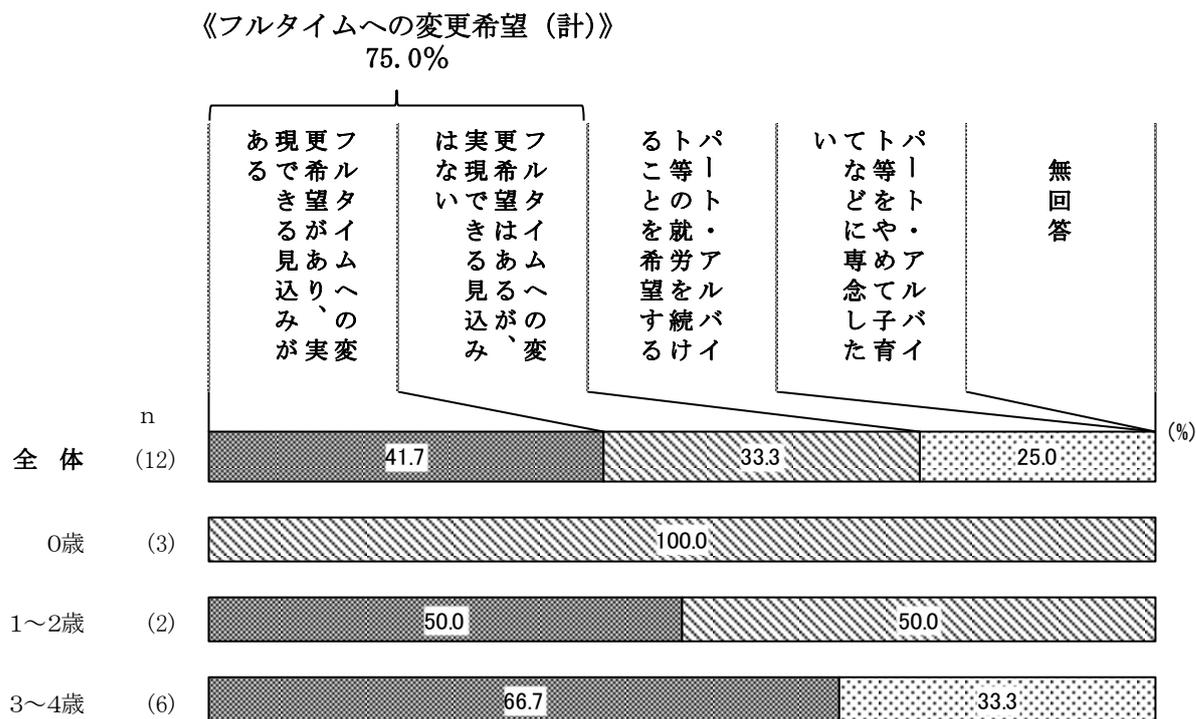
図表38 父親の帰宅時間



問15-② 問15-①で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した父親におたずねします。フルタイムへの変更希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの変更希望（「フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない」含む）は75.0%となっています。

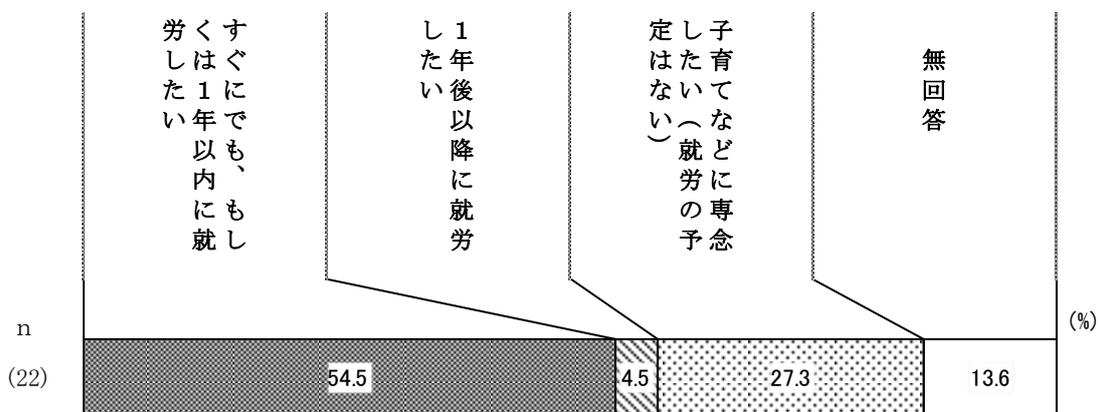
図表39 父親のフルタイムへの変更希望：子どもの年齢別



問 15-③ 問 15-①で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した父親におたずねします。
 「就労の希望」と就労を希望する場合の「希望の就労形態」をお答えください。

現在就労していない父親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が54.5%で最も多くなっています。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は27.3%となっています。

図表40 父親の就労希望

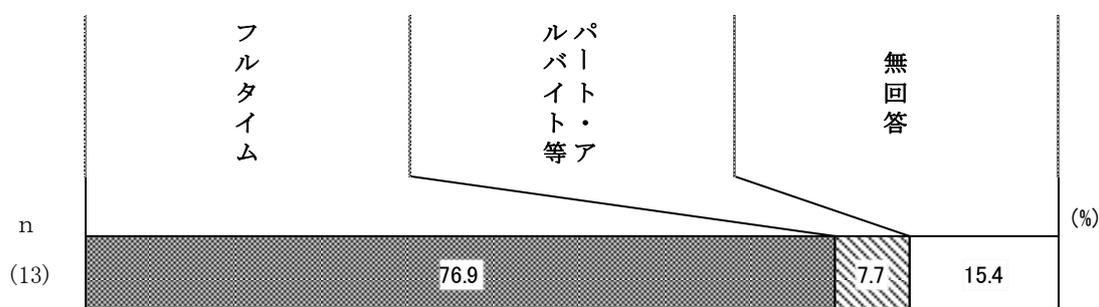


「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」を選んだ方の希望の就労形態等

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」または、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」と回答した父親の希望する就労形態では、「フルタイム」が76.9%、「パート・アルバイト等」が7.7%となっています。

1週間の就労希望日数は、「5日」が4人で最も多くなっています。また、1日当たりの就労時間の希望では、「8時間以上10時間未満」が5人で最も多くなっています。

図表41 すぐに就労を希望している父親の希望する就労形態



父親の希望する1週当たりの就労日数

- ・ 4日：1人
- ・ 5日：4人
- ・ 6日：1人
- ・ 無回答：7人

父親の希望する1日当たりの就労時間

- ・ 6時間以上8時間未満：1人
- ・ 8時間以上10時間未満：5人
- ・ 無回答：7人

就労を希望する子どもの年齢

- ・ 7歳：1人

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

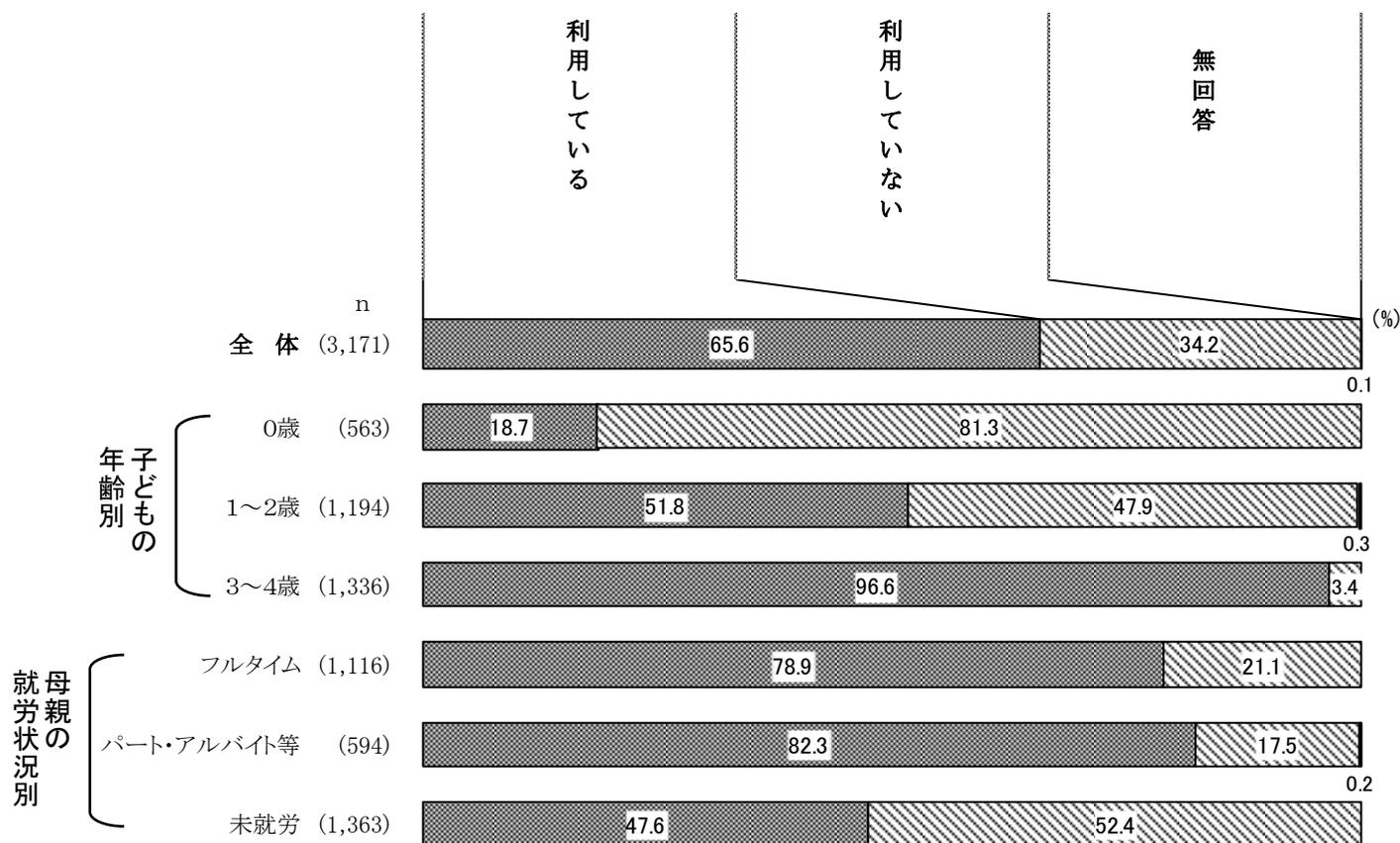
問16 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

幼稚園や保育所などの平日の定期利用は65.6%となっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が上がるにつれて利用割合が増えています。

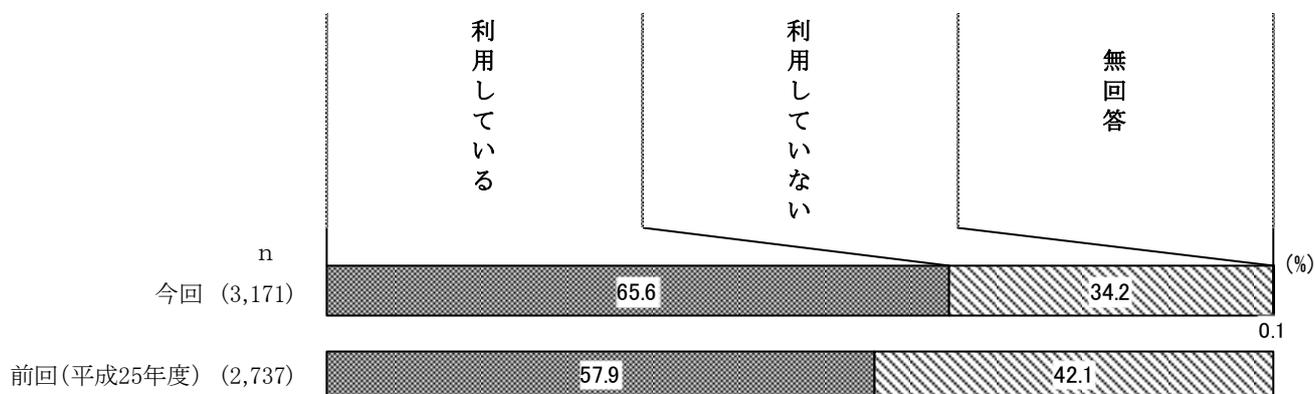
母親の就労状況別にみると、「未就労」と比べて「フルタイム」「パート・アルバイト等」は利用割合が多くなっています。

図表42 幼稚園や保育所などの平日・定期的な利用の有無：子どもの年齢、母親の就労状況別



前回調査と比べると利用割合は7.7ポイント多くなっています。

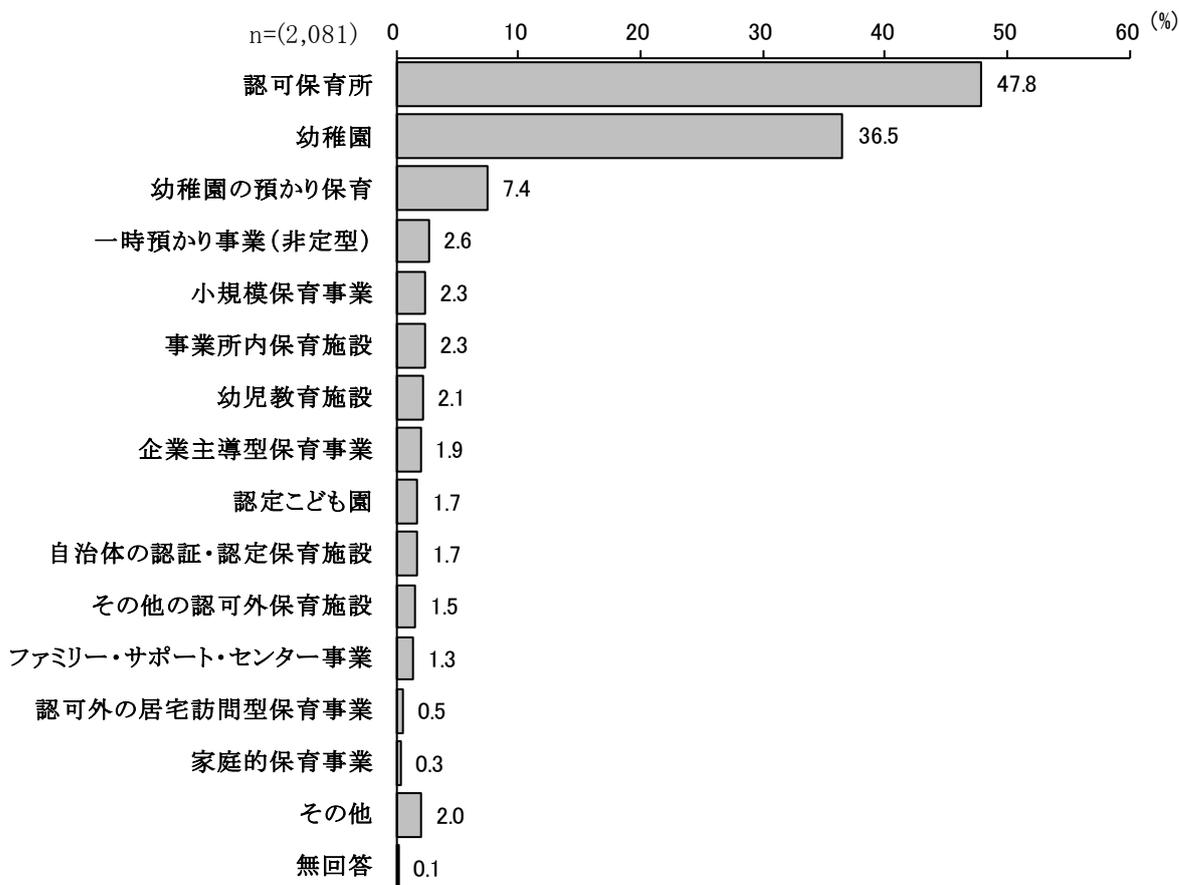
図表43 幼稚園や保育所などの平日・定期的な利用の有無:前回 平成25年度調査との比較



問17 問16で「1.利用している」に○をつけた方におたずねします
 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

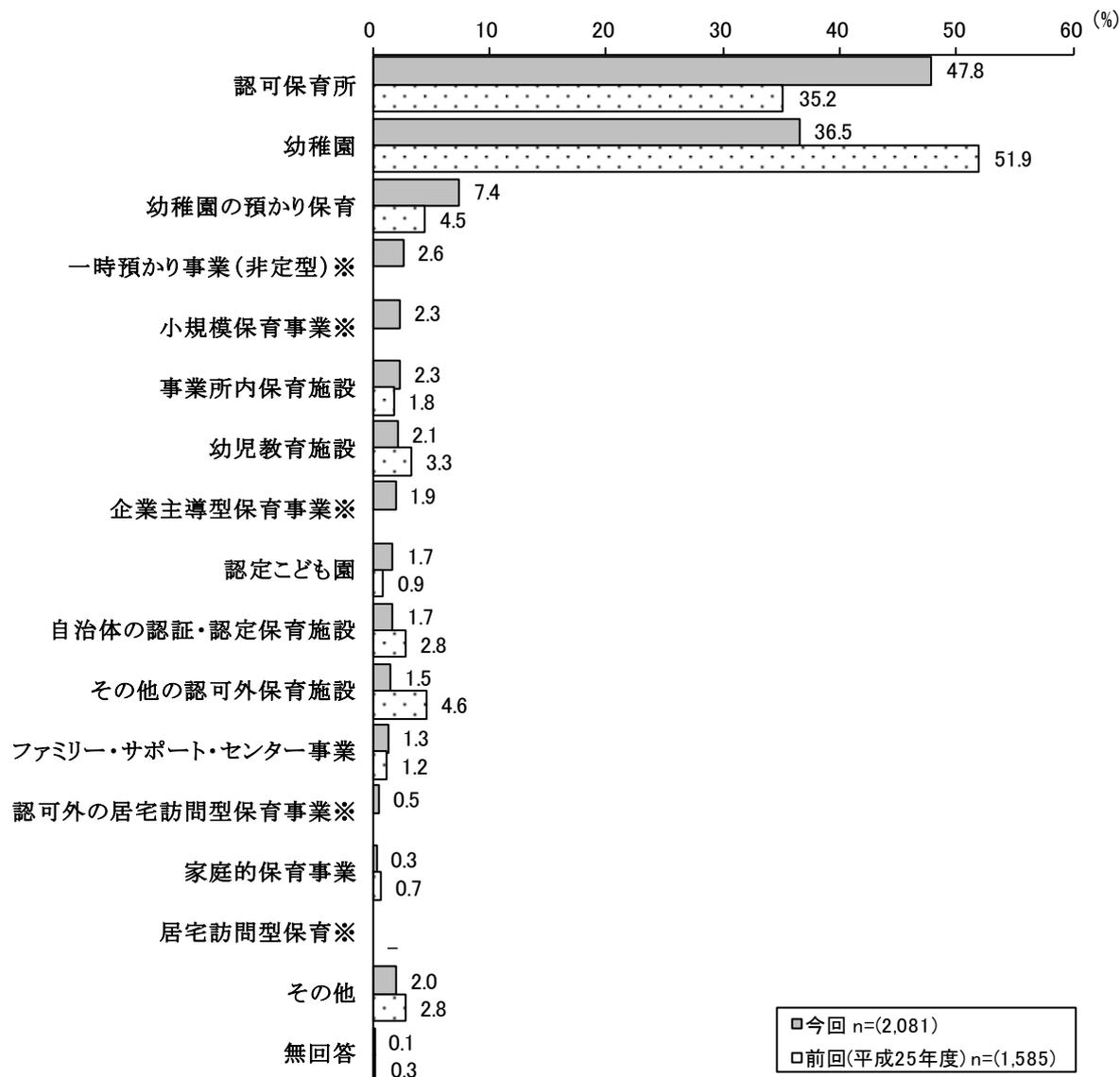
現在利用している幼稚園や保育所等の種類は、上位より「認可保育所」（47.8%）「幼稚園」（36.5%）「幼稚園の預かり保育」（7.4%）の順になっています。

図表44 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（複数回答）



前回調査と比べると上位2つは変わりませんが、「認可保育所」は12.6ポイント多く、「幼稚園」は15.4ポイント少なくなっており、順序が逆になっています。

図表45 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（複数回答）：前回 平成25年度調査との比較



※ 「一時預かり事業（非定型）」「小規模保育事業」「企業主導型保育事業」「認可外の居宅訪問型保育事業」は今回調査のみの選択肢、「居宅訪問型保育」は前回調査のみの選択肢

第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

子どもの年齢別にみると、「認可保育所」は子どもの年齢が上がるにつれて利用割合が少なくなっています。一方で「幼稚園」は子どもの年齢が上がるにつれて利用割合が多くなっています。

母親の就労状況別にみると、「認可保育所」はフルタイムの方の利用割合が多く、「幼稚園」は未就労の方の利用割合が多くなっています。

図表46 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（複数回答）：子どもの年齢、母親の就労状況別

		調査数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認定こども園	認可保育所	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業
(単位 上段:件 下段:%)										
全体		2,081 100.0	760 36.5	154 7.4	35 1.7	994 47.8	48 2.3	6 0.3	47 2.3	39 1.9
子どもの年齢	0歳	105 100.0	4 3.8	- -	- -	91 86.7	1 1.0	- -	2 1.9	3 2.9
	1～2歳	619 100.0	22 3.6	1 0.2	3 0.5	402 64.9	42 6.8	5 0.8	28 4.5	28 4.5
	3歳以上	1,291 100.0	703 54.5	149 11.5	32 2.5	473 36.6	5 0.4	- -	15 1.2	6 0.5
母親の就労状況	フルタイム	881 100.0	44 5.0	16 1.8	7 0.8	712 80.8	37 4.2	6 0.7	34 3.9	19 2.2
	パート・アルバイト等	489 100.0	150 30.7	74 15.1	11 2.2	238 48.7	8 1.6	- -	9 1.8	16 3.3
	未就労	649 100.0	538 82.9	59 9.1	17 2.6	21 3.2	2 0.3	- -	2 0.3	2 0.3

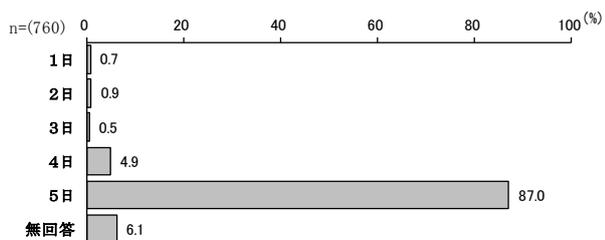
		育施設 自治体の認証・認定保	幼児教育施設	施設 その他の認可外保育	認可外の居宅訪問型 保育事業	型) 一時預かり事業(非定	ファミリー・サポート・ センター事業	その他	無回答
全体		36 1.7	44 2.1	32 1.5	11 0.5	54 2.6	28 1.3	41 2.0	3 0.1
子どもの年齢	0歳	1 1.0	- -	- -	2 1.9	3 2.9	5 4.8	- -	- -
	1～2歳	20 3.2	9 1.5	21 3.4	6 1.0	41 6.6	8 1.3	14 2.3	2 0.3
	3歳以上	14 1.1	34 2.6	11 0.9	1 0.1	10 0.8	15 1.2	25 1.9	1 0.1
母親の就労状況	フルタイム	16 1.8	4 0.5	12 1.4	6 0.7	5 0.6	19 2.2	5 0.6	1 0.1
	パート・アルバイト等	14 2.9	10 2.0	9 1.8	2 0.4	29 5.9	5 1.0	8 1.6	- -
	未就労	5 0.8	29 4.5	9 1.4	2 0.3	18 2.8	3 0.5	27 4.2	1 0.2

○をつけた教育・保育の利用状況をお答えください。○をつけた教育・保育の事業番号（1～15）を記入し、それぞれの現在の利用状況について具体的な数字をご記入ください。

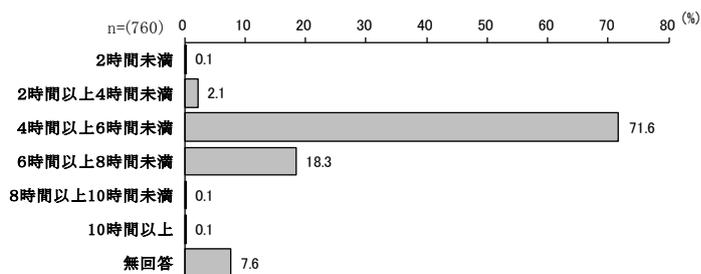
幼稚園の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「4時間以上6時間未満」、「9時」開始、「14時」終了が最も多くなっています。

図表47 1.幼稚園の利用状況

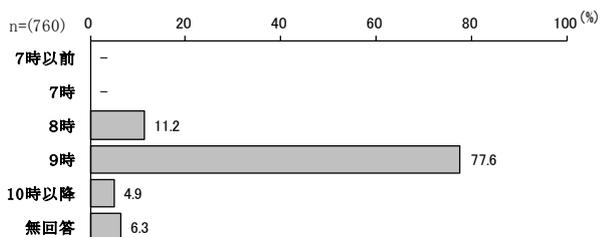
● 1週当たりの利用日数



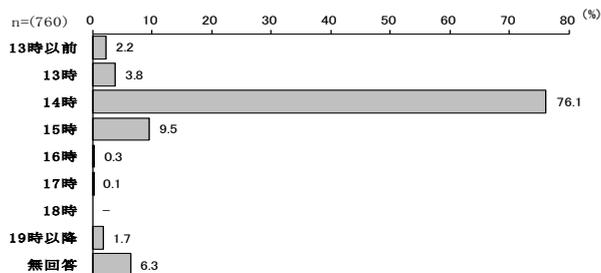
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



● 終了時間

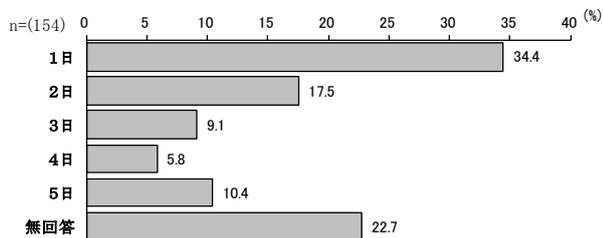


第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

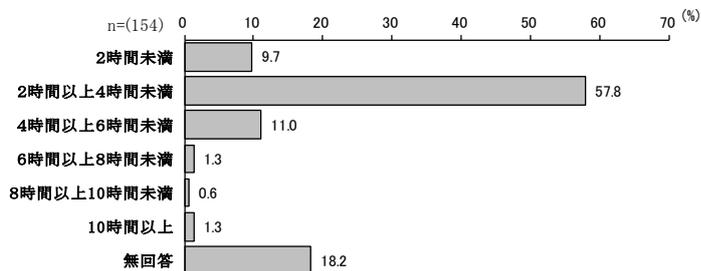
幼稚園の預かり保育の利用状況は、週当たり「1日」、1日当たり「2時間以上4時間未満」、「10時以降」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表48 2.幼稚園の預かり保育の利用状況

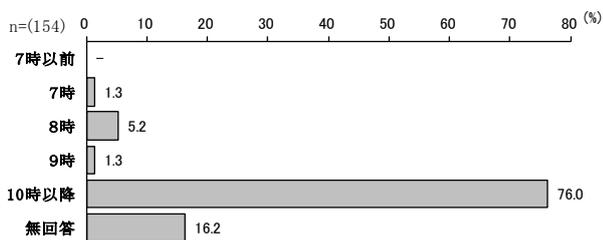
● 1週当たりの利用日数



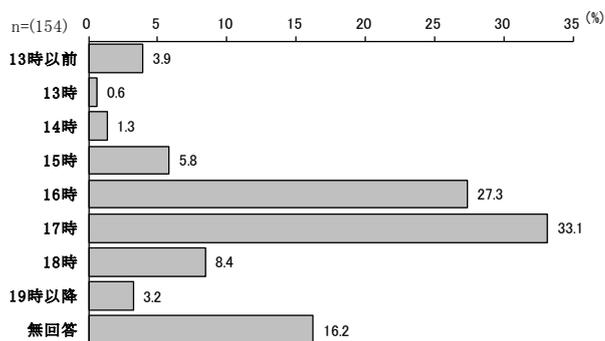
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



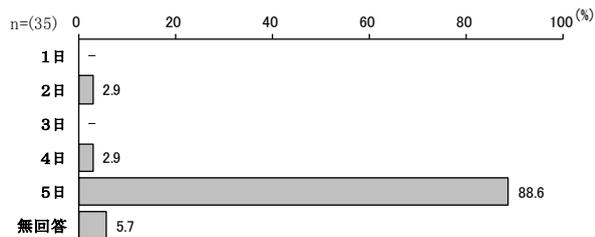
● 終了時間



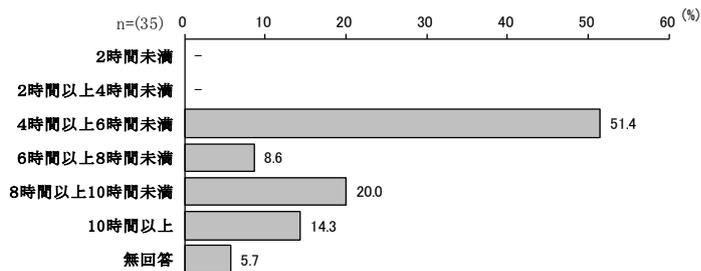
認定こども園の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「4時間以上6時間未満」、「9時」開始、「14時」終了が最も多くなっています。

図表49 3.認定こども園

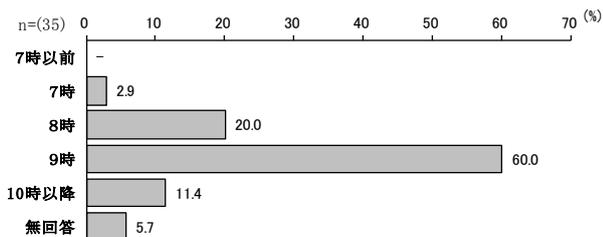
● 1週当たりの利用日数



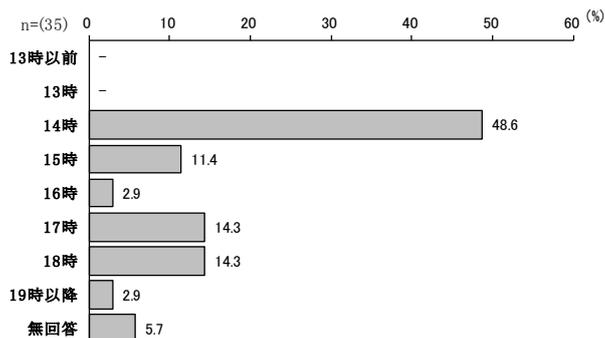
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



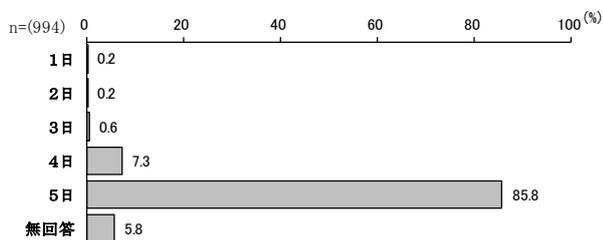
● 終了時間



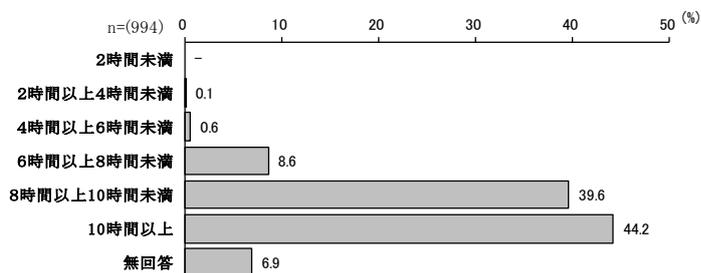
認可保育所の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「10時間以上」、「8時」開始、「18時」終了が最も多くなっています。

図表50 4. 認可保育所

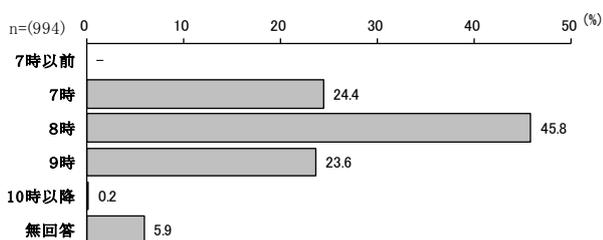
● 1週当たりの利用日数



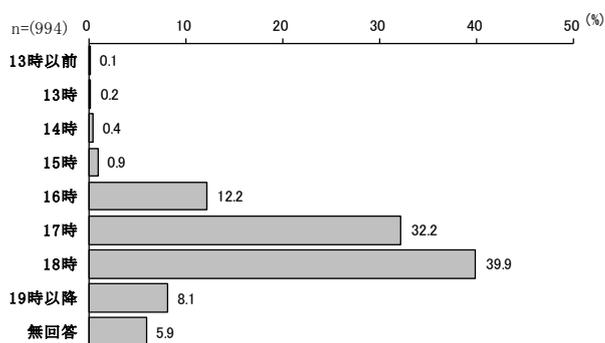
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



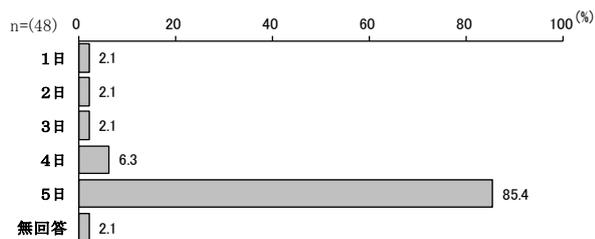
● 終了時間



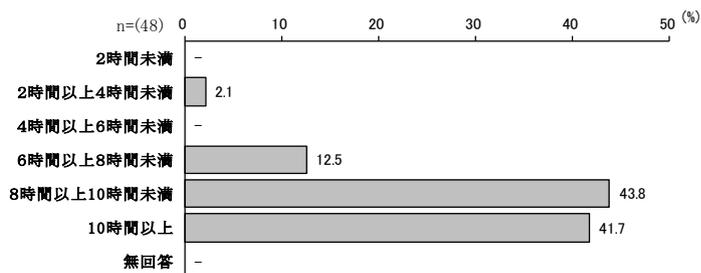
小規模保育事業の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「8時間以上10時間未満」、「8時」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表51 5. 小規模保育事業

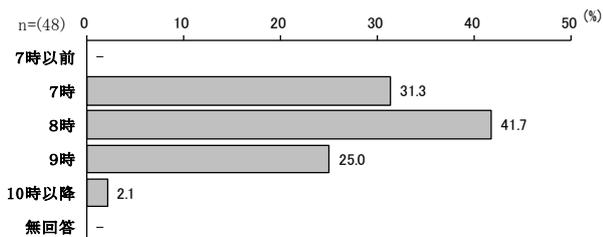
● 1週当たりの利用日数



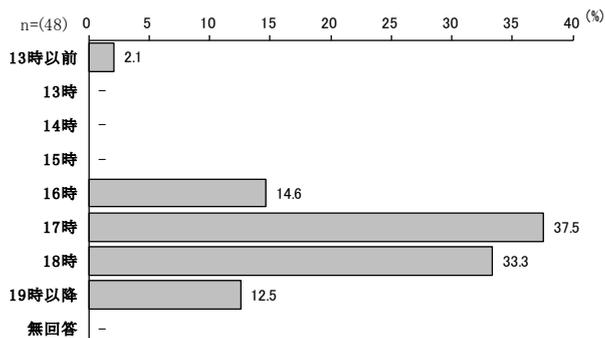
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



● 終了時間

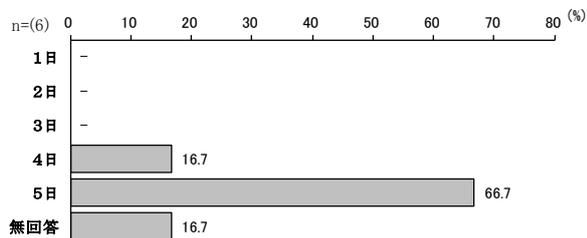


第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

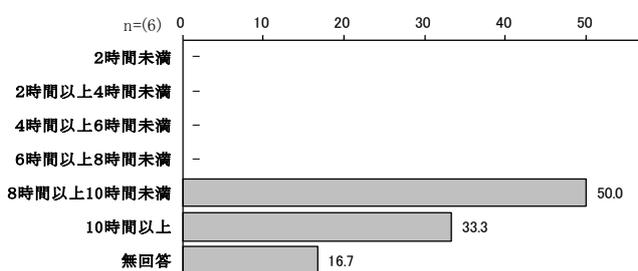
家庭的保育事業の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「8時間以上10時間未満」、「8時」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表52 6. 家庭的保育事業

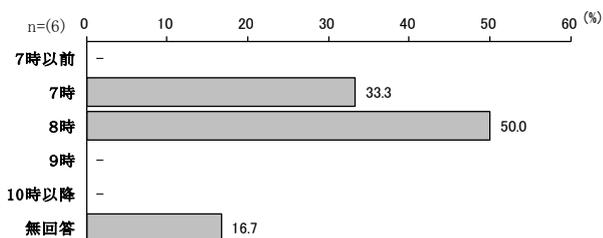
● 1週当たりの利用日数



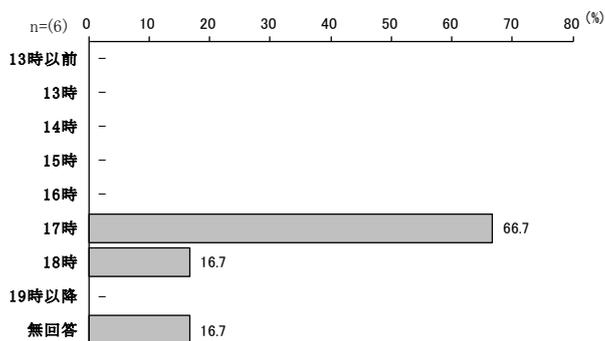
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



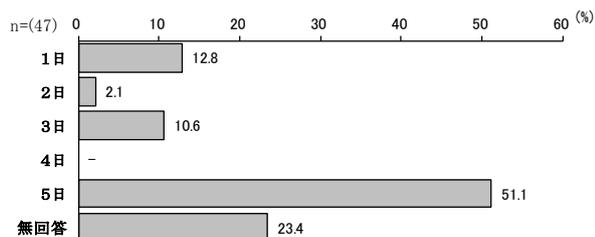
● 終了時間



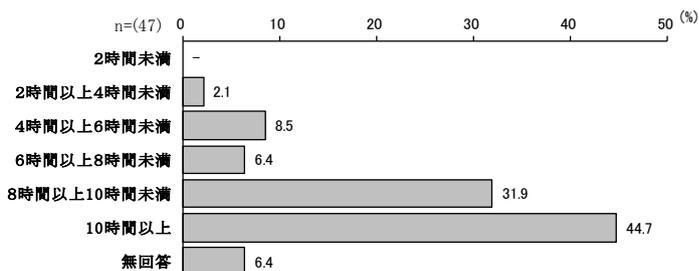
事業所内保育施設の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「10時間以上」、「8時」開始、「18時」終了が最も多くなっています。

図表53 7. 事業所内保育施設

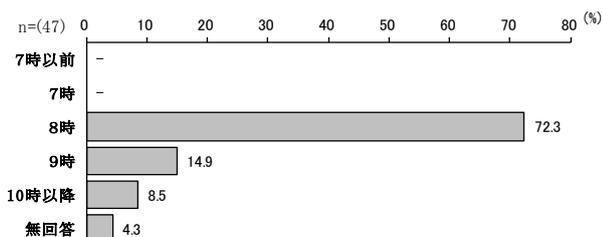
● 1週当たりの利用日数



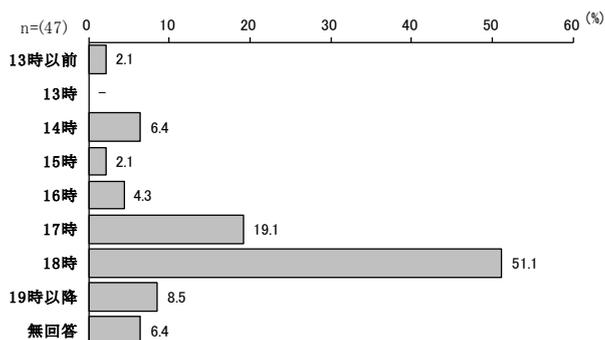
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



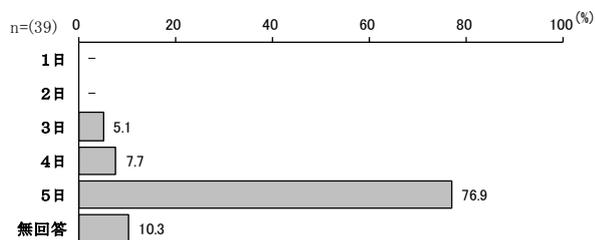
● 終了時間



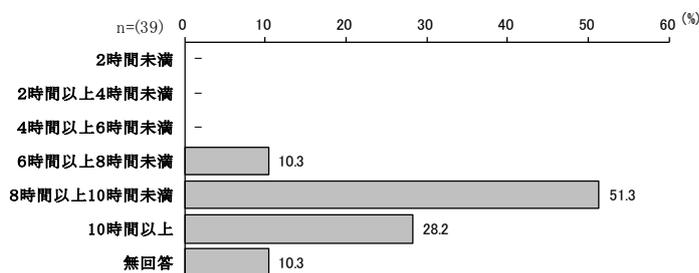
企業主導型保育事業の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「8時間以上10時間未満」、「8時」開始、「18時」終了が最も多くなっています。

図表54 8. 企業主導型保育事業

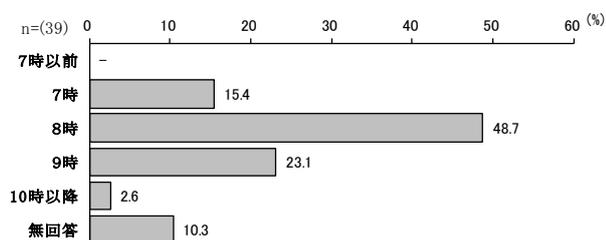
● 1週当たりの利用日数



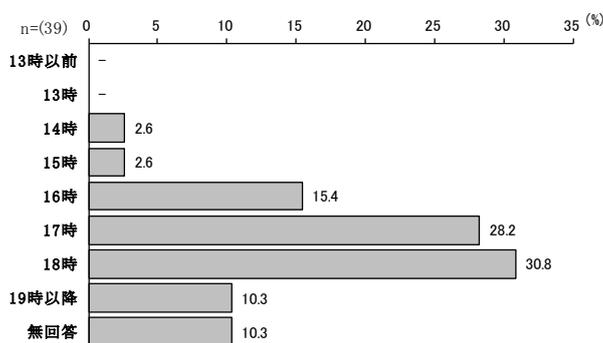
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



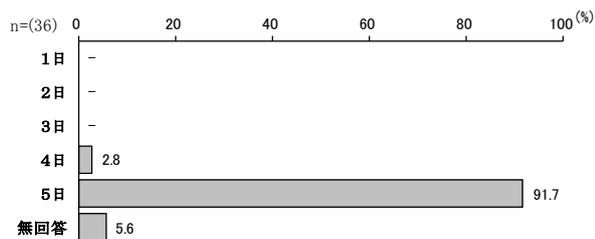
● 終了時間



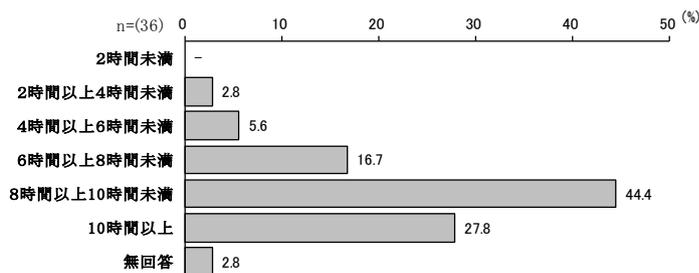
自治体の認証・認定保育施設の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「8時間以上10時間未満」、「8時」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表55 9. 自治体の認証・認定保育施設

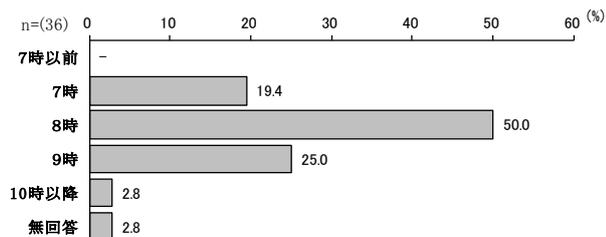
● 1週当たりの利用日数



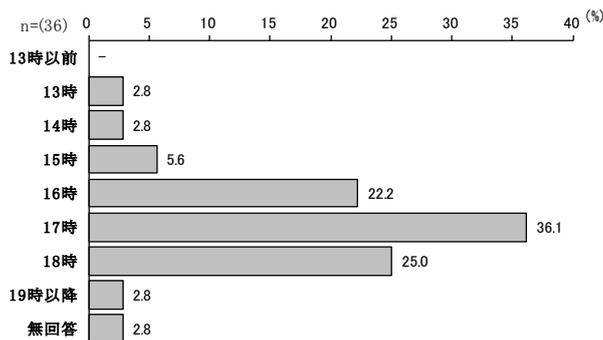
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



● 終了時間

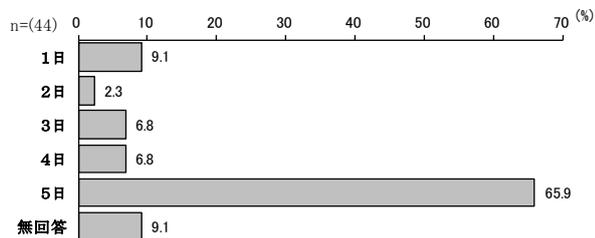


第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

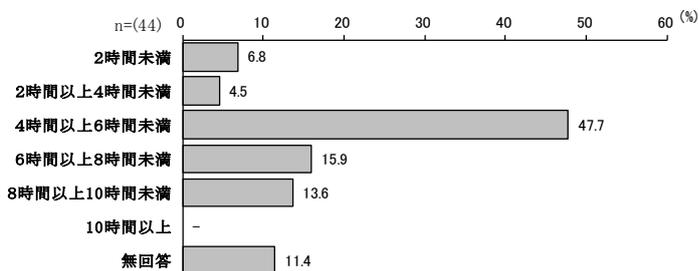
幼児教育施設の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「4時間以上6時間未満」、「9時」開始、「14時」終了が最も多くなっています。

図表56 10. 幼児教育施設

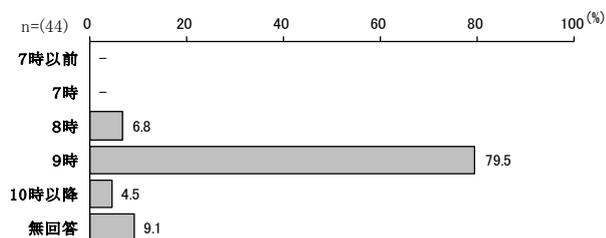
● 1週当たりの利用日数



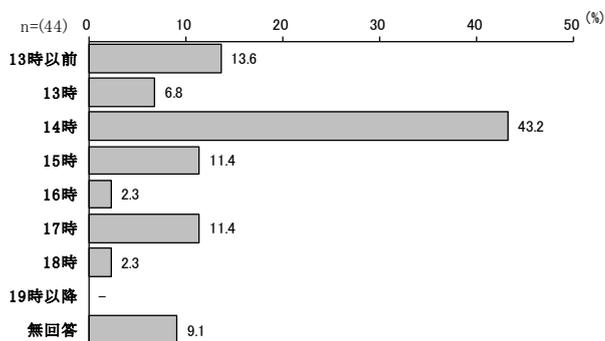
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



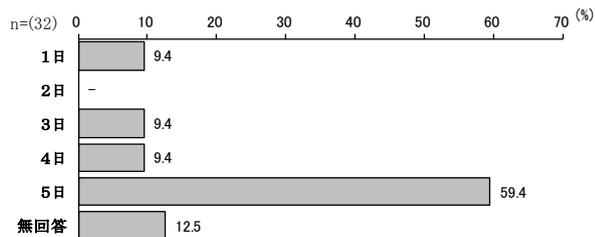
● 終了時間



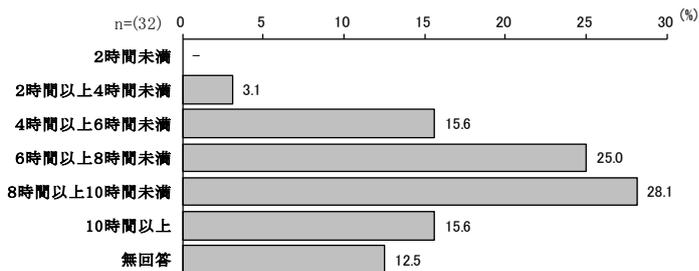
その他の認可外保育施設の利用状況は、週当たり「5日」、1日当たり「8時間以上10時間未満」、「9時」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表57 11. その他の認可外保育施設

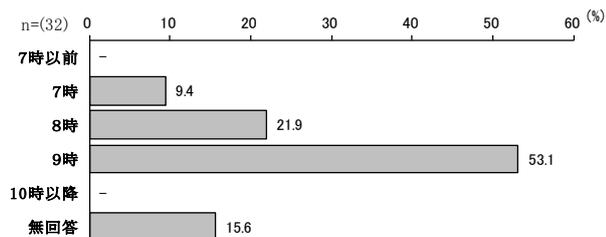
● 1週当たりの利用日数



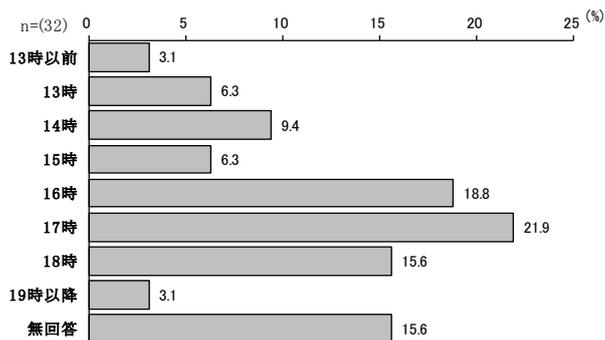
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



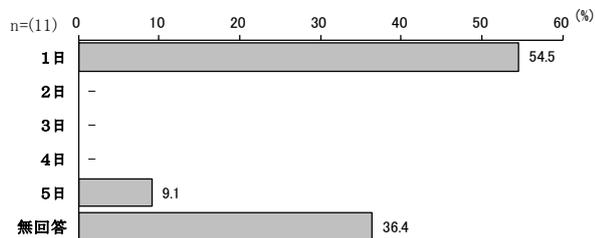
● 終了時間



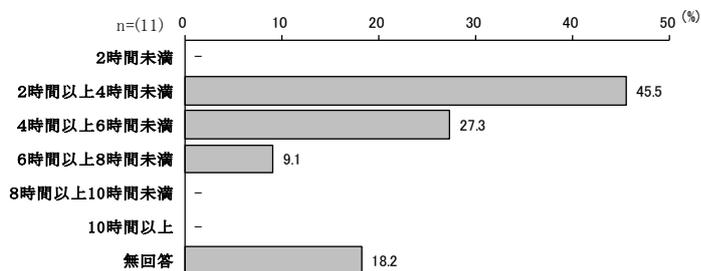
認可外の居宅訪問型保育事業の利用状況は、週当たり「1日」、1日当たり「2時間以上4時間未満」、「10時以降」開始、「19時以降」終了が最も多くなっています。

図表58 12. 認可外の居宅訪問型保育事業

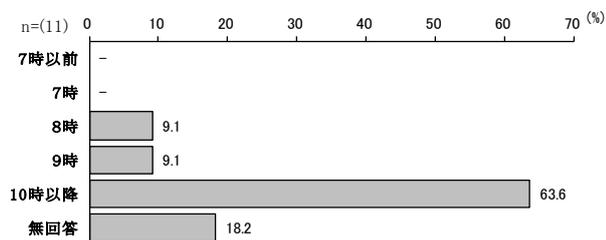
● 1週当たりの利用日数



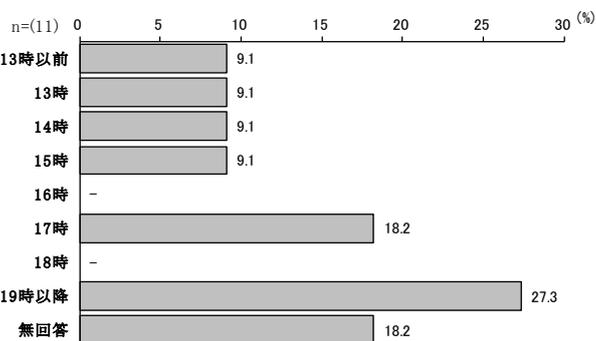
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



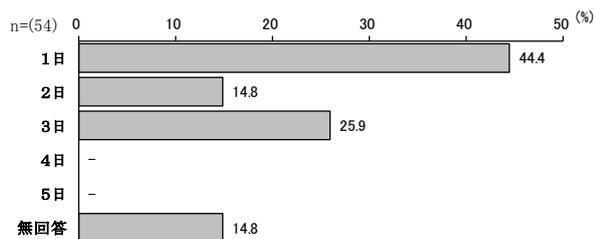
● 終了時間



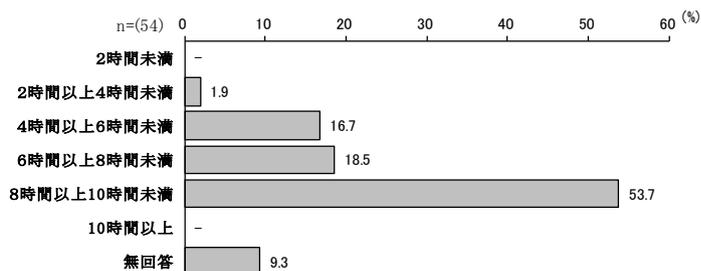
一時預かり事業（非定型）の利用状況は、週当たり「1日」、1日当たり「8時間以上10時間未満」、「9時」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表59 13. 一時預かり事業（非定型）

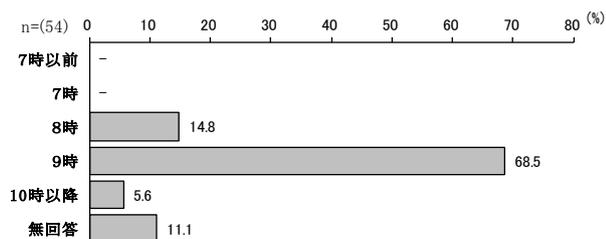
● 1週当たりの利用日数



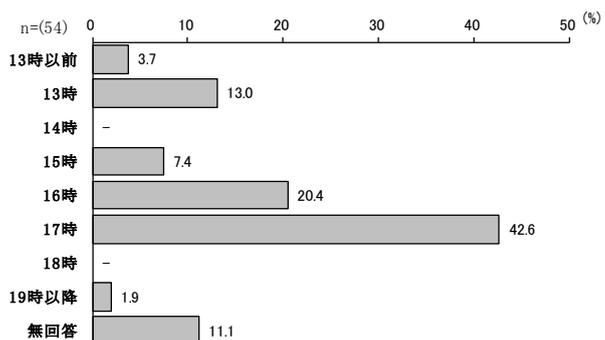
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



● 終了時間

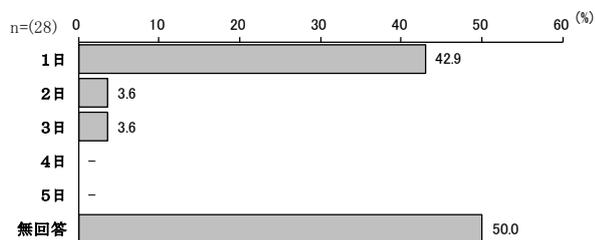


第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

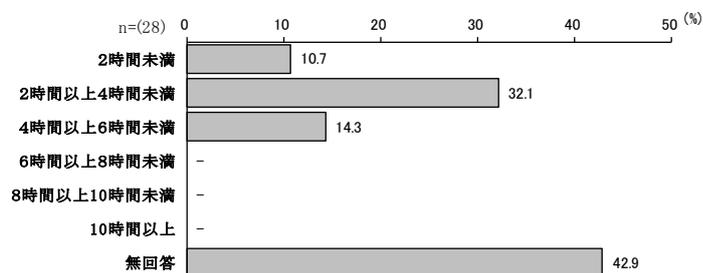
ファミリー・サポート・センター事業の利用状況は、週当たり「1日」、1日当たり「2時間以上4時間未満」、「10時以降」開始、「19時以降」終了が最も多くなっています。

図表60 14. ファミリー・サポート・センター事業

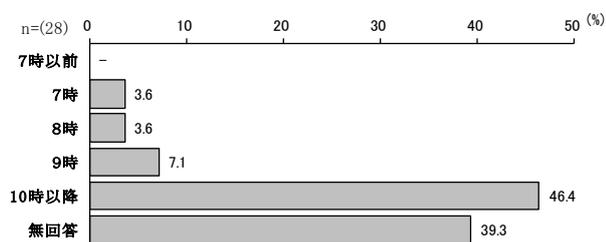
● 1週当たりの利用日数



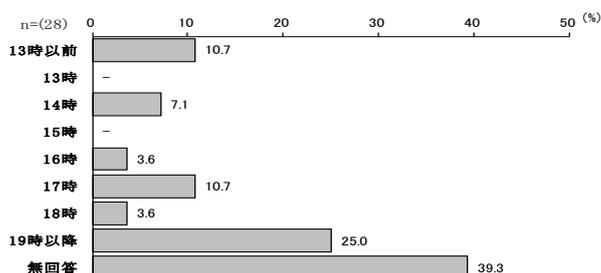
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



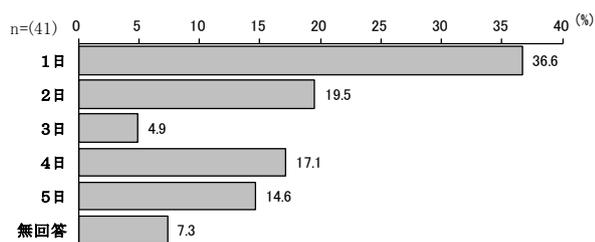
● 終了時間



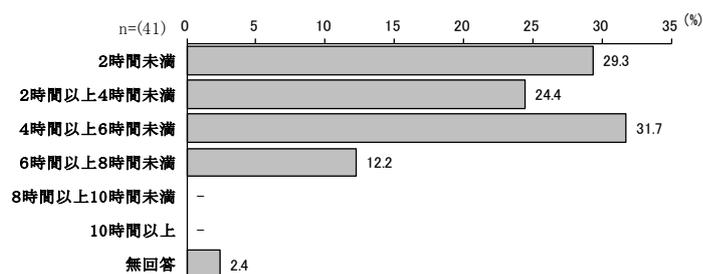
その他の利用状況は、週当たり「1日」、1日当たり「4時間以上6時間未満」、「10時以降」開始、「13時以前」終了が最も多くなっています。その他の内容は「療育センター」「児童発達支援センター」「習い事」等が回答されています。

図表61 15. その他

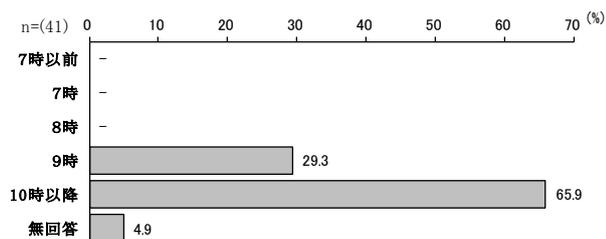
● 1週当たりの利用日数



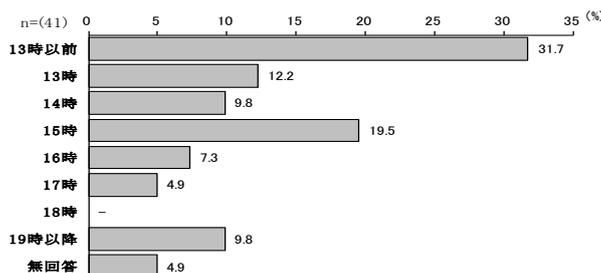
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



● 終了時間



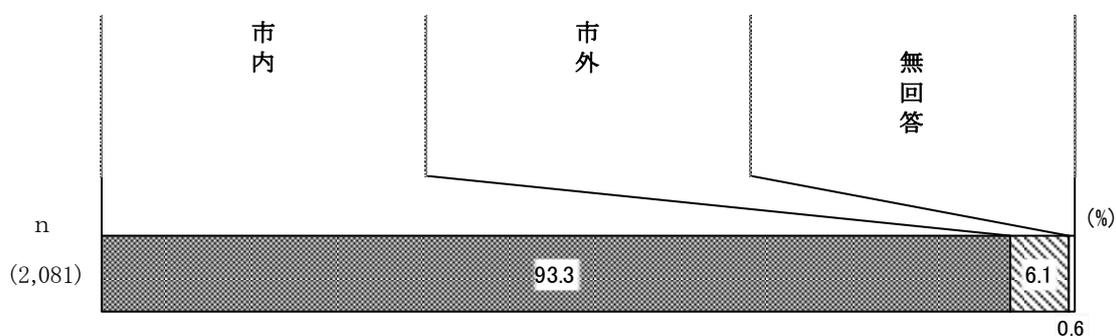
問18 問16で「1.利用している」に○をつけた方におたずねします。
 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

実施場所は「市内」が93.3%となっています。

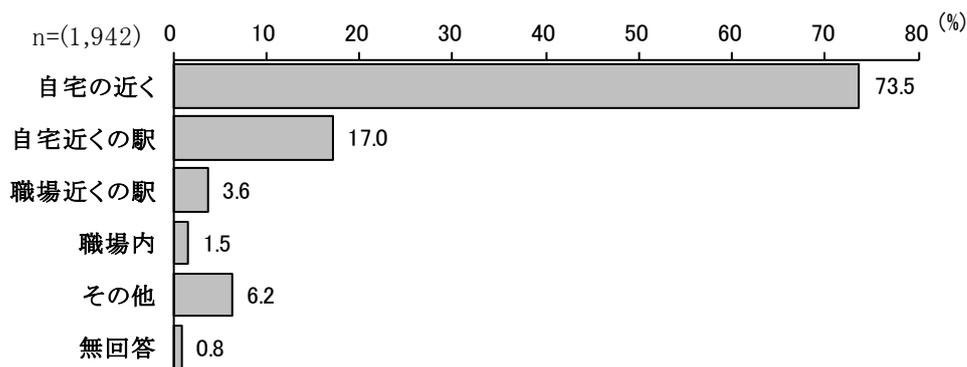
市内の実施場所は「自宅の近く」（73.5%）、「自宅近くの駅」（17.0%）が主な実施場所となっています。

市外の実施場所は「鎌倉市」「茅ヶ崎市」「横浜市」「大船駅」「西鎌倉駅」「茅ヶ崎駅」「腰越駅」等が回答されています。

図表62 現在、利用している教育・保育事業の実施場所



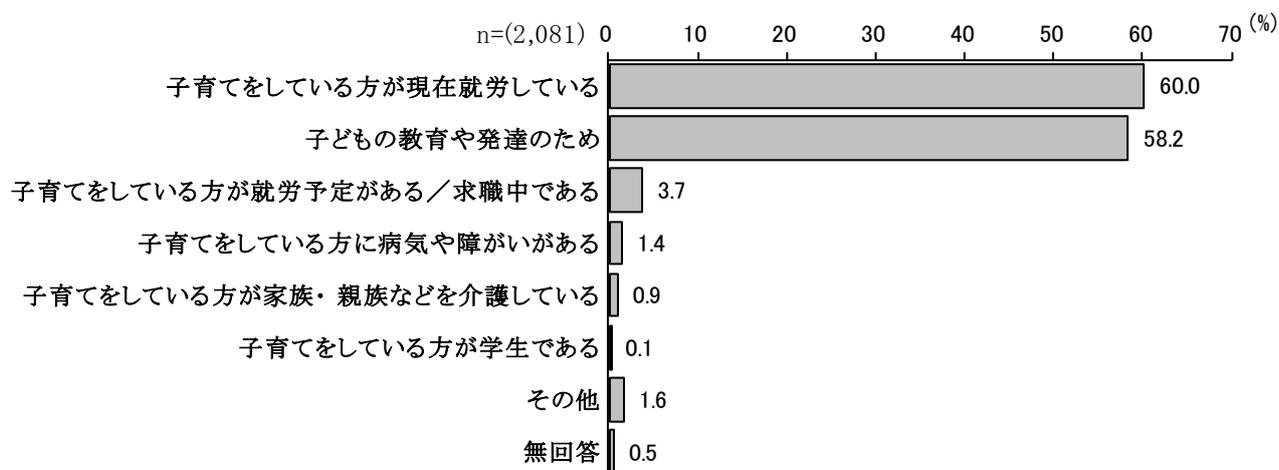
図表63 市内の実施場所



問19 問16で「1.利用している」に○をつけた方におたずねします。
 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についておたずねします。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由では「子育てをしている方が現在就労している」(60.0%)、「子どもの教育や発達のため」(58.2%)が主な理由となっています。

図表64 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由（複数回答）

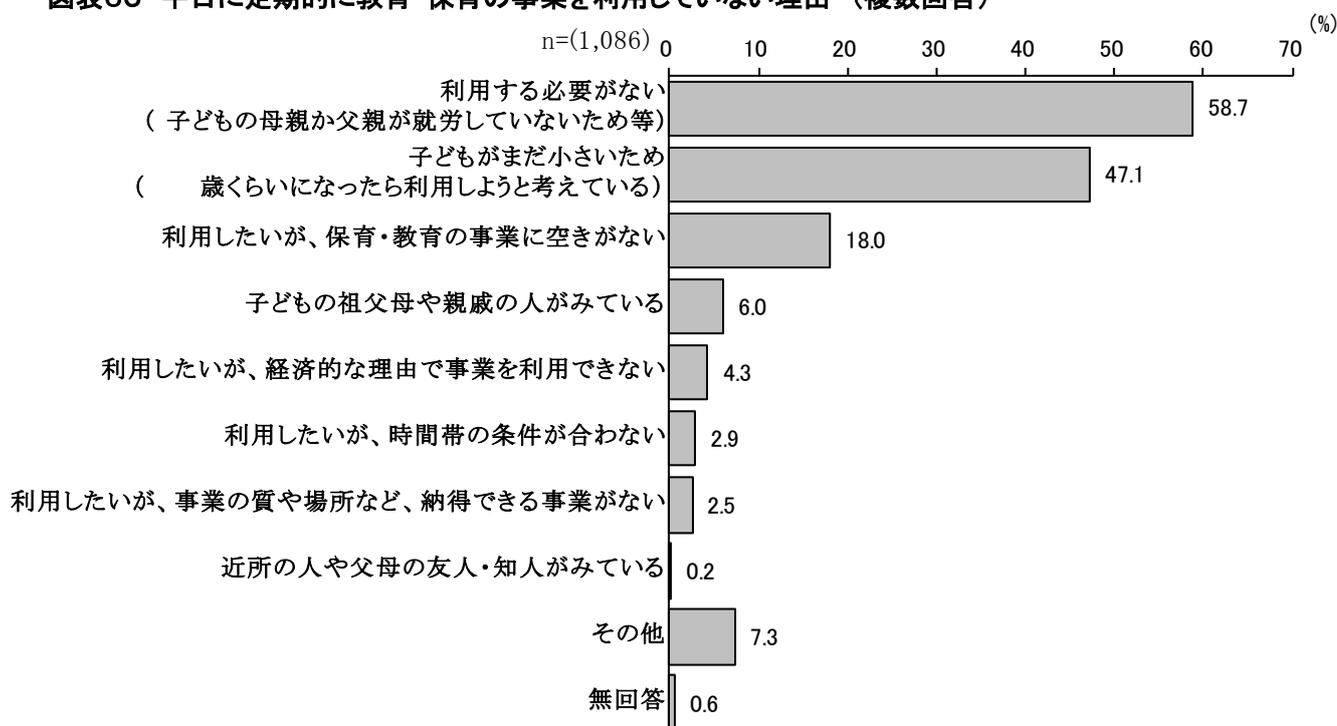


問20 問16で「2. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。
 利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

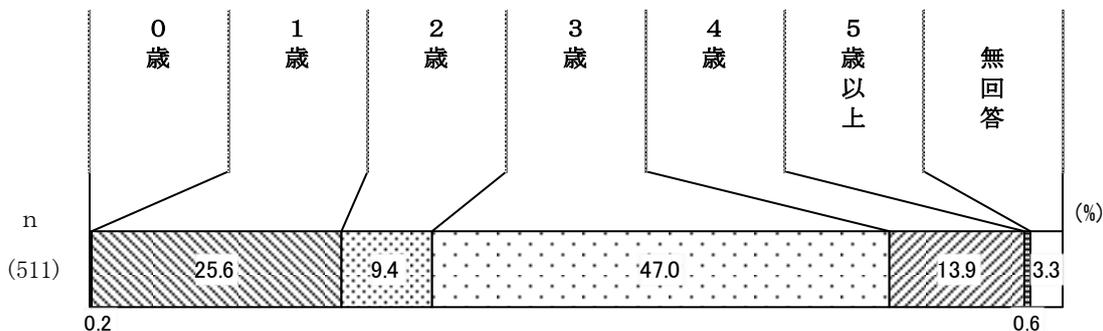
平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由では「利用する必要がない(子どもの母親か父親が就労していないため等)」(58.7%)、「子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)」(47.1%)が主な理由となっています。その他の内容は、「母子の体調や都合のため利用できない」「事業の利用方法が分からない」等の回答があります。

利用したいと考えている子どもの年齢は、「3歳」が47.0%で最も多くなっています。

図表65 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由（複数回答）



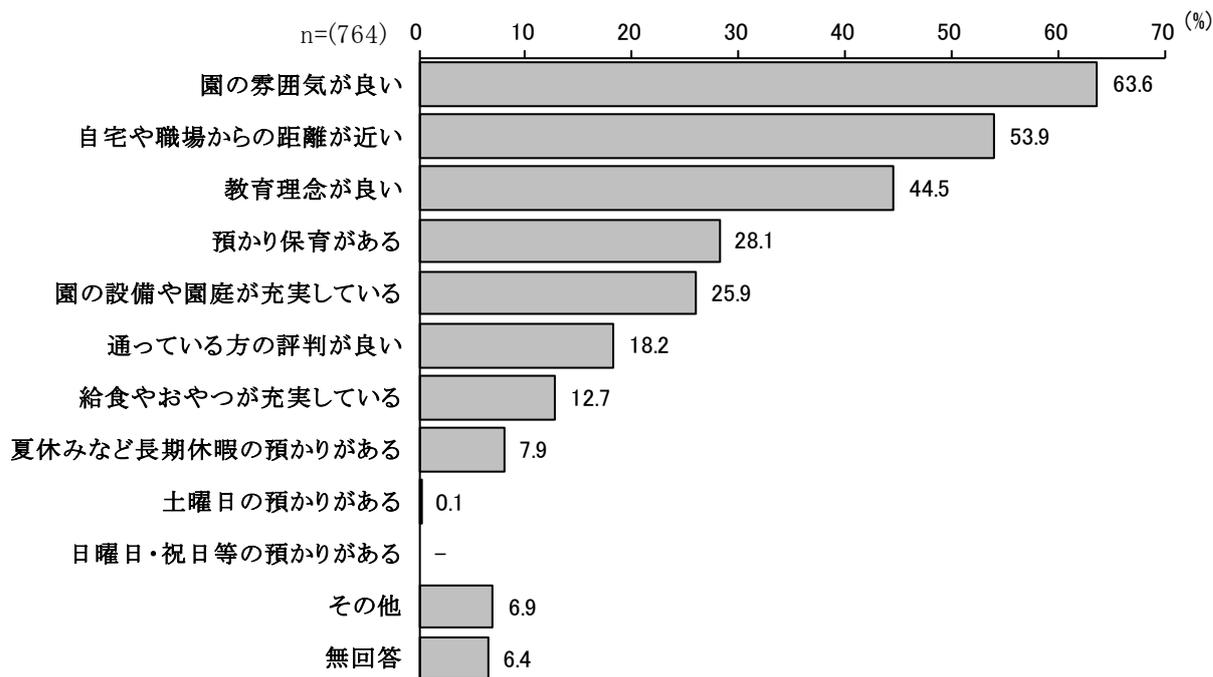
図表66 子どもがまだ小さいためと回答した方で、利用したいと考えている子どもの年齢



問21 問17で「1. 幼稚園」及び「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方におたずねします。平日の教育・保育の事業として、幼稚園及び幼稚園の預かり保育を利用している理由について、主なものとして当てはまる番号3つに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由では「園の雰囲気が良い」（63.6%）、「自宅や職場からの距離が近い」（53.9%）、「教育理念が良い」（44.5%）が主な理由となっています。

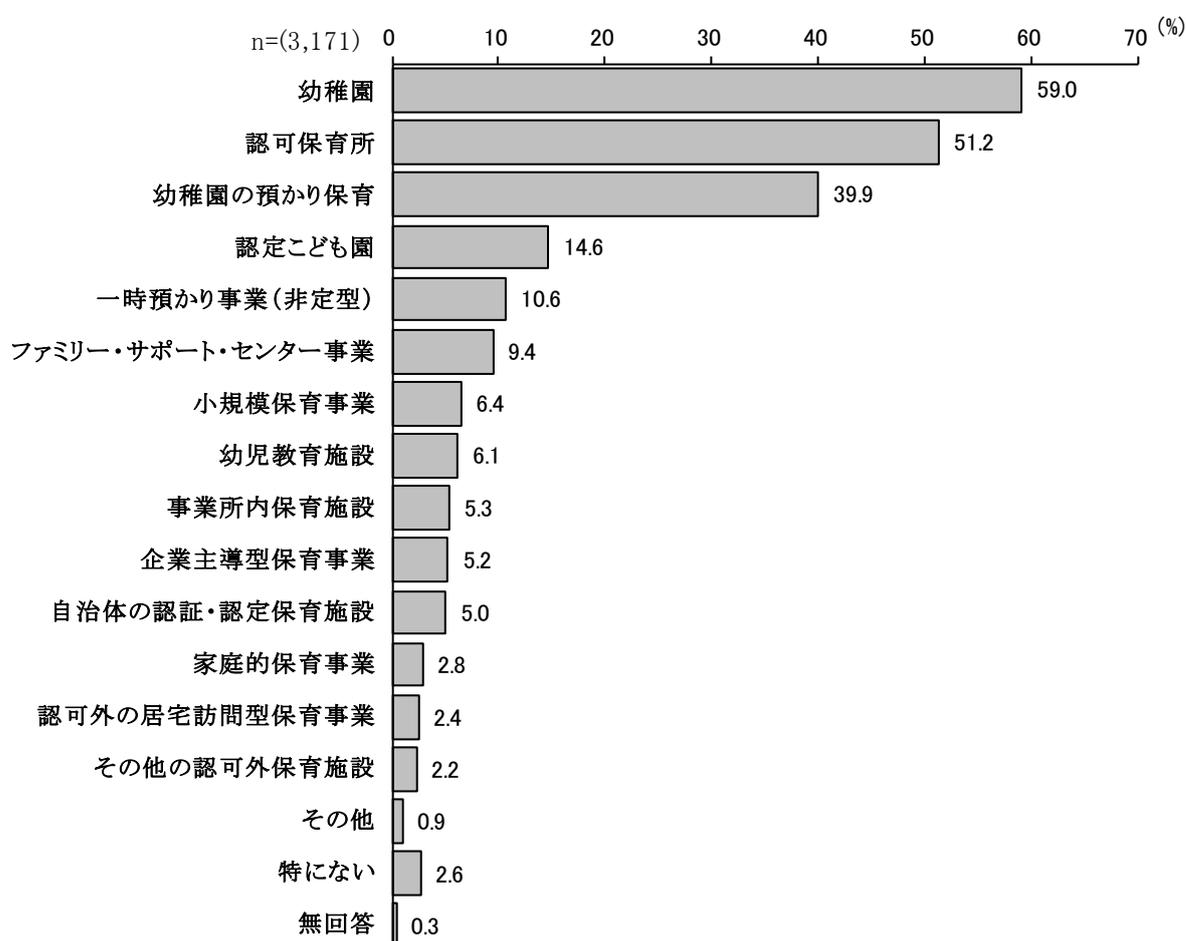
図表67 平日の教育・保育の事業として、幼稚園及び幼稚園の預かり保育を利用している理由（複数回答）



問22 2019年10月から「幼児教育・保育の無償化」が始まります。このことを前提に、現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業について当てはまるものすべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

平日・定期的に利用したいと考える事業は、上位より「幼稚園」（59.0%）、「認可保育所」（51.2%）、「幼稚園の預かり保育」（39.9%）、「認定こども園」（14.6%）、「一時預かり事業（非定型）」（10.6%）、「ファミリー・サポート・センター事業」（9.4%）の順になっています。

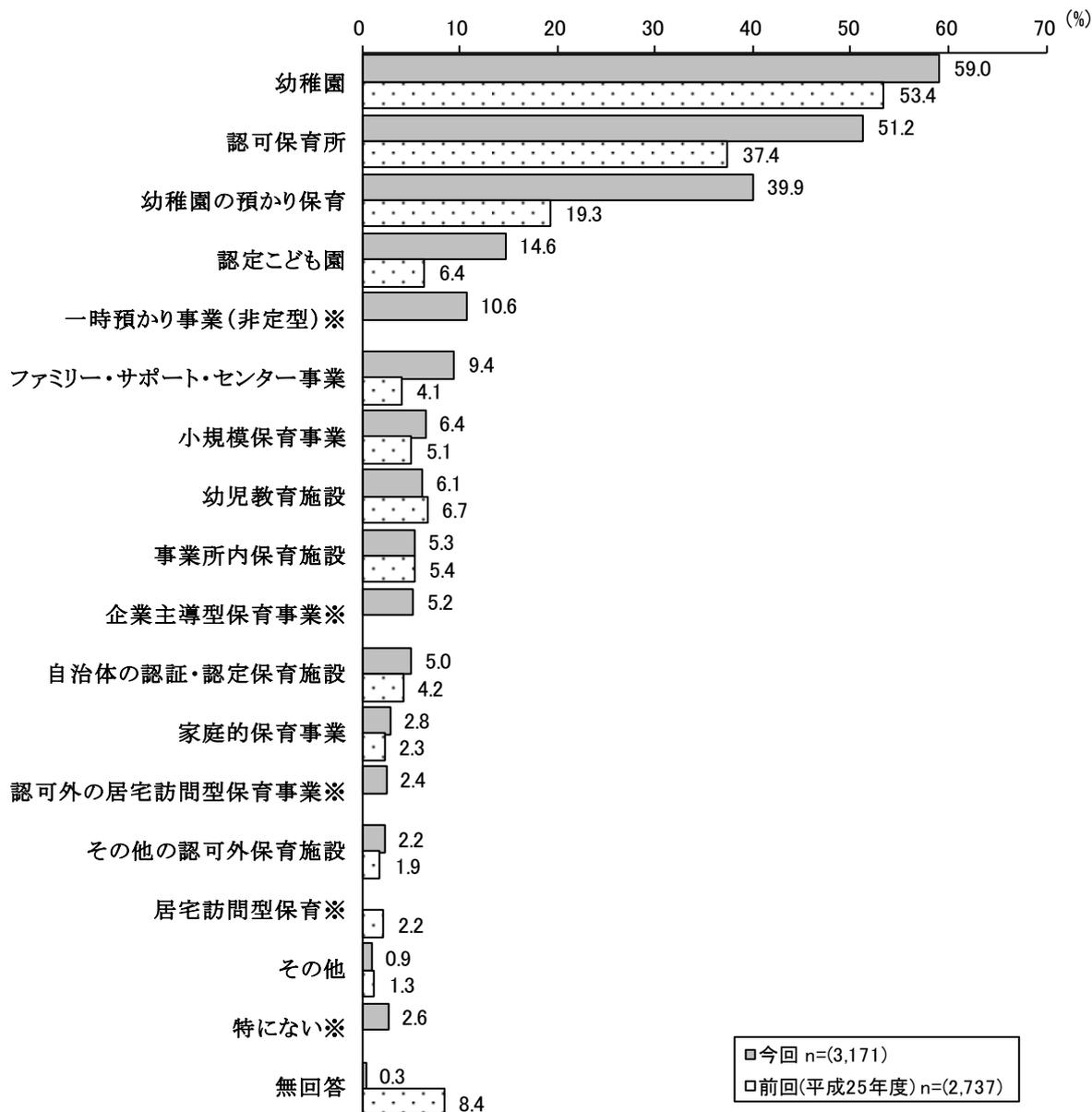
図表68 平日・定期的に利用したい事業（複数回答）



第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

前回調査と比べると上位3つの順序は変わりませんが、それぞれ回答の割合は多くなっています。特に「幼稚園の預かり保育」は20.6ポイント多くなっています。上位3つ以外では、「認定こども園」「ファミリー・サポート・センター事業」が多くなっています。

図表69 平日・定期的にご利用したい事業（複数回答）：前回 平成25年度調査との比較



※ 「一時預かり事業（非定型）」「企業主導型保育事業」「認可外の居宅訪問型保育事業」「特にない」は今回調査のみの選択肢、「居宅訪問型保育」は前回調査のみの選択肢

子どもの年齢別にみると、「認定こども園」「認可保育所」「小規模保育事業」は年齢が上がるにつれて回答割合が多くなっています。一方で「一時預かり事業（非定型）」は年齢が上がるにつれて回答割合が少なくなっています。

母親の就業状況別にみると、フルタイムはパート・アルバイトや未就労と比べて「認可保育所」の割合が多くなっています。一方で未就労はパート・アルバイトやフルタイムと比べて「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「一時預かり事業（非定型）」の割合が多くなっています。

図表70 平日・定期的にご利用したい事業（複数回答）：子どもの年齢、母親の就労状況別

		調査数	幼稚園	保育	幼稚園の預かり	認定こども園	認可保育所	小規模保育事業	家庭的保育事業	設 事業所内保育施	事業 企業主 導型保 育
(単位 上段:件 下段:%)											
全体		3171 100.0	1871 59.0	1266 39.9	463 14.6	1625 51.2	203 6.4	90 2.8	167 5.3	164 5.2	
子どもの年齢	0歳	563 100.0	319 56.7	218 38.7	127 22.6	364 64.7	87 15.5	46 8.2	65 11.5	52 9.2	
	1～2歳	1,194 100.0	687 57.5	498 41.7	212 17.8	692 58.0	97 8.1	29 2.4	66 5.5	77 6.4	
	3歳以上	1,336 100.0	817 61.2	526 39.4	114 8.5	532 39.8	17 1.3	13 1.0	31 2.3	30 2.2	
母親の就労状況	フルタイム	1,116 100.0	275 24.6	254 22.8	173 15.5	967 86.6	93 8.3	36 3.2	68 6.1	72 6.5	
	パート・ アルバイト等	594 100.0	346 58.2	266 44.8	86 14.5	326 54.9	27 4.5	7 1.2	23 3.9	31 5.2	
	未就労	1,363 100.0	1,182 86.7	704 51.7	191 14.0	291 21.3	79 5.8	44 3.2	71 5.2	55 4.0	

		定 保 育 施 設	自 治 体 の 認 証 ・ 認	幼 児 教 育 施 設	保 育 施 設	そ の 他 の 認 可 外	問 題 型 保 育 事 業	認 可 外 の 居 宅 訪	(非 定 型)	一 時 預 か り 事 業	ポ ー ト ・ セ ン タ ー サ ー ビ ス	フ ア ミ リ ー ・ サ ー ビ ス	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		158 5.0	194 6.1	71 2.2	75 2.4	335 10.6	297 9.4	29 0.9	81 2.6	10 0.3					
子どもの年齢	0歳	49 8.7	37 6.6	16 2.8	20 3.6	107 19.0	68 12.1	2 0.4	12 2.1	-					
	1～2歳	74 6.2	81 6.8	26 2.2	28 2.3	149 12.5	107 9.0	5 0.4	36 3.0	4 0.3					
	3歳以上	33 2.5	75 5.6	25 1.9	21 1.6	74 5.5	116 8.7	19 1.4	31 2.3	5 0.4					
母親の就労状況	フルタイム	71 6.4	48 4.3	32 2.9	28 2.5	53 4.7	140 12.5	11 1.0	21 1.9	2 0.2					
	パート・ アルバイト等	27 4.5	33 5.6	17 2.9	15 2.5	72 12.1	52 8.8	4 0.7	9 1.5	3 0.5					
	未就労	56 4.1	110 8.1	20 1.5	27 2.0	197 14.5	97 7.1	12 0.9	50 3.7	3 0.2					

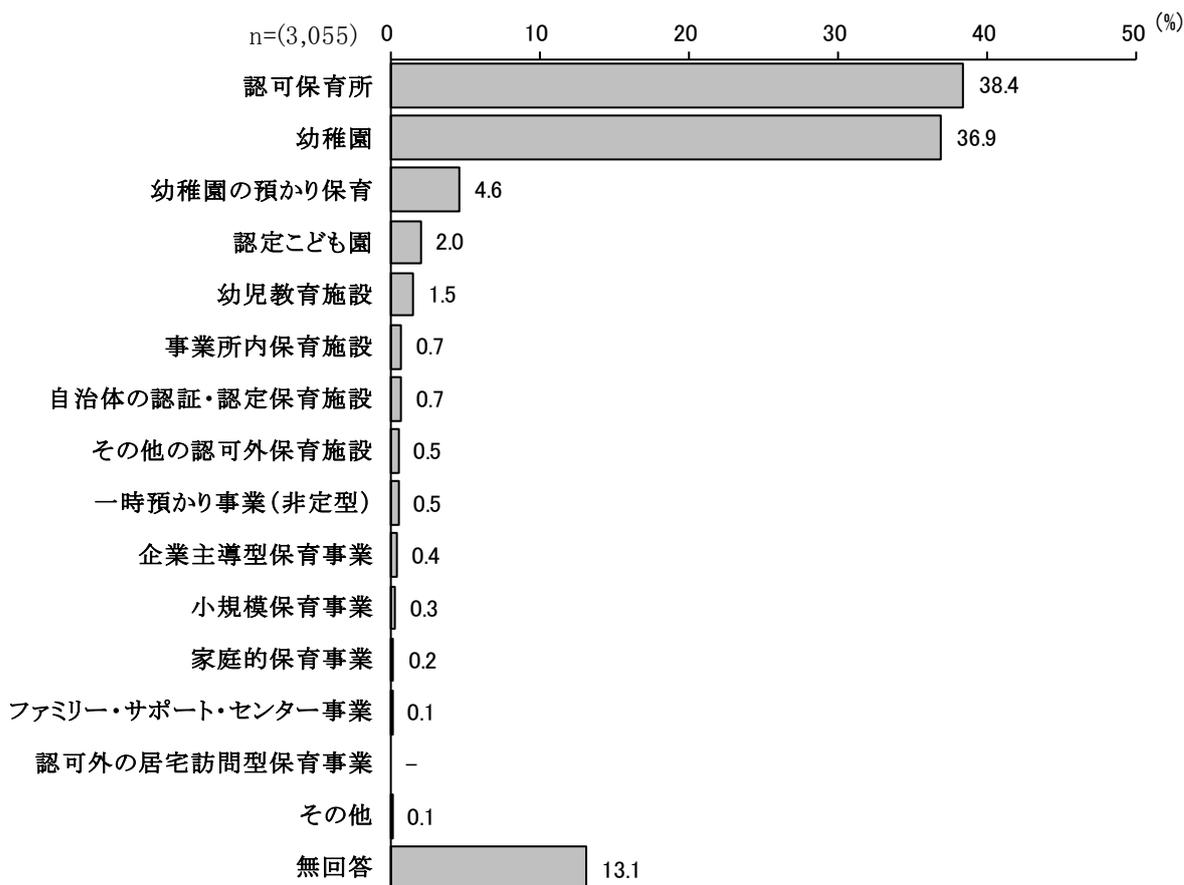
問23 問22で「1～12」のいずれかに○をつけた方におたずねします
 あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として定期的に利用したいと考える事業のうち、最も利用を希望される事業を1つだけお答えください。また、希望の利用頻度について具体的な数字をご記入ください。

平日・定期的に利用したいと考える事業のうち、最も利用を希望する事業は、上位より「認可保育所」(38.4%)、「幼稚園」(36.9%)、「幼稚園の預かり保育」(4.6%)の順になっています。

子どもの年齢別にみると、「幼稚園」は年齢が上がるにつれて回答割合が多くなっていますが、「認可保育所」は年齢が上がるにつれて回答割合が少なくなっています。

母親の就業状況別にみると、フルタイムはパート・アルバイトや未就労と比べて「認可保育所」の割合が多くなっています。一方で未就労はパート・アルバイトやフルタイムと比べて「幼稚園」の割合が多くなっています。

図表71 最も利用したい事業



図表72 最も利用したい事業：子どもの年齢、母親の就労状況別

		調査数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認定こども園	認可保育所	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業
(単位 上段:件 下段:%)										
全体		3,055 100.0	1,126 36.9	142 4.6	61 2.0	1,172 38.4	10 0.3	7 0.2	20 0.7	13 0.4
子どもの年齢	0歳	545 100.0	161 29.5	18 3.3	12 2.2	235 43.1	- -	3 0.6	5 0.9	3 0.6
	1～2歳	1,146 100.0	358 31.2	41 3.6	19 1.7	486 42.4	9 0.8	3 0.3	7 0.6	6 0.5
	3歳以上	1,290 100.0	579 44.9	79 6.1	28 2.2	424 32.9	1 0.1	1 0.1	8 0.6	4 0.3
母親の就労状況	フルタイム	1,086 100.0	71 6.5	30 2.8	23 2.1	779 71.7	8 0.7	3 0.3	17 1.6	6 0.6
	パート・アルバイト等	576 100.0	184 31.9	30 5.2	13 2.3	256 44.4	1 0.2	- -	1 0.2	5 0.9
	未就労	1,300 100.0	839 64.5	76 5.8	23 1.8	114 8.8	1 0.1	3 0.2	2 0.2	1 0.1

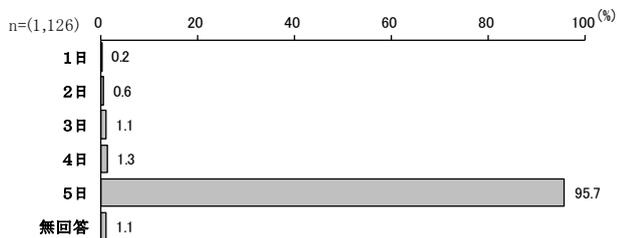
		自治体の認証・認定保育施設	幼児教育施設	その他の認可外保育施設	認可外の居宅訪問型保育事業	一時預かり事業(非定型)	ファミリー・サポート・センター事業	その他	無回答
全体		20 0.7	47 1.5	15 0.5	1 0.0	14 0.5	3 0.1	4 0.1	400 13.1
子どもの年齢	0歳	2 0.4	3 0.6	1 0.2	- -	4 0.7	1 0.2	- -	97 17.8
	1～2歳	10 0.9	17 1.5	5 0.4	- -	8 0.7	1 0.1	- -	176 15.4
	3歳以上	7 0.5	26 2.0	8 0.6	1 0.1	2 0.2	1 0.1	3 0.2	118 9.1
母親の就労状況	フルタイム	7 0.6	5 0.5	5 0.5	- -	1 0.1	1 0.1	2 0.2	128 11.8
	パート・アルバイト等	7 1.2	7 1.2	5 0.9	- -	3 0.5	1 0.2	- -	63 10.9
	未就労	6 0.5	33 2.5	5 0.4	- -	10 0.8	1 0.1	2 0.2	184 14.2

第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

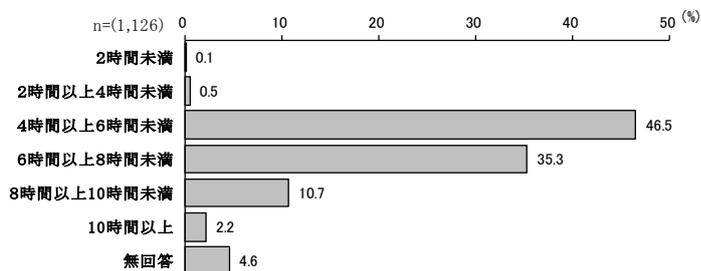
幼稚園の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「4時間以上6時間未満」、「9時」開始、「14時」終了が最も多くなっています。

図表73 1.幼稚園の希望利用頻度

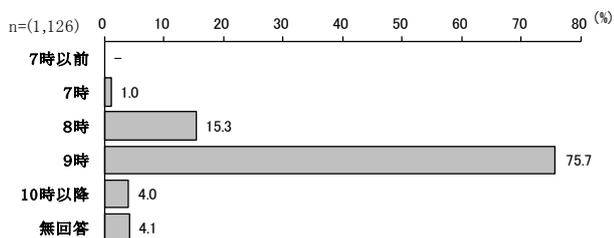
● 1週当たりの利用日数



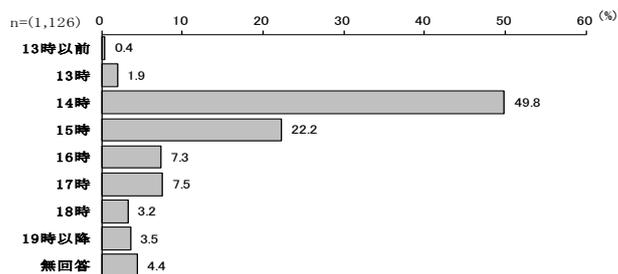
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



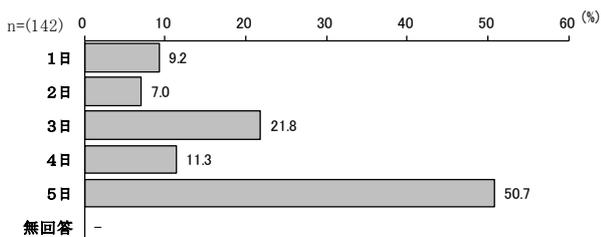
● 終了時間



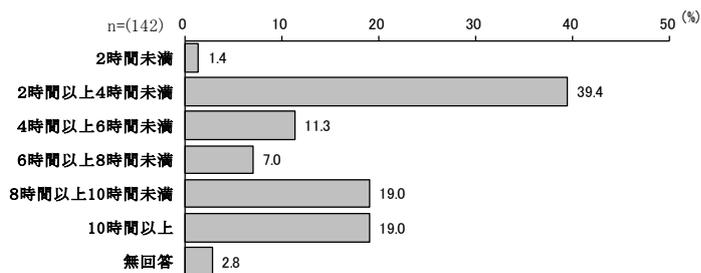
幼稚園の預かり保育の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「2時間以上4時間未満」、「10時以降」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表74 2.幼稚園の預かり保育の希望利用頻度

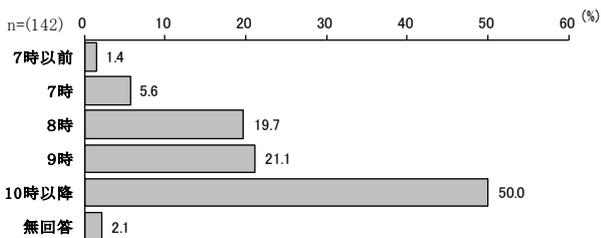
● 1週当たりの利用日数



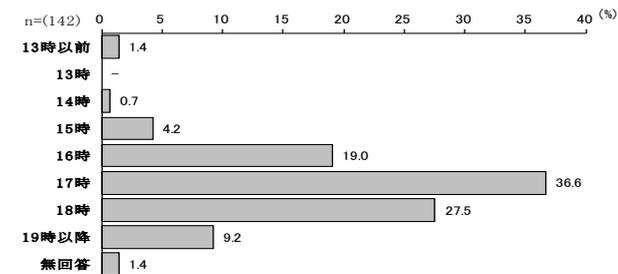
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



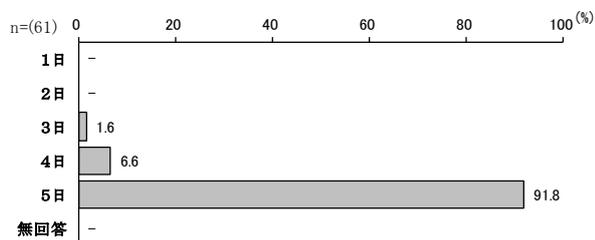
● 終了時間



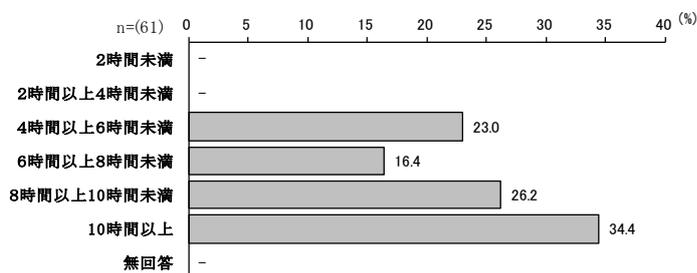
認定こども園の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「10時間以上」、「9時」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表75 3. 認定こども園の希望利用頻度

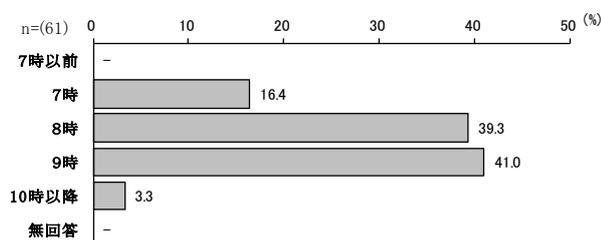
● 1週当たりの利用日数



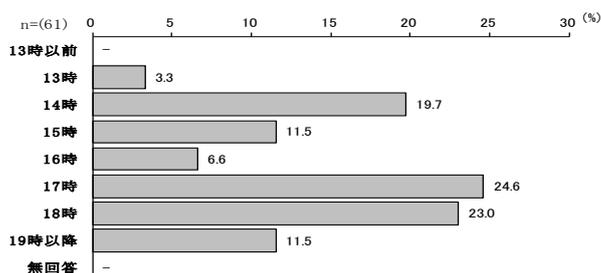
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



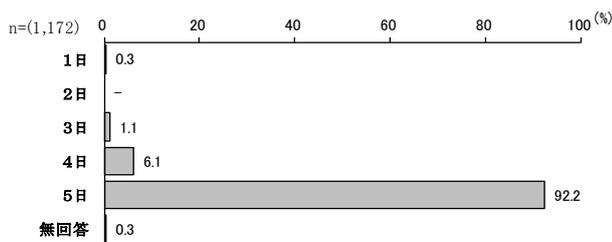
● 終了時間



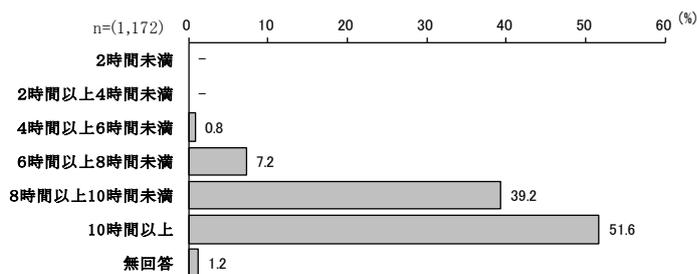
認可保育所の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「10時間以上」、「8時」開始、「18時」終了が最も多くなっています。

図表76 4. 認可保育所の希望利用頻度

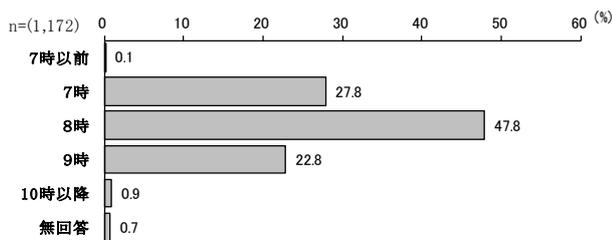
● 1週当たりの利用日数



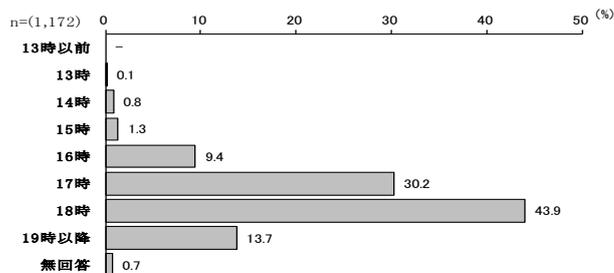
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



● 終了時間

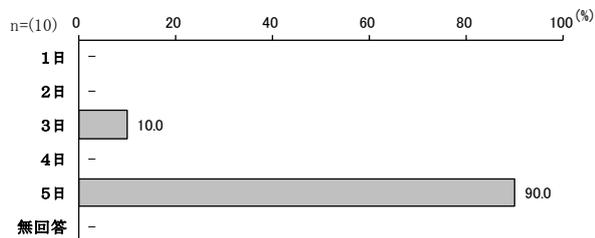


第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

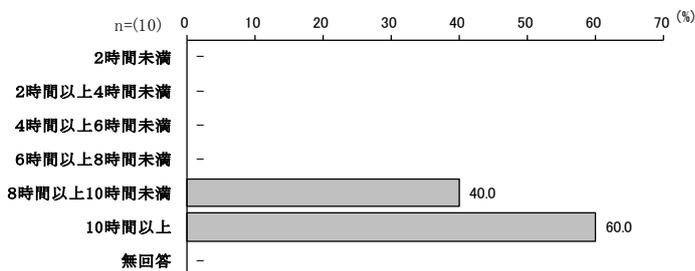
小規模保育事業の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「10時間以上」、「8時」開始、「18時」終了が最も多くなっています。

図表77 5. 小規模保育事業の希望利用頻度

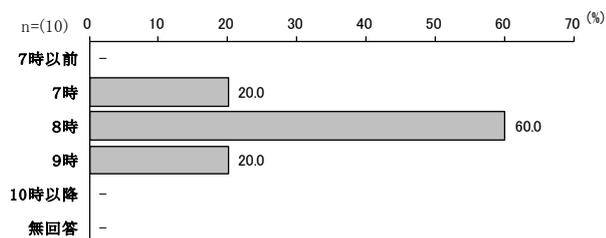
● 1週当たりの利用日数



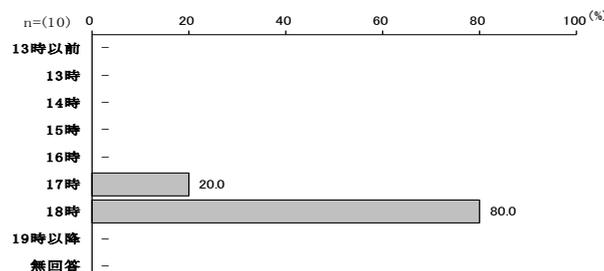
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



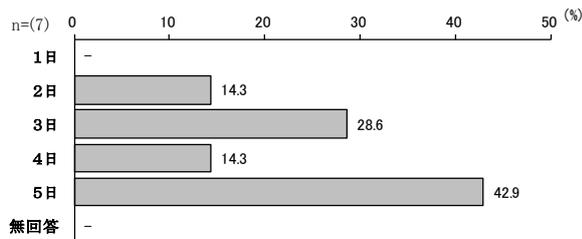
● 終了時間



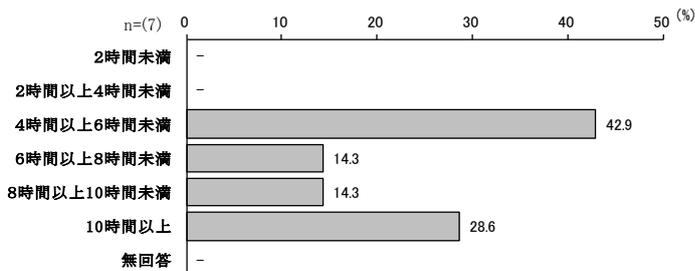
家庭的保育事業の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「4時間以上6時間未満」、「8時・9時・10時以降」開始、「15時」終了が最も多くなっています。

図表78 6. 家庭的保育事業の希望利用頻度

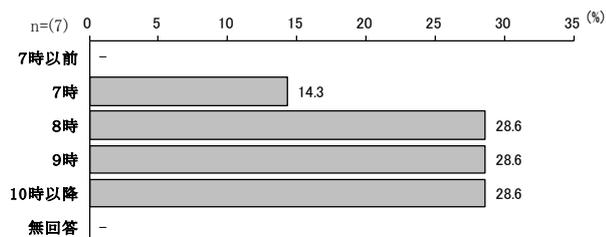
● 1週当たりの利用日数



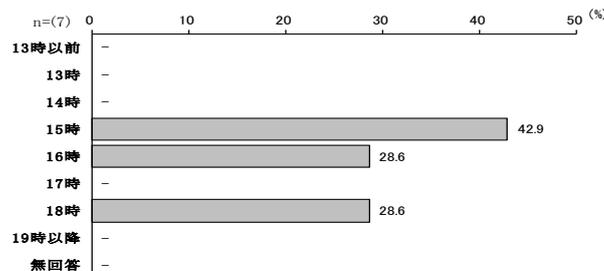
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



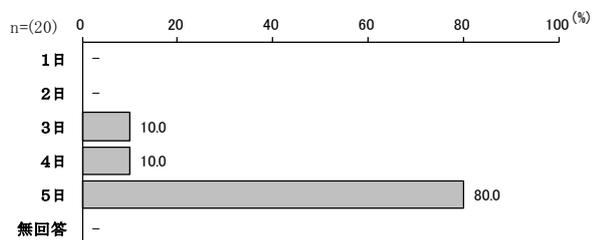
● 終了時間



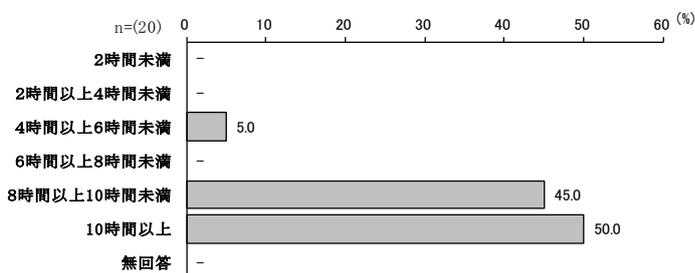
事業所内保育施設の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「10時間以上」、「8時」開始、「18時」終了が最も多くなっています。

図表79 7. 事業所内保育施設の希望利用頻度

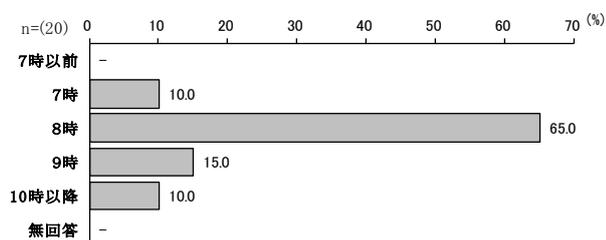
● 1週当たりの利用日数



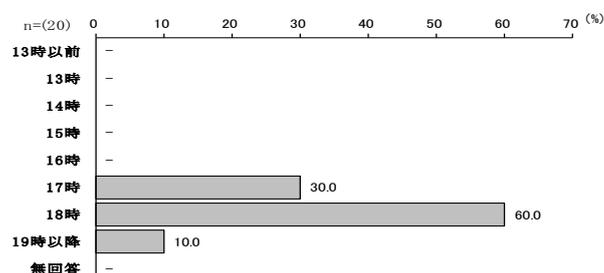
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



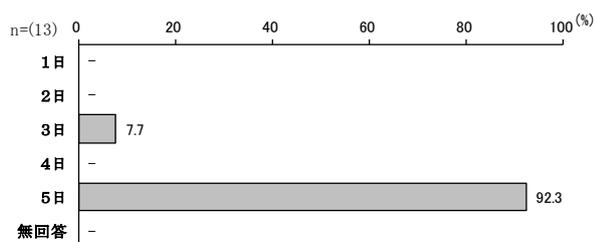
● 終了時間



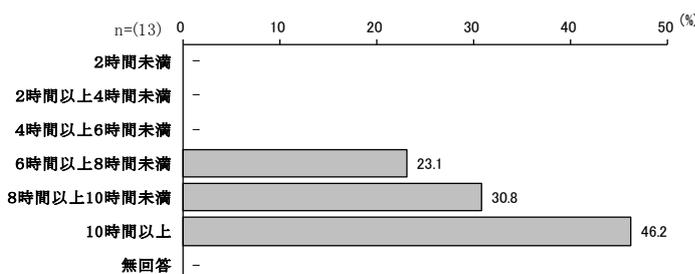
企業主導型保育事業の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「10時間以上」、「8時」開始、「18時」終了が最も多くなっています。

図表80 8. 企業主導型保育事業の希望利用頻度

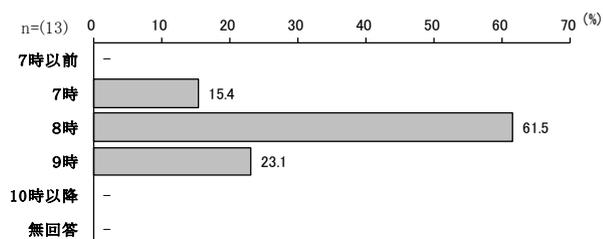
● 1週当たりの利用日数



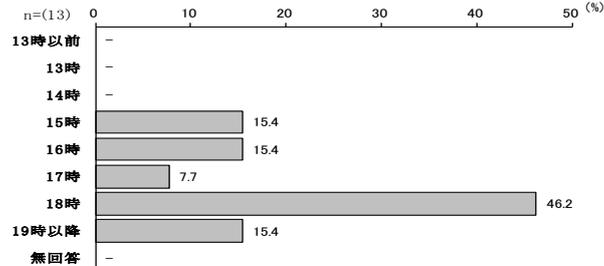
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



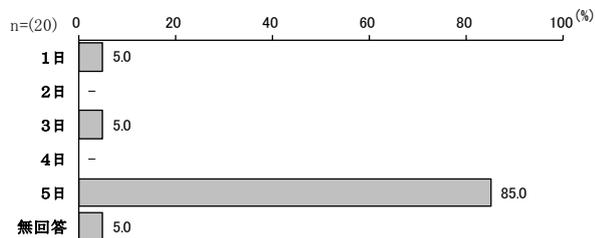
● 終了時間



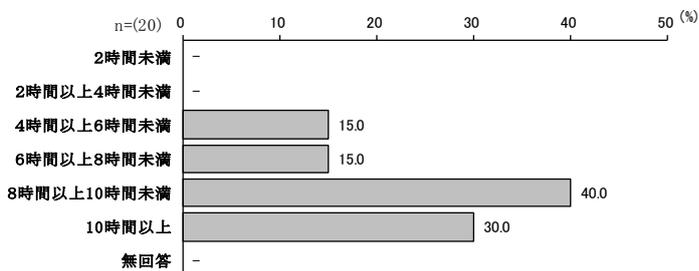
自治体の認証・認定保育施設の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「8時間以上10時間未満」、「8時・9時」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表81 9. 自治体の認証・認定保育施設の希望利用頻度

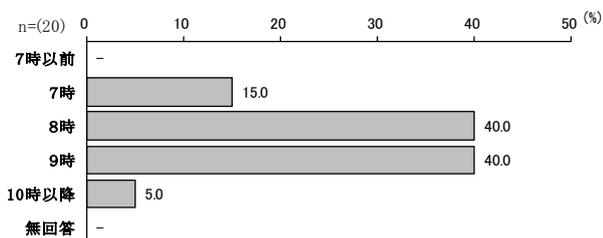
● 1週当たりの利用日数



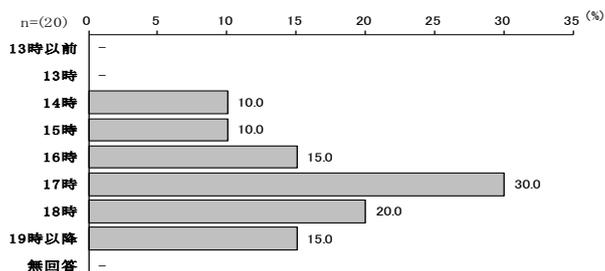
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



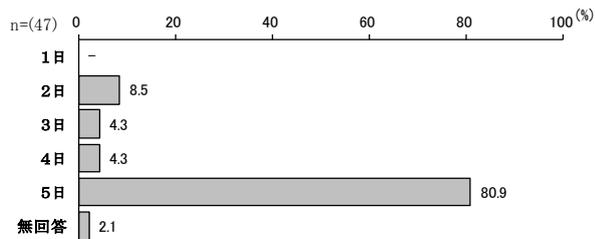
● 終了時間



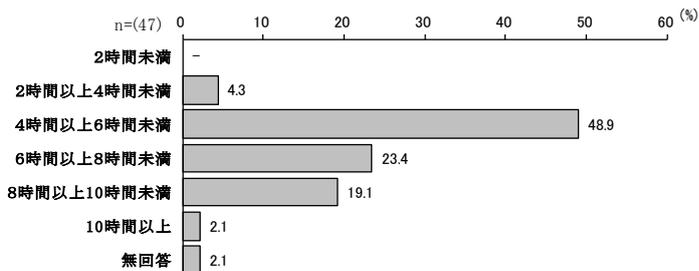
幼児教育施設の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「4時間以上6時間未満」、「9時」開始、「14時」終了が最も多くなっています。

図表82 10. 幼児教育施設の希望利用頻度

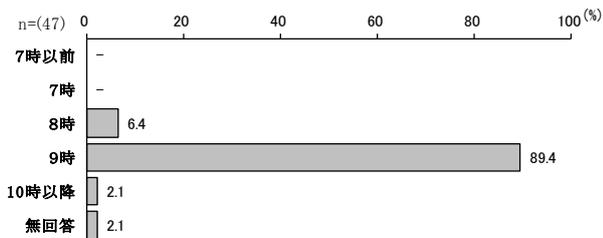
● 1週当たりの利用日数



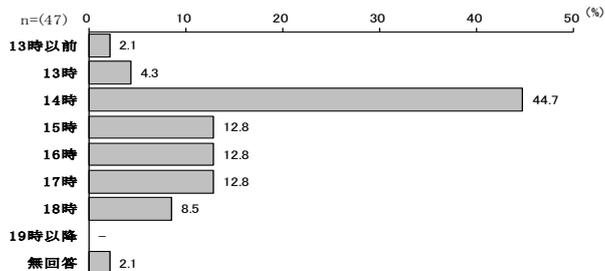
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間

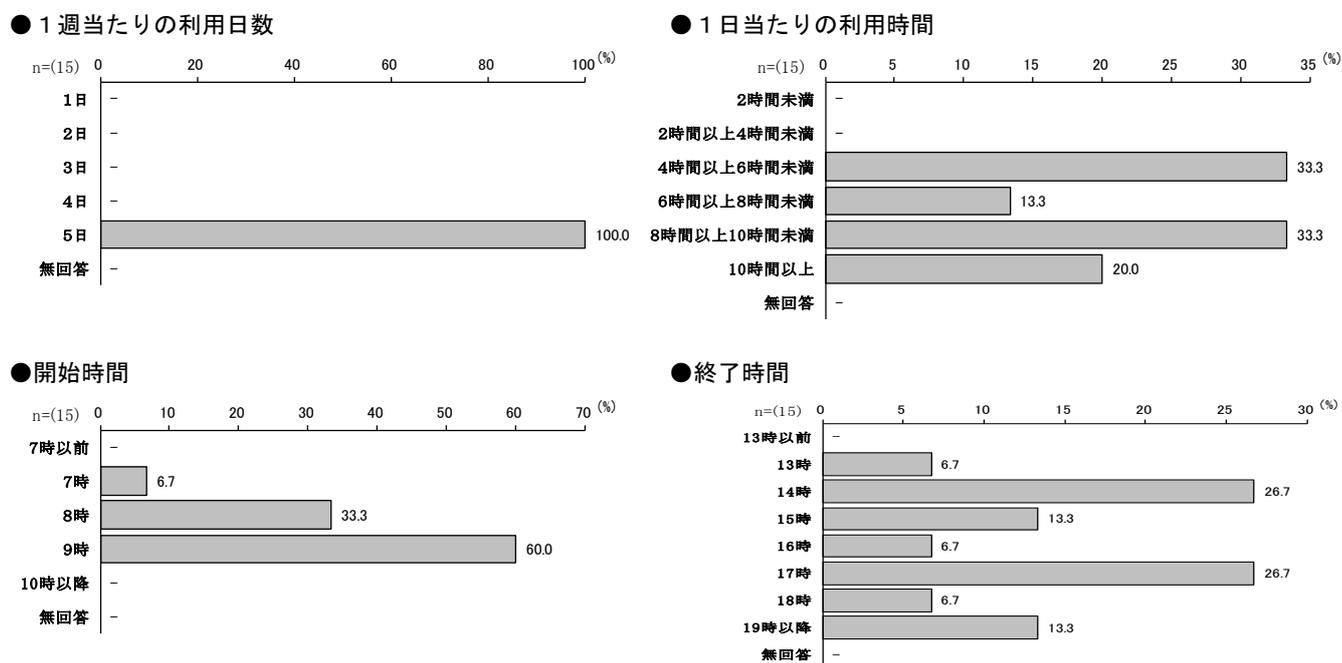


● 終了時間



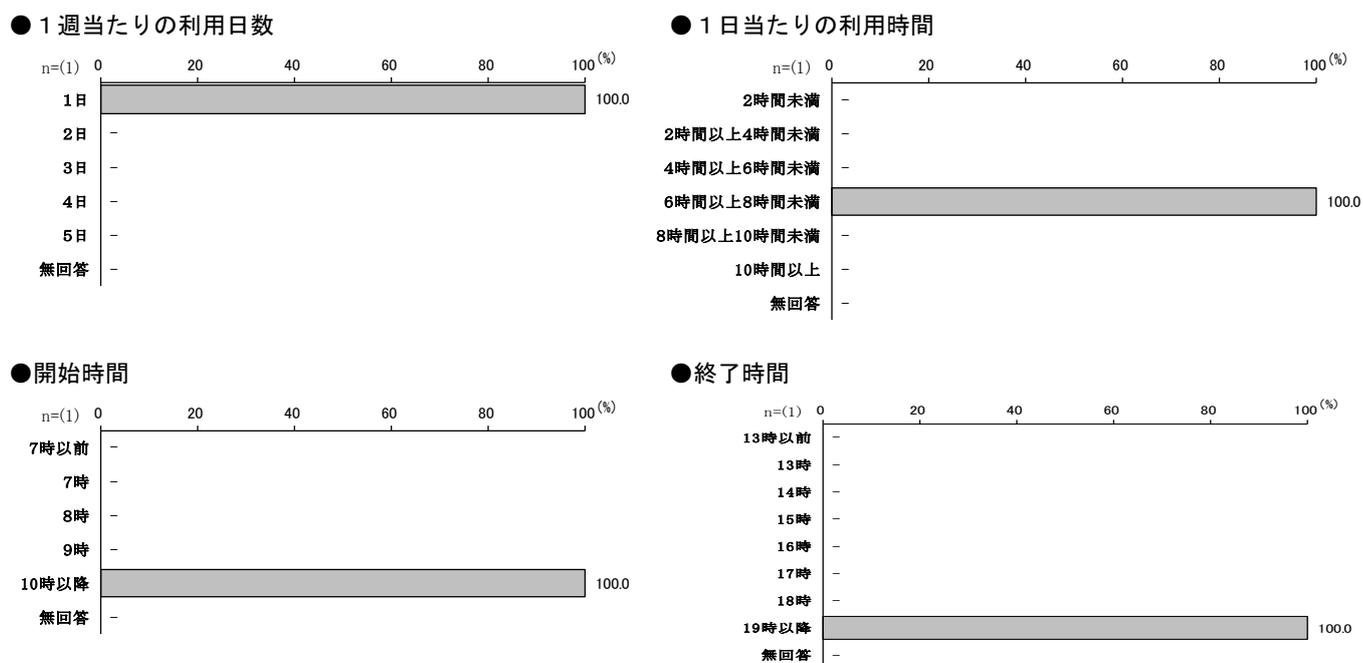
その他の認可外保育施設の希望利用頻度は、週当たり「5日」、1日当たり「4時間以上6時間未満・8時間以上10時間未満」、「9時」開始、「14時・17時」終了が最も多くなっています。

図表83 11. その他の認可外保育施設の希望利用頻度



認可外の居宅訪問型保育事業の希望利用頻度は、週当たり「1日」、1日当たり「6時間以上8時間未満」、「10時以降」開始、「19時以降」終了となっています。

図表84 12. 認可外の居宅訪問型保育事業の希望利用頻度

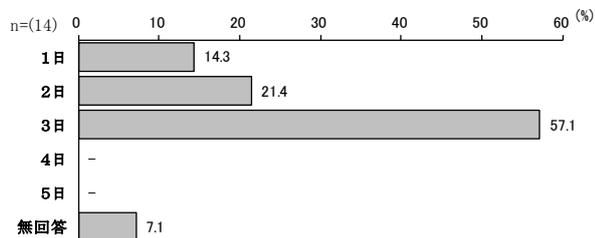


第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

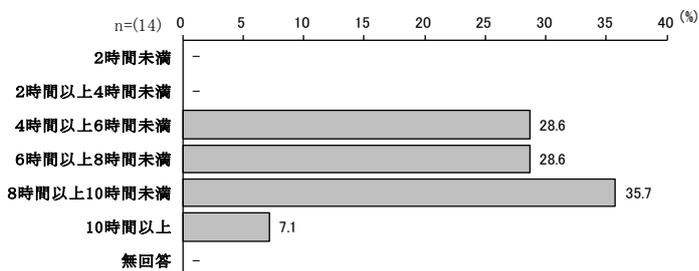
一時預かり事業（非定型）の希望利用頻度は、週当たり「3日」、1日当たり「8時間以上10時間未満」、「9時」開始、「17時」終了が最も多くなっています。

図表85 13. 一時預かり事業(非定型)の希望利用頻度

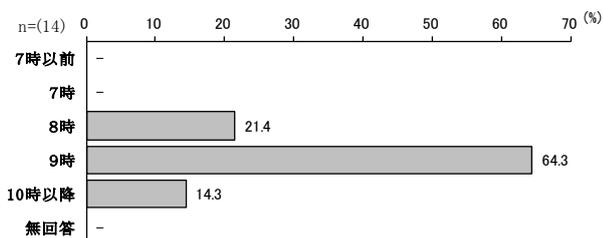
● 1週当たりの利用日数



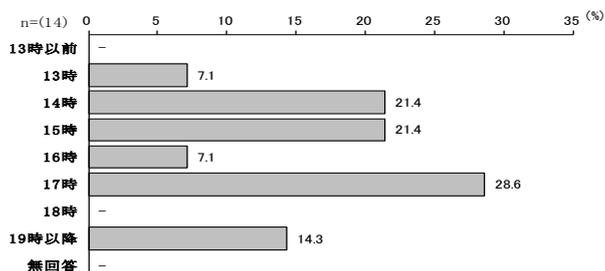
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



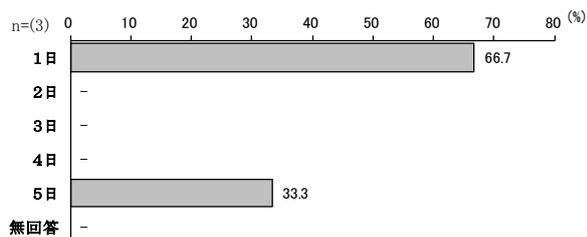
● 終了時間



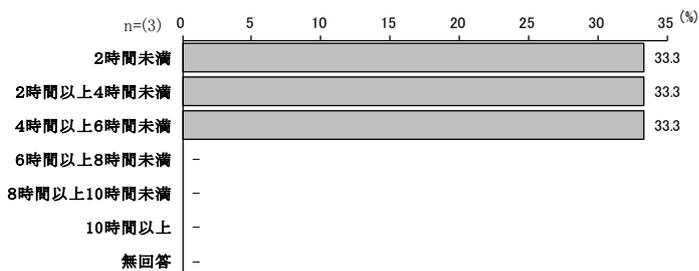
ファミリー・サポート・センター事業の希望利用頻度は、週当たり「1日」2件「5日」1件、1日当たり「2時間未満」1件「2時間以上4時間未満」1件「4時間以上6時間未満」1件、開始時間は「9時」1件「10時以降」2件。終了時間は「14時」1件「18時」1件「19時以降」1件となっています。

図表86 14. ファミリー・サポート・センター事業の希望利用頻度

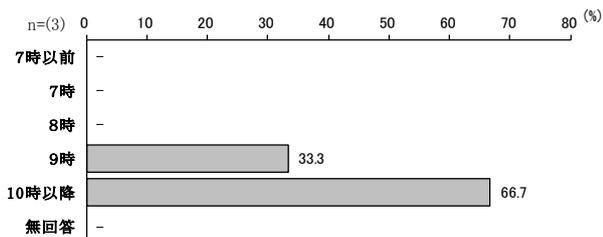
● 1週当たりの利用日数



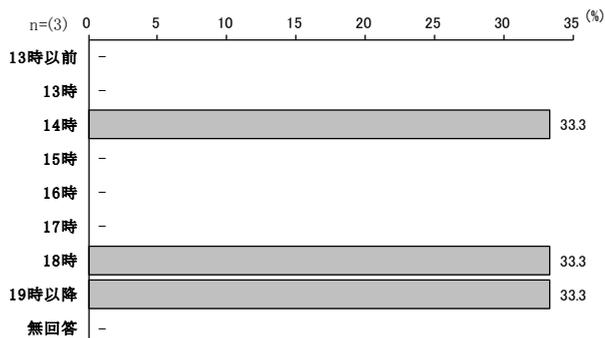
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



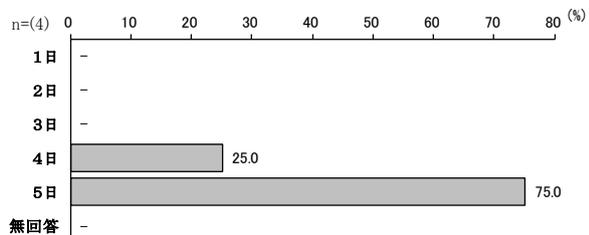
● 終了時間



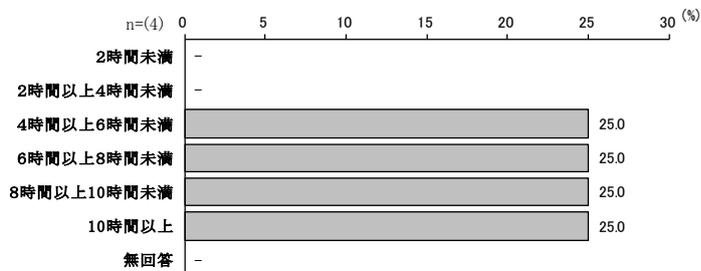
その他の事業の希望利用頻度は、週当たり「4日」1件「5日」3件、1日当たり「4時間以上6時間未満」1件「6時間以上8時間未満」1件「8時間以上10時間未満」1件「10時間以上」1件となり、開始時間は「8時」1件「9時」3件、終了時間は「13時」1件「15時」1件「17時」1件「18時」1件となっています。

図表87 15. その他の事業の希望利用頻度

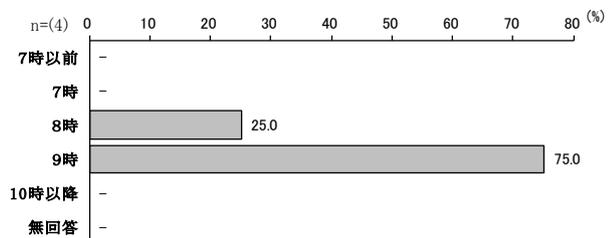
● 1週当たりの利用日数



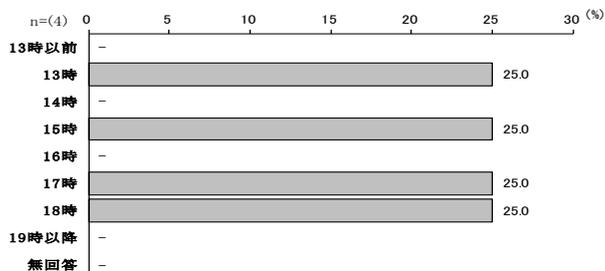
● 1日当たりの利用時間



● 開始時間



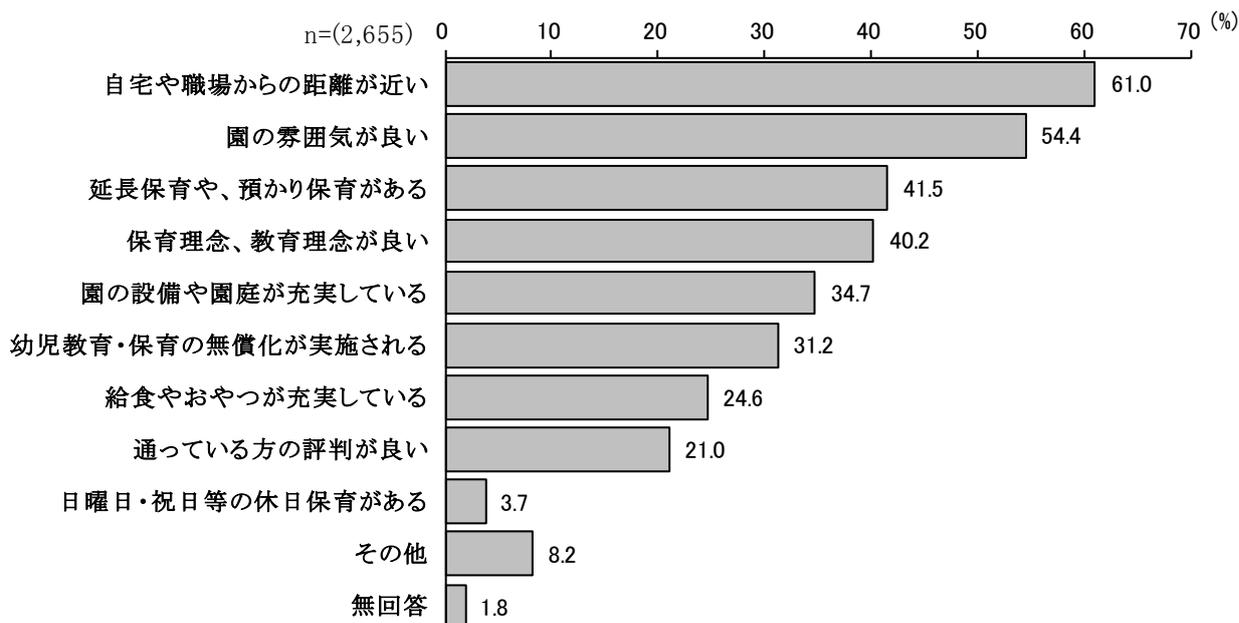
● 終了時間



問24 問23に回答した方におたずねします。問23で回答した事業の利用を希望する理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答した事業の利用を希望する理由では「自宅や職場からの距離が近い」（61.0%）、「園の雰囲気が良い」（54.4%）、「延長保育や、預かり保育がある」（41.5%）、「保育理念、教育理念が良い」（40.2%）が主な理由となっています。

図表88 回答した事業の利用を希望する理由（複数回答）



2019年10月から始まる「幼児教育・保育の無償化」に関する影響を確認するため、本調査を実施するに当たっては、無償化の制度を前提に教育・保育事業の利用希望をおたずねしました。

問23で回答した事業の利用を希望する理由（問24）を問23で回答した事業（平日に定期的に利用したい教育・保育の事業）別にみると、「幼稚園」「認定こども園」では「幼児教育・保育の無償化が実施される」と回答した割合が多く、「認可保育所」は「幼児教育・保育の無償化が実施される」と回答した割合が少なくなっています。

幼稚園や保育所の平日の定期的な利用の有無別（問16）にみると、「幼児教育・保育の無償化が実施される」を回答の理由としている割合は、教育・保育の事業利用なしの方が多くなっています。

さらに問23で回答した事業の内、幼児教育・保育の無償化に関連した事業（「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」「認可保育所」）別にみると、「幼児教育・保育の無償化が実施される」を回答の理由としている割合は全ての事業で現在、教育・保育の事業利用なしの方が多くなっています。

図表89 回答した事業の利用を希望する理由：平日に定期的に利用したい教育・保育の事業別

		調査数	保育理念、教育理念が 良い	園の雰囲気が良い	通っている方の評判 が良い	園の設備や園庭が充 実している	給食やおやつが充実 している	離が近い	自宅や職場からの距 離がある	延長保育や、預かり 保育がある	日曜日・祝日等の休 日保育がある	日曜日・祝日等の休 日保育がある	償化が実施される	幼児教育・保育の無 償化が実施される	その他	無回答	
(単位 上段:件 下段:%)																	
全体		2,655 100.0	1,066 40.2	1,443 54.4	557 21.0	922 34.7	652 24.6	1,620 61.0	1,102 41.5	97 3.7	829 31.2	218 8.2	47 1.8				
平日に定期的に 利用したい教育・保育の 事業	幼稚園	1,126 100.0	580 51.5	684 60.7	291 25.8	409 36.3	191 17.0	640 56.8	474 42.1	17 1.5	413 36.7	80 7.1	21 1.9				
	幼稚園の 預かり保育	142 100.0	55 38.7	54 38.0	24 16.9	44 31.0	24 16.9	53 37.3	99 69.7	4 2.8	49 34.5	9 6.3	4 2.8				
	認定こども園	61 100.0	25 41.0	24 39.3	9 14.8	23 37.7	8 13.1	24 39.3	34 55.7	1 1.6	28 45.9	9 14.8	-	-			
	認可保育所	1,172 100.0	319 27.2	600 51.2	202 17.2	422 36.0	401 34.2	825 70.4	445 38.0	58 4.9	313 26.7	98 8.4	20 1.7				
	小規模保育事業	10 100.0	2 20.0	9 90.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	6 60.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	-	-			
	家庭的保育事業	7 100.0	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-	3 42.9	2 28.6	1 14.3				
	事業所内保育施設	20 100.0	3 15.0	4 20.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	16 80.0	9 45.0	8 40.0	-	3 15.0	-	-			
	企業主導型 保育事業	13 100.0	10 76.9	7 53.8	4 30.8	4 30.8	5 38.5	9 69.2	6 46.2	-	3 23.1	2 15.4	-	-			
	自治体の認証・ 認定保育施設	20 100.0	13 65.0	12 60.0	3 15.0	5 25.0	6 30.0	13 65.0	9 45.0	1 5.0	4 20.0	4 20.0	-	-			
	幼児教育施設	47 100.0	41 87.2	32 68.1	13 27.7	3 6.4	1 2.1	16 34.0	9 19.1	1 2.1	8 17.0	2 4.3	-	-			
	その他の認可外 保育施設	15 100.0	10 66.7	6 40.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3	7 46.7	6 40.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3	-	-			
	認可外の居宅訪問 型保育事業	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-			
	一時預かり事業 (非定型)	14 100.0	3 21.4	6 42.9	5 35.7	6 42.9	5 35.7	6 42.9	5 35.7	2 14.3	4 28.6	1 7.1	1 7.1				
	ファミリー・サポー ト・センター事業	3 100.0	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-			
	その他	4 100.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	2 50.0	-	-			

図表90 回答した事業の利用を希望する理由：平日に定期的に利用したい教育・保育の事業別：定期的な教育・保育の事業利用の有無別

平日の定期的な教育・保育の事業利用あり (単位 上段:件 下段:%)	調査数	保育理念、教育理念が良い	園の雰囲気が良い	通っている方の評判が良い	実している園の設備や園庭が充実している	給食やおやつが充実している	離が近い	自宅や職場からの距離が近い	延長保育や、預かり保育がある	日曜日・祝日等の休日保育がある	償化が実施される	幼児教育・保育の無償化が実施される	その他	無回答
全体	1,830 100.0	741 40.5	1,057 57.8	327 17.9	621 33.9	480 26.2	1,180 64.5	754 41.2	64 3.5	486 26.6	129 7.0	32 1.7		
平日に定期的に利用したい教育・保育の事業	幼稚園	662 100.0	364 55.0	435 65.7	154 23.3	240 36.3	107 16.2	401 60.6	300 45.3	11 1.7	209 31.6	27 4.1	11 1.7	
	幼稚園の預かり保育	105 100.0	41 39.0	39 37.1	15 14.3	27 25.7	16 15.2	41 39.0	69 65.7	1 1.0	36 34.3	7 6.7	4 3.8	
	認定こども園	39 100.0	16 41.0	19 48.7	6 15.4	19 48.7	6 15.4	14 35.9	21 53.8	-	16 41.0	4 10.3	-	
	認可保育所	913 100.0	249 27.3	501 54.9	130 14.2	320 35.0	329 36.0	665 72.8	323 35.4	38 4.2	212 23.2	73 8.0	17 1.9	
	小規模保育事業	9 100.0	2 22.2	9 100.0	1 11.1	1 11.1	5 55.6	6 66.7	4 44.4	2 22.2	-	2 22.2	-	
	家庭的保育事業	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	
	事業所内保育施設	16 100.0	3 18.8	4 25.0	1 6.3	2 12.5	2 12.5	12 75.0	7 43.8	7 43.8	-	3 18.8	-	
	企業主導型保育事業	12 100.0	9 75.0	6 50.0	4 33.3	3 25.0	4 33.3	8 66.7	6 50.0	-	2 16.7	2 16.7	-	
	自治体の認証・認定保育施設	15 100.0	11 73.3	10 66.7	3 20.0	4 26.7	5 33.3	12 80.0	7 46.7	1 6.7	3 20.0	4 26.7	-	
	幼児教育施設	35 100.0	32 91.4	25 71.4	8 22.9	1 2.9	-	12 34.3	8 22.9	1 2.9	4 11.4	2 5.7	-	
	その他の認可外保育施設	13 100.0	8 61.5	4 30.8	2 15.4	-	2 15.4	6 46.2	6 46.2	2 15.4	1 7.7	1 7.7	-	
	認可外の居宅訪問型保育事業	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	
	一時預かり事業(非定型)	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	
	ファミリー・サポート・センター事業	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	
	その他	4 100.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	2 50.0	-	

図表91 回答した事業の利用を希望する理由：平日に定期的に利用したい教育・保育の事業別：定期的な教育・保育の事業利用の有無別

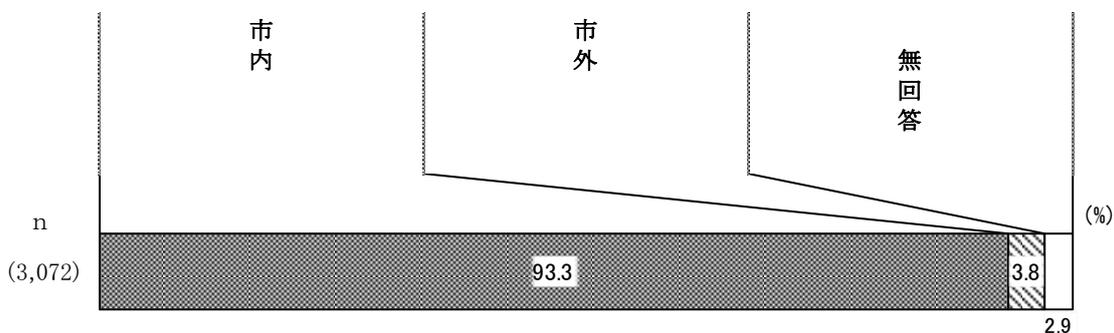
平日の定期的な教育・保育の事業利用なし (単位 上段:件 下段:%)	調査数	保育理念、教育理念が良い	園の雰囲気が良い	通っている方の評判が良い	園の設備や園庭が充実している	給食やおやつが充実している	離が近い	自宅や職場からの距離が近い	延長保育や、預かり保育がある	日曜日・祝日等の休日保育がある	償化が実施される	幼児教育・保育の無償化が実施される	その他	無回答
全体	825 100.0	325 39.4	386 46.8	230 27.9	301 36.5	172 20.8	440 53.3	348 42.2	33 4.0	343 41.6	89 10.8	15 1.8		
平日に定期的に利用したい教育・保育の事業	幼稚園	464 100.0	216 46.6	249 53.7	137 29.5	169 36.4	84 18.1	239 51.5	174 37.5	6 1.3	204 44.0	53 11.4	10 2.2	
	幼稚園の預かり保育	37 100.0	14 37.8	15 40.5	9 24.3	17 45.9	8 21.6	12 32.4	30 81.1	3 8.1	13 35.1	2 5.4	-	
	認定こども園	22 100.0	9 40.9	5 22.7	3 13.6	4 18.2	2 9.1	10 45.5	13 59.1	1 4.5	12 54.5	5 22.7	-	
	認可保育所	259 100.0	70 27.0	99 38.2	72 27.8	102 39.4	72 27.8	160 61.8	122 47.1	20 7.7	101 39.0	25 9.7	3 1.2	
	小規模保育事業	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	
	家庭的保育事業	5 100.0	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	-	-	2 40.0	2 40.0	1 20.0	
	事業所内保育施設	4 100.0	-	-	-	-	-	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-	
	企業主導型保育事業	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	
	自治体の認証・認定保育施設	5 100.0	2 40.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	-	-	
	幼児教育施設	12 100.0	9 75.0	7 58.3	5 41.7	2 16.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	-	4 33.3	-	-	
	その他の認可外保育施設	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	
	認可外の居宅訪問型保育事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一時預かり事業(非定型)	12 100.0	2 16.7	5 41.7	4 33.3	4 33.3	3 25.0	6 50.0	4 33.3	2 16.7	4 33.3	1 8.3	1 8.3	
	ファミリー・サポート・センター事業	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

問25 問22で「1～13」のいずれかに○をつけた方におたずねします。教育・保育事業を利用したい場所について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

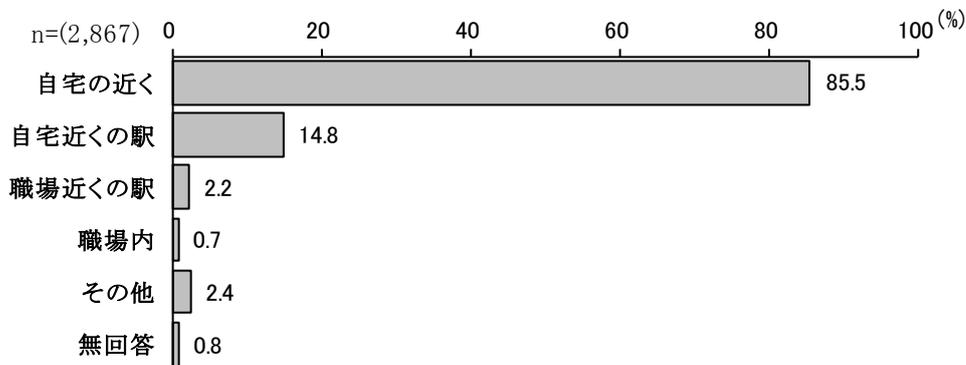
教育・保育事業を利用したい場所についてたずねたところ、「市内」が93.3%となっています。市内の実施場所は「自宅の近く」（85.5%）、「自宅近くの駅」（14.8%）が主な実施場所となっています。

市外では「鎌倉市」「横浜市」「茅ヶ崎市」「大船駅」「西鎌倉駅」「腰越駅」等が回答されています。

図表92 教育・保育事業を利用したい場所



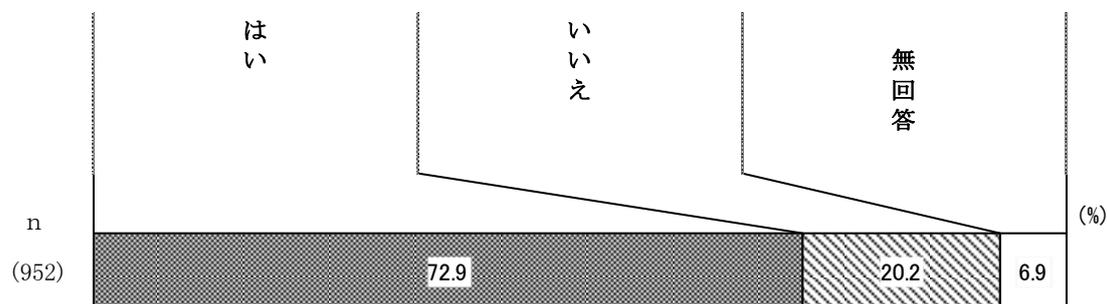
図表93 市内の教育・保育事業を利用したい場所



問 26 問 22 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」を選び、かつ「3」～「13」に○をつけた方におたずねします。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を利用し、かつそれ以外のサービスも利用したい方について、特に幼稚園の利用を強く希望する割合は72.9%となっています。

図表94 幼稚園の利用への強い希望の有無



【参考】国の資料「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方」（平成30年8月24日）

7 共働き等家庭の子どもの幼稚園利用について

共働き等家庭の子どもの幼稚園利用について、正確にニーズを把握することを目的として、「調査票のイメージ」に問 16-2 を追加すること。ただし、既に調査を実施している市町村においては、追加調査を依頼するものではない。

なお、幼稚園における預かり保育等の取扱いについての量の見込みの算出・確保方策の考え方については、後日別途示す予定である。

問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。
1. はい 2. いいえ

6. 地域子育て支援事業の利用状況について

問27 あて名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」「つどいの広場」等を利用していますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。なお、「2. 利用していない」に○をつけた方は、その理由について当てはまるものすべてに○をつけてください。

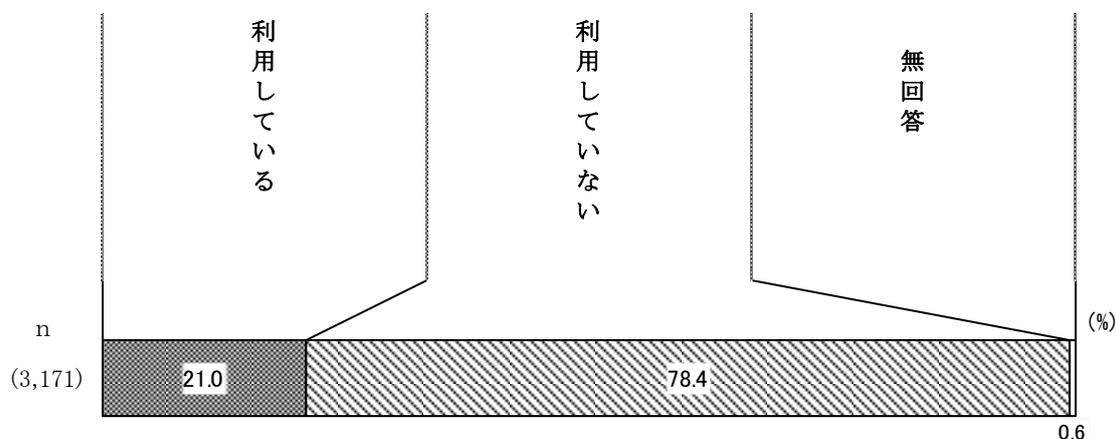
地域子育て支援事業の利用状況は「利用している」が21.0%となっています。

「利用している」と回答した方の地域子育て支援事業の利用状況は「子育て支援センター・つどいの広場」が86.8%、「その他藤沢市で実施している類似の事業」が18.3%、「子育てサークルなど」が11.1%となっています。

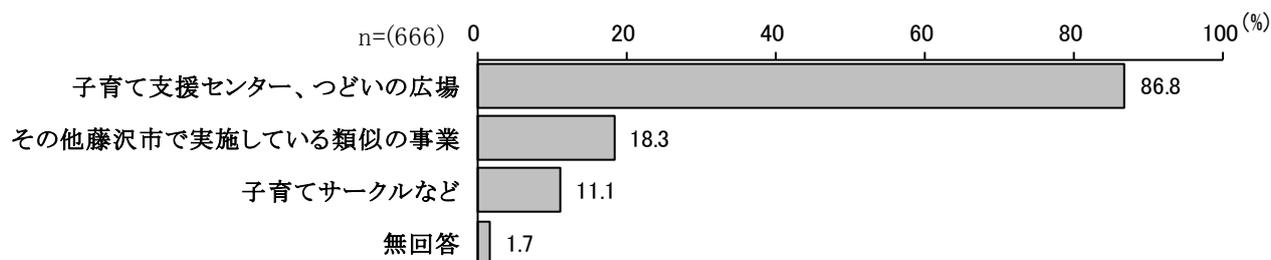
「子育て支援センター・つどいの広場」「その他藤沢市で実施している類似の事業」「子育てサークルなど」の1か月当たりの利用回数ではそれぞれ「月1から4回」が最も多くなっています。

地域子育て支援事業を利用していない理由は「興味がない」が22.3%、「知らない」が18.8%となっています。利用していない理由の「その他」には「時間がない」「時間や曜日が合わない」「保育園や幼稚園を利用している」「年齢が合わない」等の回答がありました。

図表95 地域子育て支援事業の利用状況

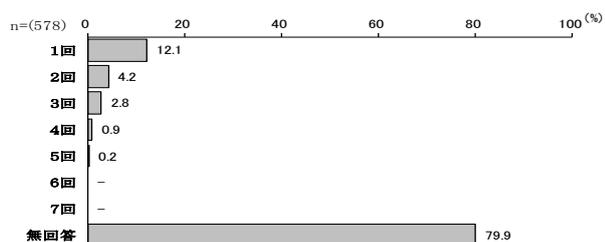


図表96 地域子育て支援事業の利用状況の内訳

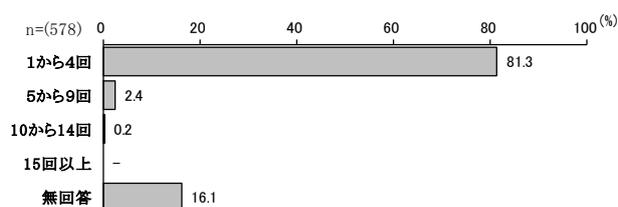


図表97 子育て支援センター、つどいの広場の利用状況

● 1週当たりの利用回数

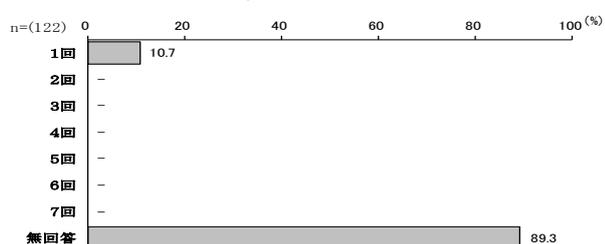


● 1か月当たりの利用回数

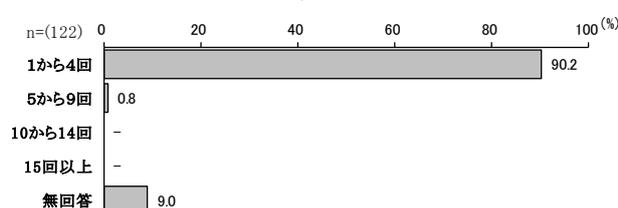


図表98 その他藤沢市で実施している類似事業の利用状況

● 1週当たりの利用回数

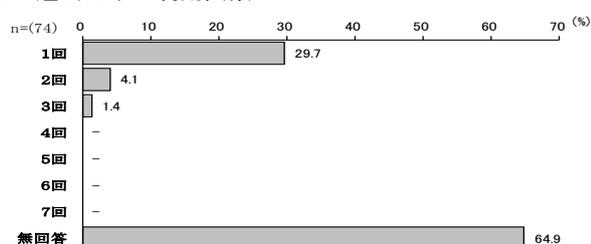


● 1か月当たりの利用回数

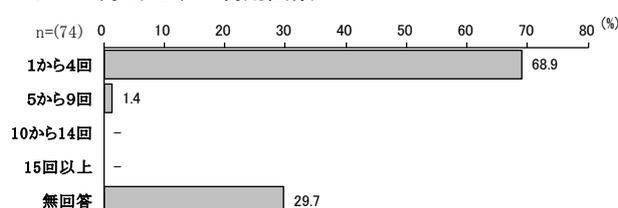


図表99 子育てサークルなどの利用状況

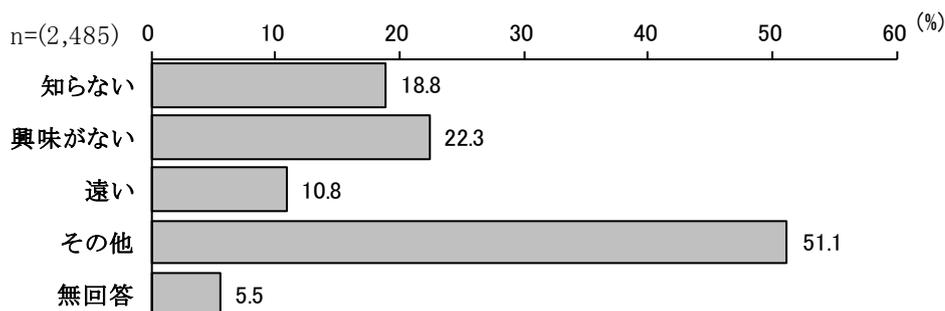
● 1週当たりの利用回数



● 1か月当たりの利用回数



図表100 地域子育て支援事業を利用していない理由

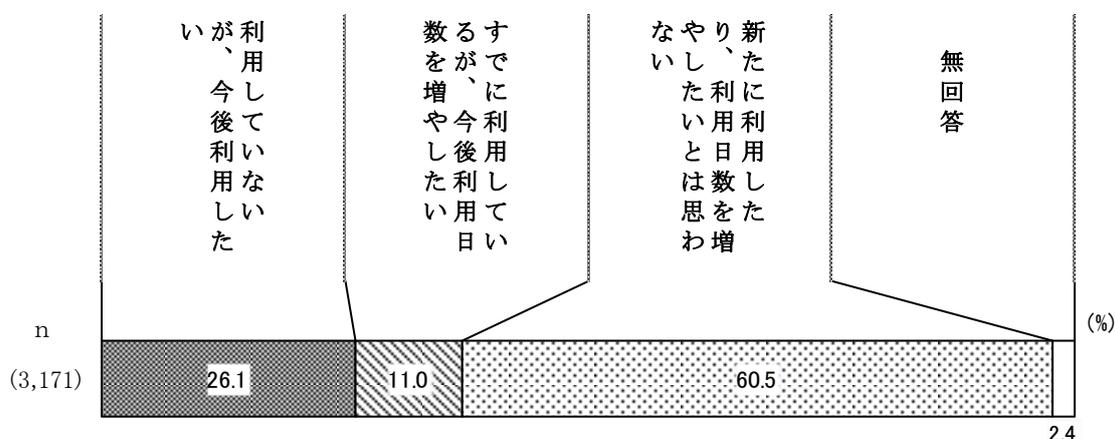


問28 「子育て支援センター」「つどいの広場」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその希望回数（頻度）を数字でご記入ください。

地域子育て支援事業の今後の利用意向では「利用していないが、今後利用したい」が26.1%、となっています。

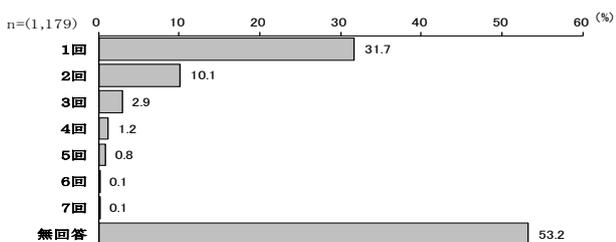
今後利用したい、または利用日数を増やしたい方の希望回数は1か月当たり「1から4回」が58.8%となっています。

図表101 地域子育て支援事業の今後の利用希望

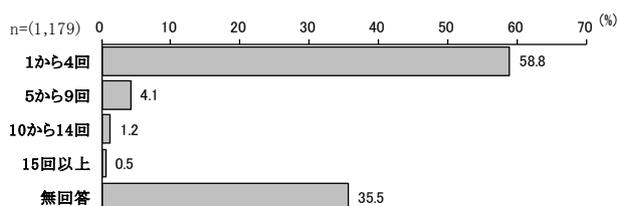


図表102 今後利用したい、または利用日数を増やしたい方の希望回数

● 1週当たりの利用回数



● 1か月当たりの利用回数



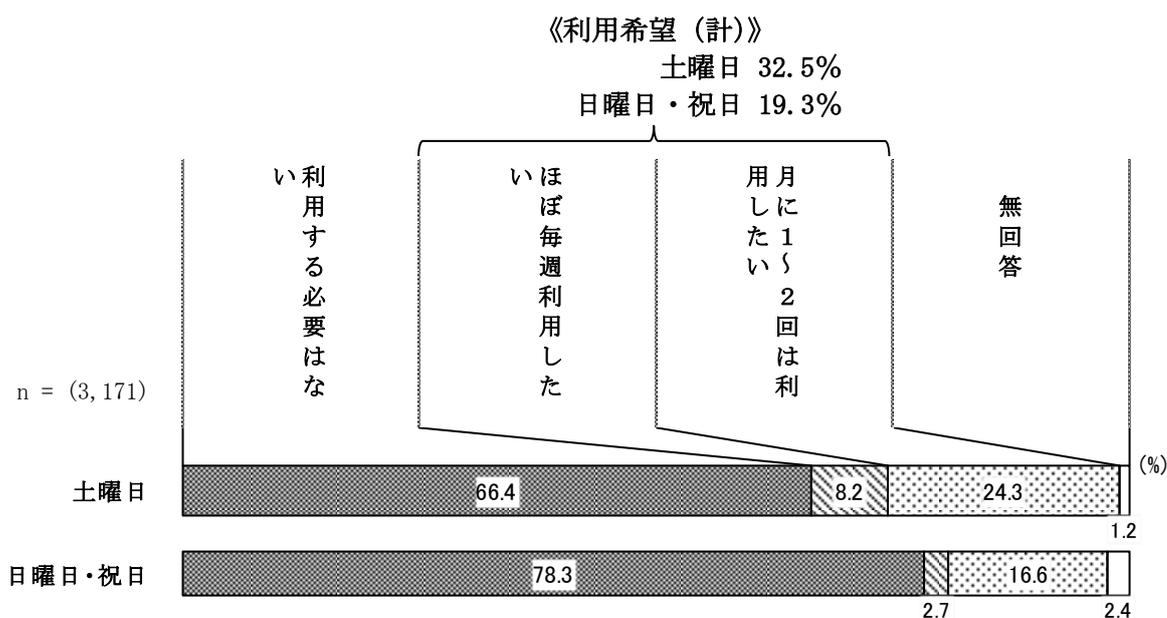
7. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 29 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯について数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。また、教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望（「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」の合計）は、土曜日は32.5%となっています。日曜日・祝日は19.3%となっています。

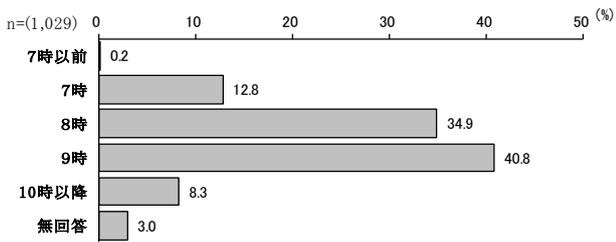
開始時間の希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに9時が特に多く、終了時間の希望は17時と18時が特に多くなっています。

図表103 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

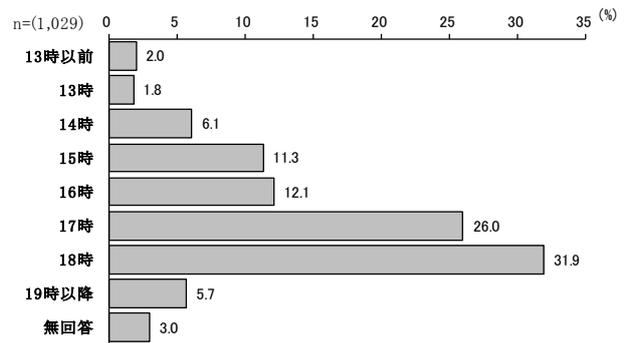


図表104 土曜日に利用したい時間帯

●開始時間

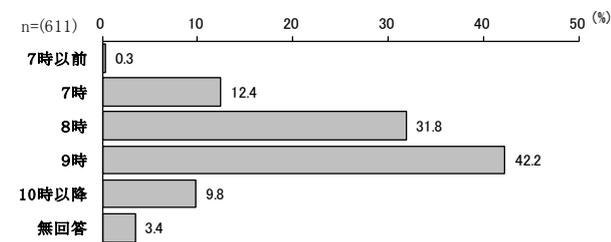


●終了時間

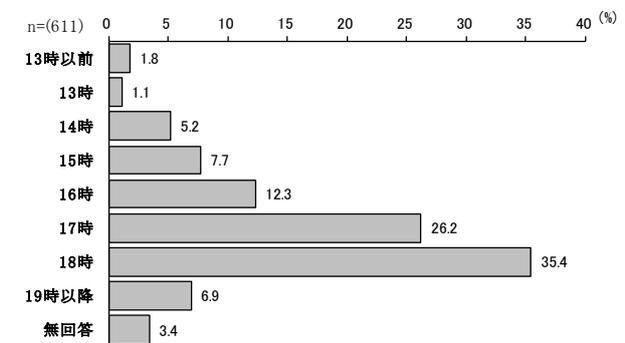


図表105 日曜日・祝日に利用したい時間帯

●開始時間



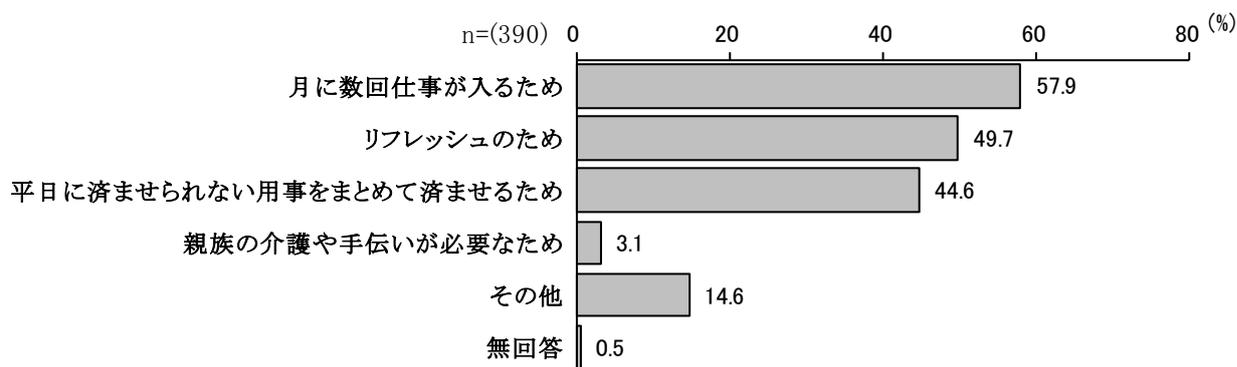
●終了時間



問30 問29の(1)もしくは(2)で、「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方におたずねします。毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

毎週でなく月1～2回利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」(57.9%)、「リフレッシュのため」(49.7%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(44.6%)、が上位にあげられています。

図表106 毎週でなく月1～2回利用したい理由（複数回答）

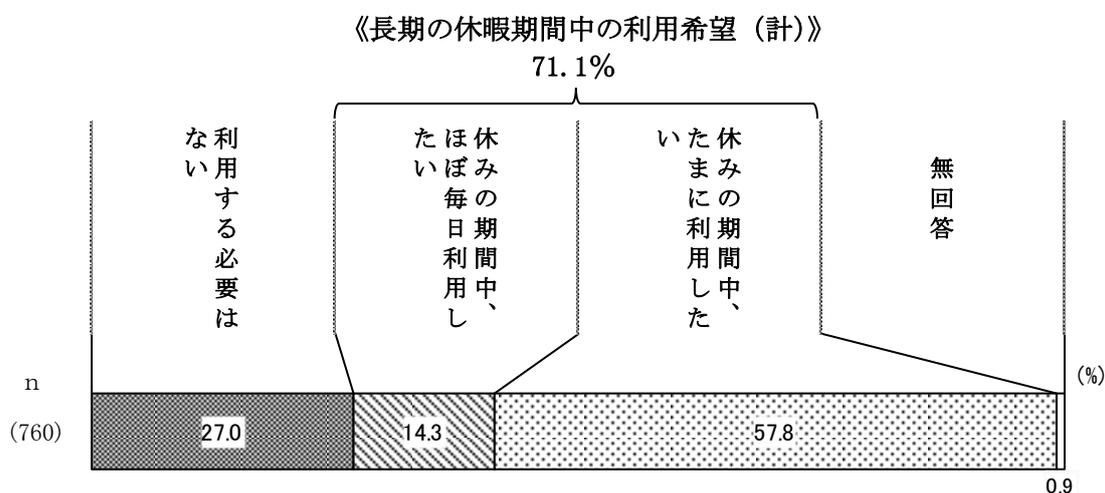


問31 問17で「1. 幼稚園」を利用している方におたずねします。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯について数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望は、71.1%（「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」（14.3%）、「休みの期間中、週に数日利用したい」（57.8%）の合計）となっています。

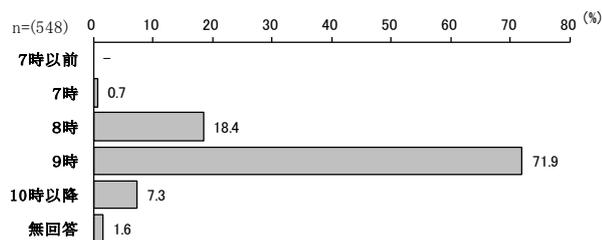
開始時間の希望は、9時が最も多く、終了時間の希望は、15時（24.1%）が最も多く、次いで17時（23.2%）となっています。

図表107 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

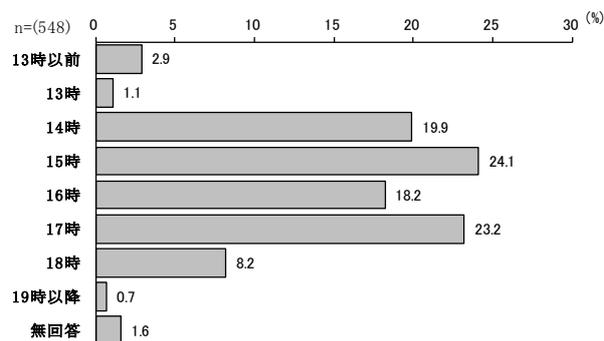


図表108 長期の休暇期間中に利用したい時間帯

●開始時間



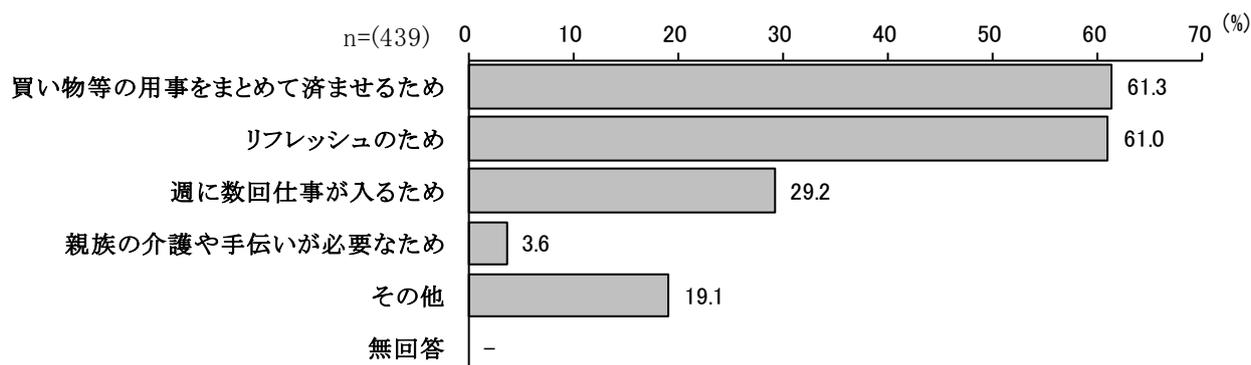
●終了時間



問32 問31で「3. 休みの期間中、たまに利用したい」に○をつけた方におたずねします。
 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけて
 ください。

毎日でなくたまに利用したい理由は、「買物等の用事をまとめて済ませるため」（61.3%）、「リフレッシュのため」（61.0%）が上位にあげられています。

図表109 たまに利用したい理由



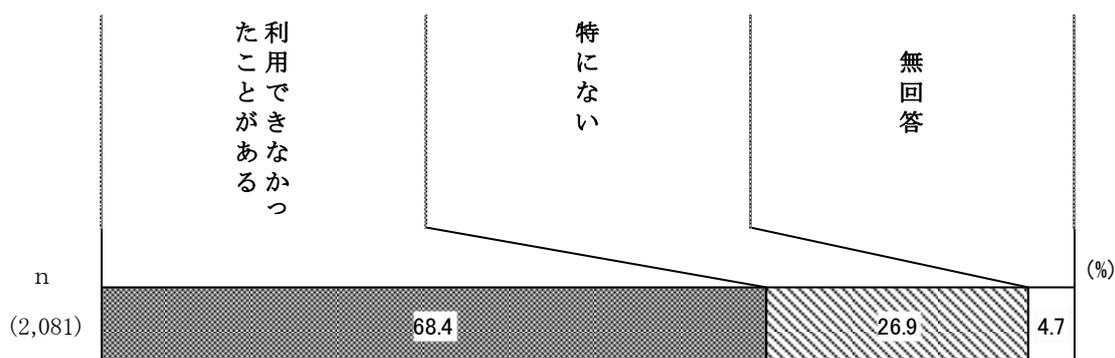
8. 病気の際の対応について

問33 問16で平日の定期的な教育・保育の事業を「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

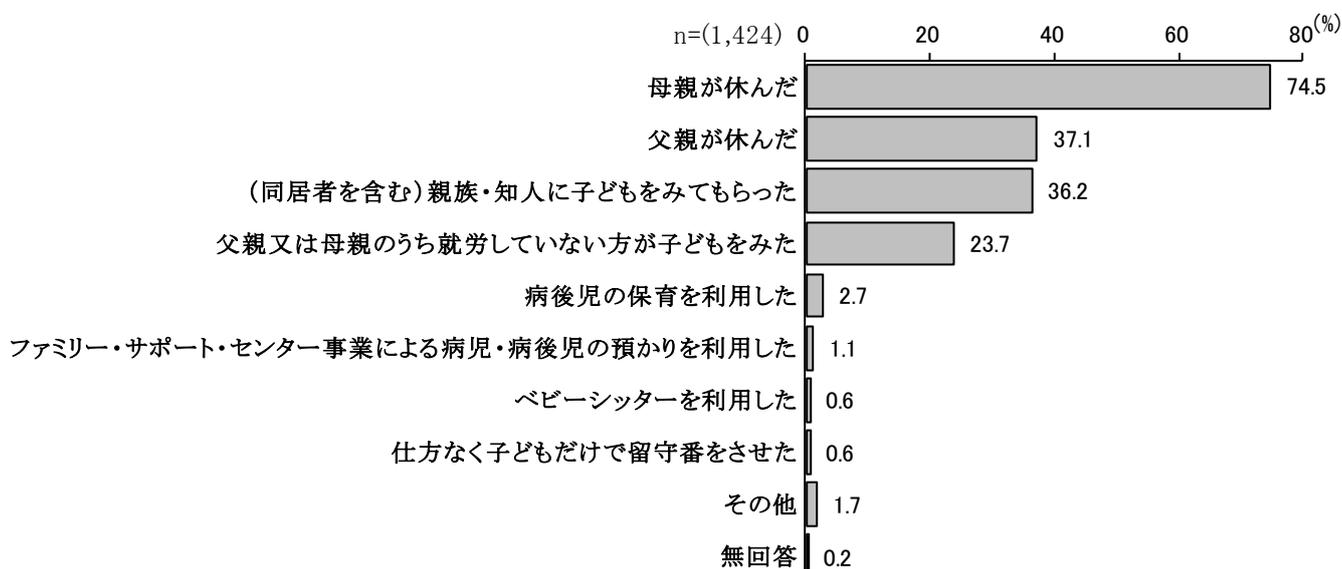
この1年間に病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことがあるかをみると、「利用できなかったことがある」が68.4%、「特にない」が26.9%となっています。

図表110 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった経験



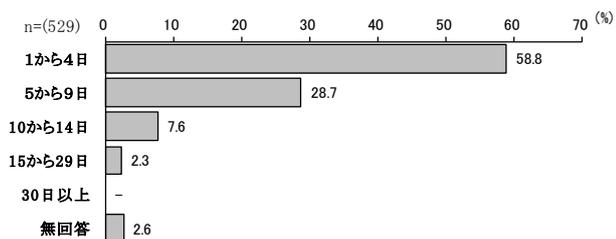
子どもが病気やケガで教育・保育の事業を利用できなかったと回答した方に、1年間における対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」が74.5%で最も多く、次いで、「父親が休んだ」(37.1%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(36.2%)などとなっています。

図表111 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった際の対処方法（複数回答）

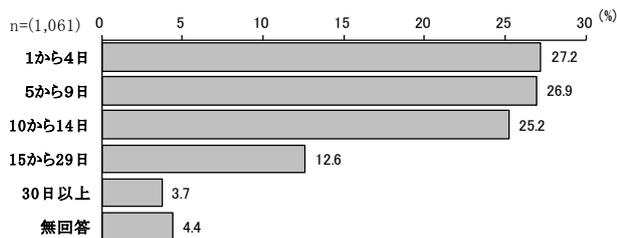


図表112 1年間の対処方法別日数

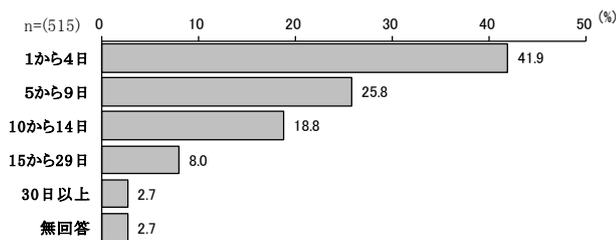
●父親が休んだ



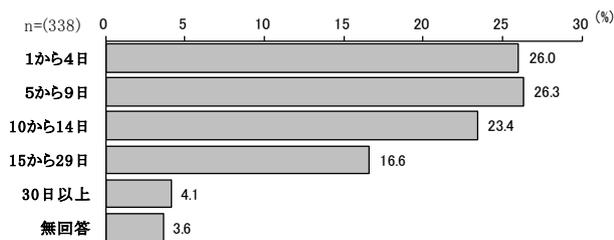
●母親が休んだ



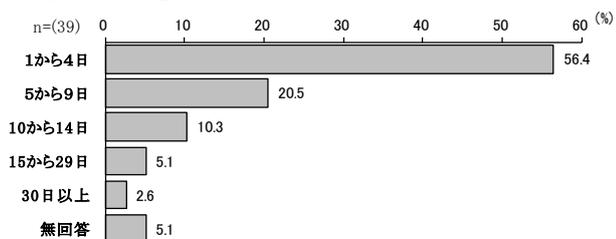
●親族・知人に子どもをみてもらった



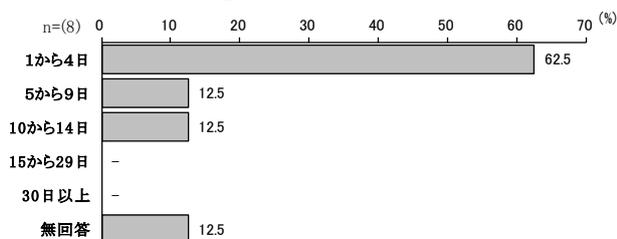
●父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた



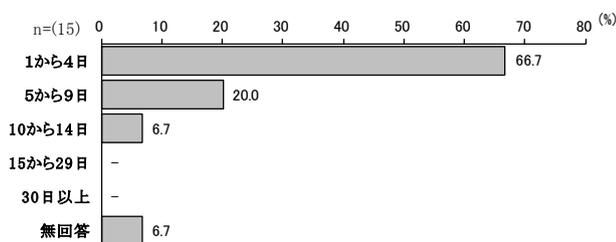
●病後児の保育を利用した



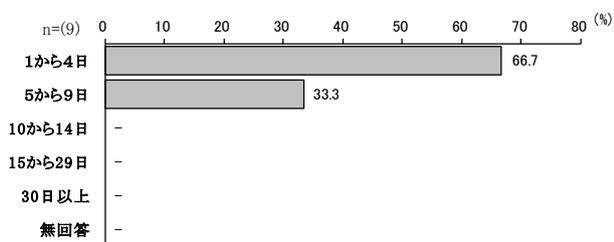
●ベビーシッターを利用した



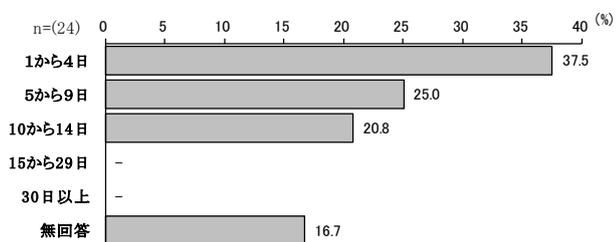
●ファミリー・サポート・センター事業を利用した



●子どもだけで留守番をさせた



●その他



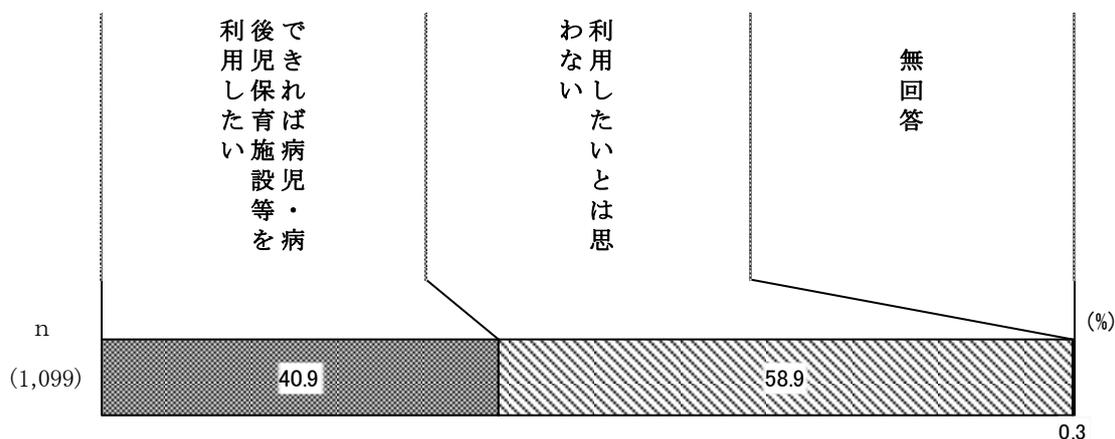
問34 問33で「ア. 父親が休んだ」もしくは「イ. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

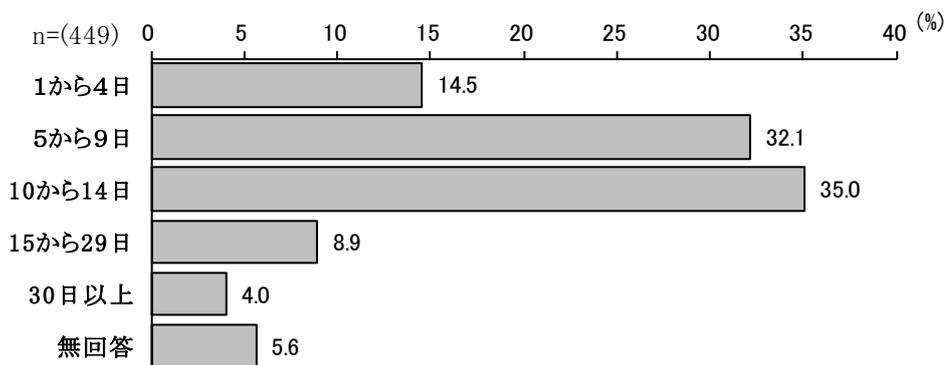
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が40.9%となっています。

また、利用したい日数は、「10から14日」（35.0%）が最も多くあげられており、次いで「5から9日」（32.1%）となっています。

図表113 病児・病後児保育施設等の利用希望



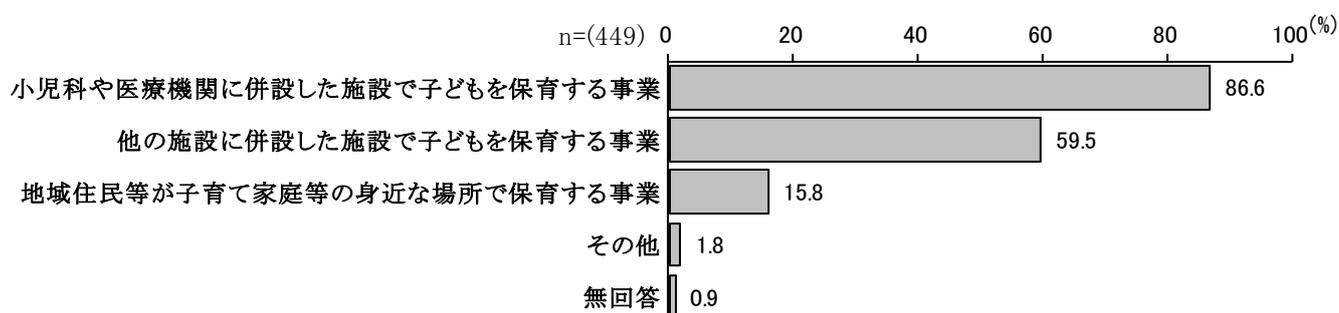
図表114 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい年間の日数



問35 問34で「1. できれば病児・病後児等保育施設等を利用したい」に○をつけた方におたずねします。
 上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを預ける場合望ましいと思う病児・病後児等保育施設等の事業形態をみると、「小児科や医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」（86.6%）、「ほかの施設に併設した施設で子どもを保育する事業」（59.5%）が多くあげられています。

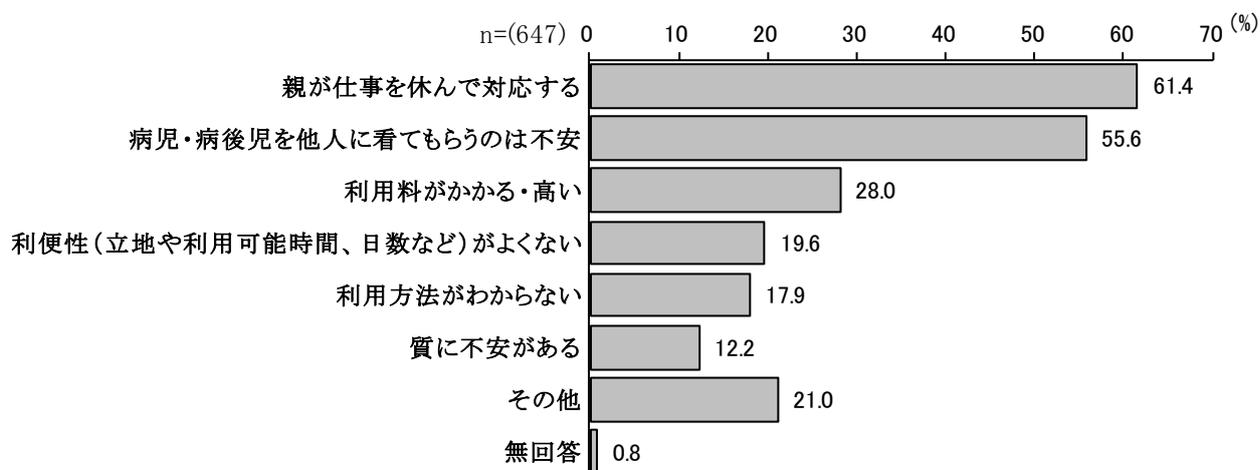
図表115 子どもを預ける場合望ましいと思う病児・病後児等保育施設等の事業形態（複数回答）



問36 問34で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方におたずねします。
 そう思われる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「親が仕事を休んで対応する」（61.4%）、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（55.6%）が多くあげられています。その他の内容は、「体調不良の時はそばにいてあげたい」「子どもが不安がる」「家族等で対応できるから」等の回答があります。

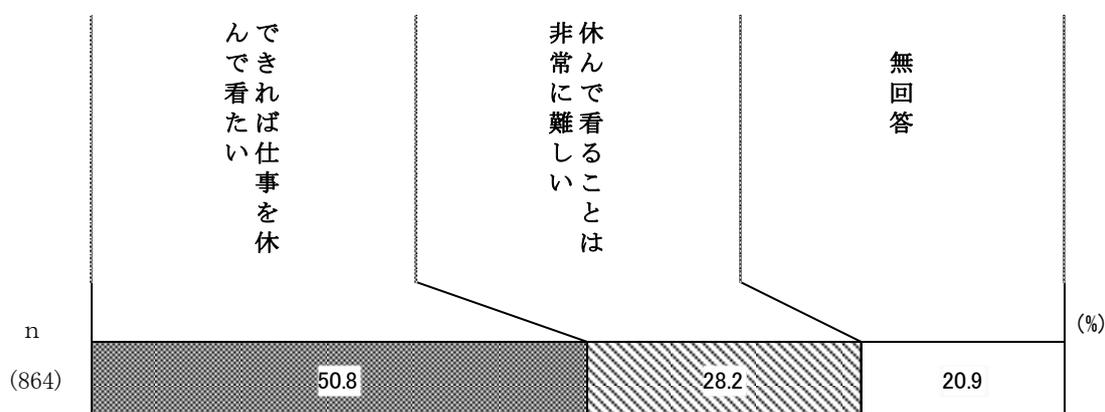
図表116 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）



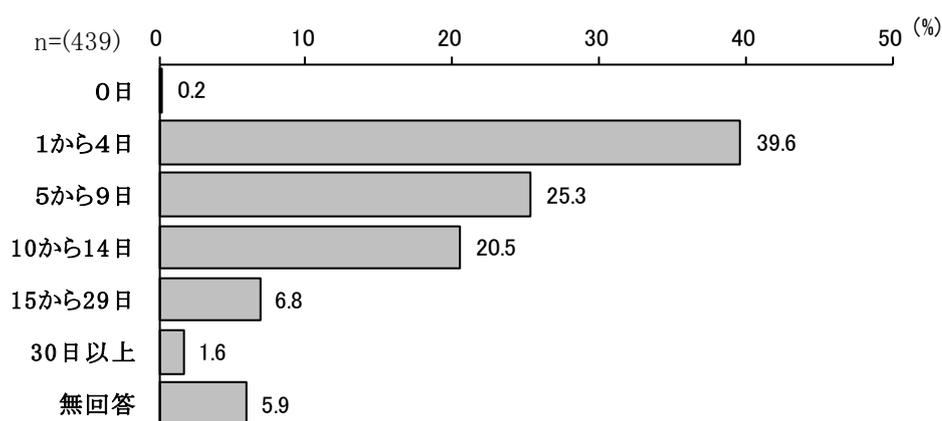
問37 問33で「ウ～ケ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、「1. できれば仕事を休んで看たい」に○をつけた方は、問37「ウ～ケ」に記入した日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。

子どもの病気の際、父母のいずれかによる休業、看護の希望をみると、「できれば仕事を休んで看たい」が50.8%となっています。また、利用したい日数は、「1から4日」(39.6%)が最も多くあげられており、次いで「5から9日」(25.3%)となっています。

図表117 子どもの病気の際、父母のいずれかによる休業、看護の希望



図表118 仕事を休んで看たかった日数

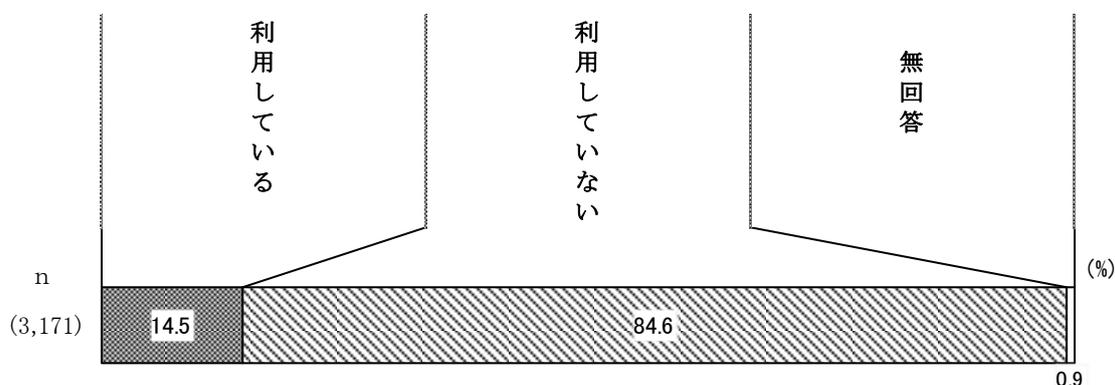


9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

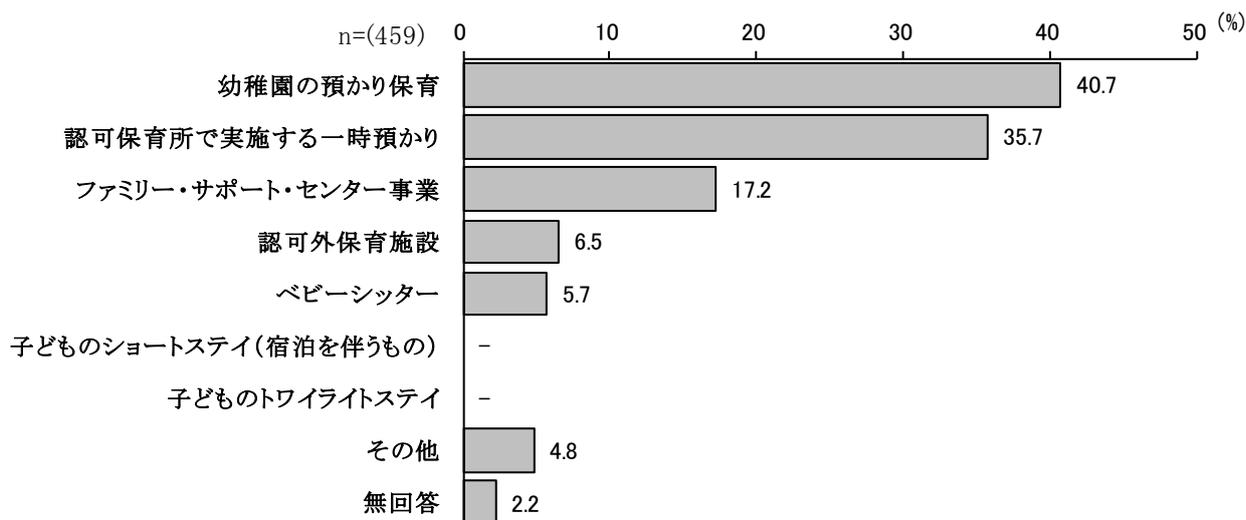
問 38 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、保護者の用事（私用、親の通院、不定期の就労等）の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

1年間に私用等の目的で不定期に利用した事業については、「幼稚園の預かり保育」が40.7%、「認可保育所で実施する一時預かり」が35.7%となっています。一方、「利用していない」は84.6%となっています。

図表119 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の有無



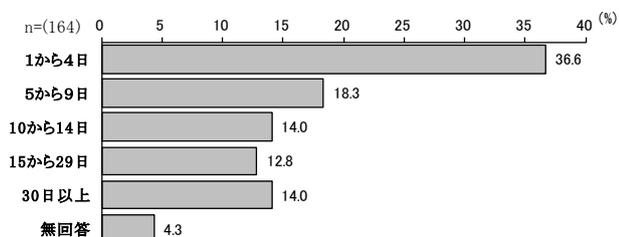
図表120 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用状況（複数回答）



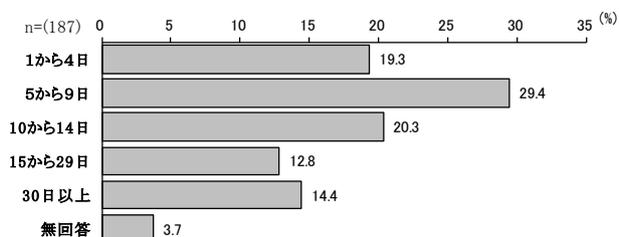
1年間に利用した事業別日数は、「幼稚園の預かり保育」は「5から9日」が最も多く29.4%、「認可保育所で実施する一時預かり」は「1から4日」が36.6%となっています。また、「ファミリー・サポート・センター事業」は「1から4日」が43.0%となっています。

図表121 1年間に利用した事業別日数

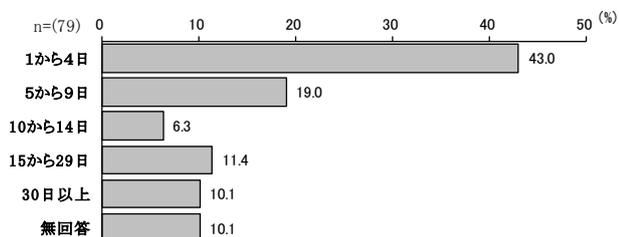
●認可保育園で実施する一時預かり



●幼稚園の預かり保育



●ファミリー・サポート・センター事業

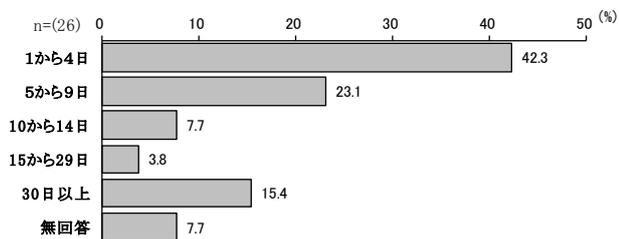


●子どものショートステイ（宿泊を伴うもの）

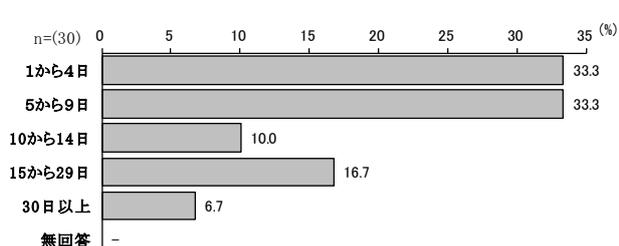
●子どものトワイライトステイ

・回答なし

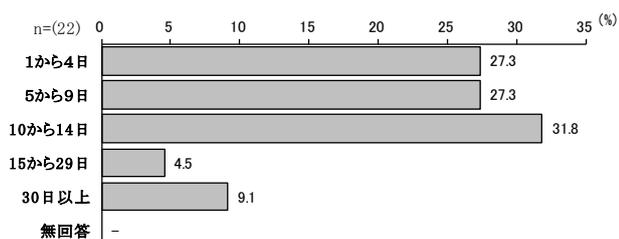
●ベビーシッター



●認可外保育施設



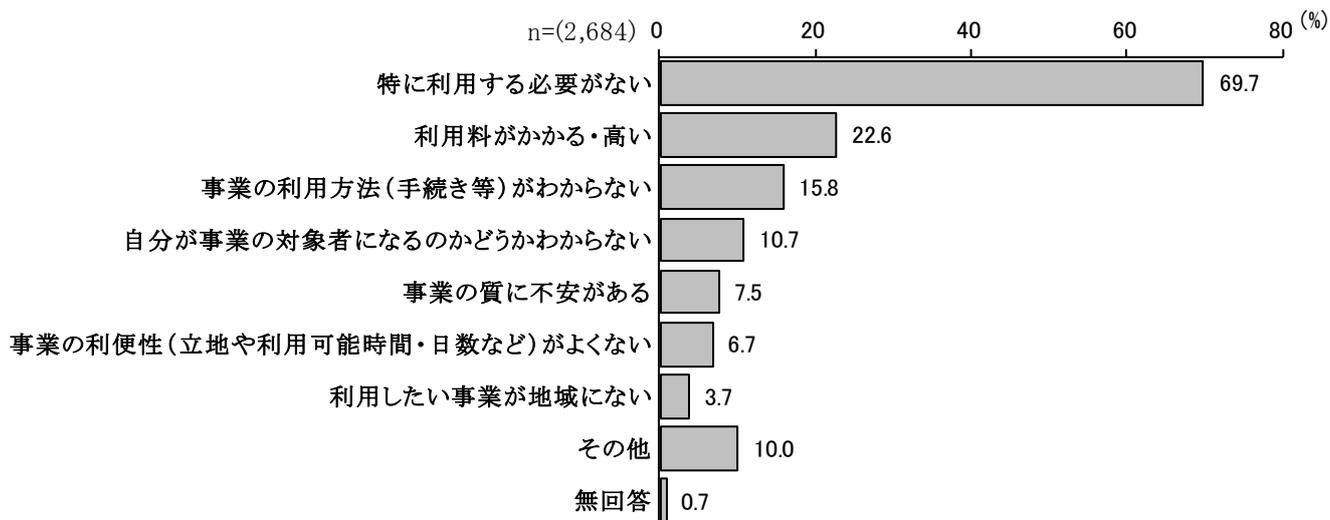
●その他



問39 問38で「2. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。
 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期の教育・保育事業を利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」（69.7%）、「利用料がかかる・高い」（22.6%）が多くあげられています。

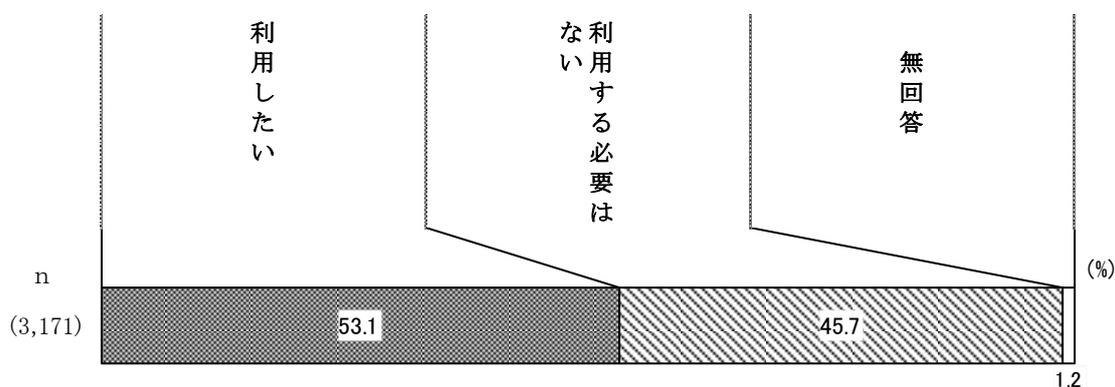
図表122 不定期の教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）



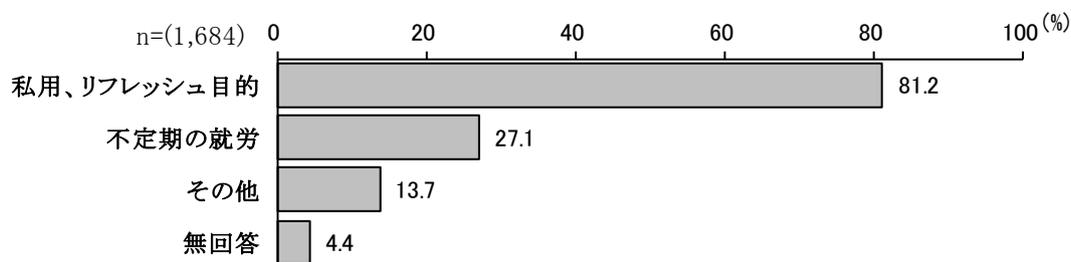
問40 あて名のお子さんについて、保護者の用事（私用、親の通院、不定期の就労等）の目的で、不定期の保育事業を伴う一時預かり等の事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用希望について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

不定期の事業を利用したいと回答した方（53.1%）に、利用目的をたずねたところ、「私用、リフレッシュ目的」が81.2%と最も多く、「不定期の就労」が27.1%となっています。

図表123 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望



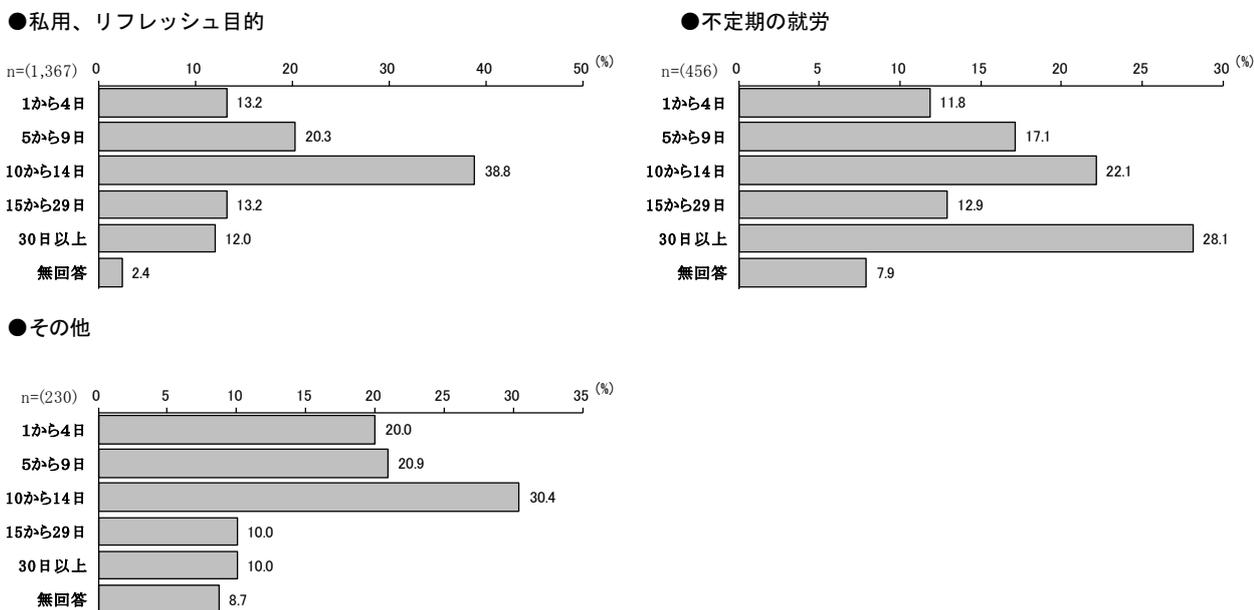
図表124 利用目的（複数回答）



第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望日数は、「使用、リフレッシュ目的」は「10から14日」が最も多く38.8%、「不定期の就労」は「30日以上」が28.1%となっています。

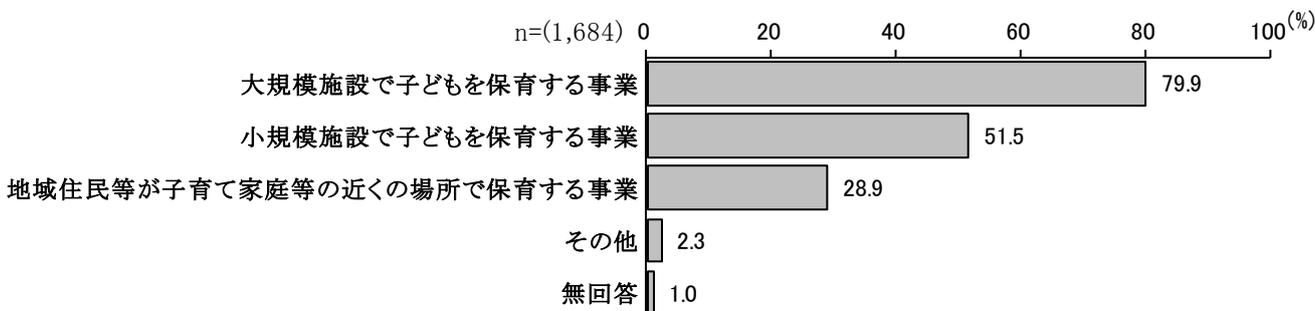
図表125 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望年間日数



問41 問40で「1. 利用したい」に○をつけた方におたずねします。
 問40の目的でお子さんを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

保護者の用事の目的で子どもを預ける場合に望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」(79.9%)が多くあげられています。

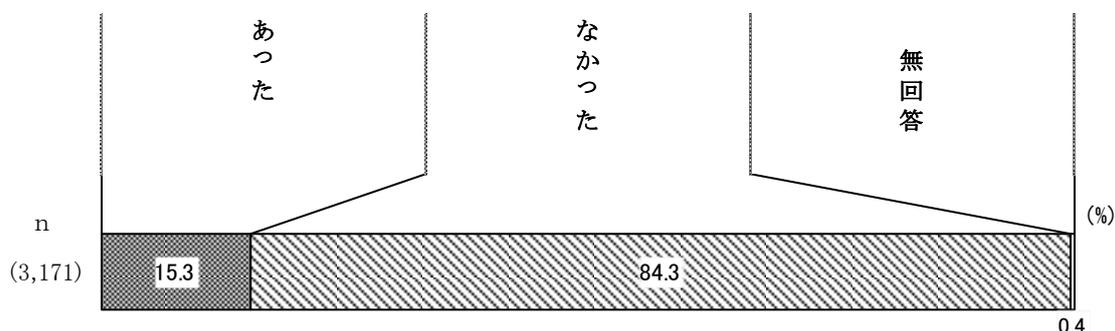
図表126 子どもを預ける場合に望ましい事業形態(複数回答)



問42 この1年間に、保護者の用事（出張、冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならないことがあったかたずねたところ、「あった」が15.3%、「なかった」が84.3%となっています。

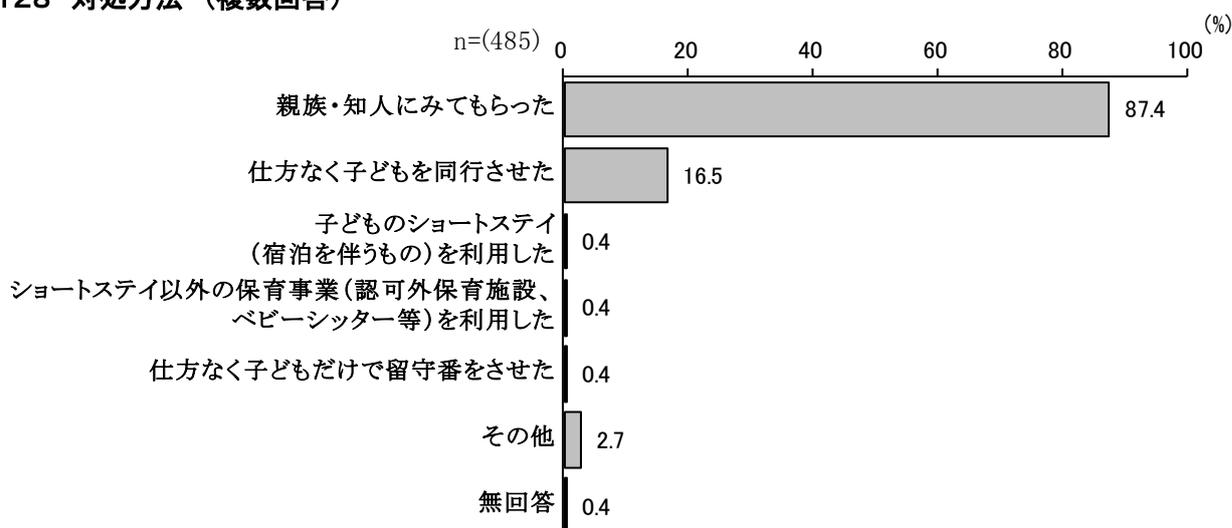
図表127 子どもを泊りがけで家族以外の人にみてもらった経験



子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならないことがあったと回答した方に、対処方法をたずねたところ、「親族・友人・知人にみてもらった」が87.4%で最も多くなっています。

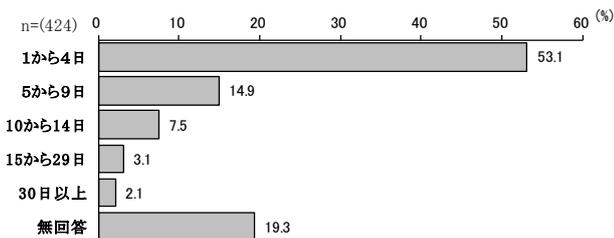
対処方法の年間の宿泊日数ほどの対処方法も1～4日が最も多くなっています。

図表128 対処方法（複数回答）



図表129 対処方法の日数

●親族・知人にみてもらった



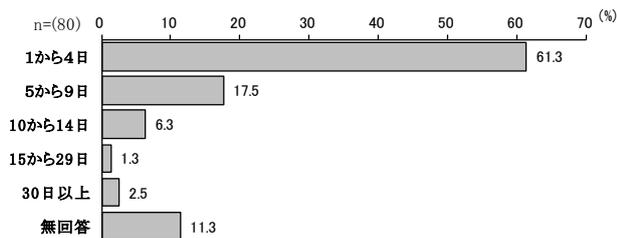
●ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した

- ・ 2日：1件
- ・ 4日：1件

●子どものショートステイ（宿泊を伴うもの）を利用した

- ・ 1日：1件
- ・ 無回答：1件

●仕方なく子どもを同行させた



●仕方なく子どもだけで留守番をさせた

- ・ 2日：1件
- ・ 30日：1件

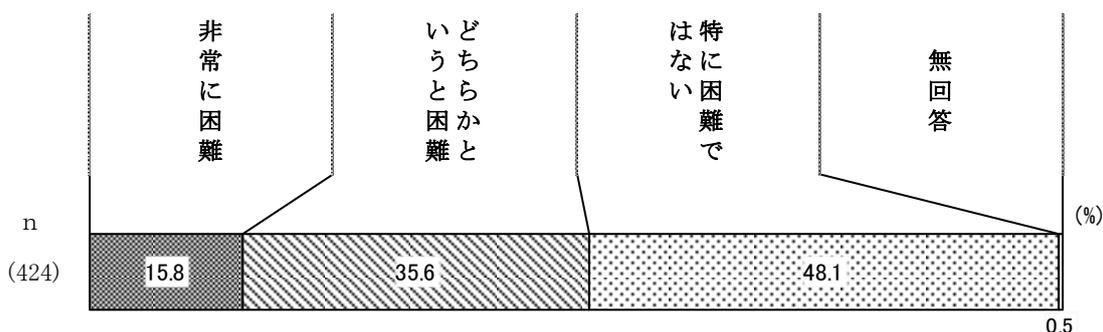
●その他

- ・ 1日：2件
- ・ 2日：3件
- ・ 3日：1件
- ・ 5日：1件
- ・ 6日：1件
- ・ 無回答：5件

問43 問42で「1. あった」のうち、対処方法「ア. 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方におたずねします。
その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

親族・知人にみてもらった方に、親族・知人にみてもらった場合の困難度をたずねたところ、「特に困難ではない」が48.1%、「どちらかという困難」と15.8%、「非常に困難」が35.6%となっており、

図表130 親族・知人にみてもらった場合の困難度

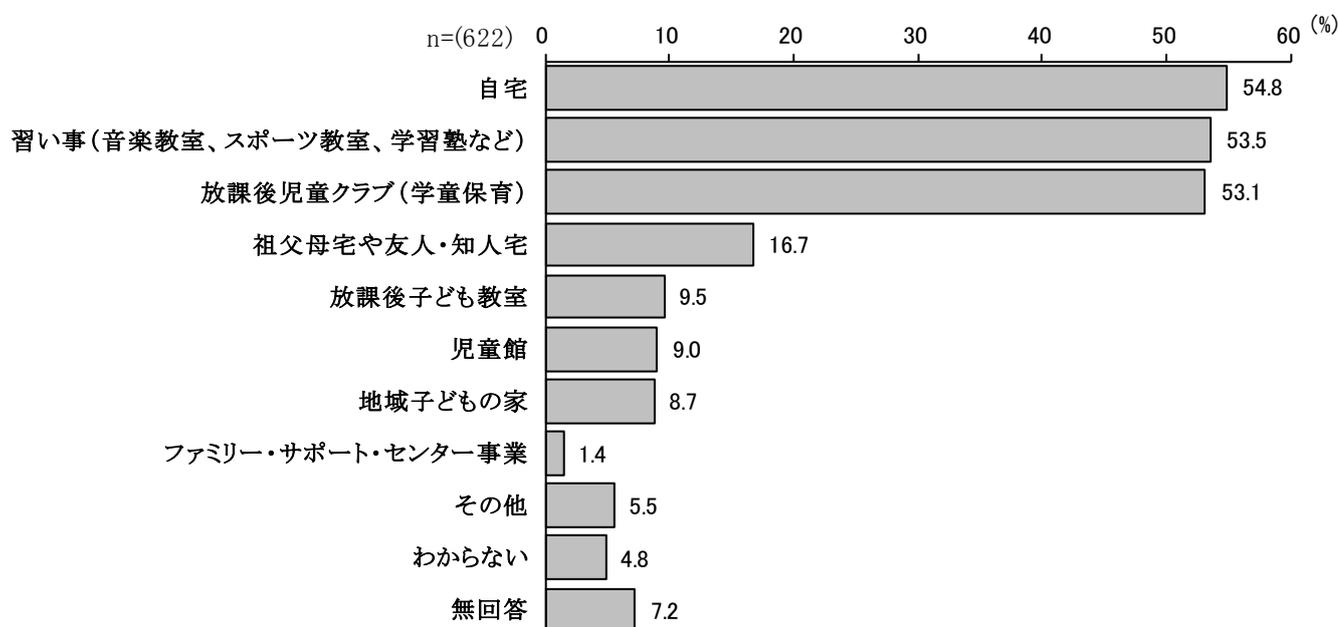


10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 44 あて名のお子さんが（2019年4月2日時点で）4歳以上の方におたずねします。
 あて名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

お子さんが4歳以上の方に小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が54.8%と最も多く、次いで、「習い事」の53.5%、「放課後児童クラブ」の53.1%となっています。

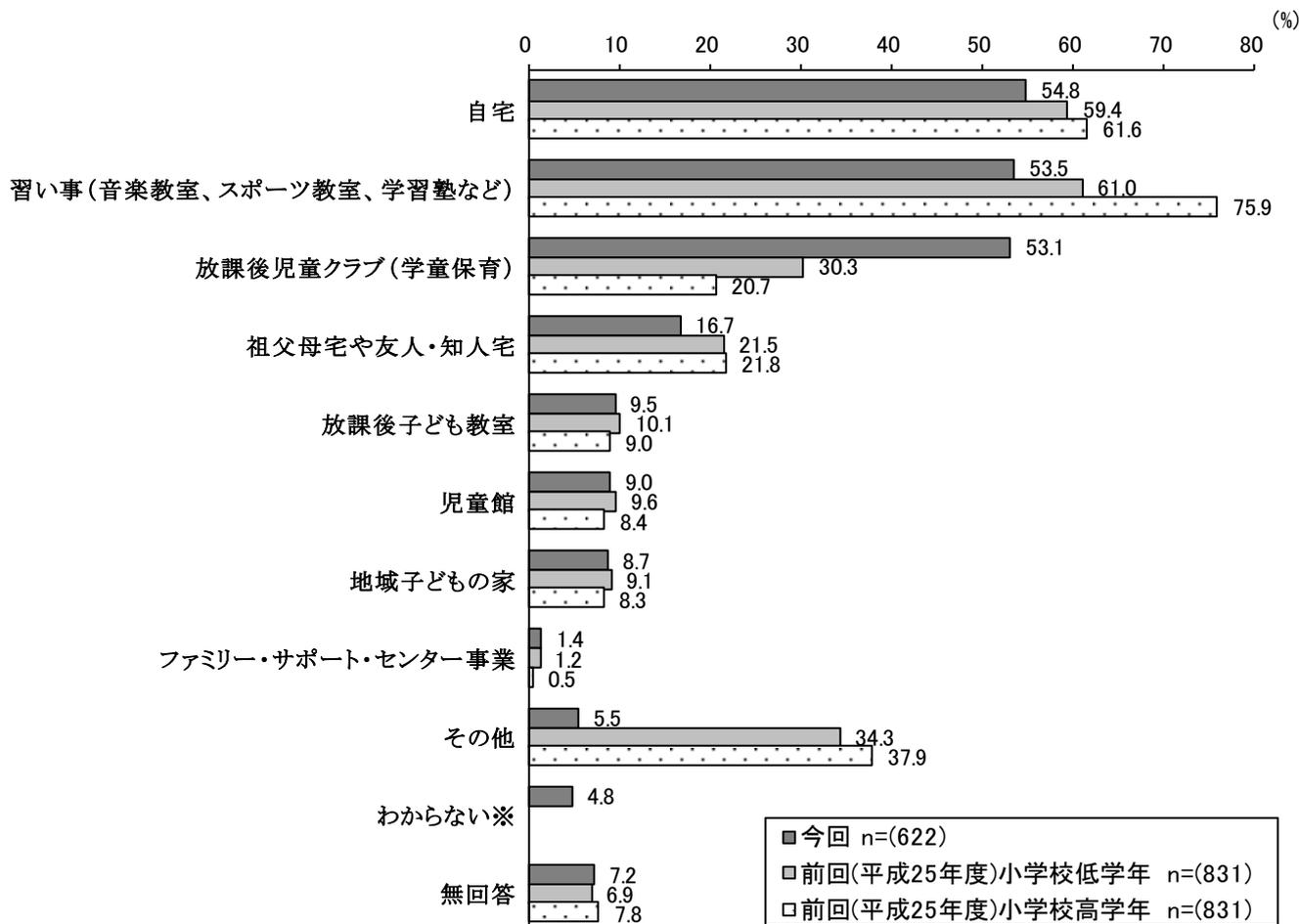
図表131 放課後過ごさせたい場所（複数回答）



第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

前回調査と比べると上位2つの「自宅」「習い事（音楽教室、スポーツ教室、学習塾など）」は少なくなっていますが、第3位の「放課後児童クラブ（学童保育）」は20ポイント以上多くなっています。

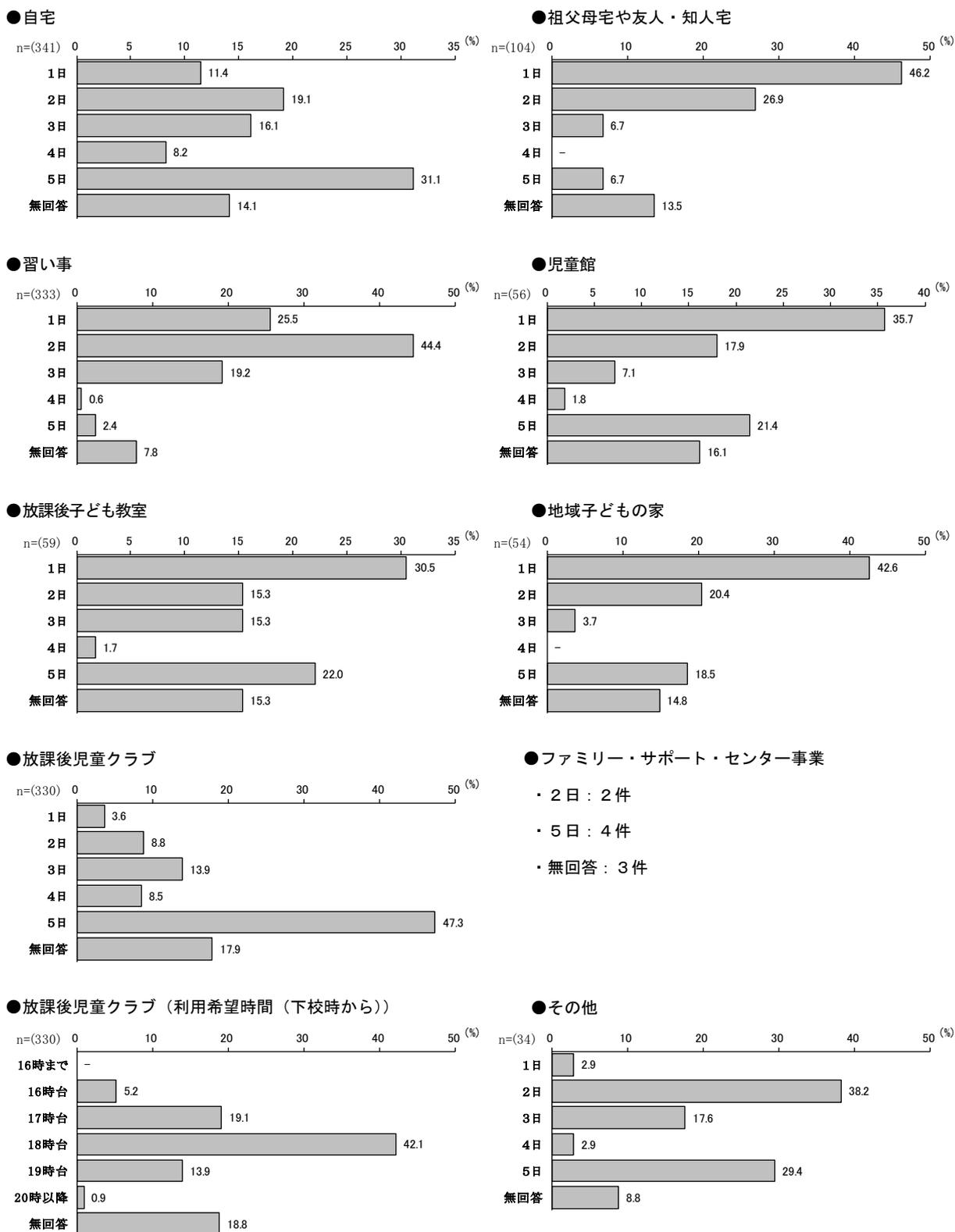
図表132 放課後過ごさせたい場所（複数回答）：前回 平成25年度調査との比較



※ 前回調査は小学校就学後、低学年の時と高学年の時に過ごさせたい場所を別々に質問している。
「わからない」は今回のみの選択肢。

週当たりの利用希望日数は、「自宅」「放課後児童クラブ」は「5日」が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」「放課後子ども教室」「地域子どもの家」は「1日」が最も多くなっています。「習い事」は「2日」が最も多くなっています。放課後児童クラブの希望利用時間は18時台までが最も多くなっています。

図表133 週当たりの利用希望日数



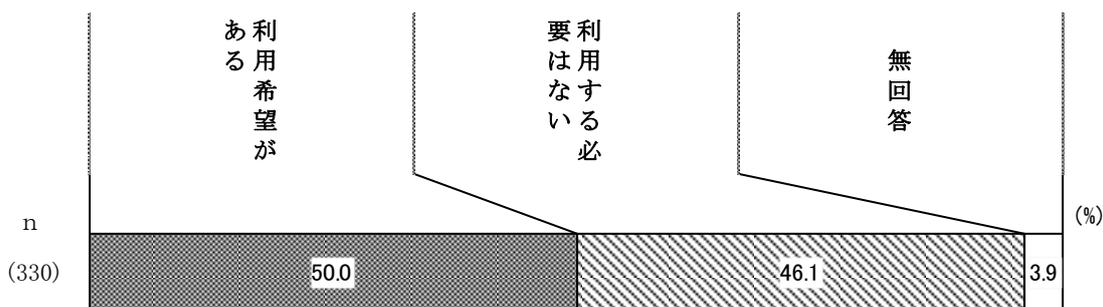
問45 問44で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方におたずねします。
 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、もしくは夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）～（3）それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい学年や時間帯をご記入ください。
 なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「放課後児童クラブ」を利用したいと回答した方に、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望をたずねました。

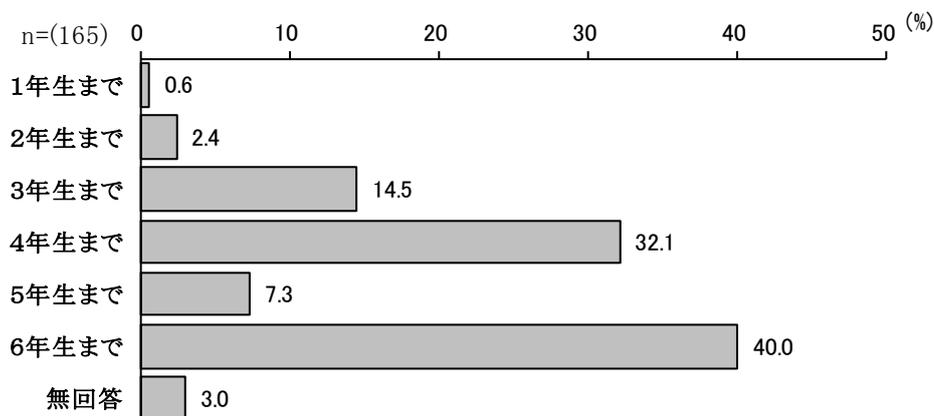
土曜日は「利用希望がある」は50.0%、「利用する必要はない」は46.1%となっています。利用したい学年は「6年生まで」が40.0%で最も多くなっています。

利用したい時間帯は開始時間の希望は「8時」が37.6%で最も多く、終了時間の希望は、「18時」が45.5%で最も多くなっています。

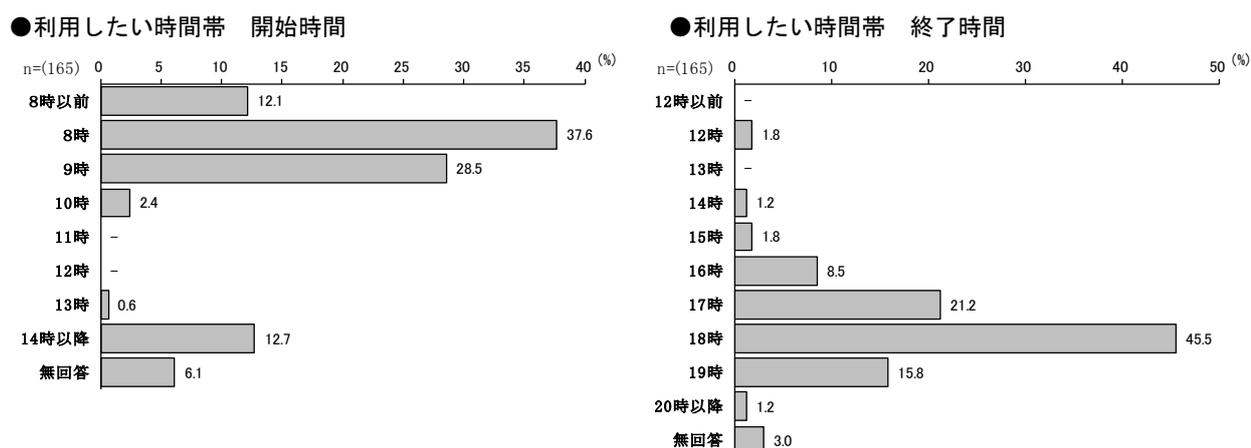
図表134 土曜日の放課後児童クラブの利用希望



図表135 土曜日に利用したい学年



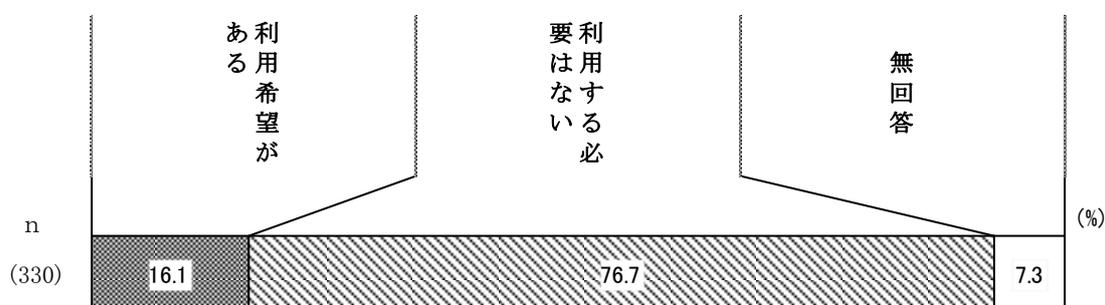
図表136 土曜日に利用したい時間帯



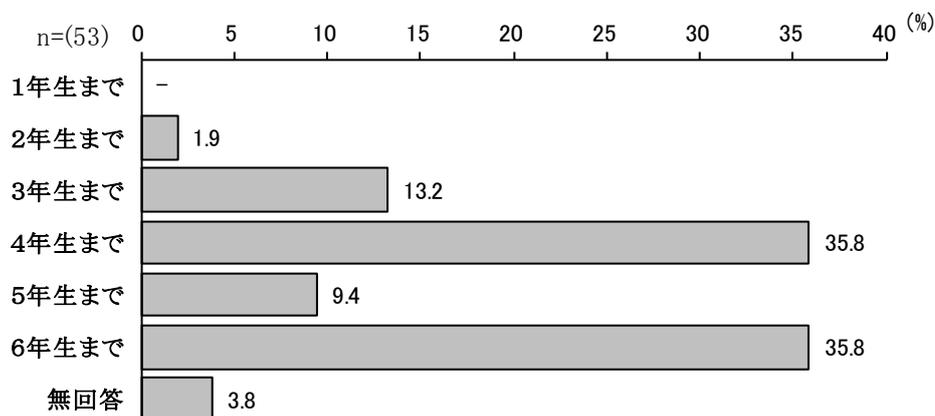
日曜日・祝日は「利用希望がある」は16.1%、「利用する必要はない」は76.7%となっています。利用したい学年は「4年生まで」と「6年生まで」が35.8%で最も多くなっています。

利用したい時間帯の希望は開始時間は「8時」が39.6%で最も多く、終了時間は、「18時」が47.2%で最も多くなっています。

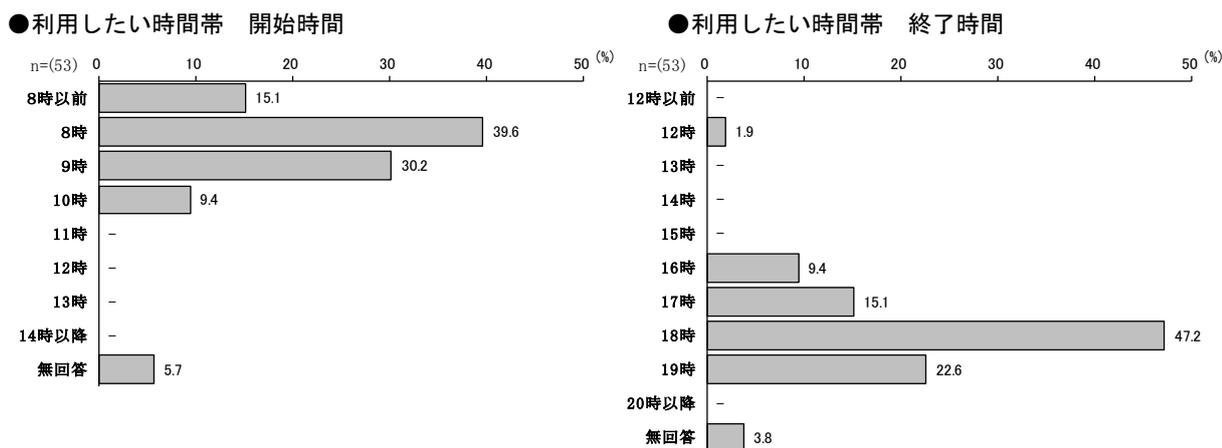
図表137 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望



図表138 日曜日・祝日に利用したい学年



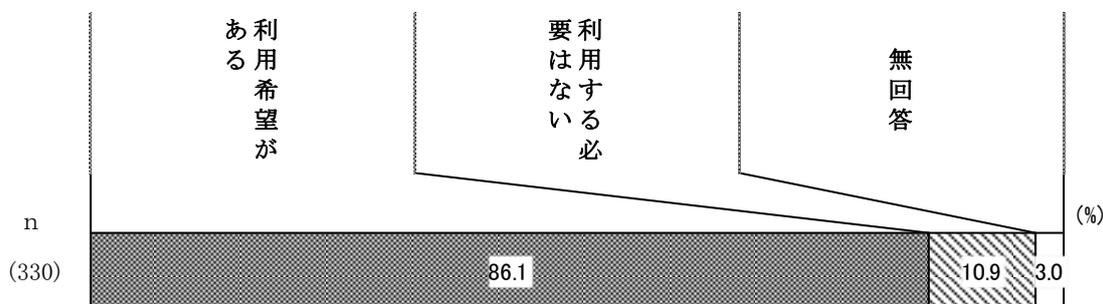
図表139 日曜日・祝日に利用したい時間帯



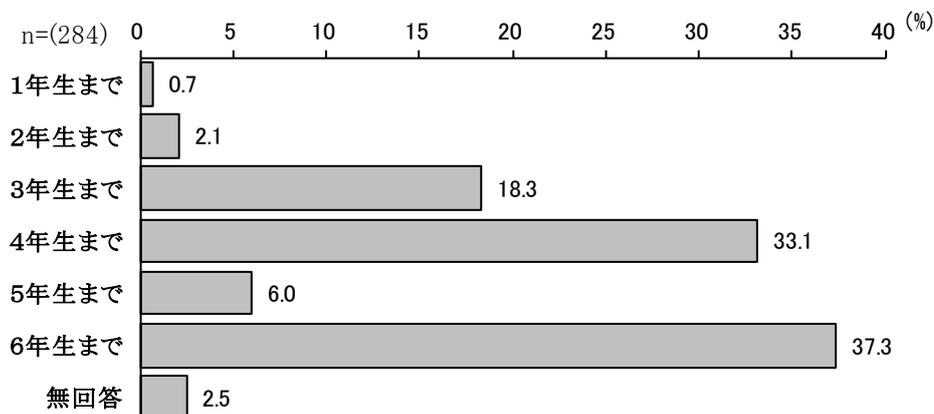
長期の休暇では「利用希望がある」は86.1%、「利用する必要はない」は10.9%となっています。利用したい学年は「6年生まで」が37.3%で最も多くなっています。

利用したい時間帯の希望は開始時間は「8時」が50.7%で最も多く、終了時間は、「18時」が47.9%で最も多くなっています。

図表140 長期の休暇の放課後児童クラブの利用希望

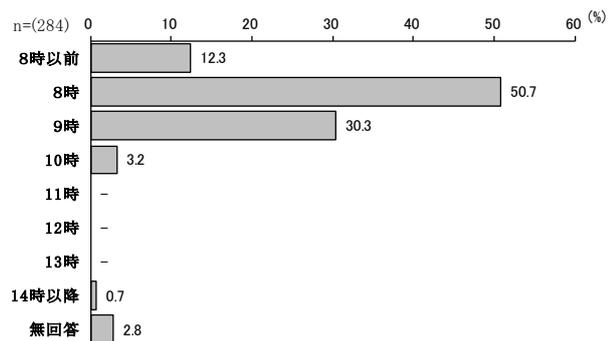


図表141 長期の休暇に利用したい学年

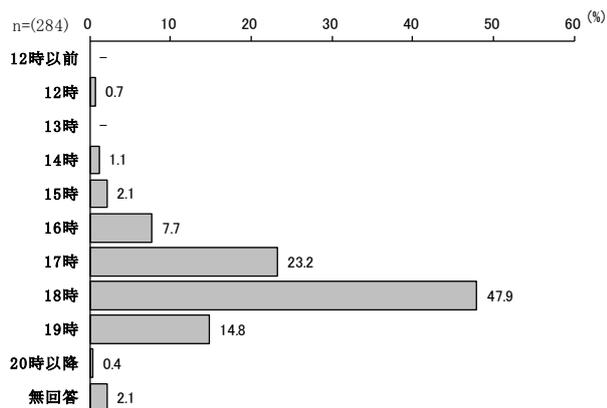


図表142 長期の休暇に利用したい時間帯

●利用したい時間帯 開始時間



●利用したい時間帯 終了時間



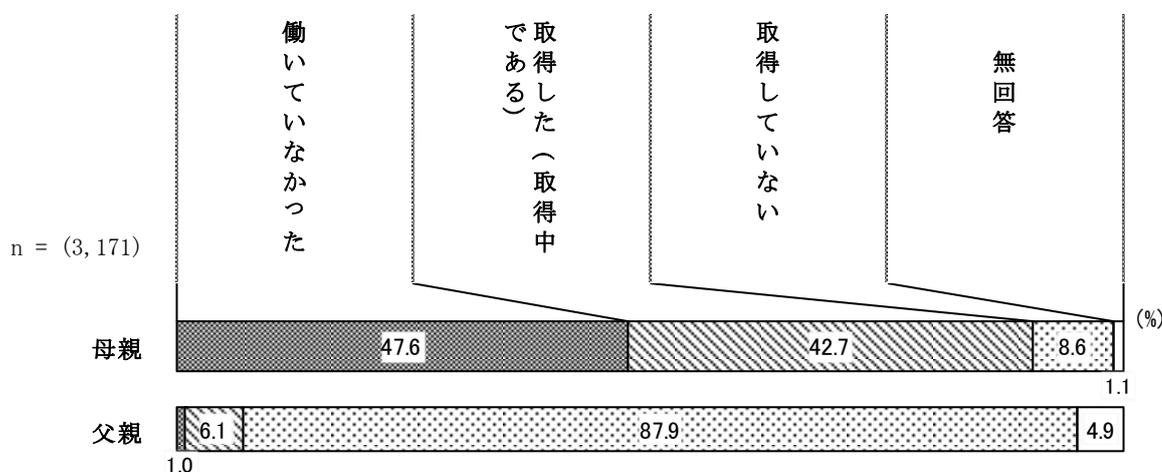
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 46 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

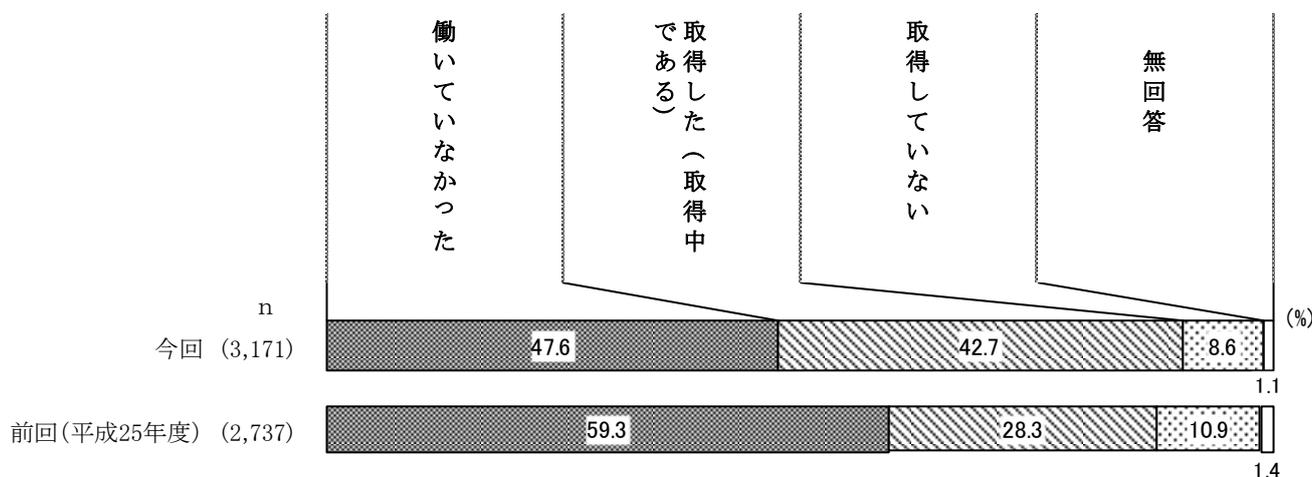
育児休業の取得割合は、母親で42.7%、父親で6.1%となっています。

母親の取得状況を前回の調査と比較すると、「働いていなかった」が11.7ポイント少なくなり、「取得した（取得中である）」が14.4ポイント多くなっています。

図表143 育児休業の取得状況



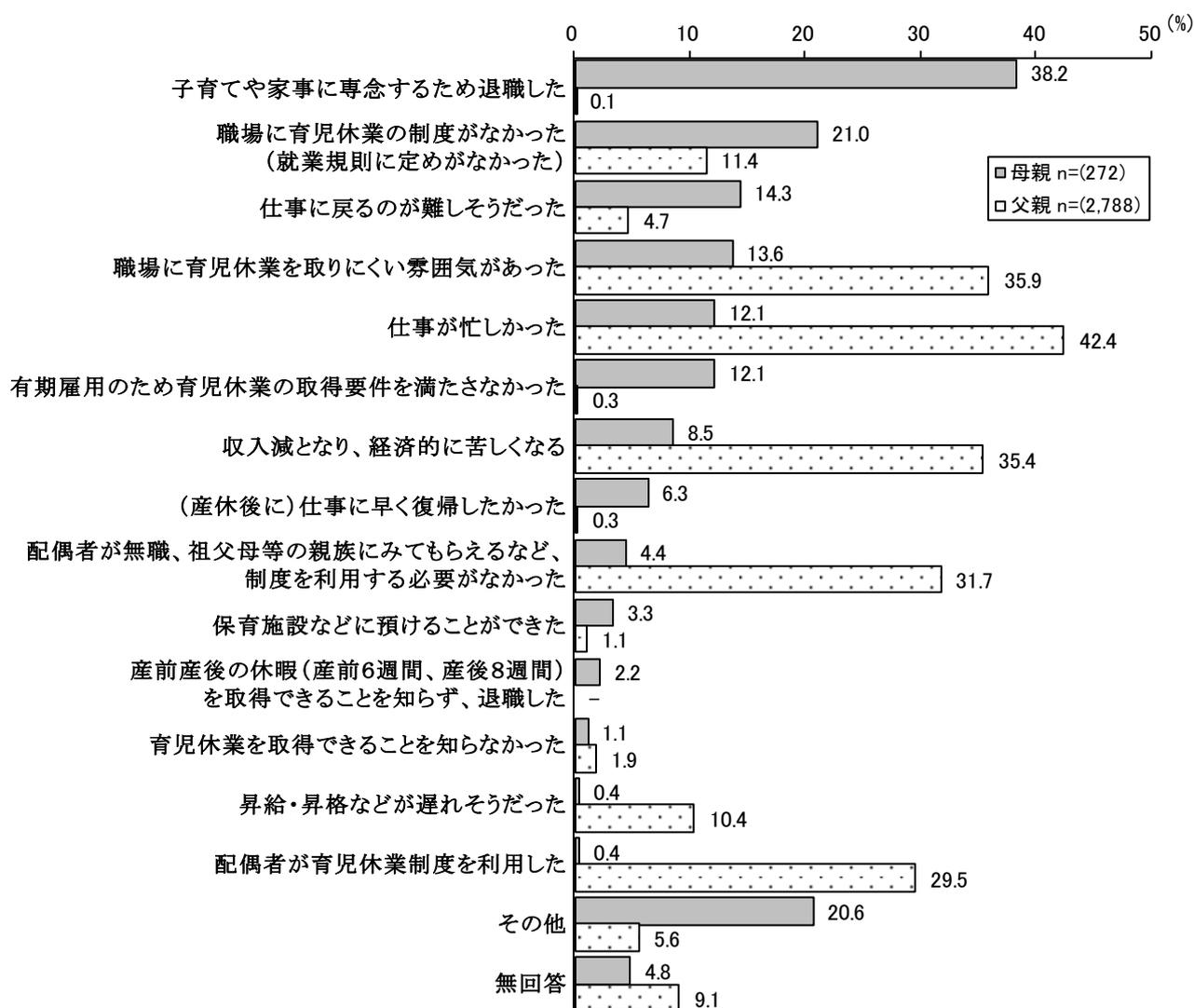
図表144 母親の育児休業の取得状況:前回 平成25年度調査との比較



育児休業を取得していない母親の理由をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」が38.2%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（21.0%）、「仕事に戻るのが難しそうだった」（14.3%）などが上位にあげられています。

同様に、育児休業を取得していない父親の理由をみると、「仕事が忙しかった」が42.4%と最も多く、次いで「職場に育児休業制度を取りにくい雰囲気があった」（35.9%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（35.4%）、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（31.7%）などが上位にあげられています。

図表145 育児休業を取得していない理由（複数回答）

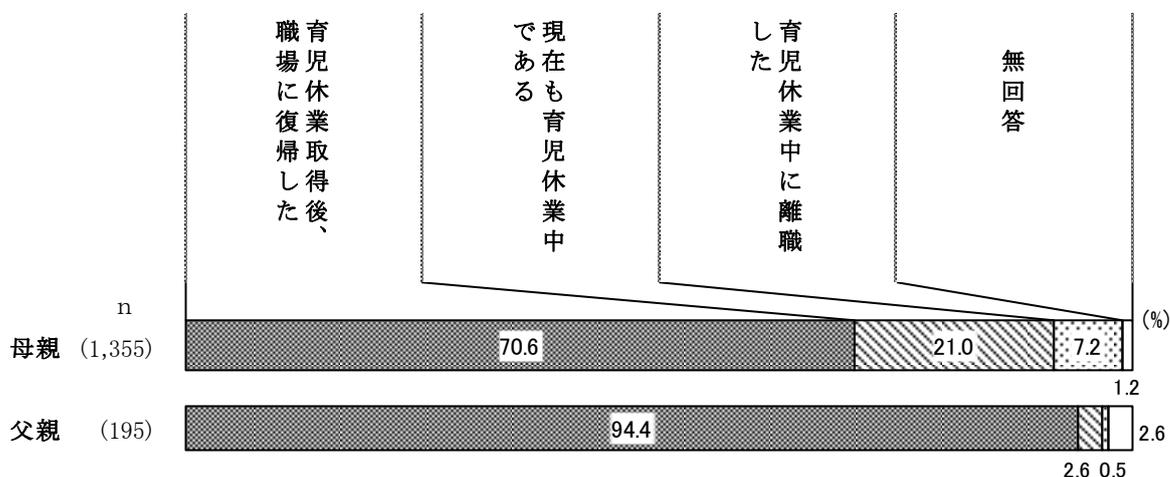


問47 問46で育児休業を「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方におたずねします。（それ以外の方は問53へ）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業を取得した母親の職場への復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が70.6%で最も多く、「現在も育児休業中である」が21.0%、「育児休業中に離職した」が7.2%となっています。

一方、育児休業を取得した父親の職場への復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が94.4%、「現在も育児休業中である」が2.6%、「育児休業中に離職した」が0.5%となっています。

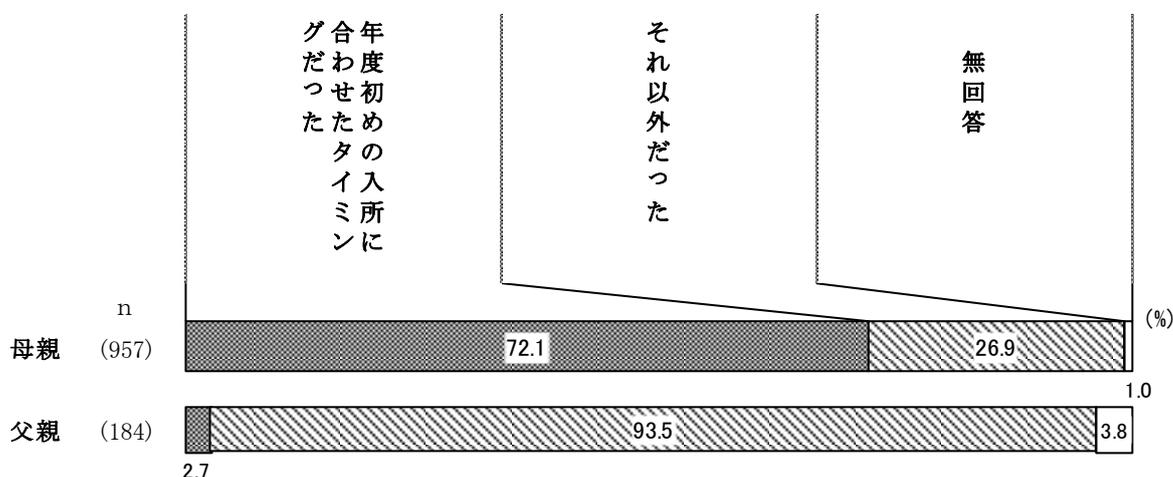
図表146 育児休業からの職場復帰の時期



問48 問47で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども、「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

育児休業取得後の職場復帰が年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかをみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は母親が72.1%、父親が2.7%となっています。

図表147 保育所入所の時期



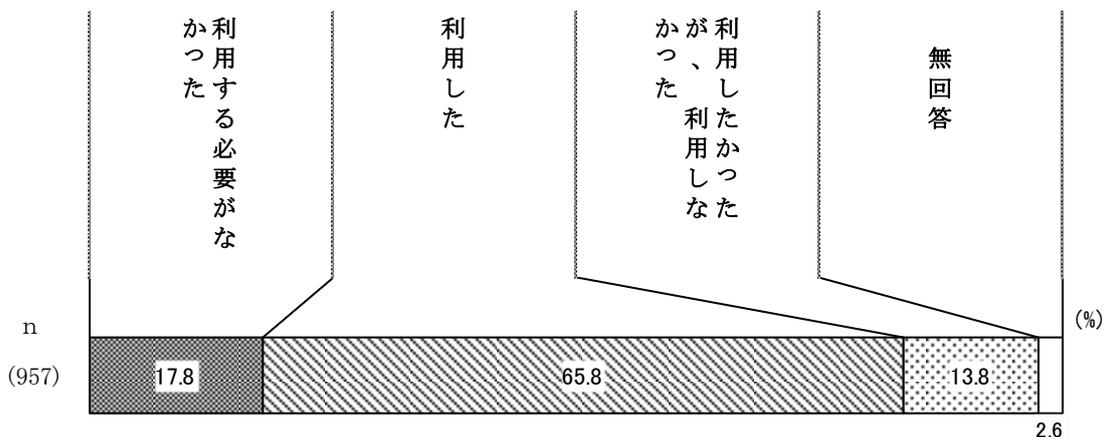
問49 問47で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1
 つに○をつけてください。

職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかをたずねたところ、母親では、「利用した」が65.8%、「利用したかったが、利用しなかった」が13.8%、「利用する必要がなかった」が17.8%となっています。

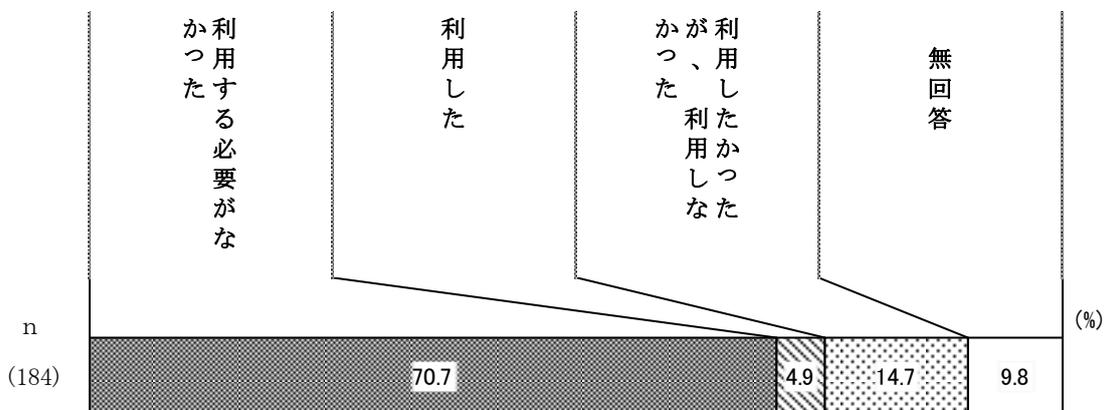
父親では、「利用する必要がなかった」が70.7%、「利用した」4.9%、「利用したかったが、利用しなかった」が14.7%となっています。

図表148 短時間勤務制度の利用状況

(1)母親



(2)父親



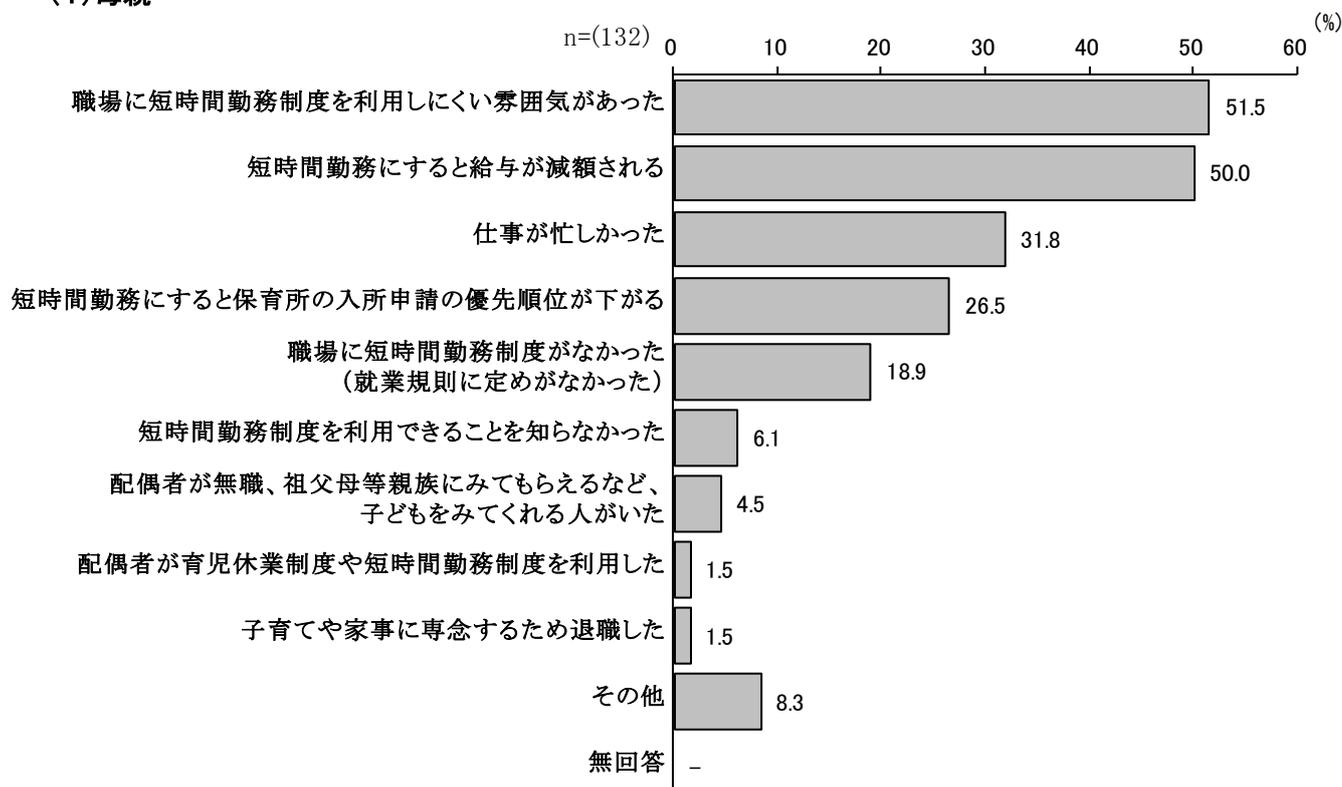
問50 問49で「3. 利用しなかったが、利用しなかった」に○をつけた方におたずねします。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由をたずねたところ、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が51.5%と最も多く、次いで、「短時間勤務にすると給与が減額される」(50.0%)「仕事が忙しかった」(31.8%)、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」(26.5%)の順となっています。

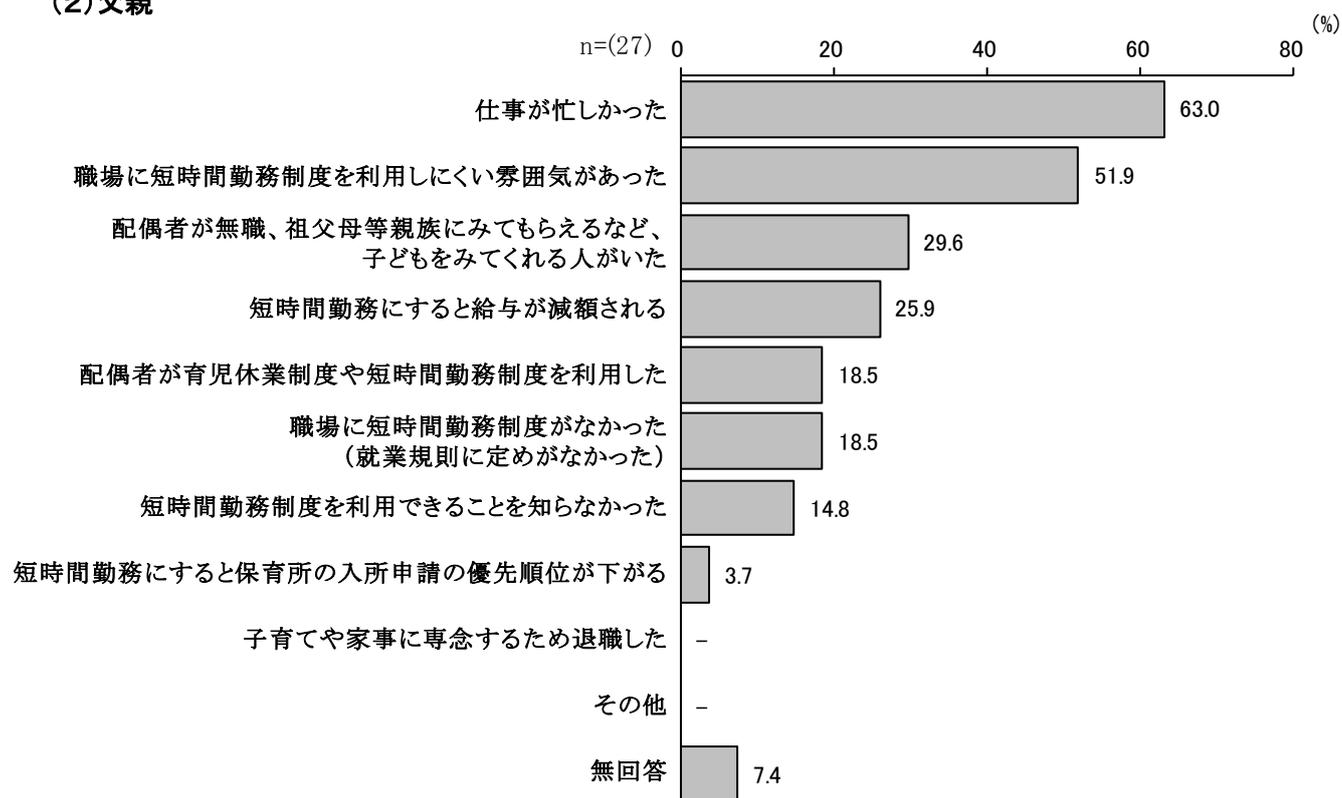
父親は、「仕事が忙しかった」が63.0%と最も多く、次いで、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(51.9%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」(29.6%)、「短時間勤務にすると給与が減額される」(25.9%)の順となっています。

図表149 短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

(1)母親



(2) 父親



問51 問47で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 数字でご記入ください。

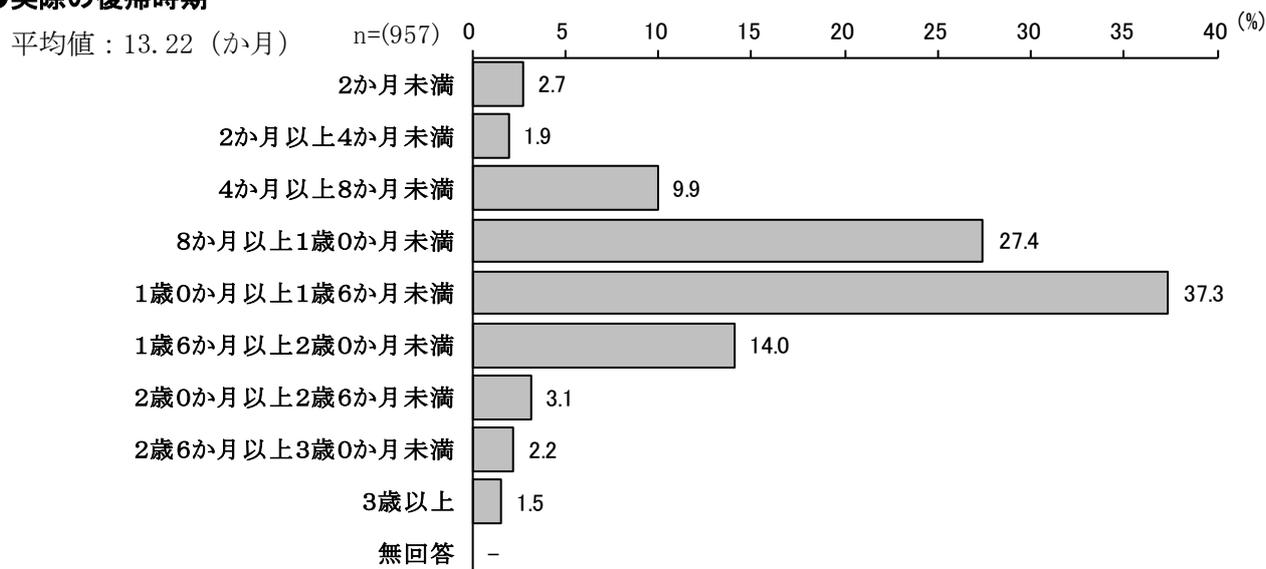
育児休業後職場に復帰した時期について、母親の実際と希望を比較すると、実際では「1歳0か月以上1歳6か月未満」の割合が最も高く、希望でも「1歳0か月以上1歳6か月未満」の割合が最も高くなっています。

希望の復帰時期の平均が18.38か月（約1歳6か月）であることにに対し、実際の復帰時期の平均は13.22か月（約1歳1か月）であることから、実際には希望よりも早く復帰している割合が高いことがうかがえます。

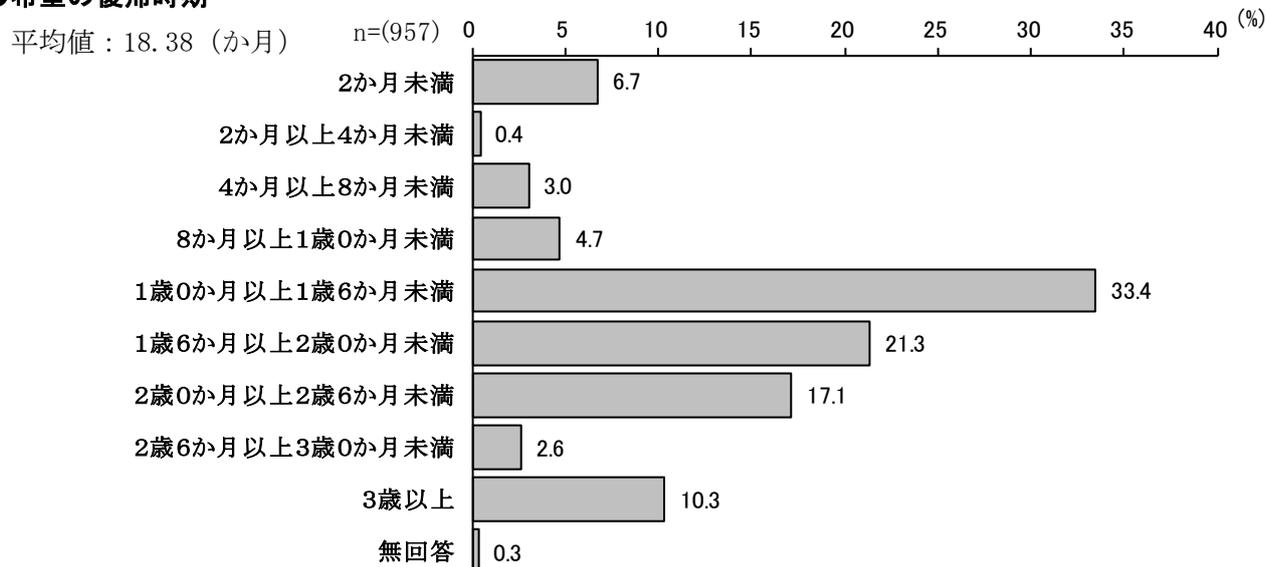
図表150 育児休業からの職場復帰の時期

(1) 母親

● 実際の復帰時期



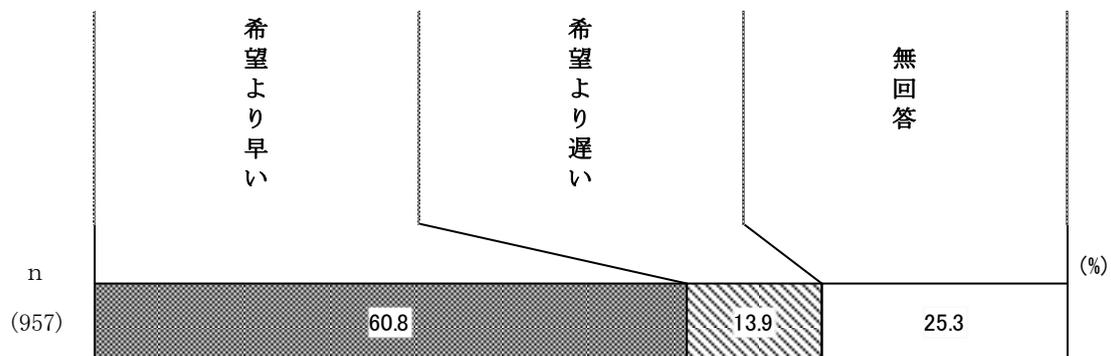
● 希望の復帰時期



第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

実際の復帰時期と希望の復帰時期を比べた場合、母親は6割が希望より早い時期に復帰しています。希望より遅く復帰できた母親は1割台半ば弱でした。

●実際の復帰時期と希望する復帰時期の比較結果：母親



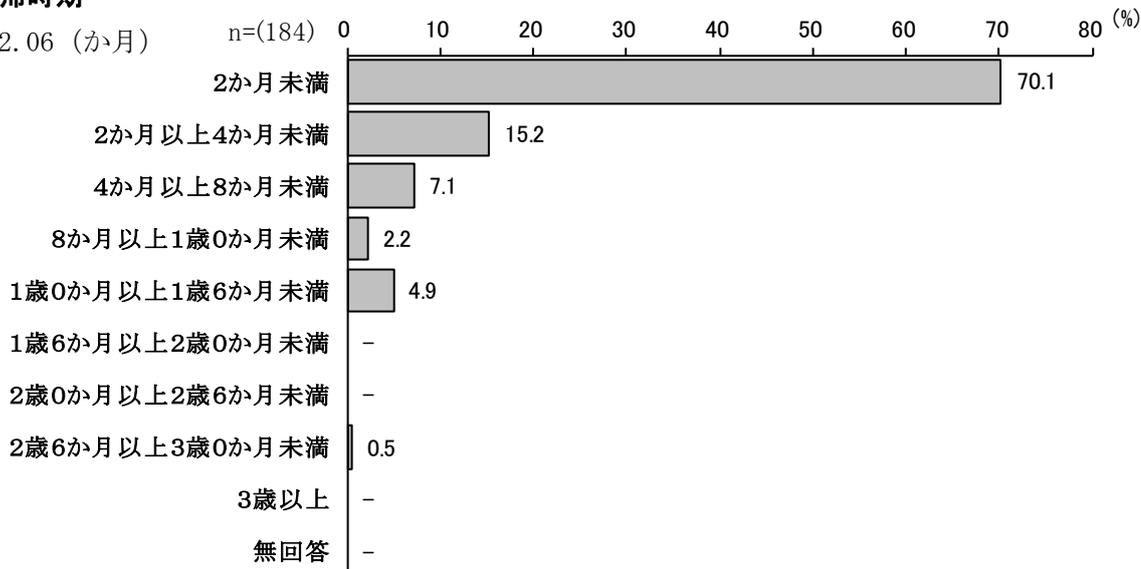
育児休業後職場に復帰した時期について、父親の実際と希望を比較すると、実際では「2か月未満」の割合が最も高く、希望でも「2か月未満」の割合が最も高くなっています。

希望の復帰時期の平均が4.83月（約5か月）であることに對し、実際の復帰時期の平均は2.06か月（約2か月）であることから、実際には希望よりも早く復帰している割合が高いことがうかがえます。

(2)父親

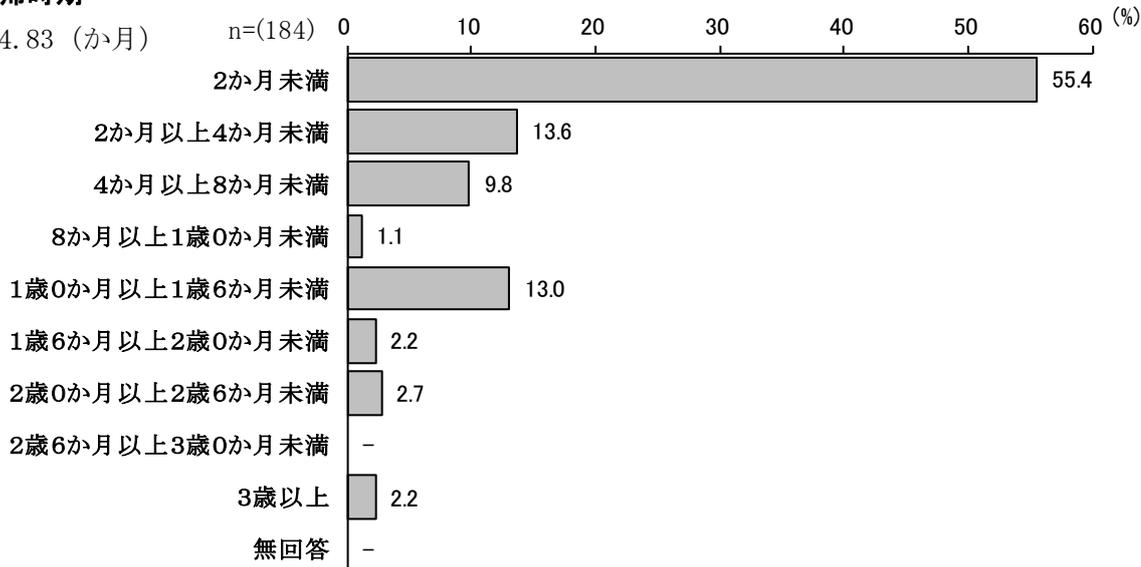
●実際の復帰時期

平均値：2.06（か月）



●希望の復帰時期

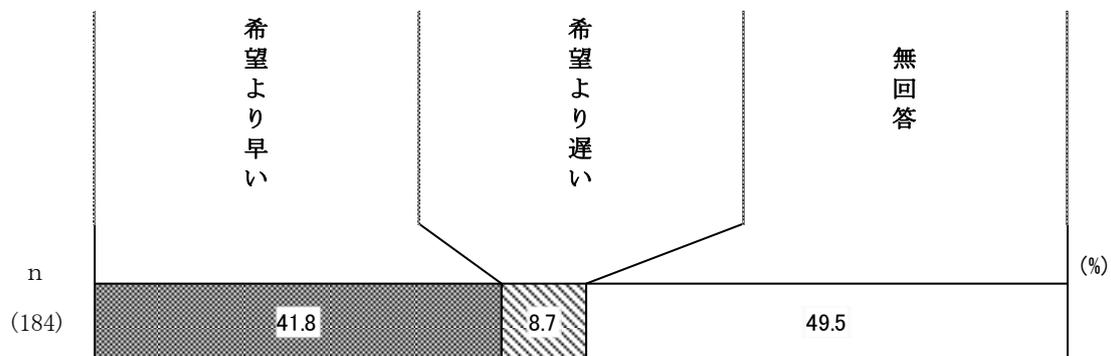
平均値：4.83（か月）



第2章 調査結果（就学前児童保護者調査）

実際の復帰時期と希望の復帰時期を比べた場合、父親は4割強が希望より早い時期に復帰しています。希望より遅く復帰できた父親は1割未満でした。

●実際の復帰時期と希望する復帰時期の比較結果：父親



問51-① 問51で実際の復帰時期が希望より早かった方におたずねします。
 「希望」より早く復帰した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

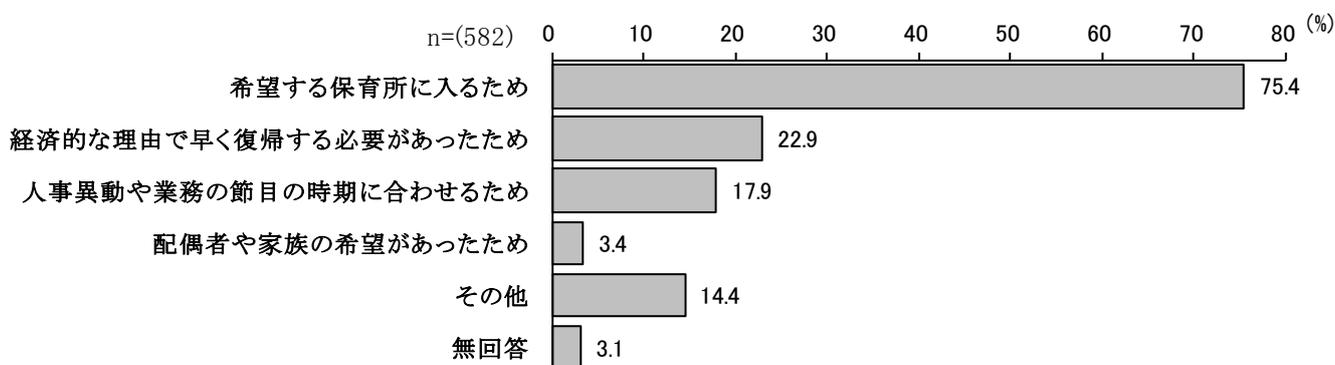
育児休業取得後、職場に復帰した母親に、希望の時期より早く職場復帰した理由をたずねたところ、「希望する保育所に入るため」が75.4%と多くなっています。

一方、父親が希望の時期より早く職場復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が35.1%と多くなっています。

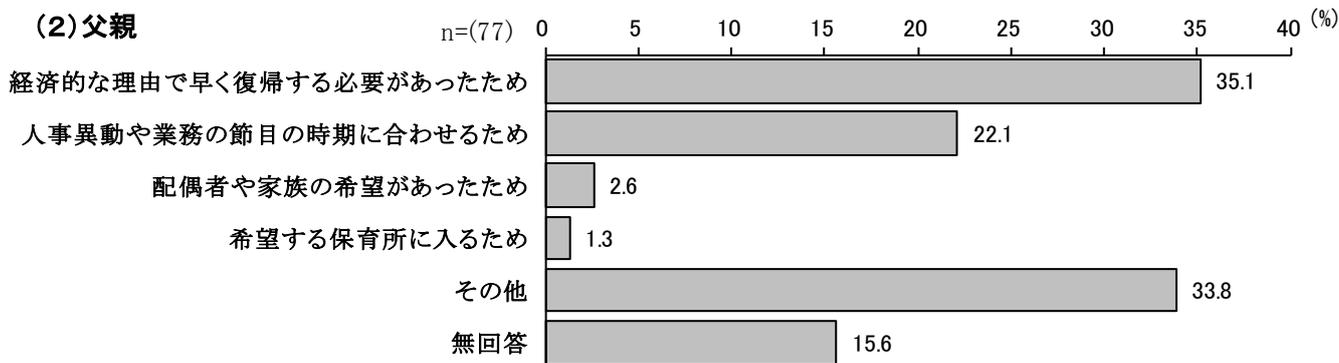
「その他」には、母親は「職場の規則」「保育所利用の都合のため」、父親は「職場からの都合や雰囲気のため」「仕事が忙しいため」等の回答がありました。

図表151 「希望」より早く職場復帰した理由（複数回答）

(1) 母親



(2) 父親



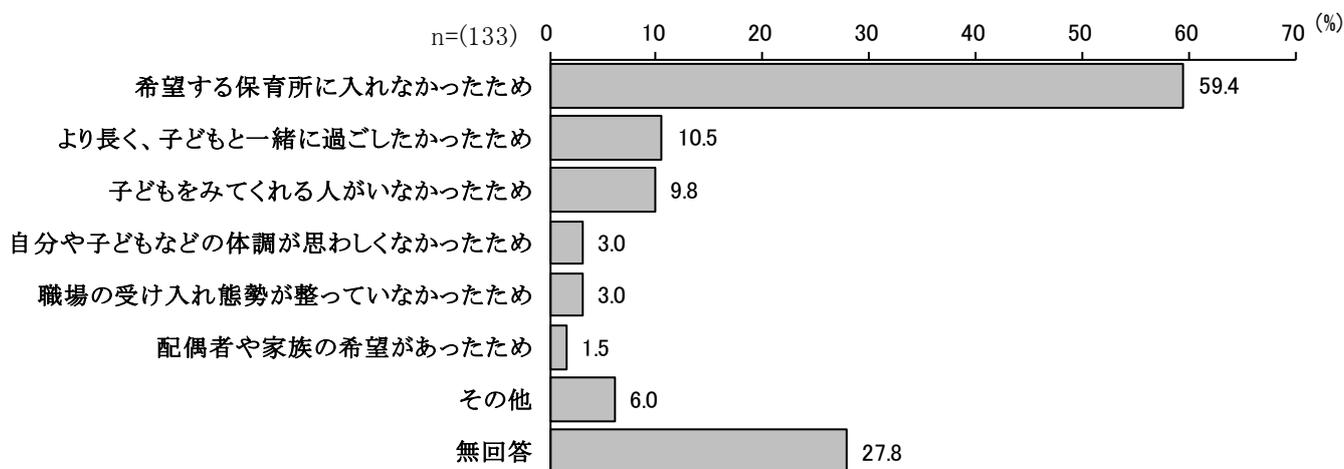
問51-② 問51で実際の復帰時期が希望より遅かった方におたずねします。
 「希望」より遅く帰した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

育児休業取得後、職場に復帰した母親に、希望の時期より遅く職場復帰した理由をたずねたところ、「希望する保育所に入れなかったため」が59.4%と多くなっています。

一方、父親が希望の時期より遅く職場復帰した理由について回答された方はいませんでした。

図表152 「希望」より遅く職場復帰した理由（複数回答）

(1) 母親



(2) 父親

・回答なし

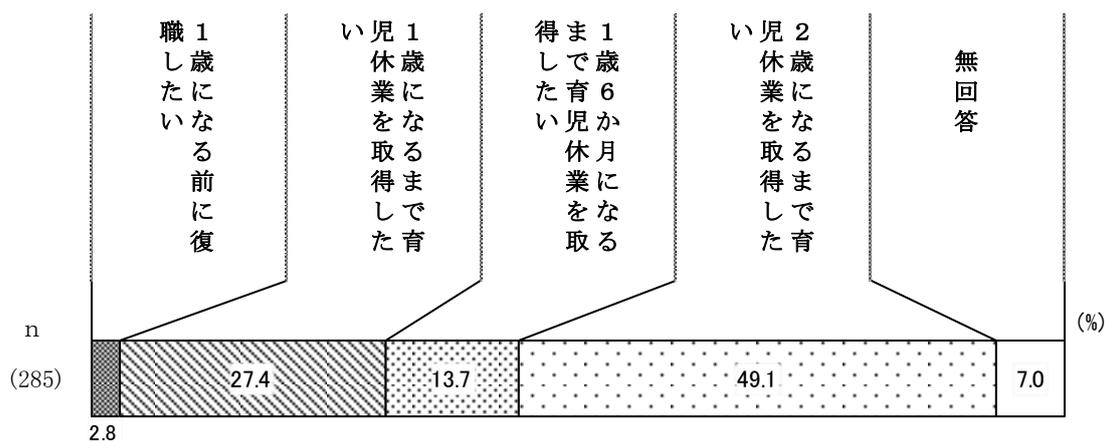
問52 問47で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方におたずねします。
 育児・介護休業法の改正（平成29年10月1日施行）に伴い、原則として子が1歳に達するまで取得できる育児休業期間を、保育所に入れられない等の場合に、最長2歳まで延長し、同時に育児休業給付金を受給することができるようになりました。あて名のお子さんが何歳まで、育児休業を取得したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業取得後、現在も育児休業中である母親について、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得希望をみると、「2歳になるまで育児休業を取得したい」が49.1%、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が27.4%となっています。

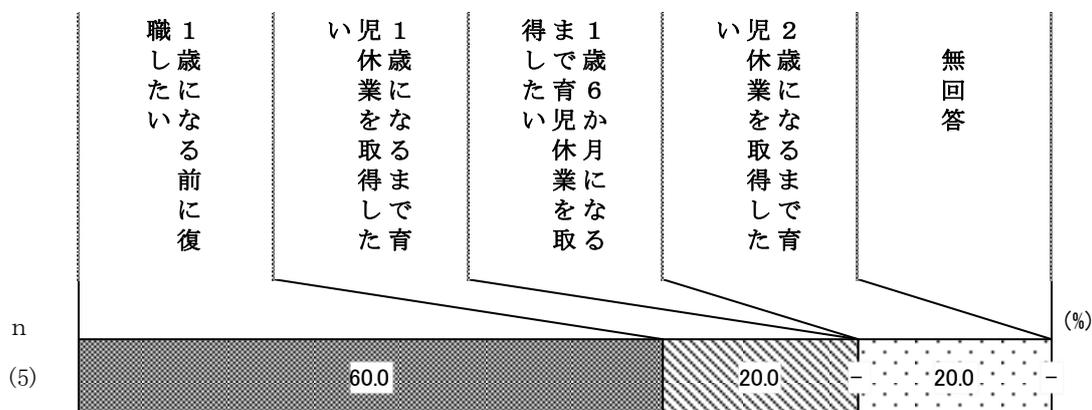
父親については、「1歳になる前に復職したい」が3人、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と「2歳になるまで育児休業を取得したい」が各1人となっています。

図表153 1歳児で必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得希望

(1) 母親



(2) 父親



12. その他の意見について

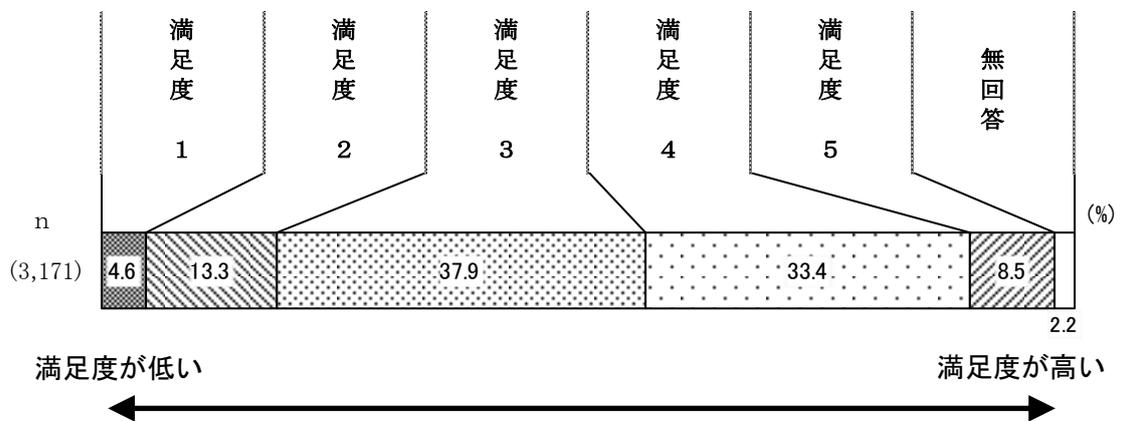
問 53 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について1～5段階のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。

地域における子育ての環境や支援への満足度を5段階でたずねたところ、満足度「3」が37.9%で最も多く、次いで、満足度「4」が33.4%となっています。

また、無回答を除いた満足度の平均値は3.29となっています。

図表154 地域における子育ての環境や支援への満足度

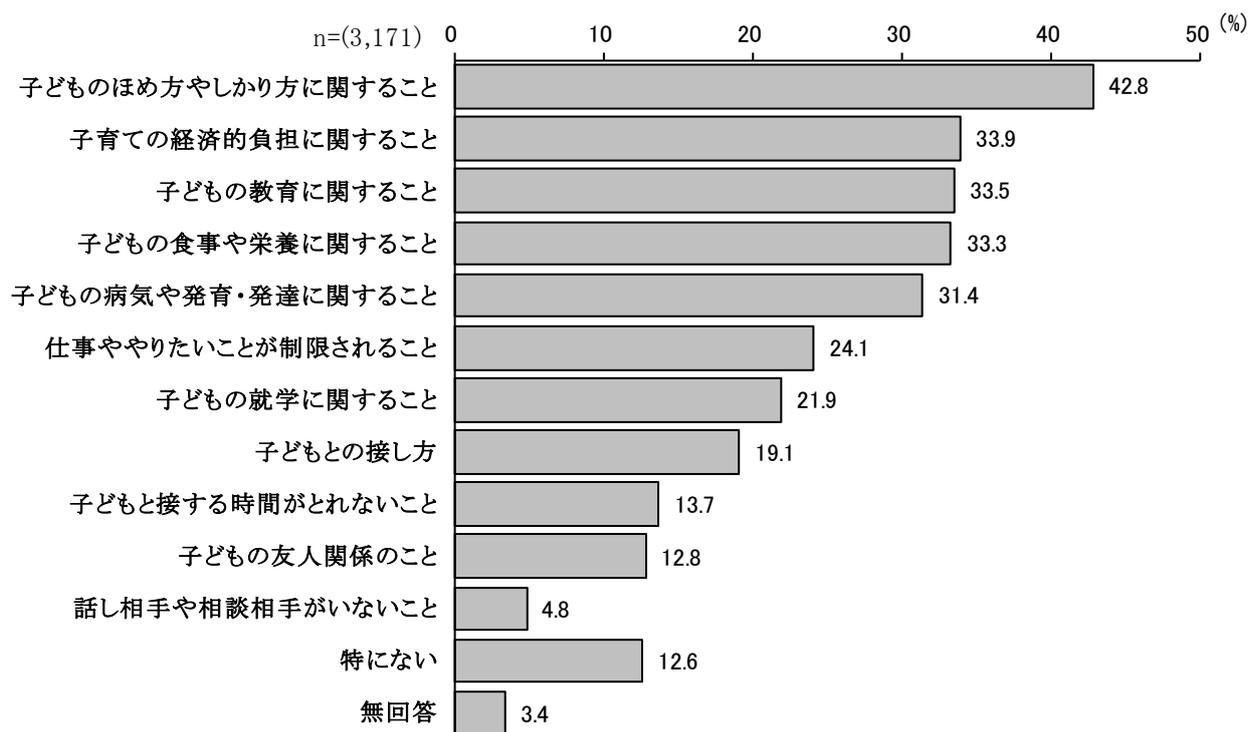
平均値：3.29



問54 子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して、悩んでいることや気になることをたずねたところ、「子どものほめ方やしかり方に関すること」が42.8%と最も多く、次いで、「子育ての経済的負担に関すること」（33.9%）「子どもの教育に関すること」（33.5%）、「子どもの食事や栄養に関すること」（33.3%）の順となっています。

図表155 子育てに関して、悩んでいることや気になること(複数回答)



問55 最後に、子育て（教育を含む）をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。

ご意見を記入していただいたところ、1,581人から1,874件の意見をいただきました。分類した意見の件数と主な内容は次のとおりです。

	件数
教育・保育事業・子育て支援に関して	494
経済的支援などその他の支援	174
交流や遊び場	168
一時預かりの充実・利便性の向上	163
子育てと仕事について	149
悩みや話を聞いてくれる場所、子育てのアドバイスが受けられる存在について	140
子育てについて	137
情報提供	109
学校や学童	82
病児・病後児保育の充実・利便性の向上	79
安全・安心なまちづくり	58
家庭の問題や子育ての分担について	38
待機児童の削減	30
相談窓口の充実	9
地域の見守り	7
その他	37
合計件数	1,874

1. 教育・保育事業・子育て支援に関して(494 件)

- フルタイムで働いた場合、就労時間と預り時間が合う保育園がなく、ファミリー・サポート・センター事業を利用しなければ働けない。公立の保育園も20時までにする等の対応をしてけると助かります。
- 保育園がすごく入りづらいので、もっと増やしてほしいです（認可外も少ない）。海側に保育園がほぼ無いので不便です。

2. 経済的支援などその他の支援(174 件)

- 母子家庭に対しての援助額を増やしてほしい。
- 子どもだけではなく、母親の健康サポートをしてくれるものがあるといいなと思いました。

3. 交流や遊び場(168 件)

- 2歳以上の子どもを持つ親同士の交流の場の提供を望みます。
- 天候の悪い日に遊べる施設が欲しい。屋根、遊具、食事スペース、子ども用トイレ等あり、自由に過ごせる場所。子育て支援センターのように、保育士が常にいて見られているような感じではなく、多少の料金は発生しても楽しめる場所が欲しい。

4. 一時預かりの充実・利便性の向上(163 件)

- 夏休み中など、子どもの長期休暇中に、安い又は無料で子どもを短時間預かってくれる所がほしいです。仕事がしやすくなります。
- 一時保育の利用登録をしたが、何か月も前から予約する必要がある為、私自身が体調を崩してしまったら利用することができないのが辛い。もっと専業主婦が気軽に、短時間でも良いので利用できる施設があったら良いのになと思います。

5. 子育てと仕事について(149 件)

- 働いているが、子どもの病気が多く、職場に負担をかけている事。子どもに無理させているか心配。
- 仕事をしたくても、保育所が決まっていなくて仕事に就けない。保育所に入れたくても、仕事をしていないと入れない。仕事を一度辞めてしまうと、なかなか子育てをしながら新たに仕事に就くのが難しくなる。もっと子育てをしながらも仕事に就きやすい環境になっていくことを望みます。

6. 悩みや話を聞いてくれる場所、子育てのアドバイスが受けられる存在について(140 件)

- 2歳～3歳くらいの子どもの叱り方、しつけの仕方に悩む事が多いので、経験者の話を聞く機会や講座みたいなものがあるといいと思う。
- もしも思い詰めている方がいれば、家庭訪問する、継続して電話等で相談を受けるなどで支えてほしいと強く思っています。

7. 子育てについて(137 件)

- 第2子出産後の第1子への対応や、イヤイヤ期への対応は悩ましいものがあります。
- 食生活やコミュニケーション等悩むことは非常に多い。全体的に異変を異変だと気づかない（一人目の子育てなので、基準が分からない）。

8. 情報提供(109 件)

- 私立幼稚園、認定こども園の国の紹介などが載ったガイドブックやフェアなど入園受付の始まる前に情報が得られる機会があれば良いかと。（未就園児教室、預かり保育、給食、教育方針、保育活動など）自分でひとつひとつ電話して調べるには手間や時間がかかり大変。
- いつでもどこどのような指導やサポートが行われているのか、多すぎて分からないことがあるので、どこかにまとめてもらえると助かる。

9. 学校や学童(82件)

- 学童入所が難しくなっていること。各施設、定員の割にスペースが狭い事。高学年まで通えないこと。学級閉鎖時とか夏休み限定とか3日とか高学年用のスポット的に利用できるようなサポート施設がほしい。
- 子どもが小学校へ進学した際放課後過ごす場所がない為、仕事が出来なくなりそう。学童保育を行っている場所は環境が悪く安全ではない為通わせたくないので小学校で放課後過ごせるようにして頂けると助かります。

10. 病児・病後児保育の充実・利便性の向上(79件)

- 育児休業からの復帰後、どうしても仕事を休めない日に子どもの具合が悪くなったりするのではないかと懸念しています。緊急時の病児保育についても、何かしらサポートしていただける場所があると安心です。
- 病後児だけでなく、病児保育を利用できる場所を作ってほしい。

11. 安全・安心なまちづくり(58件)

- 通学路中心に防犯カメラの設置を望みます。不審者が時期を問わず出ているので、徒歩での防犯見回りを強化して頂きたい。
- 藤沢駅周辺の道路状況。段差が多く、車が多く、道幅が狭く、交通量が多く危険な場所がある。ベビーカーでの移動が不便である。

12. 家庭の問題や子育ての分担について(38件)

- 子育てに関することをもっと男女平等になる世の中に段々変わっていったらと思う（母親への責任が重すぎる）。
- 子育てに関してもう少し父親が子どもとの接し方等学ぶ機会があると良い。

13. 待機児童の削減(30件)

- 保育所の定員数について、1歳～3歳までの受け入れ数を増やして頂きたいです。
- 仕事をしたくても、空いている保育所がなく、預けることが出来ない。保育所に入れない間、市からの連絡が一切なく、現在どのような状況なのかが分からない。何人待機しているのか等の具体的な状況を伝えてほしい。

14. 相談窓口の充実(9件)

- 家の近くに相談できる場所があればなと思います。
- 相談など、市役所や保健センターに行くのが大変。なので行かなくなり、相談しなくなる。月1などで来てほしい。もしくは、月1で電話してほしい。何かあったら親が動くのではなく、気にかけてもらえるだけで安心する。

15. 地域の見守り(7件)

- 地域の老人が、子育てに参加してもらえたら嬉しい。
- 子どもがいる家だけでなく、子どもがいない家の人にも、子どもについて理解してもらえたらもっと暮らしやすいのにな、と思います。

16. その他(37件)

- 家庭でできることなので、逆に公に委に関わらないでほしい。
- 1人親なので、消費税が上がったら、生活が出来るか不安。

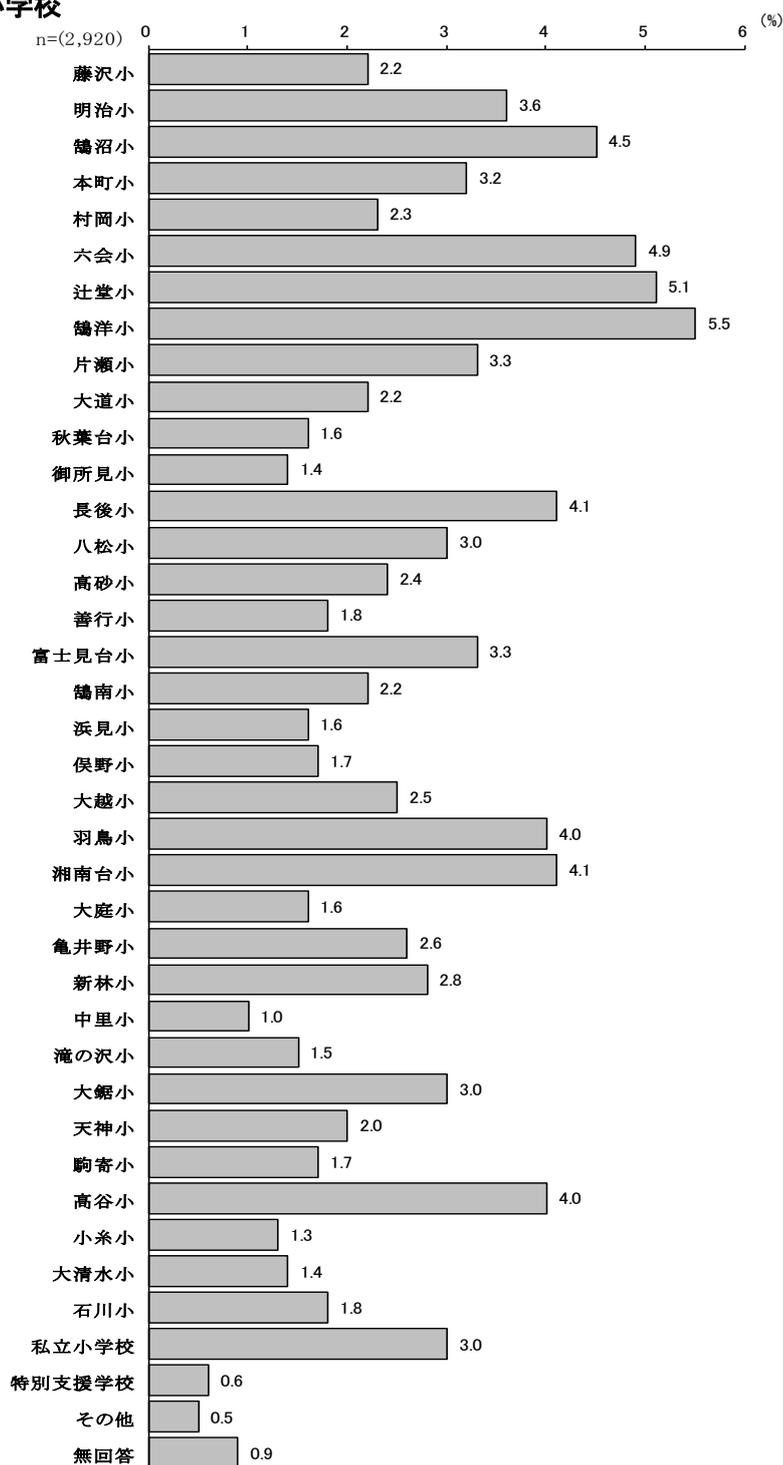
放課後児童クラブに関する利用希望把握調査

1. 子どもと家族の状況について

問1 お子さんが通学されている、または通学予定の小学校はどこですか

回答者のお子さんの通学、または通学予定の小学校は、「鶴洋小」の5.5%が最も多く、次いで「辻堂小」(5.1%)、「六会小」(4.9%)となっています。

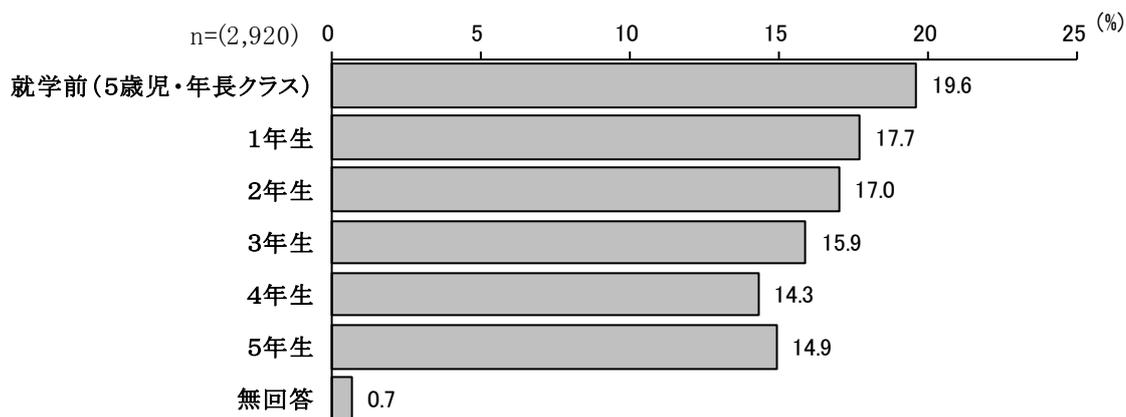
図表156 通学、通学予定の小学校



問2 あて名のお子さんの学年についてお答えください。

子どもの学年は、「就学前（5歳児・年長クラス）」が19.6%で最も多く、次いで、「1年生」（17.7%）、「2年生」（17.0%）となっています。

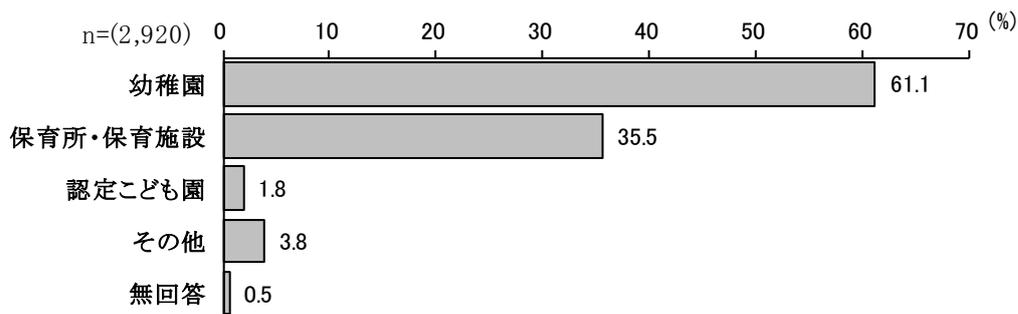
図表157 学年



問3 あて名のお子さんが利用されている、または就学前に利用していた教育・保育事業についてお答えください。

利用中、または就学前に利用していた教育・保育事業については、「幼稚園」が61.1%で最も多く、次いで「保育所・保育施設」が35.5%となっています。

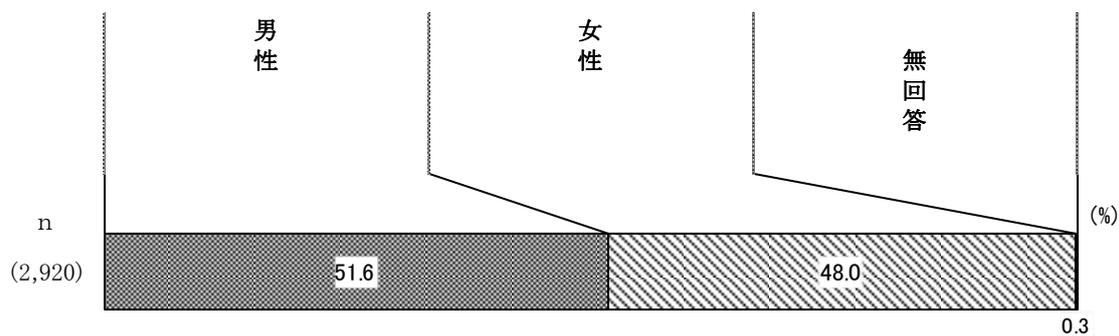
図表158 就学前の教育・保育事業（複数回答）



問4 あて名のお子さんの性別についてお答えください。

子どもの性別は、「男性」が51.6%、「女性」が48.0%となっています。

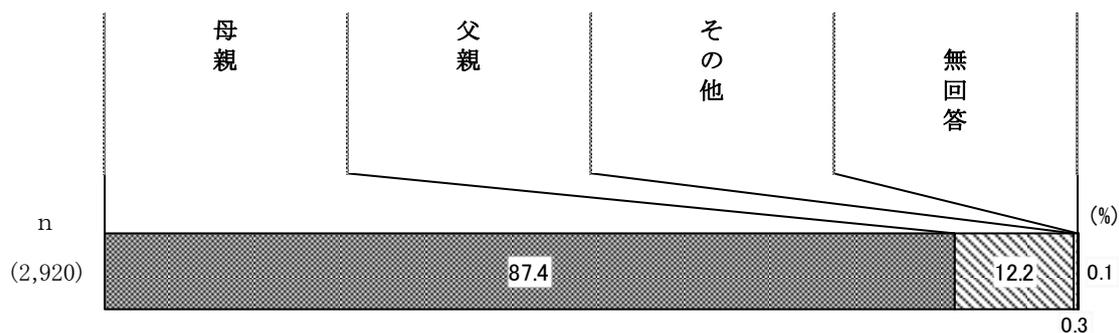
図表159 子どもの性別



問5 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票の回答者については、「母親」が87.4%、「父親」が12.2%となっています。

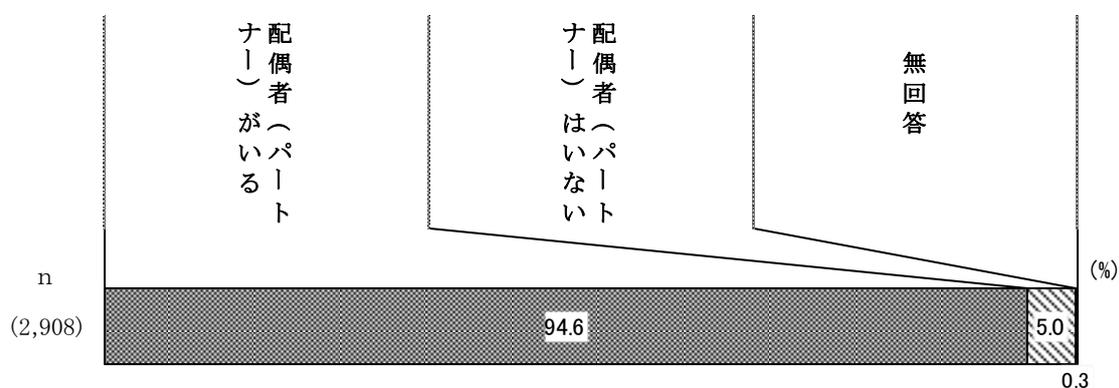
図表160 回答者



問6 問5で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方におたずねします。この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が94.6%、「配偶者がいない」が5.0%となっています。

図表161 回答者の配偶関係

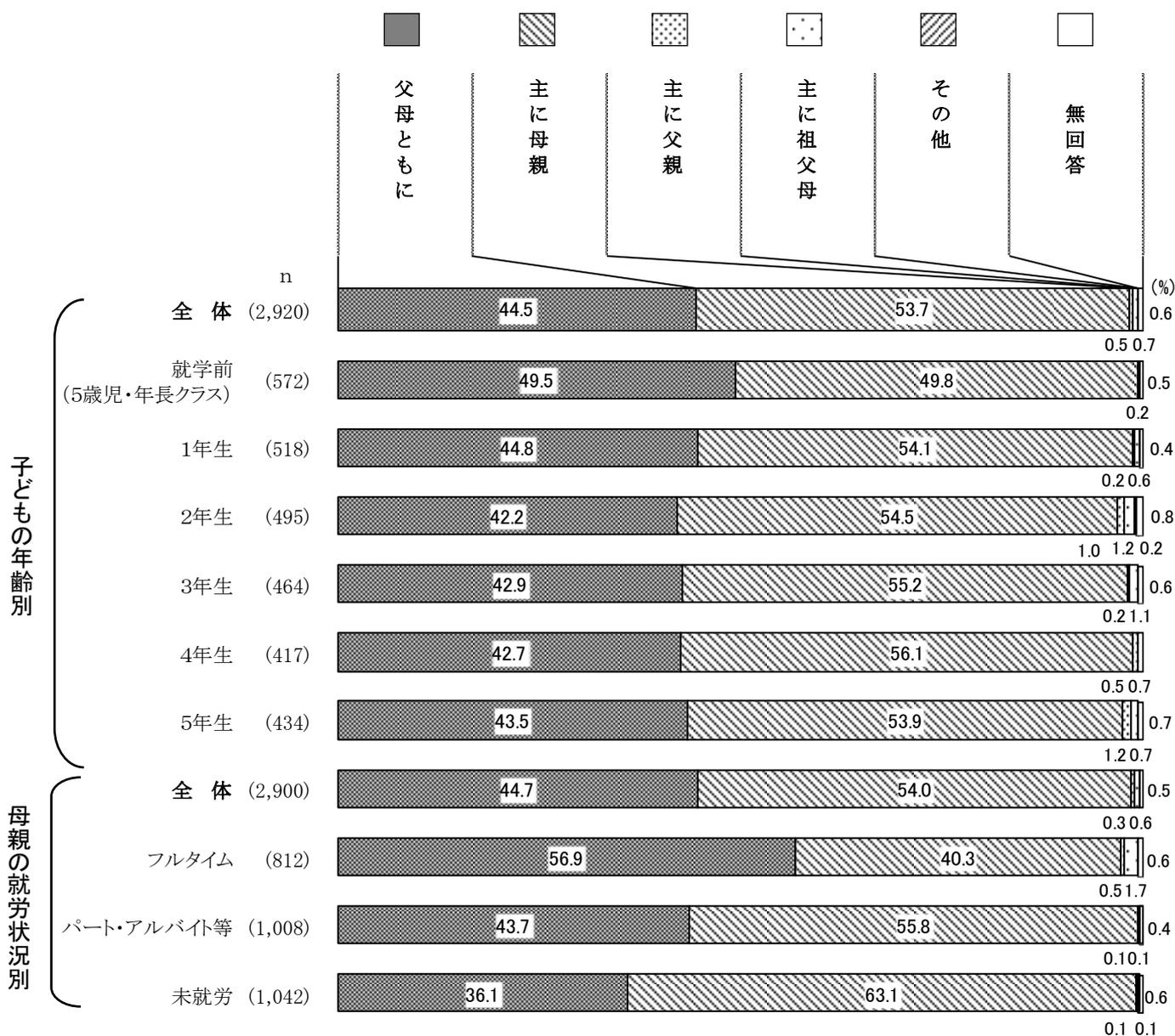


問7 あて名のお子さんの子育て（身の回りの世話や教育などを含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人については、「主に母親」が53.7%と過半数を占めています。以下、「父母ともに」が44.5%、「主に祖父母」が0.7%となっています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイム」では「父母ともに」が56.9%と多くっており、「未就労」は「主に母親」が63.1%と多くとなっています。

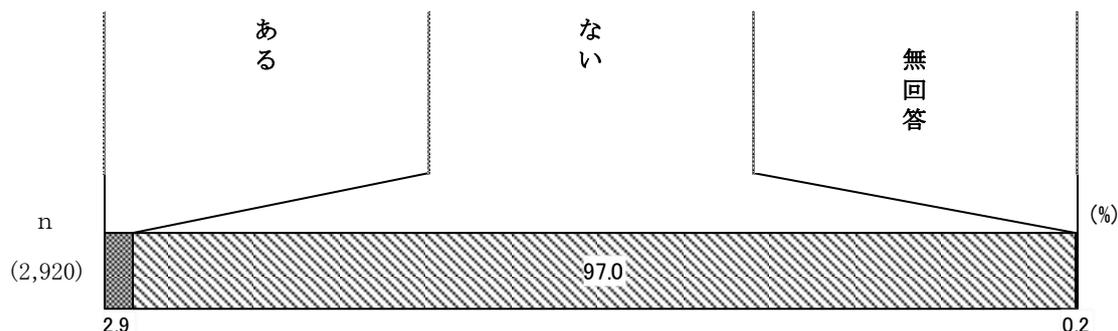
図表162 宛名の子どもの子育てを主に行っている方：子どもの学年、母親の就労状況別



問8 あて名のお子さんは、生活する上で介助の必要はありますか。

子どもの介助の必要の有無については、介助の必要が「ある」が2.9%となっています。

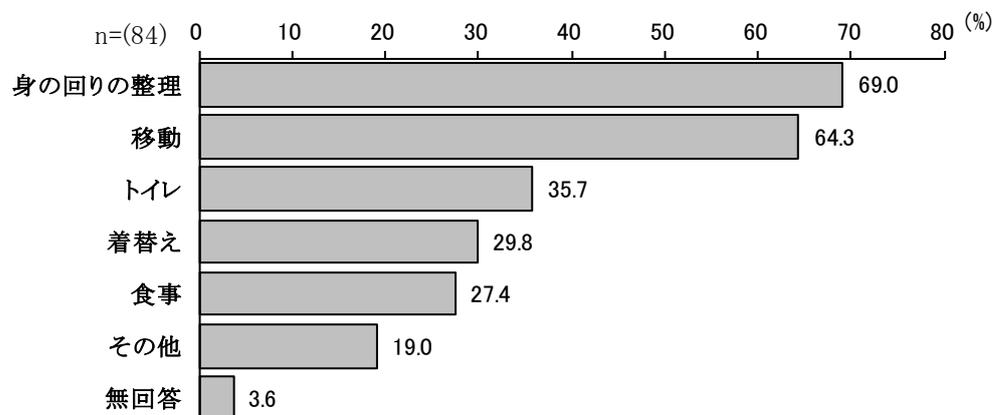
図表163 介助の必要の有無



問9 問8で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。
 お子さんの介助を必要とする行動について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

介助の必要が「ある」子どもの、介助を必要とする行動については「身の回りの整理」が69.0%で最も多く、次いで「移動」が64.3%「トイレ」が35.7%となっています。

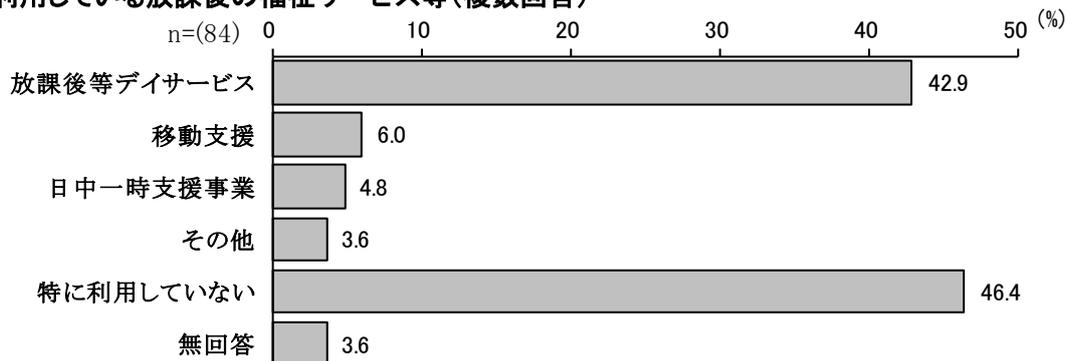
図表164 介助を必要とする行動(複数回答)



問10 問8で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。
 現在、利用している放課後の福祉サービス等について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、「4. その他」に該当する場合は、福祉サービス等をご記入ください。

介助の必要が「ある」子どもの、利用している放課後の福祉サービス等については「放課後等デイサービス」が42.9%で最も多いですが、「特に利用していない」が46.4%となっています。

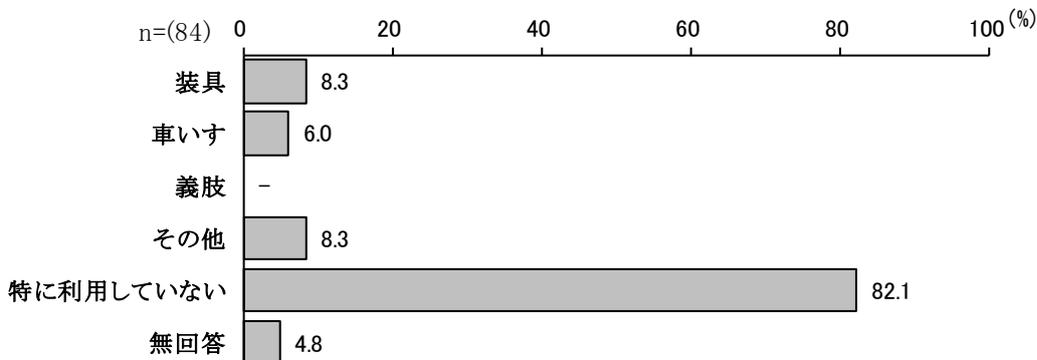
図表165 現在、利用している放課後の福祉サービス等(複数回答)



問11 問8で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。
 現在、利用している補装具があれば、当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、「4. その他」に該当する場合は、補装具の名称をご記入ください。

介助の必要が「ある」子どもの利用している補装具については、「装具」が8.3%「車いす」が6.0%となっていますが、「特に利用していない」が82.1%となっています。

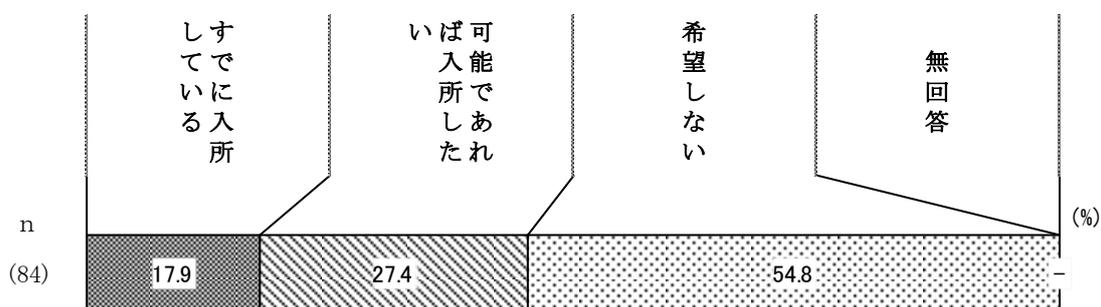
図表166 現在、利用している補装具(複数回答)



問12 問8で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。
放課後児童クラブへの入所を希望しますか。

介助の必要が「ある」子どもの放課後児童クラブへの入所希望については、「希望しない」が54.8%、「可能であれば入所したい」が27.4%となっています。一方「すでに入所している」は17.9%です。

図表167 放課後児童クラブへの入所希望



2. 保護者の就労状況について

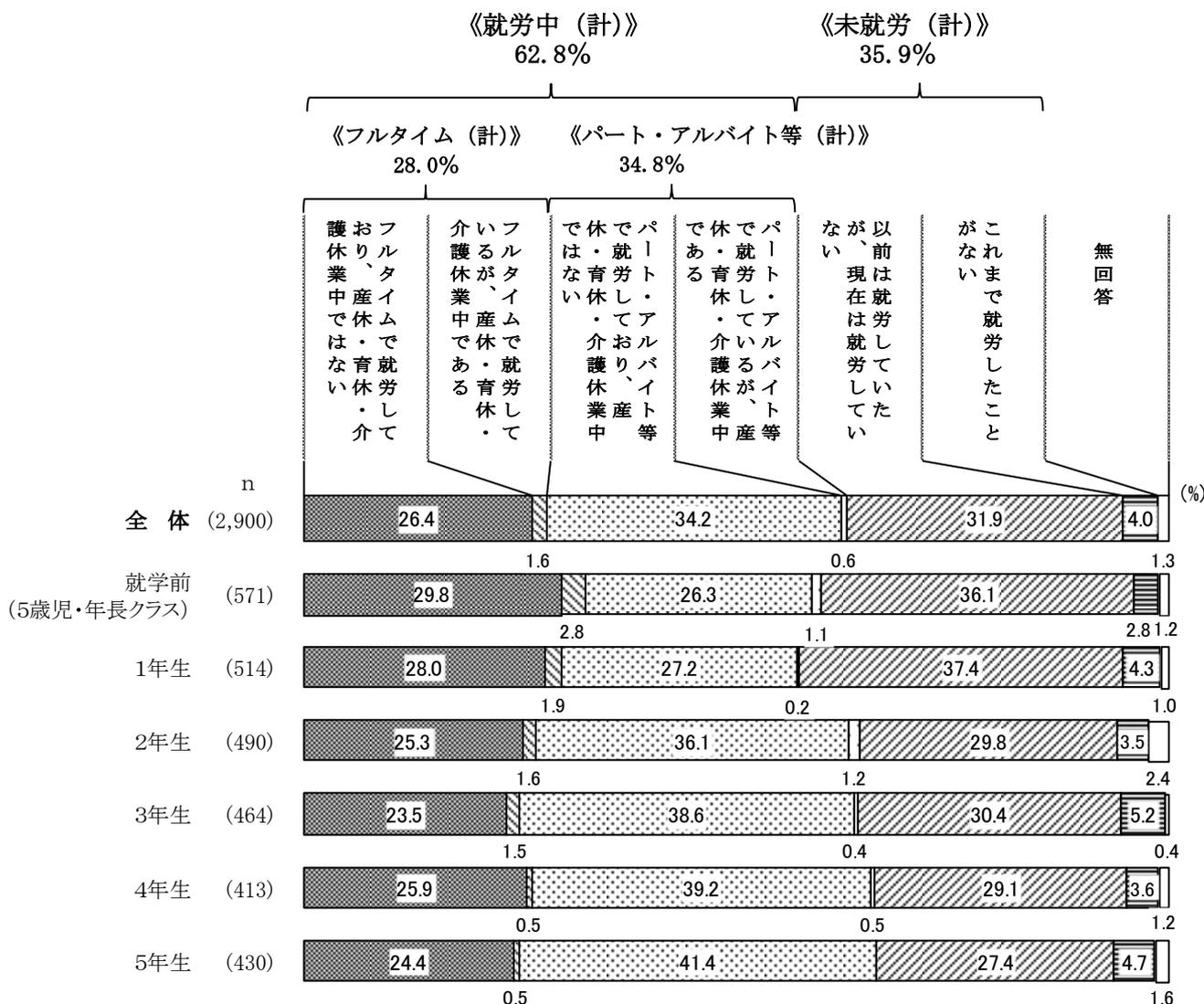
問13【母親の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）をおたずねします】

問13-① 就労状況と就労時間をお答えください

就労中（産休・育休・介護休業中を含む）の母親は、62.8%となっています。

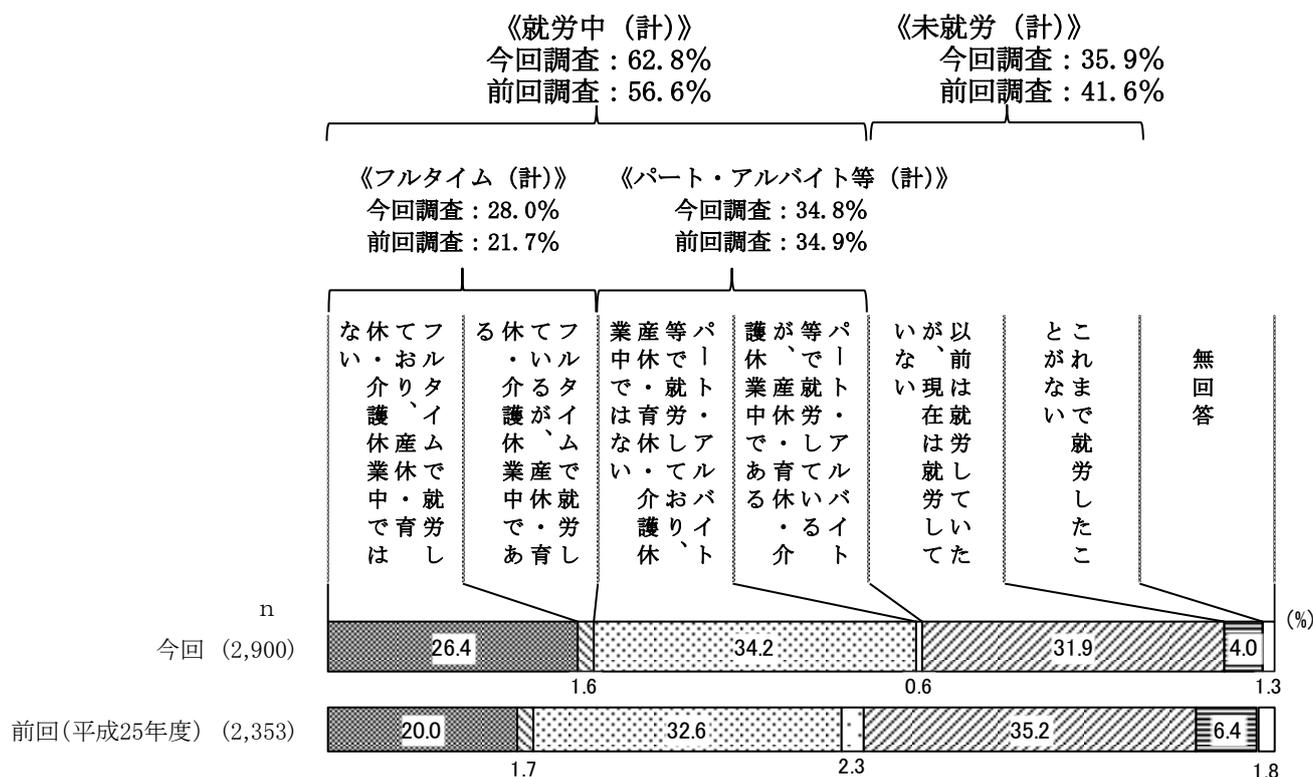
子どもの学年別にみると、2年生以降は《就労中（計）》の割合はほとんど変化がありませんが、学年が上がるにつれて《フルタイム（計）》の割合が少なくなり《パート・アルバイト等》が多くなっています。

図表168 母親の就労状況：子どもの学年別



前回調査と比べると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が6.4ポイント多くなっています。その結果《就労中（計）》が6.2ポイント多くなり、《未就労（計）》が5.7ポイント少なくなりました。

図表169 母親の就労状況:前回 平成25年度調査との比較

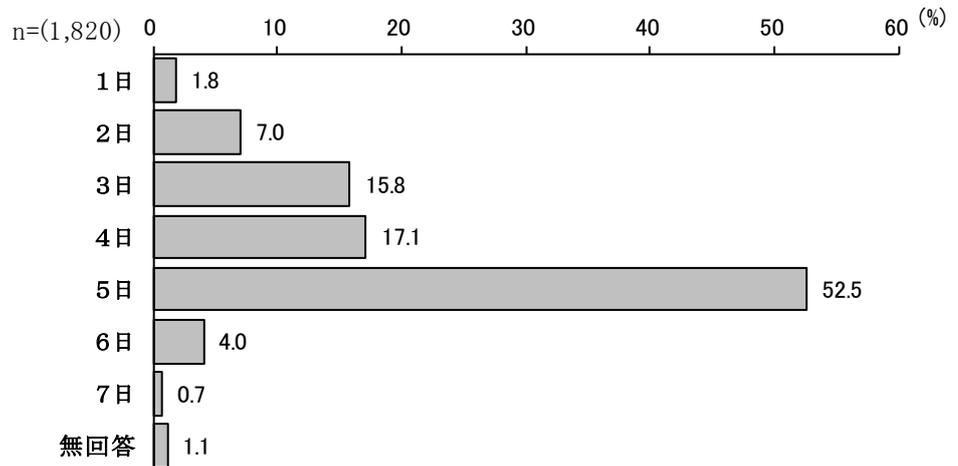


第2章 調査結果（小学生児童保護者調査）

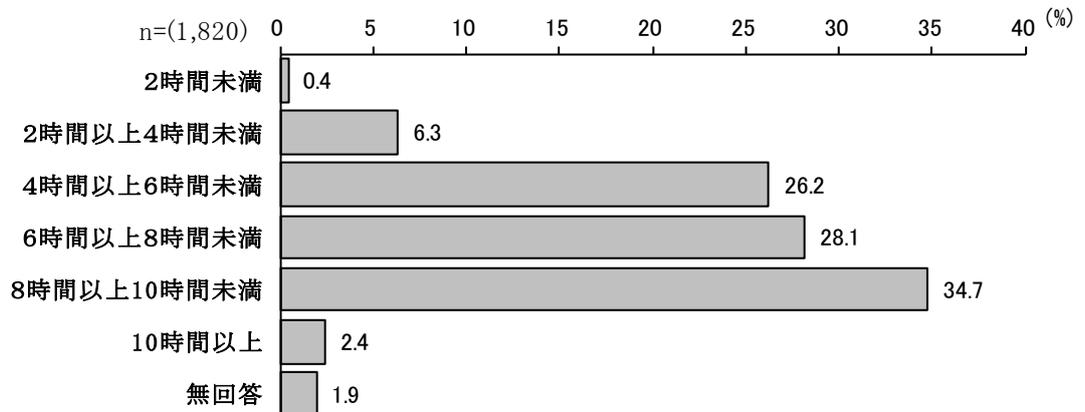
就労していると回答した母親の1週当たりの就労日数については、「5日」が52.5%と最も多くなっています。

また、1日当たりの就労時間については、「8時間以上10時間未満」が34.7%で最も多く、次いで「6時間以上8時間未満」が28.1%、「4時間以上6時間未満」が26.2%となっています。

図表170 母親の就労日数



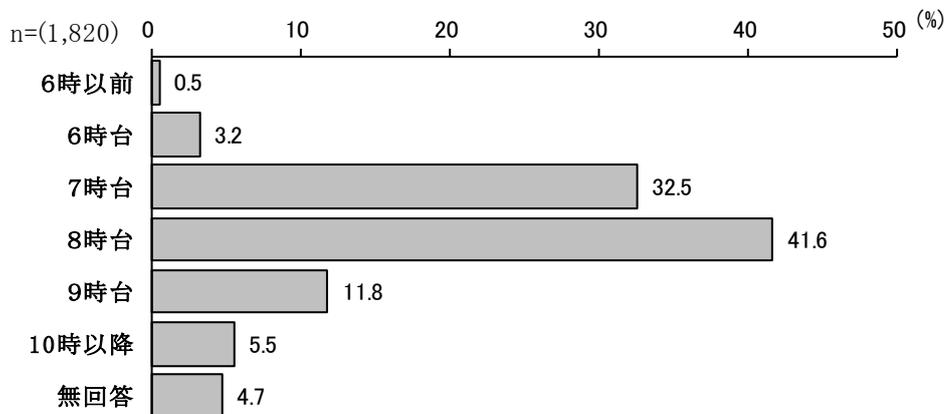
図表171 母親の就労時間



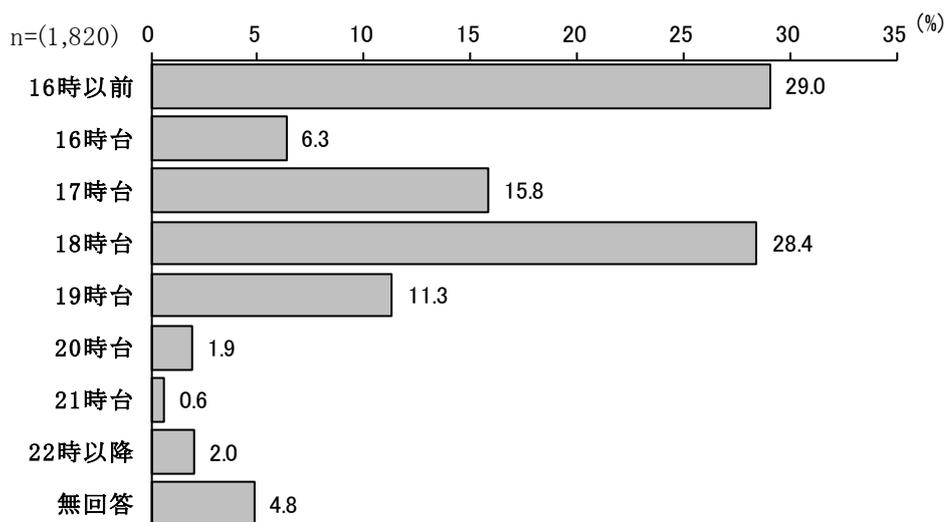
就労していると回答した母親の家を出る時刻については、「8時台」の41.6%が特に多くなっています。

また、帰宅時刻については、「16時以前」の29.0%、「18時台」の28.4%が特に多くなっています。

図表172 母親の出勤時間



図表173 母親の帰宅時間

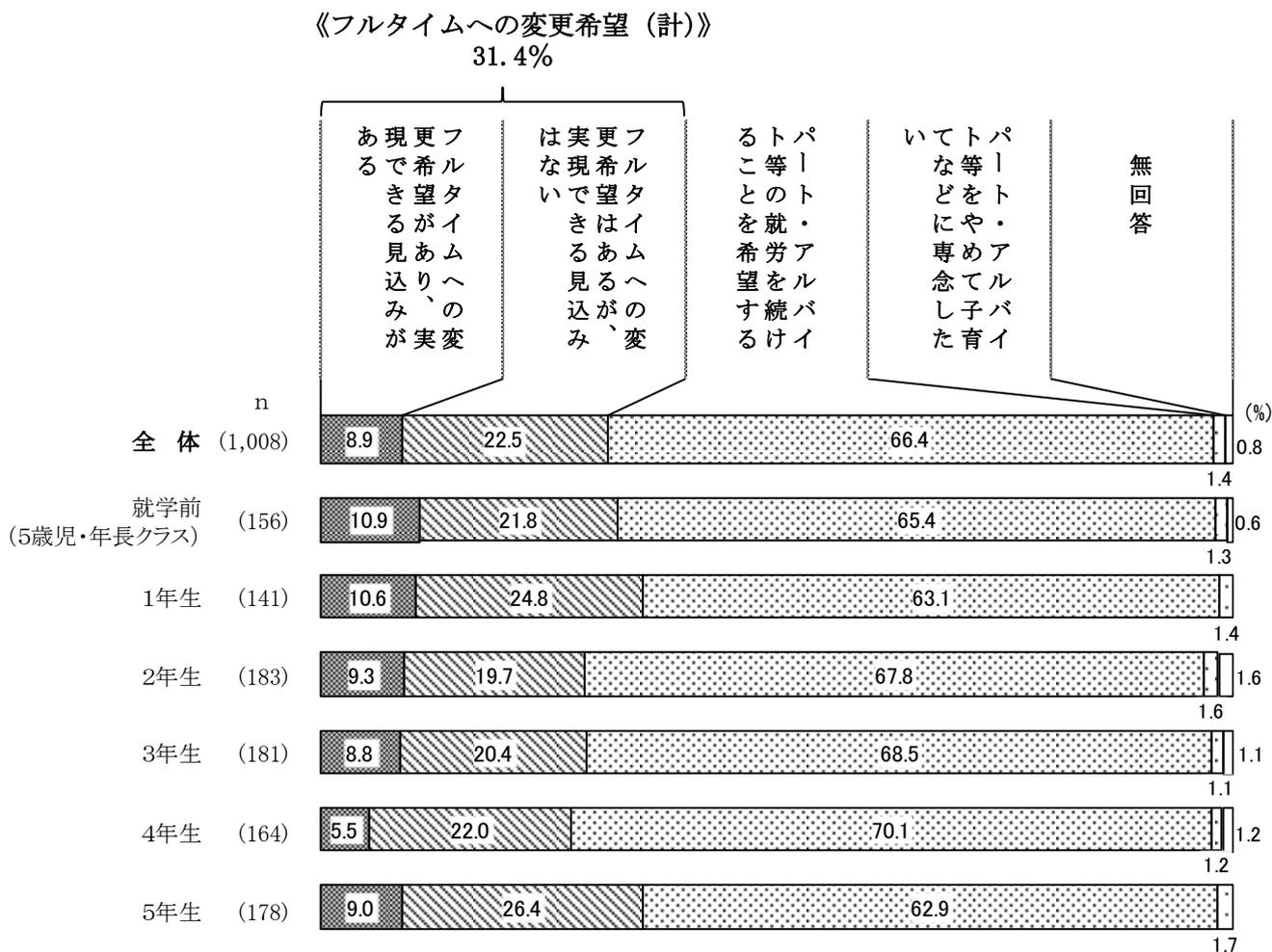


問13-② 問13-①で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した母親におたずねします。フルタイムへの変更希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの変更希望（「フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない」含む）は34.1%となっています。

子どもの学年別にみると、「フルタイムへの変更希望があり、実現できる見込みがある」は学年が上がるにつれて少なくなっていますが、5年生になるとまた多くなっています。「フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合も5年生では26.4%となり、学年別では5年生がフルタイムへの変更希望が最も多く（35.4%）なっています。

図表174 母親のフルタイムへの変更希望：子どもの学年別

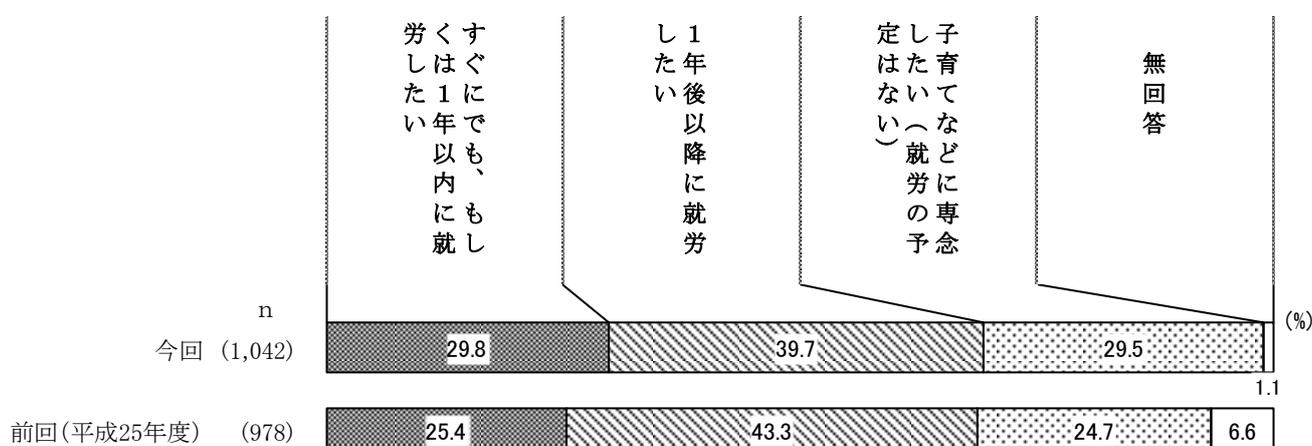


問13-③ 問13-①で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した母親におたずねします。
 「就労の希望」と就労を希望する場合の「希望の就労形態」をお答えください。

現在就労していない母親の就労希望について、「1年後以降に就労したい」が39.7%で最も多くなっています。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は29.5%となっています。

前回調査と比べると「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「子育てなどに専念したい（就労の予定はない）」が微増し、「1年後以降に就労したい」は微減していますが、大きな差は生じていません。

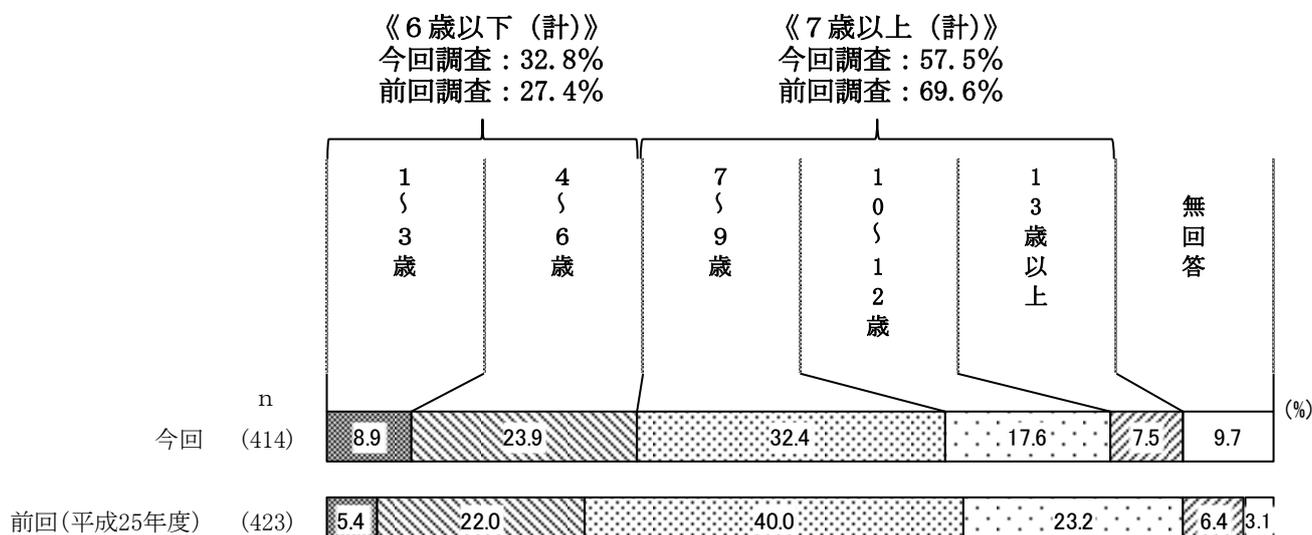
図表175 母親の就労希望:前回 平成25年度調査との比較



「1年後以降に就労したい」と回答した方の就労を希望する子どもの年齢については7～9歳の割合が32.4%と最も多くなっています。

前回調査と比べると7歳以上の割合が12.1ポイント少なくなり、6歳以下の割合が5.4ポイント多くなっています。特に7～9歳は7.6ポイント少なくなっています。

図表176 就労を希望する子どもの年齢:前回 平成25年度調査との比較

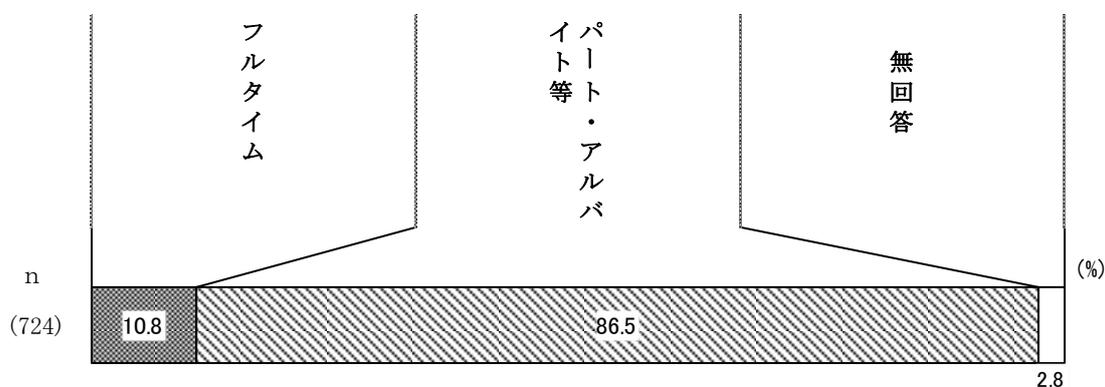


「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」を選んだ方

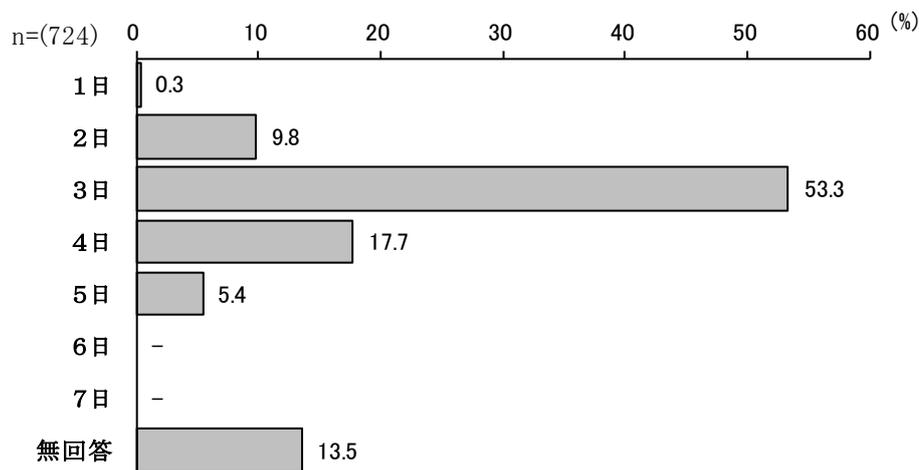
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」または、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」と回答した母親の希望する就労形態では、「フルタイム」が10.8%、「パート・アルバイト等」が86.5%となっています。

パート・アルバイト等での1週間の就労希望日数は、「3日」が53.3%で最も多くなっています。また、1日当たりの就労時間の希望では、「4時間以上6時間未満」が65.1%で最も多くなっています。

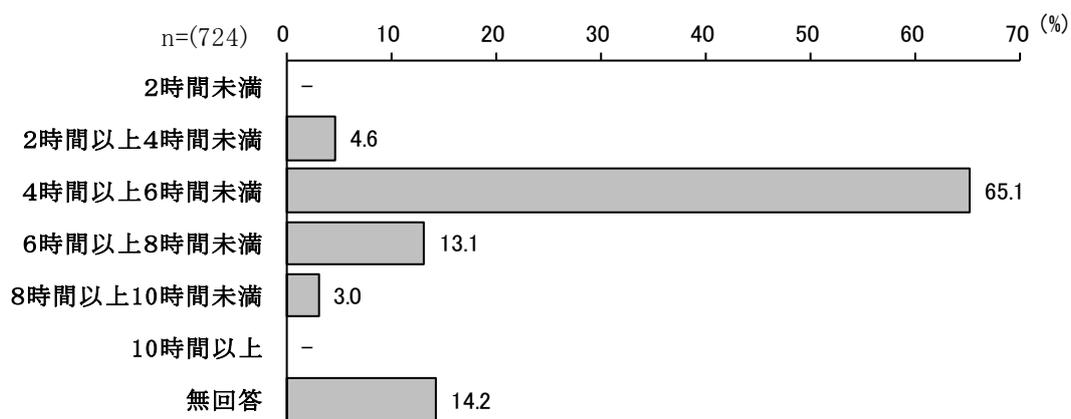
図表177 すぐに就労を希望している母親の希望する就労形態



図表178 母親の希望する1週当たりの就労日数



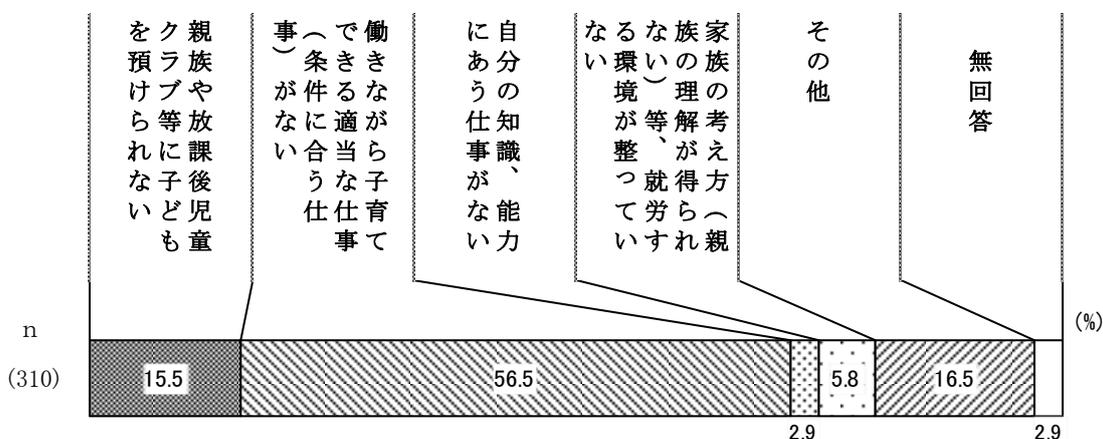
図表179 母親の希望する1日当たりの就労時間



問13-④ 問13-③で「1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方におたずねします。
 就労希望がありながら、現在働いていない一番の理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の就労希望がありながら、現在働いていない一番の理由について、「働きながら子育てできる適当な仕事（条件に合う仕事）がない」が56.5%で最も多くなっています。「その他」には、「未就学の子どもがいるため」「求職中、資格等の勉強中」「体調不良のため」「親等の介護のため」等の回答がありました。

図表180 就労希望がありながら、現在働いていない一番の理由



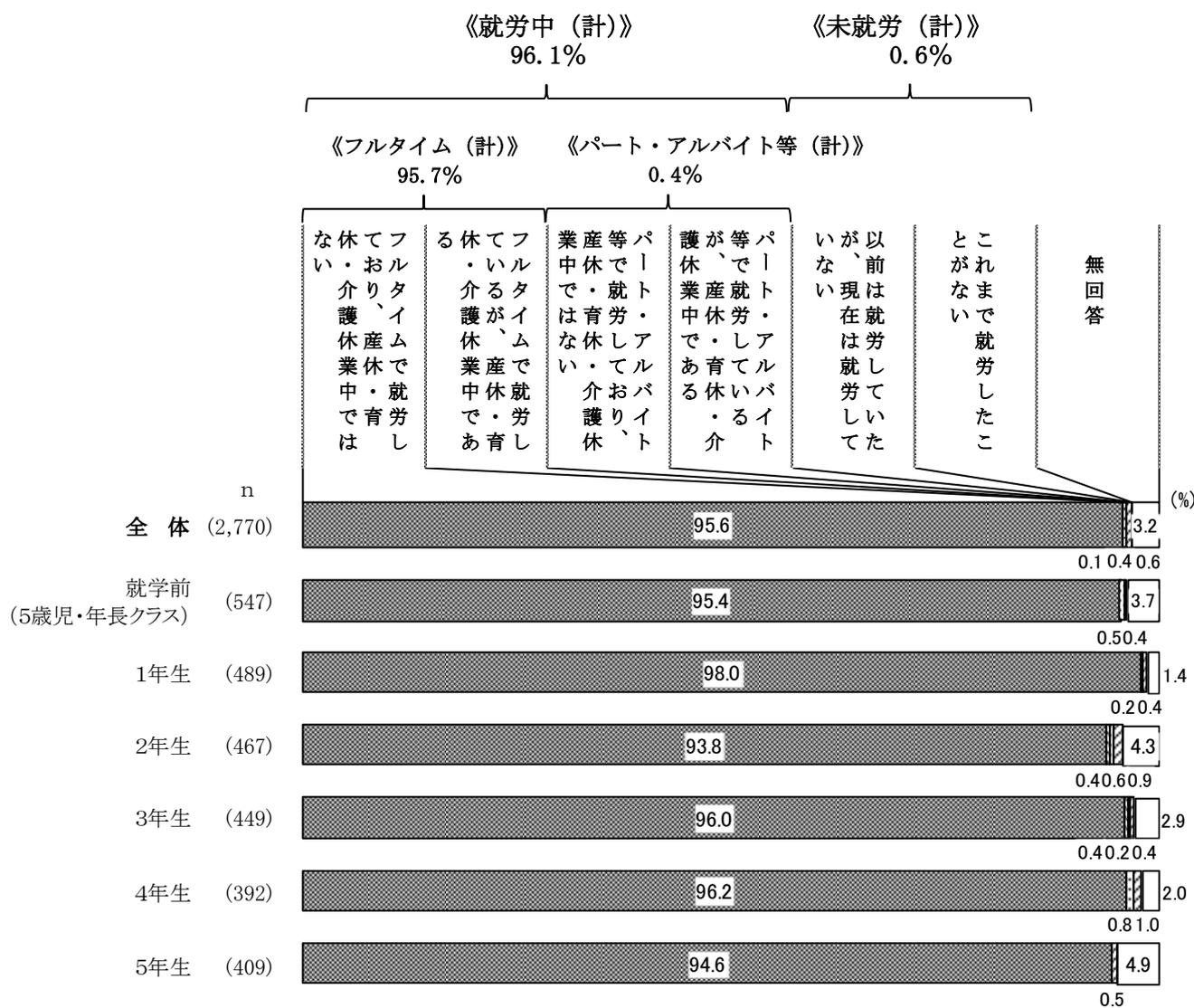
問14【父親の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）をおたずねします】

問14-① 就労状況と就労時間をお答えください

就労中（産休・育休・介護休業中を含む）の父親は、96.1%となっています。

子どもの学年別にかかわらず「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く9割を超えています。

図表181 父親の就労状況：子どもの学年別

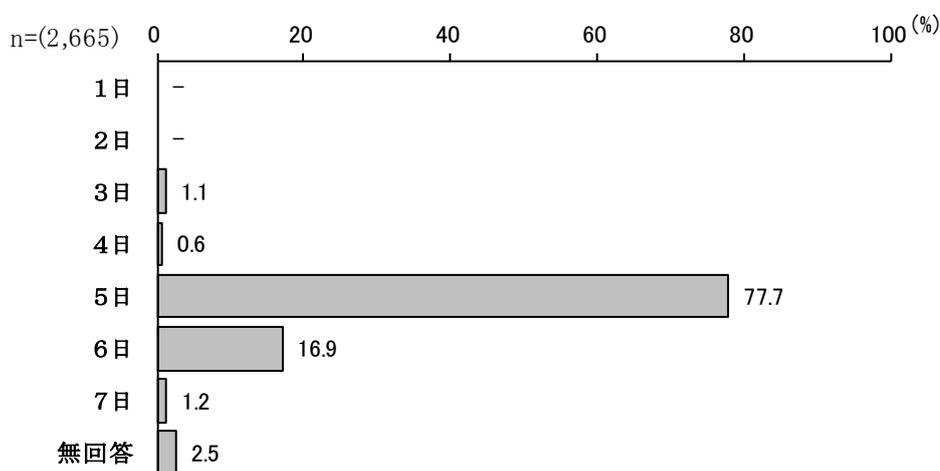


第2章 調査結果（小学生児童保護者調査）

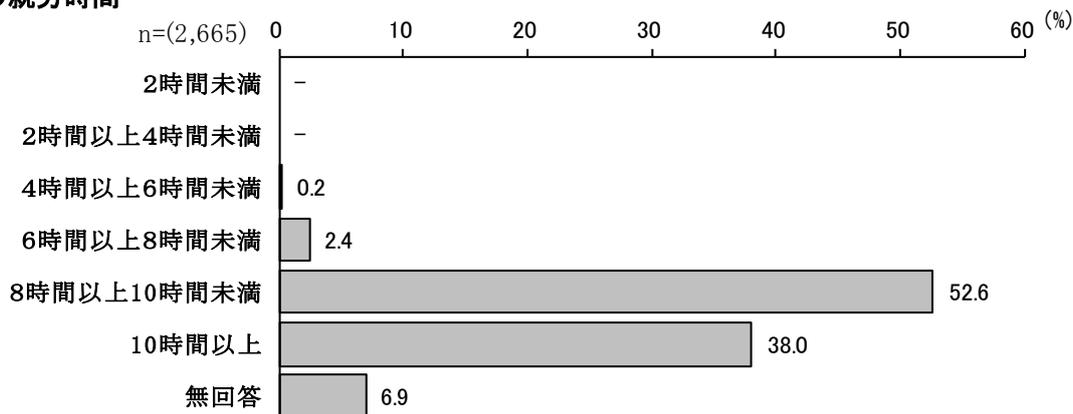
就労していると回答した父親の1週当たりの就労日数については、「5日」が77.7%と最も多く、次いで「6日」が16.9%となっています。

また、1日当たりの就労時間については、「8時間以上10時間未満」が52.6%で最も多く、次いで「10時間以上」が38.0%となっています。

図表182 父親の就労日数



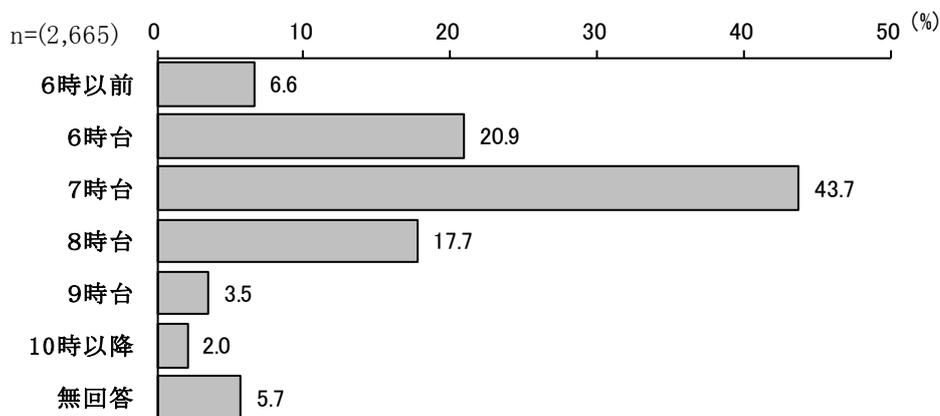
図表183 父親の就労時間



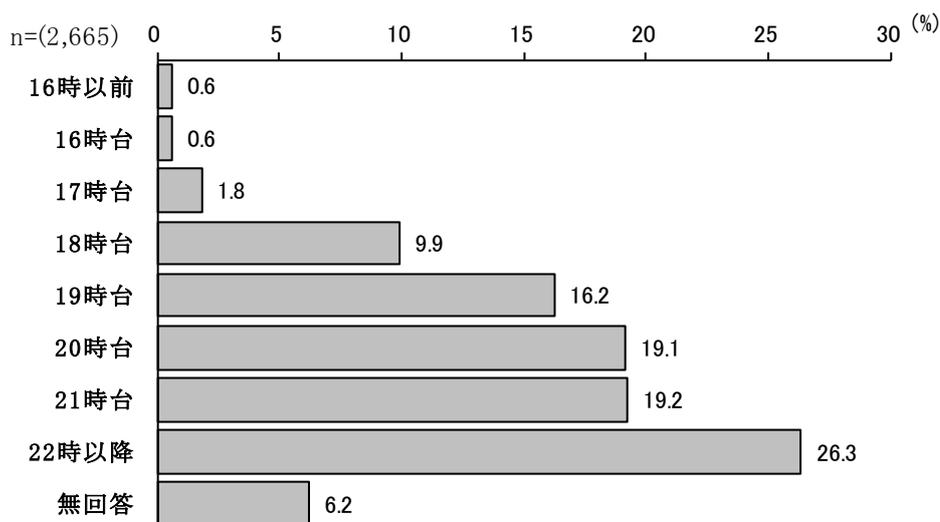
就労していると回答した父親の家を出る時刻については、「7時台」が43.7%で最も多く、次いで「6時台」（20.9%）、「8時台」（17.7%）となっています。

また、帰宅時刻については、「22時以降」が26.3%で最も多く、次いで「21時台」（19.2%）、「20時台」（19.1%）となっています。

図表184 父親の出勤時間



図表185 父親の帰宅時間

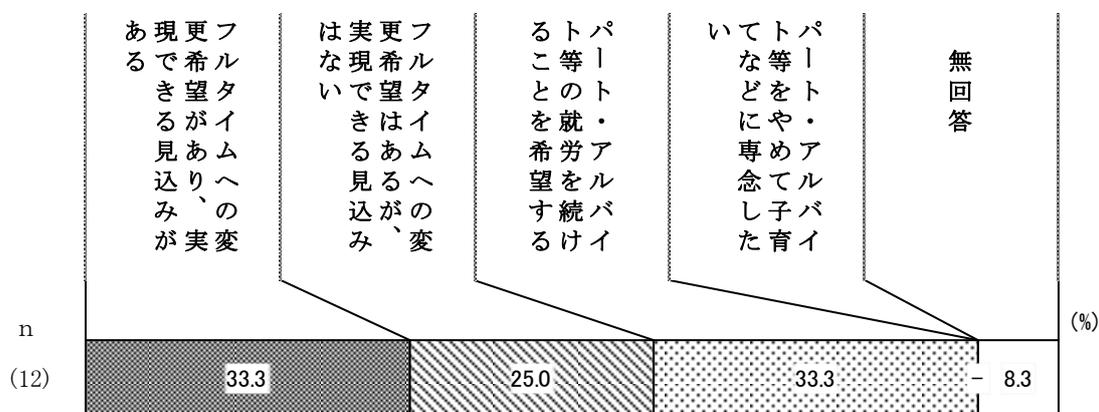


問14-② 問14-①で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した父親におたずねします。フルタイムへの変更希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パート・アルバイト等で就労している父親については、フルタイムへの変更換希望（「フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない」含む）は33.3%（4人）となっています。また、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」は同様に33.3%（4人）回答しています。

「フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない」は25.0%（3人）が回答しています。

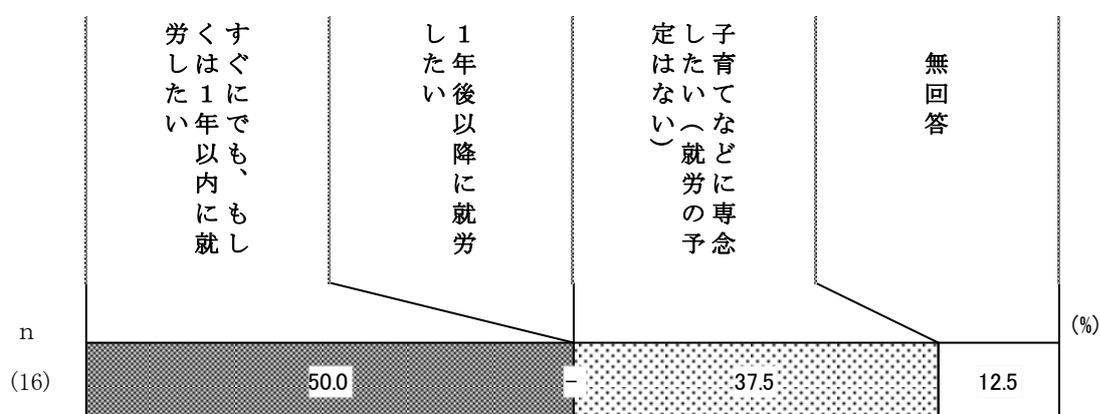
図表186 父親のフルタイムへの変更希望



問 14-③ 問 14-①で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した父親におたずねします。
 「就労の希望」と就労を希望する場合の「希望の就労形態」をお答えください。

現在就労していない父親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%（8人）で最も多くなっています。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は37.5%（3人）となっています。

図表187 父親の就労希望



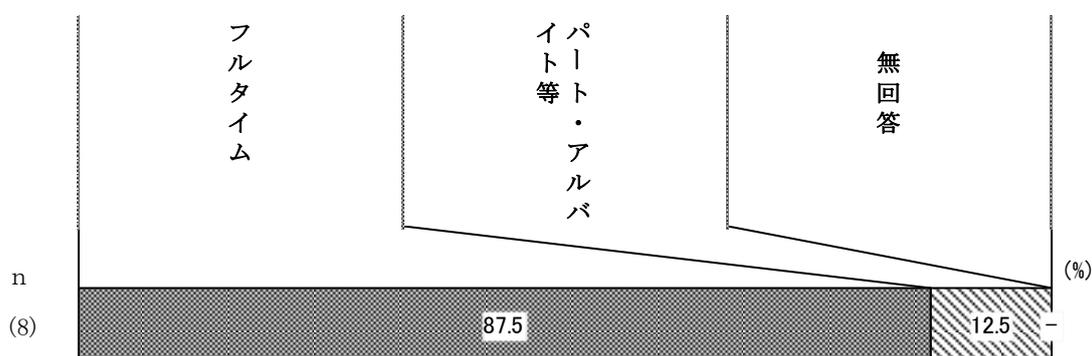
・就労を希望する子どもの学年

- ・該当者なし

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」を選んだ方

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した父親の希望する就労形態では、「フルタイム」が87.5%（7人）、「パート・アルバイト等」が12.5%（1人）となっています。

図表188 すぐに就労を希望している父親の希望する就労形態



・父親の希望する1週当たりの就労日数

- ・ 3日：1件
- ・ 無回答：7件

・父親の希望する1日当たりの就労時間

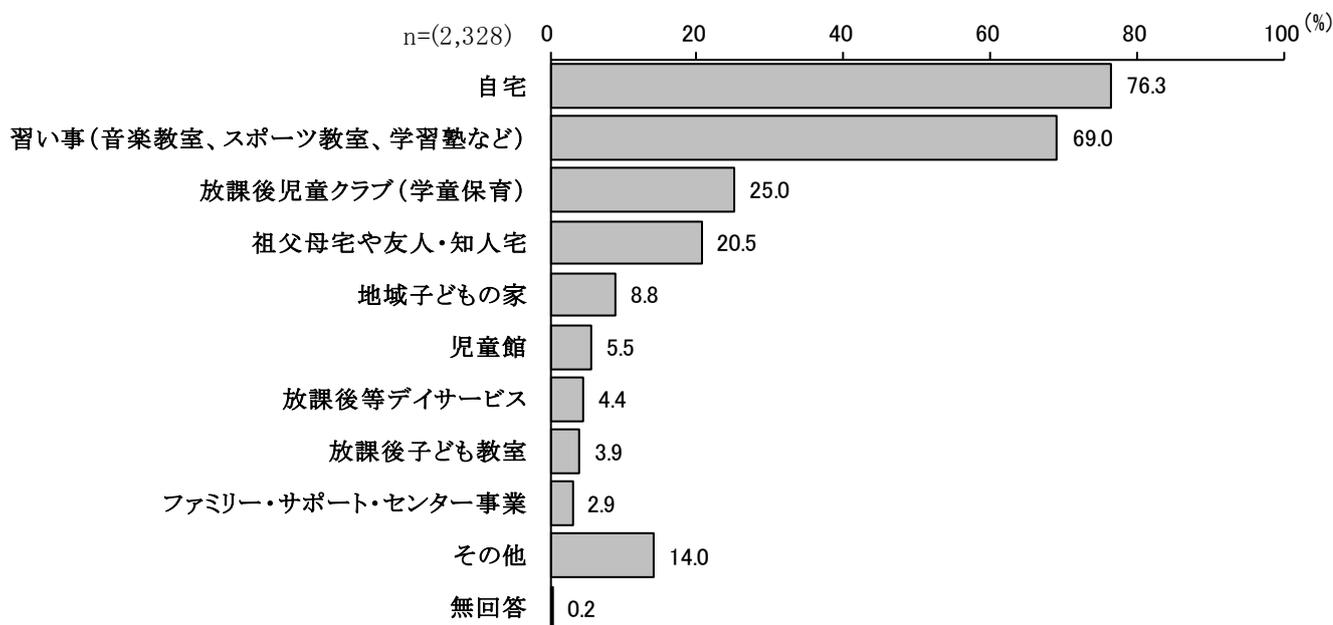
- ・ 4時間以上6時間未満：1件
- ・ 無回答：7件

3. 放課後の過ごし方について

問15 あて名のお子さんが1年生から5年生の方におたずねします。
 あて名のお子さんの現在の放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方について、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用している週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用時間も数字でご記入ください。

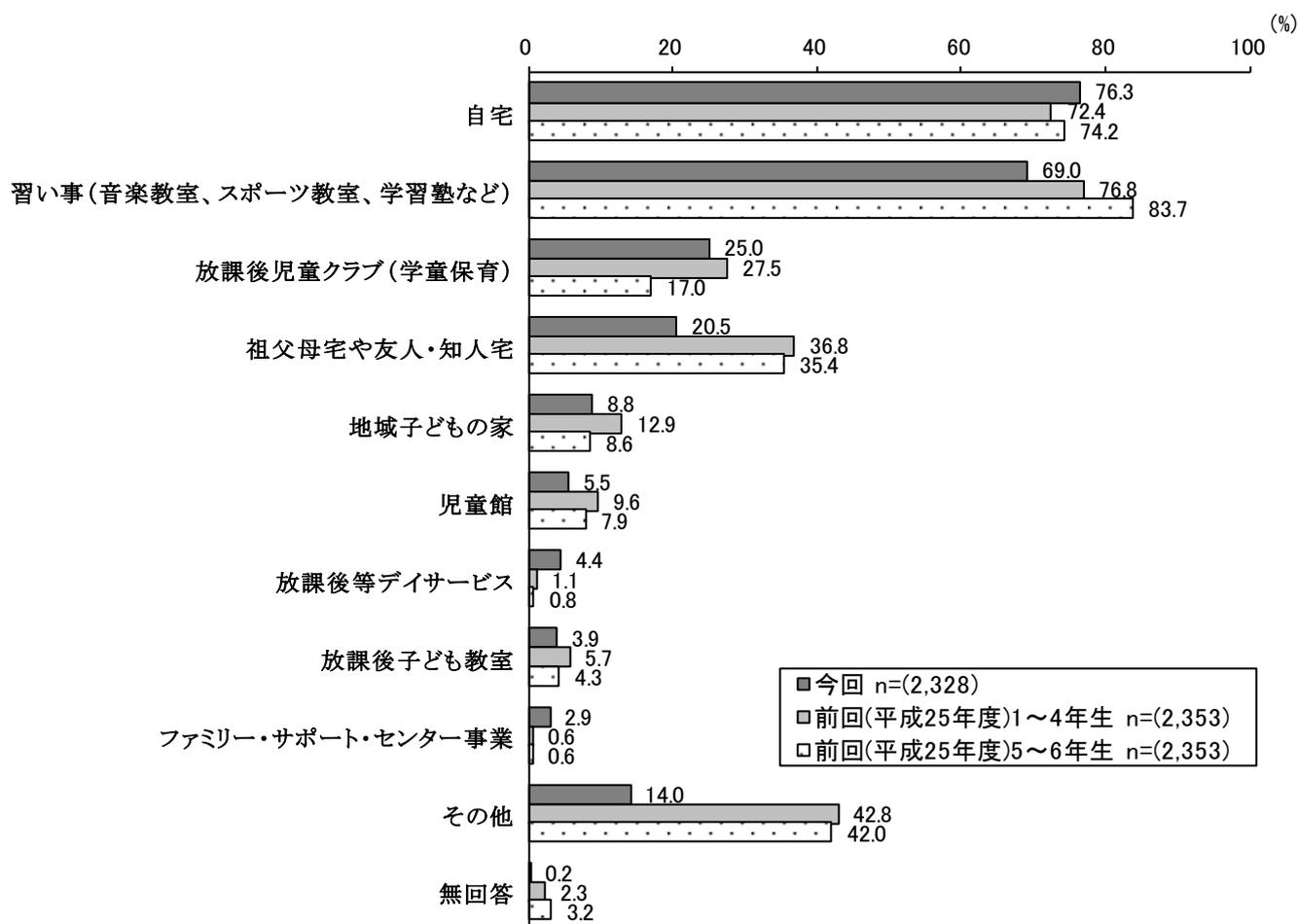
1年生～5年生の子どもが放課後に過ごしている場所について、「自宅」（76.3%）と「習い事」（69.0%）が特に多くなっています。また、「その他」には「公園」「民間の学童クラブ等」「校庭・アフタースクール」等が回答されています。

図表190 子どもが放課後に過ごしている場所（複数回答）



前回調査と比べると上位2つは変わりませんが、「習い事（音楽教室、スポーツ教室、学習塾など）」の割合が少なくなり、「自宅」と順位が逆転しています。また、「祖父母宅や友人・知人宅」は15ポイント以上少なくなっています。

図表191 子どもが放課後に過ごしている場所（複数回答）：前回 平成25年度調査との比較



※ 前回調査は小学校1～4年生の時と5～6年生の時に過ごさせたい場所を別々に質問している。

第2章 調査結果（小学生児童保護者調査）

母親の就業状況別にみると、「フルタイム」は自宅の割合が少なく、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が多くなっています。

図表192 子どもが放課後に過ごしている場所（複数回答）：母親の就労状況別

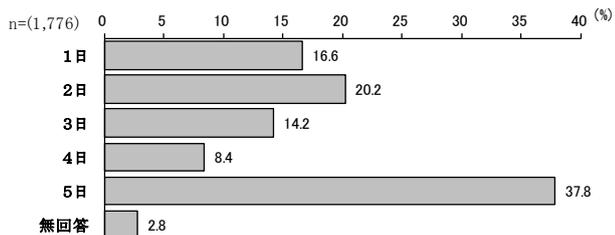
		調査数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（音楽教室、スポーツ教室、学習塾など）	児童館	地域子どもの家	放課後子ども教室	放課後児童クラブ（学童保育）	放課後等デイサービス	ファミリー・サポート・センター事業	その他	無回答
（単位 上段：件 下段：％）													
全体		2,328 100.0	1,776 76.3	478 20.5	1,606 69.0	127 5.5	204 8.8	91 3.9	583 25.0	102 4.4	67 2.9	327 14.0	5 0.2
母親の 就労 状況	フルタイム	113 100.0	67 59.3	17 15.0	58 51.3	2 1.8	10 8.8	4 3.5	54 47.8	6 5.3	2 1.8	7 6.2	- -
	パート・ アルバイト等	8 100.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	- -	- -	- -	4 50.0	- -	- -	- -	- -
	未就労	2,190 100.0	1,692 77.3	456 20.8	1,534 70.0	125 5.7	193 8.8	87 4.0	523 23.9	96 4.4	65 3.0	318 14.5	5 0.2

週当たりの利用日数をみると、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」「放課後等デイサービス」は「5日」が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」「地域子どもの家」「ファミリー・サポート・センター事業」は「1日」が最も多くなっています。「習い事」「放課後子ども教室」は「2日」が最も多くなっています。

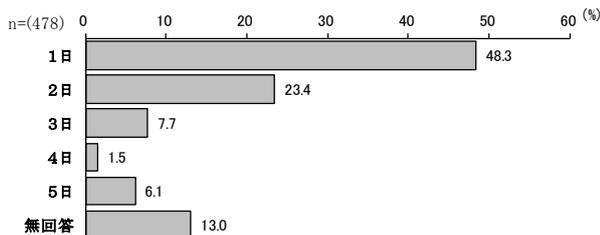
放課後児童クラブ（学童保育）の利用時間は、「18時台」が41.9%で最も多く、次いで「17時台」（25.2%）となっています。

図表193 週当たりの利用日数

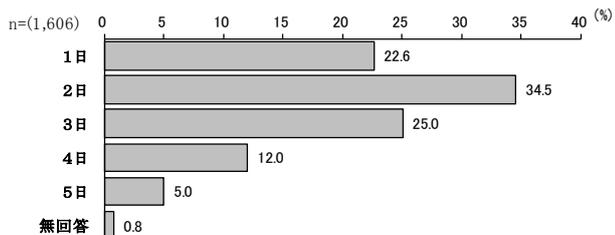
●自宅



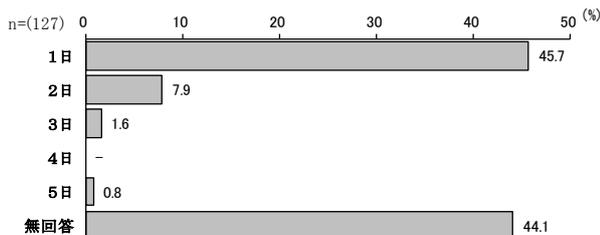
●祖父母宅や友人・知人宅



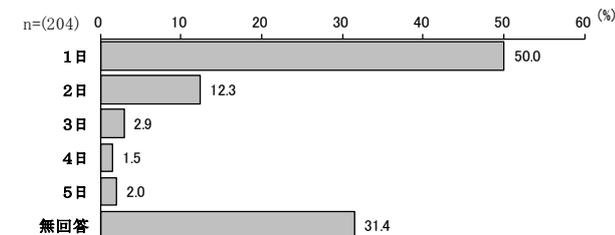
●習い事



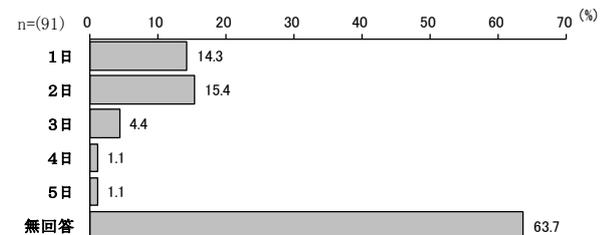
●児童館



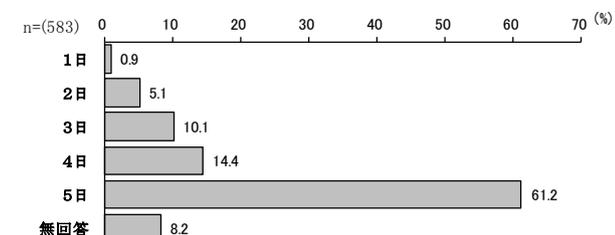
●地域子どもの家



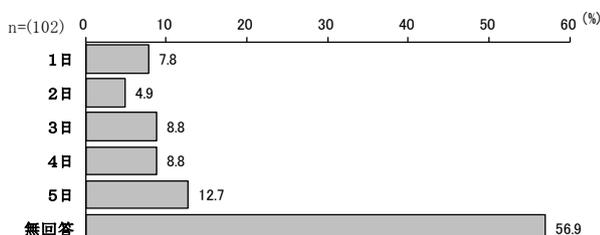
●放課後子ども教室



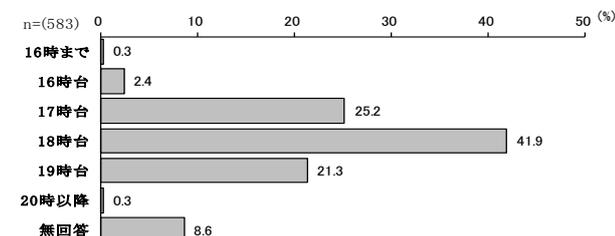
●放課後児童クラブ（学童保育）



●放課後等デイサービス



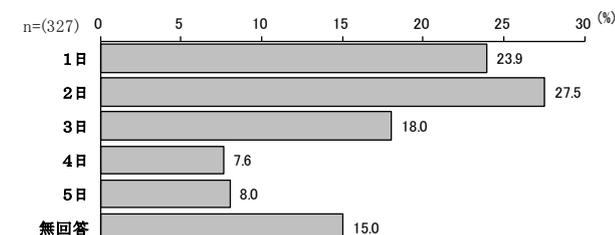
●放課後児童クラブ（利用時間（下校時から））



●ファミリー・サポート・センター事業



●その他



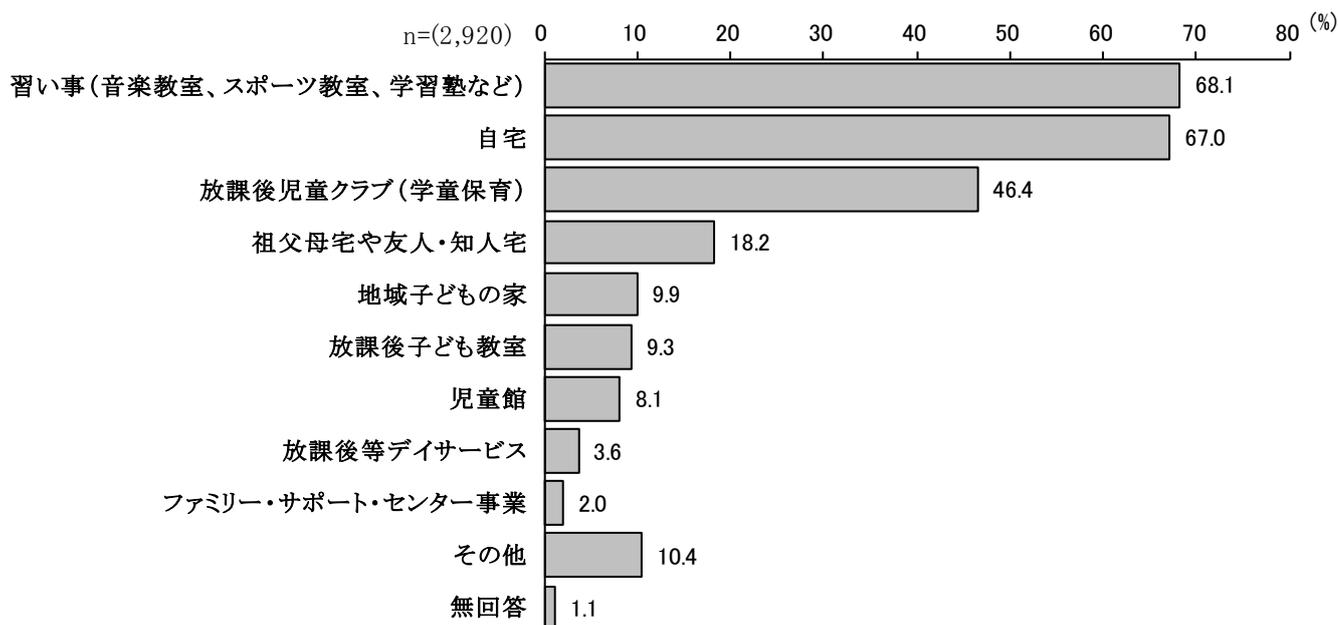
問16 来年、お子さんが就学、または学年が上がったときに放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。現在お住いの学区に該当する施設がない場合でも、あると仮定した上で利用希望をお答えください。

来年に就学、または学年が上がった時に放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「習い事」が68.1%と最も多く、次いで「自宅」が67.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が46.4%の順となっています。また、「その他」には「公園」「民間の学童クラブ等」「校庭」等の回答がありました。

子どもの学年別にみると、「自宅」と「習い事」は学年が上がるにつれて回答した割合が多くなっています。「放課後児童クラブ（学童保育）」は学年が上がるにつれて回答した割合が少なくなっています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイム」は「自宅」と「習い事」の割合が少なく、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が多くなっています。

図表194 来年、放課後に過ごさせたい場所（複数回答）



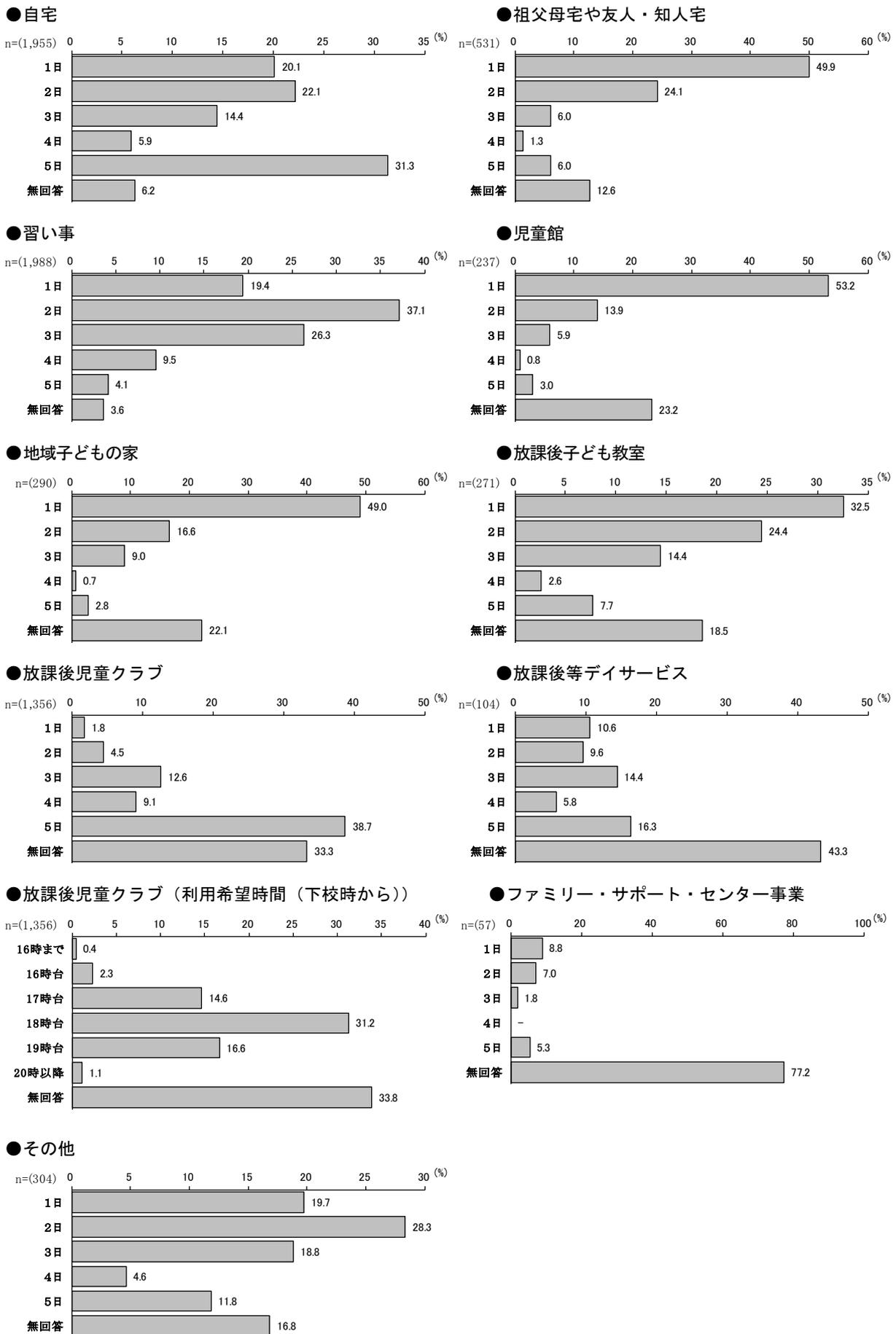
図表195 来年、放課後に過ごさせたい場所（複数回答）：子どもの学年、母親の就労状況別

		調査数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（音楽教室、スポーツ教室、学習塾など）	児童館	地域子どもの家	放課後子ども教室	放課後児童クラブ（学童保育）	放課後等デイサービス	事業	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
（単位 上段：件 下段：％）														
全体		2,920 100.0	1,955 67.0	531 18.2	1,988 68.1	237 8.1	290 9.9	271 9.3	1,356 46.4	104 3.6	57 2.0	304 10.4	32 1.1	
子どもの学年	就学前（5歳児・年長クラス）	572 100.0	331 57.9	107 18.7	316 55.2	49 8.6	54 9.4	47 8.2	336 58.7	17 3.0	10 1.7	36 6.3	1 0.2	
	1年生	518 100.0	305 58.9	77 14.9	310 59.8	36 6.9	52 10.0	48 9.3	303 58.5	18 3.5	9 1.7	38 7.3	7 1.4	
	2年生	495 100.0	322 65.1	87 17.6	346 69.9	45 9.1	60 12.1	45 9.1	250 50.5	12 2.4	10 2.0	64 12.9	6 1.2	
	3年生	464 100.0	337 72.6	91 19.6	352 75.9	36 7.8	41 8.8	49 10.6	189 40.7	18 3.9	11 2.4	68 14.7	2 0.4	
	4年生	417 100.0	305 73.1	82 19.7	318 76.3	35 8.4	43 10.3	36 8.6	147 35.3	17 4.1	5 1.2	48 11.5	7 1.7	
	5年生	434 100.0	343 79.0	84 19.4	335 77.2	34 7.8	38 8.8	44 10.1	119 27.4	21 4.8	11 2.5	48 11.1	8 1.8	
母親の就労状況	フルタイム	138 100.0	69 50.0	23 16.7	71 51.4	9 6.5	10 7.2	11 8.0	90 65.2	6 4.3	2 1.4	8 5.8	-	
	パート・アルバイト等	8 100.0	3 37.5	-	4 50.0	-	-	-	5 62.5	-	-	-	1 12.5	
	未就労	2,752 100.0	1,869 67.9	504 18.3	1,900 69.0	227 8.2	277 10.1	260 9.4	1,256 45.6	98 3.6	55 2.0	295 10.7	28 1.0	

週当たりの利用希望日数をみると、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」「放課後等デイサービス」は「5日」が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」「地域子どもの家」「放課後子ども教室」「ファミリー・サポート・センター事業」は「1日」が最も多くなっています。「習い事」は「2日」が最も多くなっています。

放課後児童クラブ（学童保育）の利用時間は、「18時台」が31.2%で最も多く、次いで「19時台」（16.6%）となっています。

図表196 週当たりの利用希望日数



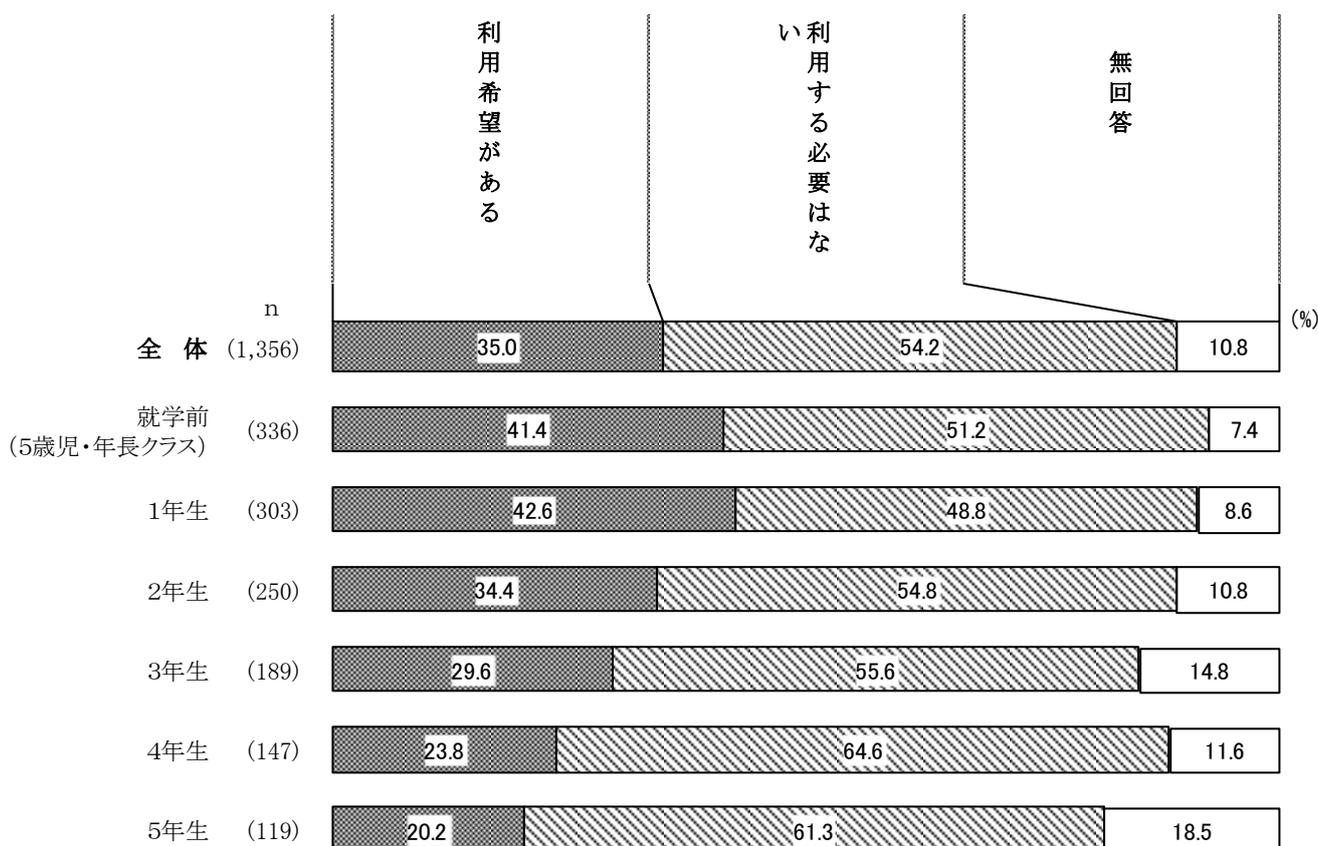
問17 問16で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方におたずねします。
 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、もしくは夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）～（3）それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい学年や時間帯をご記入ください。
 なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

利用希望に「放課後児童クラブ」と回答した方に、土曜日の放課後児童クラブの利用希望をたずねたところ、「利用希望がある」が35.0%、「利用する必要はない」が54.2%となっています。

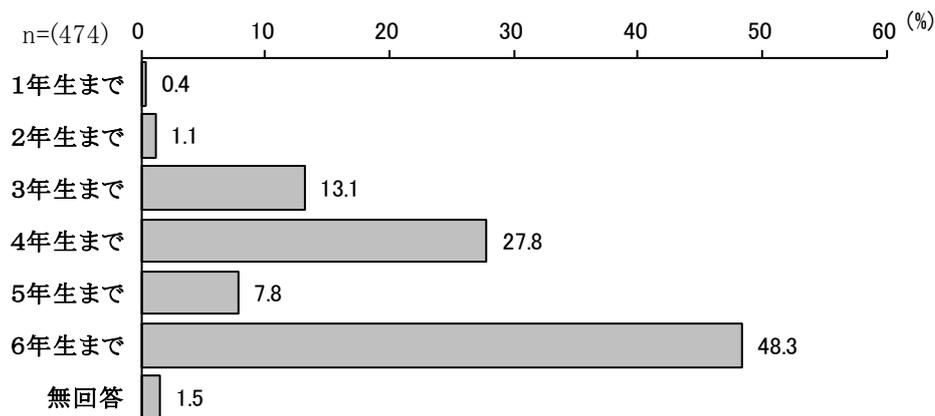
学年別にみると、子どもの学年が上がるにつれて、「利用希望がある」の割合が少なくなっています。利用したい学年をみると「6年生まで」が48.3%で最も多く、次いで「4年生まで」（27.8%）となっています。

土曜日に利用したい時間帯は、開始時間は「8時」が59.1%で最も多く、終了時間は「18時」が42.2%で最も多くなっています。

図表197 土曜日の放課後児童クラブの利用希望：子どもの学年別

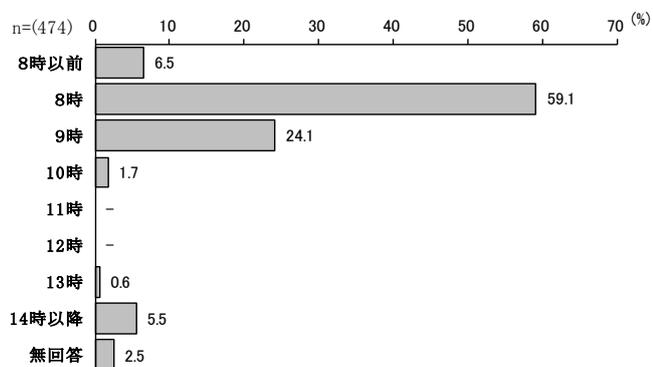


図表198 土曜日に利用したい学年

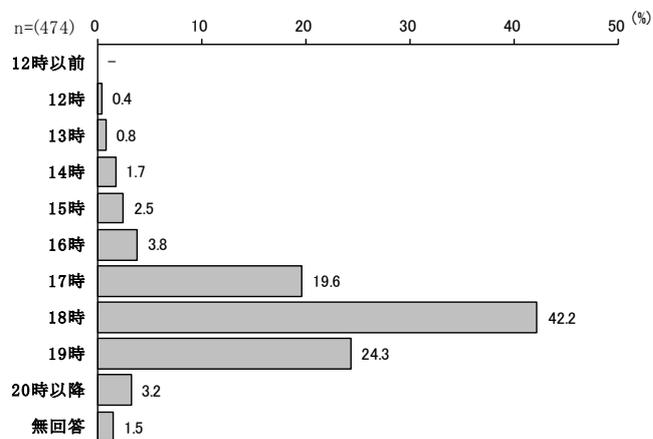


図表199 土曜日に利用したい時間帯

●利用したい時間帯 開始時間



●利用したい時間帯 終了時間



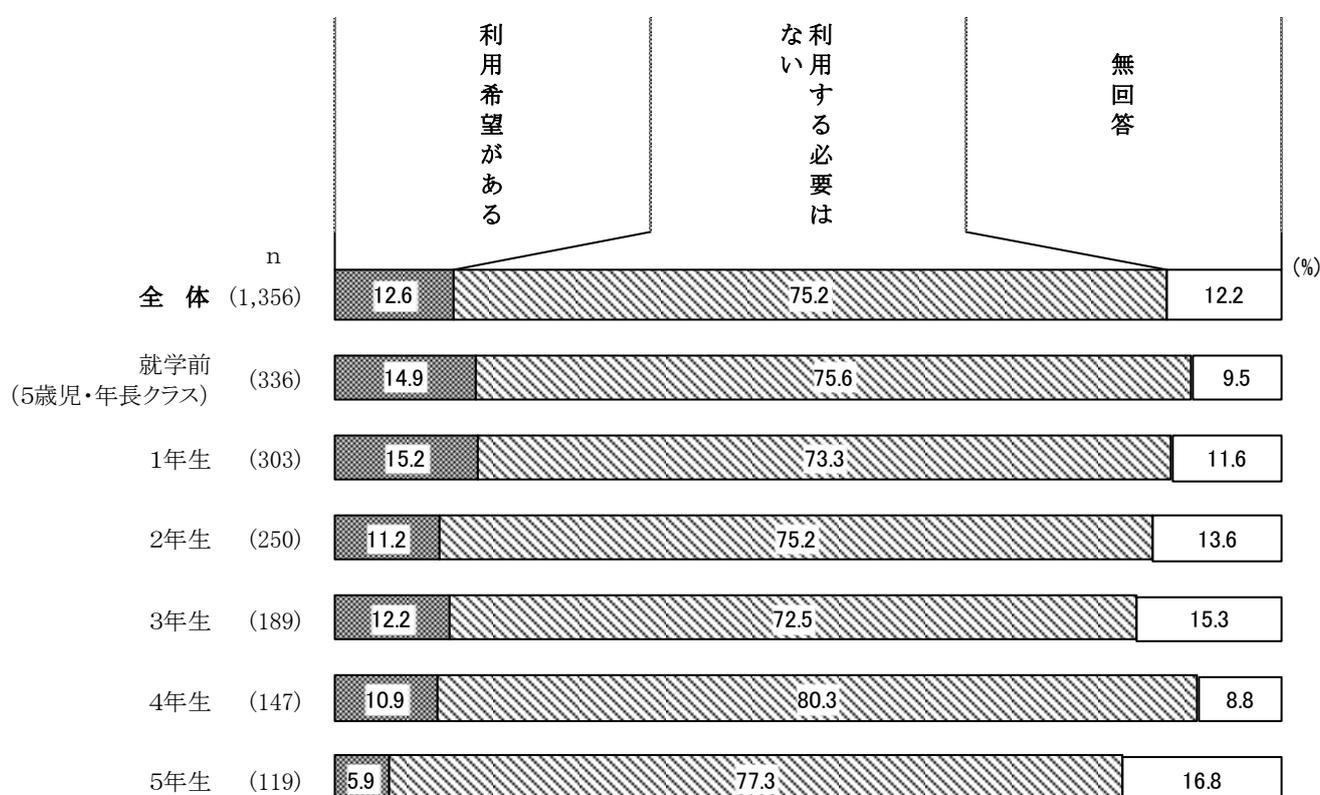
利用希望に「放課後児童クラブ」と回答した方に、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望をたずねたところ、「利用希望がある」が12.6%、「利用する必要はない」が75.2%となっています。

学年別にみると、子どもの学年が上がるにつれて、「利用希望がある」の割合が少なくなる傾向があります。

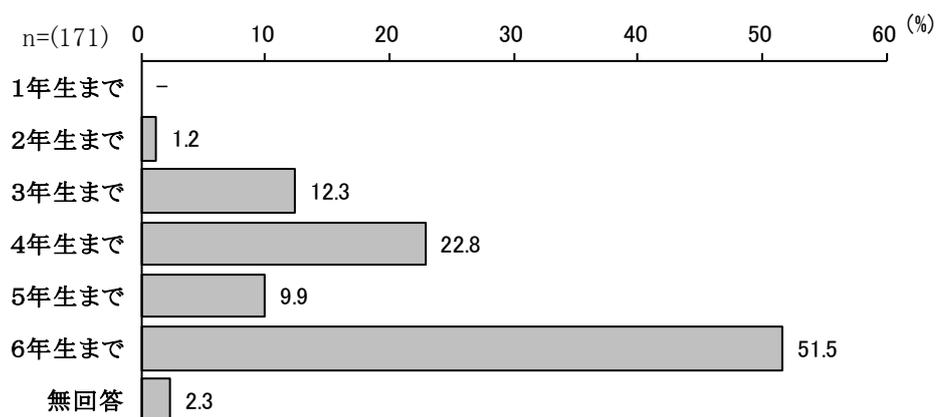
利用したい学年をみると「6年生まで」が51.5%で最も多く、次いで「4年生まで」（22.8%）となっています。

日曜日・祝日に利用したい時間帯は、開始時間は「8時」が55.6%で最も多く、終了時間は「18時」が48.0%で最も多くなっています。

図表200 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望：子どもの年齢別

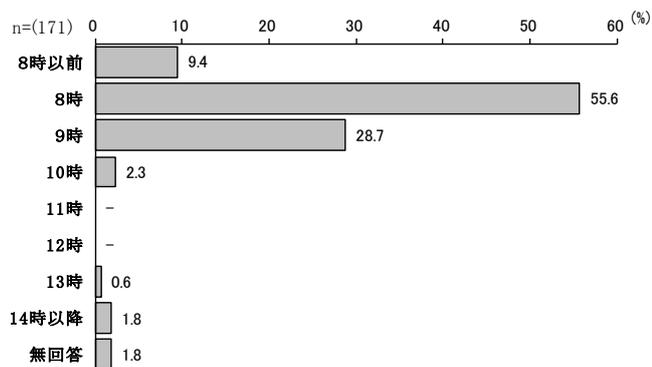


図表201 日曜日・祝日に利用したい学年

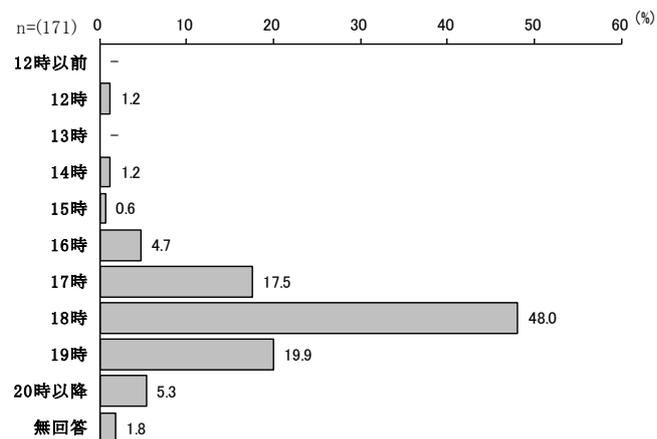


図表202 日曜日・祝日に利用したい時間帯

●利用したい時間帯 開始時間



●利用したい時間帯 終了時間

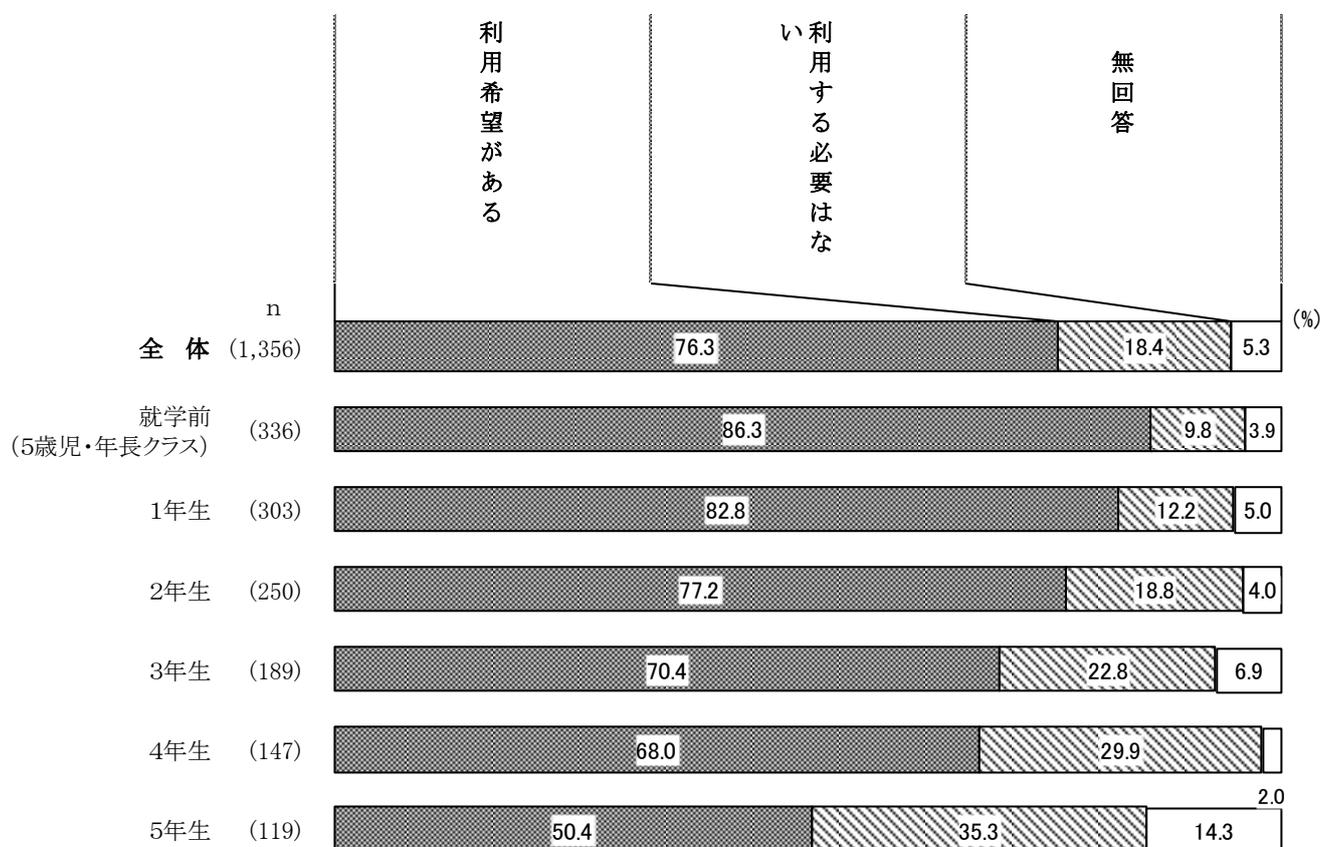


利用希望に「放課後児童クラブ」と回答した方に、長期の休暇の放課後児童クラブの利用希望をたずねたところ、「利用希望がある」が76.3%、「利用する必要はない」が18.4%となっています。

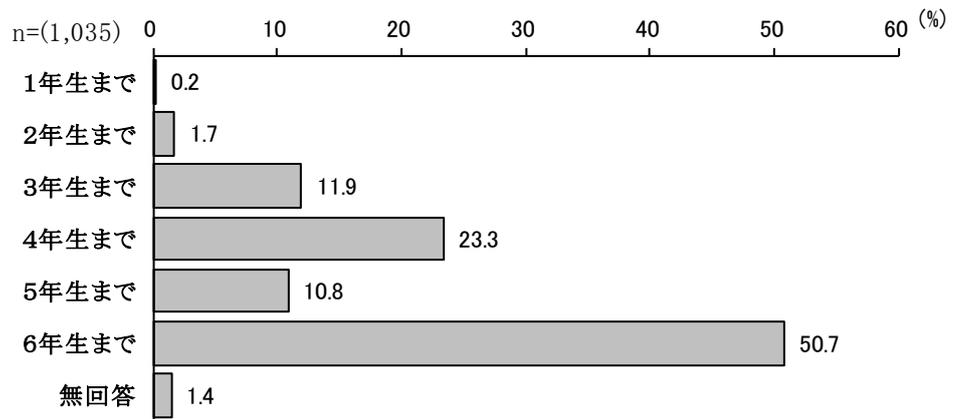
学年別にみると、子どもの学年が上がるにつれて、「利用希望がある」の割合が少なくなっています。利用したい学年をみると「6年生まで」が50.7%で最も多く、次いで「4年生まで」（23.3%）となっています。

長期の休暇に利用したい時間帯は、開始時間は「8時」が67.4%で最も多く、終了時間は「18時」が41.8%で最も多くなっています。

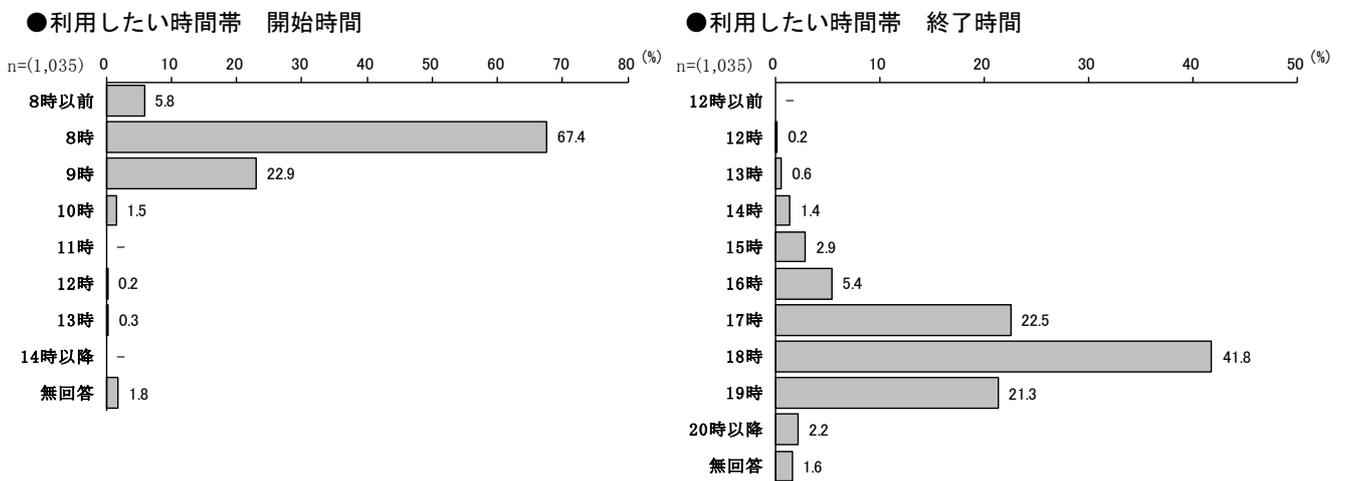
図表203 長期の休暇の放課後児童クラブの利用希望：子どもの年齢別



図表204 長期の休暇に利用したい学年



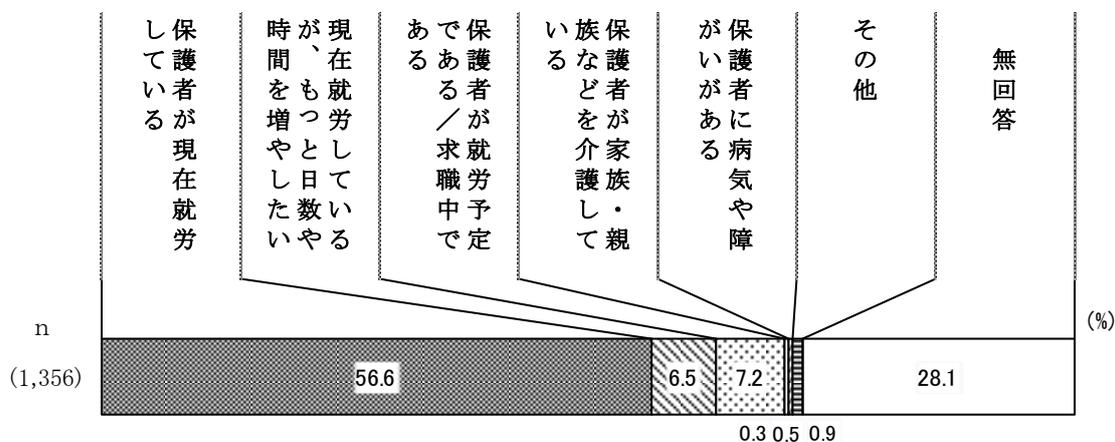
図表205 長期の休暇に利用したい時間帯



問18 問16で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方におたずねします。
 今後、放課後児童クラブを利用したいと考えている一番の理由はどのようなことですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用希望に「放課後児童クラブ」と回答した方に、今後、放課後児童クラブを利用したいと考えている一番の理由をたずねたところ、「保護者が現在就労している」が56.6%と最も多く、次いで「保護者が就労予定である／求職中である」が7.2%、「現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい」が6.5%の順となっています。

図表206 今後、放課後児童クラブを利用したいと考えている一番の理由

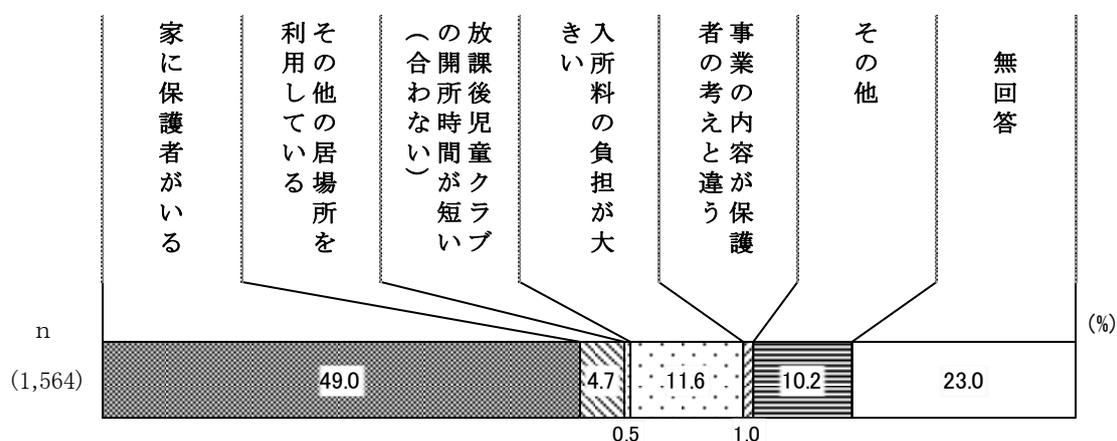


問19 問16で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけなかった方におたずねします。
 放課後児童クラブを利用しない一番の理由はどのようなことですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用希望に「放課後児童クラブ」と回答しなかった方に、今後、放課後児童クラブを利用しない一番の理由をたずねたところ、「家に保護者がいる」が49.0%と最も多く、次いで「入所料の負担が大きい」が11.6%、「その他の居場所を利用している」が4.7%の順となっています。

「その他」には「子どもが希望しない」「近くに親戚や知り合いの家がある」「一人で留守番ができるから」等の回答がありました。

図表207 放課後児童クラブを利用しない一番の理由

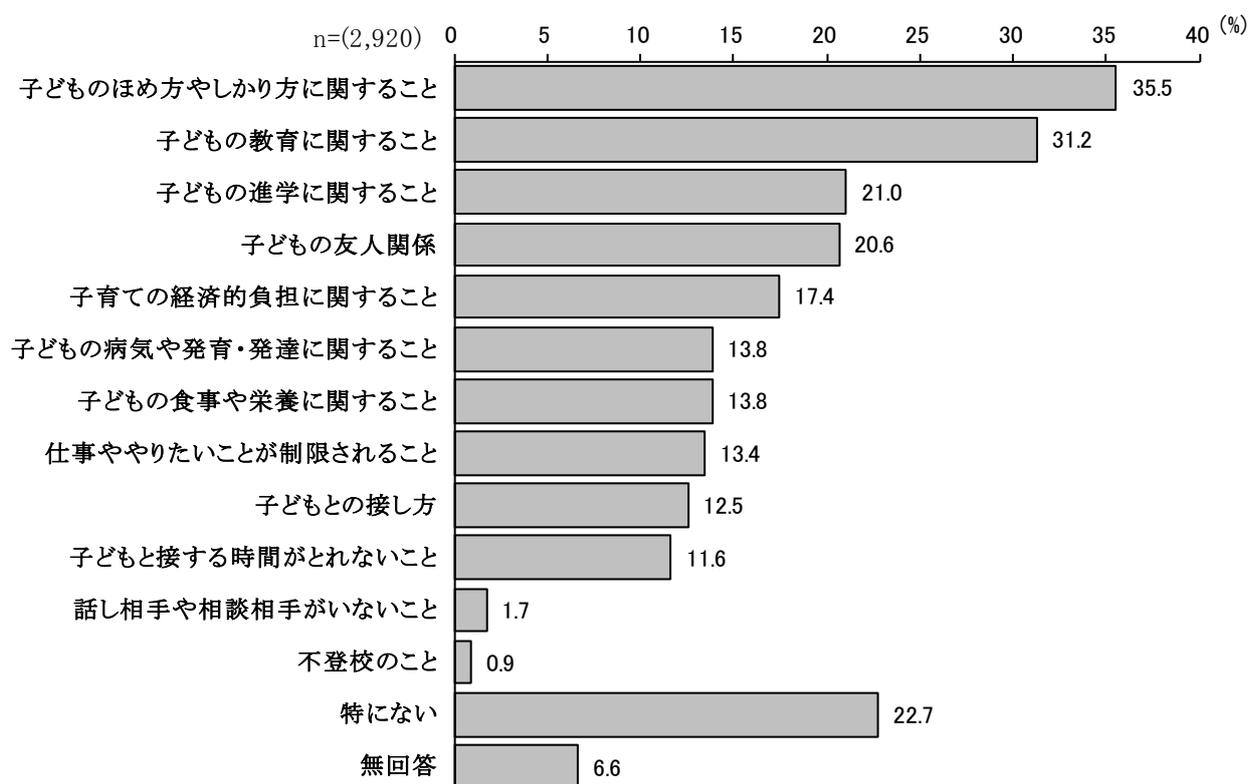


4. その他の意見について

問20 子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して、悩んでいることや気になることをたずねたところ、「子どものほめ方やしかり方に関すること」が35.5%と最も多く、次いで「子どもの教育に関すること」が31.2%、「子どもの進学に関すること」が21.0%、「子どもの友人関係」が20.6%の順となっています。

図表208 子育てに関して、悩んでいることや気になること（複数回答）



問21 最後に、子育て（教育を含む）をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。

子育て（教育を含む）をする上で、悩んでいることや周囲（身近な人、行政担当者など）からのサポートについてのご意見を記入していただいたところ、1,208人から1,448件の意見をいただきました。分類した意見の件数と主な内容は次のとおりです。

	件数
放課後児童クラブについて	246
保育事業・子育て支援に関して	201
学校・教育について	180
一時預かり	164
子育てについて	163
子育てと仕事について	87
交流や遊び場	77
悩みや話を聞いてくれる場所、子育てのアドバイスが受けられる存在について	74
安全・安心なまちづくり	60
経済的支援などその他の支援	47
情報提供	35
病児・病後児保育の充実・利便性の向上	29
地域の見守り	20
待機児童の削減	18
相談窓口の充実	15
イベントや催しもの	8
その他	24
合計件数	1,448

1. 放課後児童クラブについて(246件)

- 夏季休業中に、両親とも就労の必要があるので、放課後児童クラブがないと、子ども一人での留守番は難しい。また、学習面なども、放課後児童クラブで、宿題の確認などもしてもらえると助かる。
- 働きたいと思いますが、家から学校までが遠いので、学童も、近いところでないと、お迎えも厳しいと思っている方が多数います。民間の学童のような所は、費用も高く難しいのが現状。

2. 保育事業・子育て支援について(201件)

- 児童館や子どもの家の場所がわからない。子どもに利用させたいが、周知されていないので少しもったいないと思う。学区ごとに利用方法を教えてもらいたい。
- 放課後子ども教室が、学区にあったら、仕事をしていても、安心して遊びに行かせる事が出来ると思うので、もう少し増やしてほしいです。

3. 学校・教育について(180件)

- 学校の行事（PTAや授業参観日等）は、すべて平日昼間に行われるため、仕事との休みの兼ね合いが難しい。
- 夕方からしか子どもと接する時間がないので、読み書き計算など、最低限の勉強を教える時間がない。教育的なサポートが欲しい。

4. 一時預かり(164件)

- フルタイムで働く上で一番ネックになるのが長期の休暇。普段は利用しなくてもいいが、長期休暇期間だけ子どもを預かってくれる場所があればもっと職探しが広がるのに、と思う。
- 普段、学童保育を利用していなくても、緊急時や有用事に、放課後、子どもを預けられる場所があると安心です。

5. 子育てについて(163件)

- 感情的に怒ってしまう。子どもに納得してもらえるような言い方が出来ない。時間のやりくりがうまく出来ず家で十分に勉強を見てあげられない。
- 子どもに色々な経験を沢山させてあげたいが、経済的にもそこまで余裕がない為、色々と試行錯誤しています。

6. 子育てと仕事について(87件)

- 生活にも教育にもお金がかかり、母親も仕事をしないと成り立たなくなっているが、「子どもの側でなるべく時間を一緒に過ごしたい」事と、「外で仕事をするため、どうやってその時間を捻出するか」ということ、女性（母）として選択肢が少ない中、悩んでいます。目先の改革ではなく、長い目で社会の整備をすすめて頂けたらと思います。
- 親の仕事の都合に合わせて、夕食の時間や就寝時間が遅くなりがちで、成長（心身の）にとって良くないと思っているが、なかなか改善ができない。親自身に、仕事の負担が大きく、時間的にも精神的にも余裕が無く、ストレスがたまりがちで、そのストレスが、子どものしかり方などにも影響してしまう事がある。

7. 交流や遊び場(77件)

- 子どもが、ボールなどを使って遊べる公園を増やしてほしい。ボールなど禁止の場所が多く、遊べる場所が少ない。
- 少子化や地域差から、近所の子どもたちとつきあいが無い。登校下校が心配。せめて、登校は、集団で行かせたい。

8. 悩みや話を聞いてくれる場所、子育てのアドバイスが受けられる存在について(74件)

- 年齢（学年）に合った指導や教育、家でのサポートの仕方など、相談できる場があるといいなと思うことがある。
- 子育ての悩みについて、カウンセラー等に相談したくても、平日の昼間には、電話もなかなかできません。土曜日にでも相談できたりすると助かります。

9. 安全・安心なまちづくり(60件)

- 通学路をもっと目立つようにしてほしい。通学路でもスピードを出している車をよくみかけるので怖い。
- 小学校に入ったら、交通量の多い細い道か、不審者情報のあった住宅街の道を歩かねばならず、心配です。登校班があったら助かります。

10. 経済的支援などその他の支援(47件)

- 教育費（保育園～大学まで）を全て無償化してほしい。
- 母親の体調が悪い時、助けてくれる人が必要（登下校、習い事の送り迎えetc）。

11. 情報提供(35件)

- 子どもの生活習慣（適切な睡眠時間や栄養の取り方、しつけなど）に関して、市が主催する講習会のようなものがあれば、参加したいです。
- 藤沢市の子どもサポートに関する情報が少ない。電話やメールで、気軽に相談できたらいい。相談が、それ以外の活動に影響しないことを、希望される方が多いのでは。不安を口にすると、現実になってしまうのでは、と不安になる親の気持ちも大事にしてほしい。

12. 病児・病後児保育の充実・利便性の向上(29件)

- 子どもが熱を出した時、はずせない仕事があると、本当に困る。病児保育（その日の朝にお願いできる）があれば、とても有り難い。
- 突発での病気時の対応として父母どちらかが休暇を取らざるを得ないのが現状であり、サポートがあればよいと感じる。

13 地域の見守り(20件)

- 周りに同じ年の子がいない為、登下校の際に、付いていく事が出来ない為、地域での集団登下校や、周りでの見守り等があってほしいと思います。
- 事故や事件が多いので安全面が心配です。地域でボランティアの方が子どもを見守ってくれると安心です。

14 待機児童の削減(18件)

- 学童保育にぜひ入れさせたい。学童保育への待機児童をなくすべく、施設の拡充を望む。誰もが待機せずに、希望の学童施設に入れる仕組み・環境作りを望む。
- 学童に何年生まで通えるのか、心配になる。また、学童利用児童の数が増えると（保育無償化の影響など）、学童の待機が増えるので、入れたからと言って、この先は安心できない。

15 相談窓口の充実(15 件)

- 母子家庭（父子）用の専用の窓口があれば良いと思います。
- 夜間休日でも相談できる窓口や、メールやLINEでの相談ができればと思います。

16 イベントや催しもの(8 件)

- 地元の公立校の支援体制に不安を感じ、私立校へ入れたが、地元とのつながりがなくなり、子がさみしそうです。通っている学校に関係しない地域イベントが増えると有り難いです。
- 土日などに体験できるイベントを、開催したらよいかと思います。ものづくりや山登りやお年寄りとの交流会など。

17 その他(24 件)

- 金銭的な面もかかりますし、どれくらいお金がかかるか不安です。
- 小学校や学童で、紙ではなく、電子連絡帳を導入してほしい。

第2章 調査結果（小学生児童保護者調査）

第 3 章 調査票

1.子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査

藤沢市子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査

～子どもと子育て家庭の“笑顔と元気”のために～

調査ご協力をお願い

日頃から子育て施策の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

藤沢市では、「子ども・子育て支援法」（平成24年法律第65号）に基づく子ども・子育て支援新制度の下で、幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援の充実を図るため、令和2年度から5年間で一期とする「第二期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

この調査は、計画の策定に当たり、市民の皆さんの幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施するものです。

このため、住民基本台帳の中から調査対象年齢のお子さんを無作為に抽出し、その保護者にご協力をお願いするもので、ご回答いただいた内容によって、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。

また、回答内容が今後の保育施設等のご利用に影響することはありませんので、率直にご希望等をご記入ください。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

2019年（令和元年）5月吉日

藤沢市 子ども青少年部子育て企画課

【 ご記入に際してのお願い 】

1. アンケートは、特にことわりのある場合を除きお子さんの保護者が、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
また、「その他」をお選びいただいた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時→18時)でご記入ください。
5. 該当する設問についてのみご回答ください。
6. 回答に当たっては、同封の別紙1及び2をご参照ください。

※ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、次の担当課までお願いいたします。

藤沢市 子ども青少年部 子育て企画課

電話 0466-50-3562（直通）※月曜日～金曜日 8時30分～17時

FAX 0466-50-8428

E-mail fj1-kodomo-se@city.fujisawa.lg.jp

ご記入が済みましたら、同封の返送用封筒（切手不要）に入れて封をし、郵便ポストに

5月27日（月）までにご投函ください。

1 お住まいの地域についておたずねします

問1【すべての方におたずねします】

お住まいの地区についておたずねします。調査票が入っていた封筒の宛名ラベルの右肩に印字されている名称と同じ名称の番号1つに○をつけてください。

1. 片瀬	2. 鶴沼	3. 辻堂	4. 村岡	5. 藤沢
6. 明治	7. 善行	8. 湘南大庭	9. 六会	10. 湘南台
11. 遠藤	12. 長後	13. 御所見		

2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておたずねします

問2【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんの生年月を□内に数字でご記入ください。

平成 年 月生まれ

問3【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんを含めて何人きょうだいですか。なお、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を□内に数字でご記入ください。

1. 1人（あて名のお子さんのみ）	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
	→末子の生年月 平成 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月生まれ			

問4【すべての方におたずねします】

この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（ <input type="text"/> ）
-------	-------	--------------------------------

問5【問4で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方におたずねします】

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です。）

1. 配偶者（パートナー）がいる	2. 配偶者（パートナー）はいない
------------------	-------------------

問6【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんの子育て（身の回りの世話や教育などを含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他（ <input type="text"/> ）
----------	---------	---------	----------	--------------------------------

3 お子さんの育ちをめぐる環境についておたずねします

問7【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんの子育て（身の回りの世話や教育などを含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 認定こども園 | 7. 保育所・保育施設 | 8. その他（ ） |

問8【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問9【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. いる／ある ⇒【問10へ】 | 2. いない／ない ⇒【問11へ】 |
|--------------------|---------------------|

問10【問9で「1. いる／ある」に○をつけた方におたずねします】

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所や地域の人 | 4. 子育て支援施設（子育て支援センター等） |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 幼稚園 |
| 7. 認定こども園 | 8. 認可保育施設 |
| 9. 認可外保育施設 | 10. かかりつけの医師や病院 |
| 11. 子育てサークル | 12. 民生委員・児童委員 |
| 13. 市役所の子どもや子育ての担当窓口 | 14. SNS・インターネット |
| 15. その他（例）ベビーシッター | |
| 〔 | 〕 |

4 あて名のお子さんの保護者の就労状況についておたずねします

問4で「3. その他」に○をつけた方は、問16へお進みください。

問14【母親の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）をおたずねします】

父子家庭などで、母親がいない場合は問15へお進みください。

問14-① 就労状況と就労時間をお答えください

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。時間は、(例) 09時～18時のように、24時間制でお答えください。

母親の就労状況【1つに○】	就労時間【数字を記入】	
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	週に	□ 日
	1日	□ □ 時間
	家を出る時刻	時 分
	帰宅時刻	時 分

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		
6. これまで就労したことがない		

※質問に記述された就労時間の定義は次のとおりです。
 ・フルタイム ⇒ 週5日・1日8時間程度の就労
 ・パート・アルバイト等 ⇒ 「フルタイム」以外の就労

問14-②【問14-①で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におたずねします】

フルタイムへの変更希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの変更希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等をやめて子育てなどに専念したい

問14-③【問14-①で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方におたずねします】

「就労の希望」と就労を希望する場合の「希望の就労形態」をお答えください。

就労の希望【1つに○】	希望の就労形態【1つに○・数字を記入】
1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい 2. 1年後以降に就労したい →一番下の子どもが □ □ 歳になった頃	1. フルタイム
	2. パート・アルバイト等 →週に □ 日 1日 □ □ 時間

3. 子育てなどに専念したい（就労の予定はない）	

問15【父親の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）をおたずねします】

母子家庭などで、父親がいない場合は問16へお進みください。

問15-① 就労状況と就労時間をお答えください

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、育休（産休）・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。時間は、（例）09時～18時のように、24時間制でお答えください。

父親の就労状況【1つに○】	就労時間【数字を記入】	
1. フルタイムで就労しており、育休（産休）・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、育休（産休）・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休（産休）・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休（産休）・介護休業中である	週に	□ 日
	1日	□ □ 時間
	家を出る時刻	__ 時 __ 分
	帰宅時刻	__ 時 __ 分
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		
6. これまで就労したことがない		

※質問に記述された就労時間の定義は次のとおりです。

- ・フルタイム ⇒ 週5日・1日8時間程度の就労
- ・パート・アルバイト等 ⇒ 「フルタイム」以外の就労

問15-②【問15-①で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におたずねします】

フルタイムへの変更希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの変更希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等をやめて子育てなどに専念したい

問15-③【問15-①で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方におたずねします】

「就労の希望」と就労を希望する場合の「希望する就労形態」をお答えください。

就労の希望【1つに○】	希望の就労形態【1つに○・数字を記入】
1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 →週に □ 日 1日 □ □ 時間
2. 1年後以降に就労したい →一番下の子どもが □ □ 歳になった頃	
3. 子育てなどに専念したい（就労の予定はない）	

第3章 調査票

問18【問16で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします】

現在、利用している教育・保育事業の実施場所について、当てはまる番号1つに○をつけてください。
 「市内」を選んだ場合は、該当する場所に☑をし、具体的な駅名等をご記入ください。「市外」を選んだ場合は、実施場所の市町村名及び駅名をご記入ください。

実施場所の市町村【1つに○】	該当場所に☑・具体的に記入
1. 市内 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <input type="checkbox"/> 自宅の近く <input type="checkbox"/> 自宅近くの駅 (駅) <input type="checkbox"/> 職場近くの駅 (駅) <input type="checkbox"/> 職場内 <input type="checkbox"/> その他 ()	2. 市外 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 市町村名 (市・町・村) 駅名 (駅)

問19【問16で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします】

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についておたずねします。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育てをしている方が現在就労している 3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である 4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育てをしている方に病気や障がいがある 6. 子育てをしている方が学生である 7. その他 ()

問20【問16で「2. 利用していない」に○をつけた方におたずねします】

利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない(子どもの母親か父親が就労していないため等) 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 利用したいが、時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている) 9. その他 ()
--

問21【問17で「1. 幼稚園」及び「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方におたずねします】

平日の教育・保育の事業として、幼稚園及び幼稚園の預かり保育を利用している理由について、主なものとして当てはまる番号3つに○をつけてください。

1. 教育理念が良い	2. 園の雰囲気が良い
3. 通っている方の評判が良い	4. 園の設備や園庭が充実している
5. 給食やおやつが充実している	6. 自宅や職場からの距離が近い
7. 預かり保育がある	8. 土曜日の預かりがある
9. 日曜日・祝日等の預かりがある	10. 夏休みなど長期休暇の預かりがある
11. その他 ()	

問22【すべての方におたずねします】

2019年10月から「幼児教育・保育の無償化」が始まります。このことを前提に、現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業について当てはまるものすべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

※「幼児教育・保育の無償化」については別紙1「幼児教育・保育の無償化の概要」をご参照ください。

※利用希望の事業概要（内容・利用条件・利用料等）については別紙2「主な言葉の説明」をご参照ください。

教育・保育の事業【利用したいと考えるものすべてに○】		
1. 幼稚園 通常の就園時間の利用	2. 幼稚園の預かり保育 1の通常の就園時間を延長して預かる事業 (定期的な利用の場合)	3. 認定こども園
4. 認可保育所	5. 小規模保育事業 市町村の認可を受けた定員概ね6～19人で、3歳未満の子ども預かる施設	6. 家庭的保育事業 市の認可を受けた保育士資格等のある保育者の自宅で3歳未満の子どもを預かる事業
7. 事業所内保育施設 企業の従業員等の子どもを預かる保育施設 (認可・認可外の両方あり)	8. 企業主導型保育事業 国が定める基準で、従業員の子どもの預かる事業所内保育を基本に、地域の子どもの預かりも行う認可外保育施設	9. 自治体の認証・認定保育施設 藤沢型認定保育施設等、自治体が設けた基準を満たしている認可外保育施設
10. 幼児教育施設 認可外保育施設のうち、幼稚園に準ずる施設	11. その他の認可外保育施設 8～10のいずれにも該当しない認可外保育施設	12. 認可外の居宅訪問型保育事業 ベビーシッター等の保育者が子どもの家庭で保育する事業
13. 一時預かり事業（非定型） 認可保育所で、保護者の就労等により週3日以内の預かりを行う事業	14. ファミリー・サポート・センター事業	15. その他 ()
16. 特にない ⇒【問27へ】		

6 あて名のお子さんの地域子育て支援事業の利用状況についておたずねします

問27【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」「つどいの広場」等を利用していますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。なお、「2. 利用していない」に○をつけた方は、その理由について当てはまるものすべてに○をつけてください。

現在の利用状況		利用回数／利用していない理由
1. 利用している		
事業別内訳	ア. 子育て支援センター、つどいの広場	週に □ 回 もしくは月に □ □ 回程度
	イ. その他藤沢市で実施している類似事業 (子育てふれあいコーナーあいあい・きらきらぼし、巡回子育てひろば等)	週に □ 回 もしくは月に □ □ 回程度
	ウ. 子育てサークルなど	週に □ 回 もしくは月に □ □ 回程度
2. 利用していない	⇒ 理由	ア. 知らない イ. 興味がない ウ. 遠い エ. その他 ()

問28【すべての方におたずねします】

問27のような事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその希望回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

利用希望【1つに○】	希望回数【数字を記入】
1. 利用していないが、今後利用したい	週に □ 回 もしくは月に □ □ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

7 あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についておたずねします

問29【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯について□内に（例）09時～18時のように、24時間制で数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。また、教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} ----->	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 月に1～2回は利用したい		

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} ----->	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 月に1～2回は利用したい		

問30【問29の(1)もしくは(2)で「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方におたずねします】

毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他 ()	

問31【問17で「1. 幼稚園」を利用している方におたずねします】

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯について□内に（例）09時～18時のように、24時間制で数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	} ----->	利用したい時間帯
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 休みの期間中、たまに利用したい		

問32【問31で「3. 休みの期間中、たまに利用したい」に○をつけた方におたずねします。】

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他 ()	

8 あて名のお子さんの病気の際の対応についておたずねします(平日の教育・保育を利用する方)

問33【問16で平日の定期的な教育・保育の事業を「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします】

「2. 利用していない」と答えた方は、問38にお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

対処方法	対応日数	
1. 利用できなかったことがある		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">}</div> <div> <p>問34へ</p> <p>問37へ</p> </div> </div>
ア. 父親が休んだ	年に □ □ 日	
イ. 母親が休んだ	年に □ □ 日	
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	年に □ □ 日	
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年に □ □ 日	
オ. 病後児の保育を利用した	年に □ □ 日	
カ. ベビーシッターを利用した	年に □ □ 日	
キ. ファミリー・サポート・センター事業による病児・病後児の預かりを利用した	年に □ □ 日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年に □ □ 日	
ケ. その他 ()	年に □ □ 日	
2. 特にない ⇒【問38へ】		

問34【問33で「ア. 父親が休んだ」もしくは「イ. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方におたずねします】

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児等保育施設等を利用したい 年 □ □ 日の利用	⇒【問35へ】
2. 利用したいとは思わない	⇒【問36へ】

問35【問34で「1. できれば病児・病後児等保育施設等を利用したい」に○をつけた方におたずねします】

上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科や医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター事業等) 4. その他 () |
|--|

第3章 調査票

問42【すべての方におたずねします】

この1年間に、保護者の用事（出張、冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと		年間の宿泊日数
1. あった		
対処方法	ア. 親族・知人にみてもらった ⇒【問43へ】	年に □ □ 泊
	イ. 子どものショートステイ（宿泊を伴うもの）を利用した	年に □ □ 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	年に □ □ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年に □ □ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年に □ □ 泊
	カ. その他（ ）	年に □ □ 泊
2. なかった ⇒【問44へ】		

問43【問42で「1. あった」のうち、対処方法「ア. 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方におたずねします】

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

10 あて名のお子さんの、小学校就学後の放課後の過ごし方についておたずねします

問44【あて名のお子さんが（2019年4月2日時点で）4歳以上の方におたずねします】

あて名のお子さんが4歳未満の方は、問46へお進みください。

あて名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

※用語については別紙2「主な言葉の説明」をご参照ください。

放課後の居場所	週の利用希望日数等
1. 自宅	週に □ □ 日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に □ □ 日
3. 習い事（音楽教室、スポーツ教室、学習塾など）	週に □ □ 日
4. 児童館	週に □ □ 日
5. 放課後子ども教室	週に □ □ 日
6. 地域子どもの家	週に □ □ 日
7. 放課後児童クラブ（学童保育） ※希望する時間も	週に □ □ 日 □ □ 時まで
8. ファミリー・サポート・センター事業	週に □ □ 日
9. その他（ ）	週に □ □ 日
10. わからない	

問45【問44で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方におたずねします】

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、もしくは夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）～（3）それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい学年や時間帯を□内に数字でご記入ください。時間は、（例）09時～18時のように、24時間制でお答えください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

利用希望【1つに○】	希望の利用形態【数字を記入】
1. 利用希望がある 何年生まで利用したいですか。	<input type="checkbox"/> 年生まで 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
2. 利用する必要はない	

第3章 調査票

(2) 日曜日・祝日

利用希望【1つに○】	希望の利用形態【数字を記入】
1. 利用希望がある 何年生まで利用したいですか。	<input type="checkbox"/> 年生まで 利用したい時間帯 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2. 利用する必要はない	

(3) 夏休み・冬休みなど長期の休暇

利用希望【1つに○】	希望の利用形態【数字を記入】
1. 利用希望がある 何年生まで利用したいですか。	<input type="checkbox"/> 年生まで 利用したい時間帯 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2. 利用する必要はない	

問48【問47で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします】

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども、「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

	母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
2. それ以外だった	2	2

問49【問47で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします】

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	1	1
2. 利用した	2	2
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	3	3

問50【問49で「3. 利用したかったが、利用しなかった」に○をつけた方におたずねします】

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が忙しかった	2	2
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3	3
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4	4
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
6. 配偶者が無職、祖父母等親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6	6
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7	7
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8	8
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
10. その他（ ）	10	10

問51【問47で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします】

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

	実際の取得期間	希望
母親	□ 歳 □ □ か月	□ 歳 □ □ か月
父親	□ 歳 □ □ か月	□ 歳 □ □ か月

問51-①【問51で実際の復帰時期が希望より早かった方におたずねします】

「希望」より早く復帰した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 希望する保育所に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5. その他 ()	5	5

問51-②【問51で実際の復帰時期が希望より遅かった方におたずねします】

「希望」より遅く復帰した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1	1
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	2
3. 配偶者や家族の希望があったため	3	3
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
6. より長く、子どもと一緒に過ごしたかったため	6	6
7. その他 ()	7	7

問52【問47で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方におたずねします。】

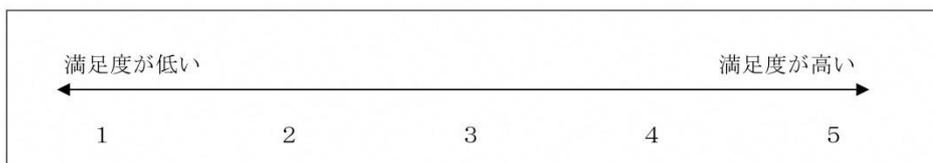
育児・介護休業法の改正（平成29年10月1日施行）に伴い、原則として子が1歳に達するまで取得できる育児休業期間を、保育所に入れない等の場合に、最長2歳まで延長し、同時に育児休業給付金を受給することができるようになりました。あて名のお子さんが何歳まで、育児休業を取得したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. 1歳になる前に復職したい	1	1
2. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2	2
3. 1歳6か月になるまで育児休業を取得したい	3	3
4. 2歳になるまで育児休業を取得したい	4	4

12 その他意見についておたずねします

問53【すべての方におたずねします】

お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について1～5段階のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。



問54【すべての方におたずねします】

子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。当てはまるものがない場合は、問55にお書きください。

1. 子どもの病気や発育・発達に関すること	2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 子どものほめ方やしかり方に関すること	4. 子どもとの接し方
5. 子どもと接する時間がとれないこと	6. 子どもの就学に関すること
7. 子どもの教育に関すること	8. 子どもの友人関係のこと
9. 子育ての経済的負担に関する こと	10. 仕事ややりたいことが制限されること
11. 話し相手や相談相手がいないこと	12. 特にない

問55【すべての方におたずねします】

最後に、子育て（教育を含む）をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。

これで調査はすべて終わりです。長時間にわたりご協力いただきまして、本当にありがとうございました。回答もれがないかご確認のうえ、切手は貼らずに返送用封筒に入れ、5月27日（月）までに郵便ポストへご投函ください。



2.放課後児童クラブに関する利用希望把握調査

藤沢市放課後児童クラブに関する利用希望把握調査

～子どもと子育て家庭の“笑顔と元気”のために～

調査ご協力をお願い

日頃から子育て施策の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

藤沢市では、「子ども・子育て支援法」（平成24年法律第65号）に基づく子ども・子育て支援新制度の下で、幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援の充実を図るため、令和2年度から5年間を一期とする「第二期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

この調査は、計画の策定に当たり、5歳児及び小学生の保護者の放課後児童クラブに関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施するものです。

このため、住民基本台帳の中から調査対象年齢のお子さんを無作為に抽出し、その保護者にご協力をお願いするもので、ご回答いただいた内容によって、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。

また、回答内容が今後の放課後児童クラブのご利用に影響することはありませんので、率直にご希望等をご記入ください。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

2019年（令和元年）5月吉日

藤沢市 子ども青少年部子育て企画課・青少年課

【 ご記入に際してのお願い 】

1. アンケートは、特にことわりのある場合を除きお子さんの保護者が、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
また、「その他」をお選びいただいた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時→18時)でご記入ください。
5. 該当する設問についてのみご回答ください。

※ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、次の担当課までお願いいたします。

藤沢市 子ども青少年部 青少年課

電話 0466-50-8251（直通）※月曜日～金曜日 8時30分～17時

F A X 0466-50-8434

E-mail fj-seisho@city.fujisawa.lg.jp

ご記入が済みましたら、同封の返送用封筒（切手不要）に入れて封をし、郵便ポストに

5月27日（月）までにご投函ください。

藤沢市の放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の概要

本市では、保護者が就労等により放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図り、小学1～6年生を対象に適切な遊びと生活の場を提供するため、放課後児童クラブを各小学校区に設置しています。放課後児童クラブは、（公財）藤沢市みらい創造財団のほか、社会福祉法人、学校法人、特定非営利活動法人が運営しています。法人によって開所時間、入所料等が異なります。ここでは、（公財）藤沢市みらい創造財団の開所時間等をお示ししています。

○開所時間

区 分	時 間
学校通常授業時（月～金曜日）	12時30分～19時
学校短縮授業時	10時30分～19時
土曜日（夏・冬・春休み期間以外）	8時～19時
夏・冬・春休み期間（土曜日含む）	8時～19時
学校行事振替休日	8時～19時

○休所日

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、その他災害等で小学校が休校となったときなど

○入所料

	入会金（新入所時）	8,500円	おやつ代（月額）	2,000円
入所料 （月額）	1年生	14,500円	2年生	14,500円
	3年生	14,000円	4年生	14,000円
	5年生	9,500円	6年生	9,500円

※保護者の負担軽減を図るために、市で定めた基準（生活保護、非課税世帯等）を満たす利用者については、減額措置があります。

○入所要件

- ① 学校、放課後児童クラブ、家庭間の移動を自分で行うことができること。
- ② 食事、排便、着脱衣、身の整理等を自分で行うことができること。
- ③ 介助を求めることなく、集団活動を行うことができること。
- ④ 自傷・他傷行為等の問題行動をおこさないこと。
- ⑤ 急な飛び出しや多動な行動をしないこと。

※ 障がいがある児童については、障がいの程度、症状などがそれぞれ異なるため、事前に十分な面接等を行い、施設の設備状況や必要となる支援内容などを確認した上で入所可否を決定します。

調査にお答えいただくに当たっての主な言葉の説明

名 称	内 容	本市での実施状況 (2019年4月1日時点)
地域の子育て支援		
ファミリー・サポート・センター事業	子育ての手助けを希望する方（おねがい会員）と、子育ての手助けができる方（まかせて会員）で会員組織を構成し、アドバイザーが仲介となり会員相互による育児支援活動を行います（有料）。保育所等への送迎や子どもの預かり等を行います。 ■利用料 700円／1時間 ※その他活動内容・時間によって異なります	湘南台文化センター内に事務局があり、会員同士の仲介を行います。
児童館・地域子どもの家等		
児童館	児童福祉法に基づき、子どもに健全な遊びを与え、健康の増進と情操を豊かにすることを目的とした施設で、放課後児童クラブを併設しています。（対象者は、0歳～18歳の子ども） ■利用料 無料	5 か所
地域子どもの家	子どもたちが自由にのびのびと遊ぶことができ、その心身の健全な発達を図ることを目的とした屋内外に遊具がある藤沢市独自の施設です。（対象者は、幼児～中学生） ■利用料 無料	17 か所
放課後子ども教室	放課後の学校施設を活用し、実施小学校区内に居住する全ての小学生に遊び場や運動の場などを提供するものです。 ■利用料 無料	小糸小学校区 亀井野小学校区 富士見台小学校区
放課後児童クラブ	詳しくはP. 1を参照してください。	65 か所

1 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておたずねします
問1【すべての方におたずねします】

お子さんが通学されている、または通学予定の小学校はどこですか。

- | | | | | |
|-----------|------------|-------------|----------|----------|
| 1. 藤沢小 | 2. 明治小 | 3. 鶴沼小 | 4. 本町小 | 5. 村岡小 |
| 6. 六会小 | 7. 辻堂小 | 8. 鶴洋小 | 9. 片瀬小 | 10. 大道小 |
| 11. 秋葉台小 | 12. 御所見小 | 13. 長後小 | 14. 八松小 | 15. 高砂小 |
| 16. 善行小 | 17. 富士見台小 | 18. 鶴南小 | 19. 浜見小 | 20. 俣野小 |
| 21. 大越小 | 22. 羽鳥小 | 23. 湘南台小 | 24. 大庭小 | 25. 亀井野小 |
| 26. 新林小 | 27. 中里小 | 28. 滝の沢小 | 29. 大鋸小 | 30. 天神小 |
| 31. 駒寄小 | 32. 高谷小 | 33. 小糸小 | 34. 大清水小 | 35. 石川小 |
| 36. 私立小学校 | 37. 特別支援学校 | 38. その他 () | | |

問2【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんの学年についてお答えください。

- | | | |
|-------------------|--------|--------|
| 1. 就学前（5歳児・年長クラス） | 2. 1年生 | 3. 2年生 |
| 4. 3年生 | 5. 4年生 | 6. 5年生 |

問3【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんが利用されている、または就学前に利用していた教育・保育事業についてお答えください。

- | | | | |
|-------------|--------|-----------|------------|
| 1. 保育所・保育施設 | 2. 幼稚園 | 3. 認定こども園 | 4. その他 () |
|-------------|--------|-----------|------------|

問4【すべての方におたずねします】

あて名のお子さんの性別についてお答えください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5【すべての方におたずねします】

この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問6【問5で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方におたずねします】

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問5で「3. その他」と回答した方は回答不要です。）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 配偶者（パートナー）がいる | 2. 配偶者（パートナー）はいない |
|------------------|-------------------|

2 あて名のお子さんの保護者の就労状況についておたずねします

問5で「3. その他」に○をつけた方は、問15へお進みください。

《母親の就労状況》

問13【母親の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）をおたずねします】

父子家庭などで、母親がいない場合は問14へお進みください。

問13-① 就労状況と就労時間をお答えください

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。時間は、(例) 09時～18時のように、24時間制でお答えください。

母親の就労状況【1つに○】	就労時間【数字を記入】	
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	週に	□ 日
	1日	□ □ 時間
	家を出る時刻	時 分
	帰宅時刻	時 分

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		
6. これまで就労したことがない		

※質問に記述された就労時間の定義は次のとおりです。

- ・フルタイム ⇒ 週5日・1日8時間程度の就労
- ・パート・アルバイト等 ⇒ 「フルタイム」以外の就労

問13-②【問13-①で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方におたずねします】

フルタイムへの変更希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの変更希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの変更希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する 4. パート・アルバイト等をやめて子育てなどに専念したい
--

問13-③【問13-①で「5」または「6」（現在就労していない）を選んだ方におたずねします】

「就労の希望」と就労を希望する場合の「希望の就労形態」をお答えください。

就労の希望【1つに○】	希望の就労形態【1つに○・数字を記入】
1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい 2. 1年後以降に就労したい →一番下の子どもが □ □ 歳になった頃	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 →週に □ 日 1日 □ □ 時間
	3. 子育てなどに専念したい（就労の予定はない）

問16【すべての方におたずねします】

来年、お子さんが就学、または学年が上がったときに放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。現在お住いの学区に該当する施設がない場合でも、あると仮定した上で利用希望をお答えください。

※用語については2頁記載の「調査にお答えいただくに当たっての主な言葉の説明」をご参照ください。

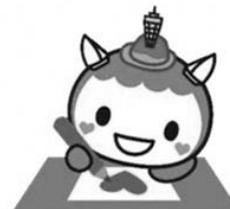
放課後の居場所	週の利用希望日数等
1. 自宅	週に <input type="text"/> 日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に <input type="text"/> 日
3. 習い事（音楽教室、スポーツ教室、学習塾など）	週に <input type="text"/> 日
4. 児童館	週に <input type="text"/> 日
5. 地域子どもの家	週に <input type="text"/> 日
6. 放課後子ども教室	週に <input type="text"/> 日
7. 放課後児童クラブ（学童保育） ※希望する時間も	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
8. 放課後等デイサービス	週に <input type="text"/> 日
9. ファミリー・サポート・センター事業	週に <input type="text"/> 日
10. その他（ <input type="text"/> ）	週に <input type="text"/> 日

問17【問16で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方におたずねします】

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、もしくは夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）～（3）それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい学年や時間帯を数字でご記入ください。時間は、（例）09時～18時のように、24時間制でお答えください。

（1）土曜日

利用希望【1つに○】	希望の利用形態【数字を記入】
1. 利用希望がある 何年生まで利用したいですか。	<input type="text"/> 年生まで 利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 利用する必要はない	



4 最後にご意見についておたずねします

問20【すべての方におたずねします】

子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。当てはまる番号がない場合は、問21にお書きください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 子どもの病気や発育・発達に関すること | 2. 子どもの食事や栄養に関すること |
| 3. 子どものほめ方やしかり方に関すること | 4. 子どもとの接し方 |
| 5. 子どもと接する時間がとれないこと | 6. 子どもの進学に関すること |
| 7. 子どもの教育に関すること | 8. 不登校のこと |
| 9. 子どもの友人関係 | 10. 子育ての経済的負担に関すること |
| 11. 仕事ややりたいことが制限されること | 12. 話し相手や相談相手がいないこと |
| 13. 特にない | |

問21【すべての方におたずねします】

最後に、子育て（教育を含む）をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。

これで調査はすべて終わりです。長時間にわたりご協力いただきまして、本当にありがとうございました。切手は貼らずに返送用封筒に入れ、5月27日（月）までに郵便ポストへご投函ください。



藤沢市

子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査
放課後児童クラブに関する利用希望把握調査
結果報告書

2019年（令和元年）9月

発行 藤沢市 子ども青少年部 子育て企画課
